

富津市の公共施設再配置に関する

アンケート調査 結果報告書

～調査の概要～

○実施目的

市民の皆様は公共施設の利用状況や今後のあり方に関するご意見等を伺い、公共施設の保有総量の適正化など、今後の取組に活用することを目的に、アンケート調査を実施しました。

○実施期間

令和6年12月6日（金）から12月27日（金）

○調査方法

郵送調査（WEB 回答フォームまたは郵送による回答）

○対象者

富津市に在住する16歳以上の1,500人(住民基本台帳より無作為抽出)

○回収数

合計402人(WEB 回答167人、郵送回答235件)

○回収率

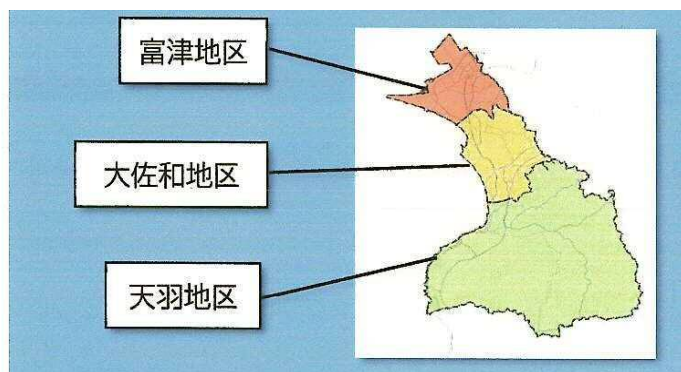
26.8%

※構成比の数値は、は数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

※本集計は、居住地区を下記のとおり集約して分析の軸としています。

- ・富津地区(富津地区、青堀地区、飯野地区)
- ・大佐和地区(大貫地区、吉野地区、佐貫地区)
- ・天羽地区(湊地区、天神山地区、竹岡地区、金谷地区、峰上地区)

なお、11地区別の集計については、「8. 参考資料」に掲載しています。



※自由記載欄に記入いただいた御意見については、下記の処理を行った上で掲載しています。

- ・個人や家族についての詳細な記述は、削除しています。
- ・誤字・脱字等については、必要な範囲で修正しています。
- ・御意見の趣旨を明確にするため、必要な範囲で加筆修正しています。

目 次

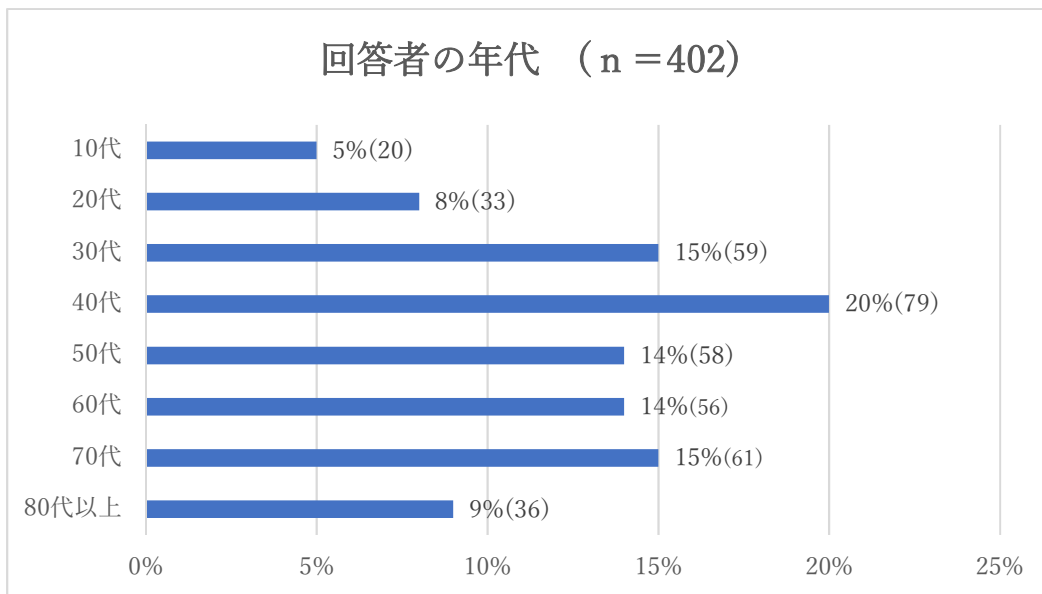
1. 回答者の属性について	1
(1) 性別	1
(2) 年代	1
(3) 職業	1
(4) 居住地区	2
2. 公共施設の利用について	3
(1) 公共施設の利用頻度（全体、地区別、年代別）	3
(2) 公共施設を利用したことがない理由（全体、地区別、年代別）	14
3. 富津市の公共施設を取り巻く課題について	25
(1) 富津市の公共施設の老朽化が進んでおり、今後、大規模改修や建替えが集中し、 膨大な財政負担が必要になることが見込まれること（全体、年代別、地区別）	25
(2) 富津市の人口は、昭和 60 年（1985 年）をピークに減少していること（全体、 年代別、地区別）	26
4. 資料「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を参照いただき、この取り組みに ついてどう思うか（全体、年代別、地区別）	27
5. 将来に向けて、公共施設を維持していくために考えられる方策について（全体、年代別、 地区別）	28
6. 「市が将来にわたり維持すべきと考える施設」と「今後、施設数や規模の見直し、廃止 を考えるべき施設」について	34
(1) 市が将来にわたり維持すべきと考える施設（全体、年代別、地区別）	34
(2) 施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設（全体、年代別、地区別）	44
7. 自由記載欄	54
(1) 4. 資料「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を参照いただき、この取り 組みについてどう思うか	54
・評価する、どちらかといえば評価する（回答理由）	54
・評価しない、どちらかといえば評価しない（回答理由）	58
(2) 公共施設の再配置についての意見	60
・施設に関する意見	60
・その他の意見	67
8. 参考資料	69
(1) アンケート調査票等	69
(2) 居住地区別（11 地区）集計	81

1. 回答者の属性について

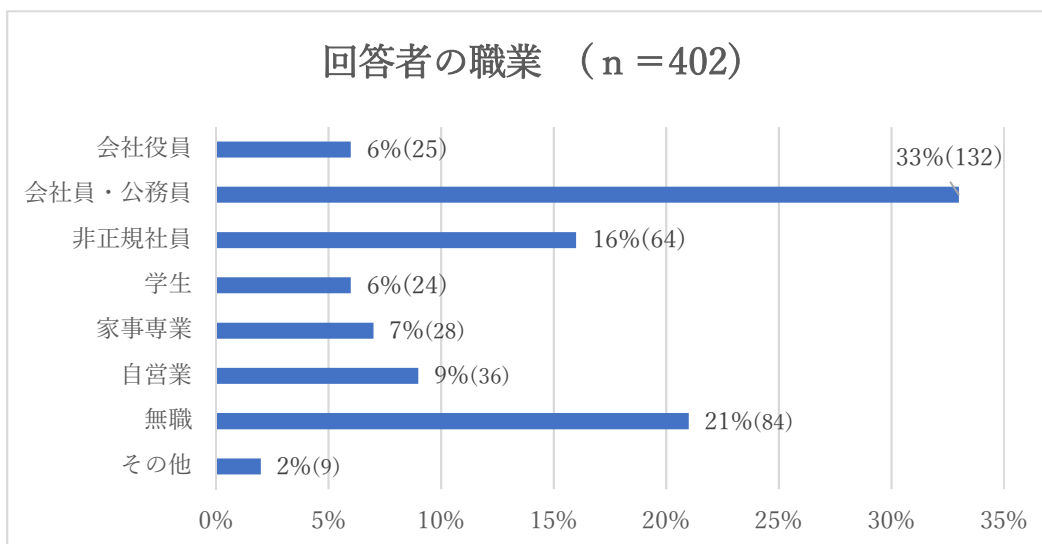
(1) 性別

全体 402件	男性 193件(48%)	女性 209件(52%)
---------	--------------	--------------

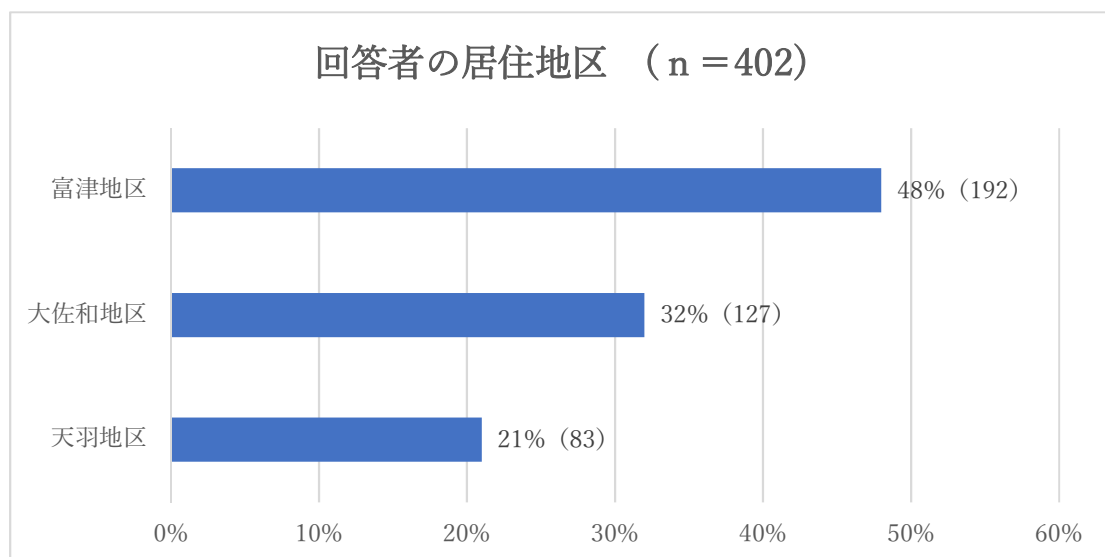
(2) 年代



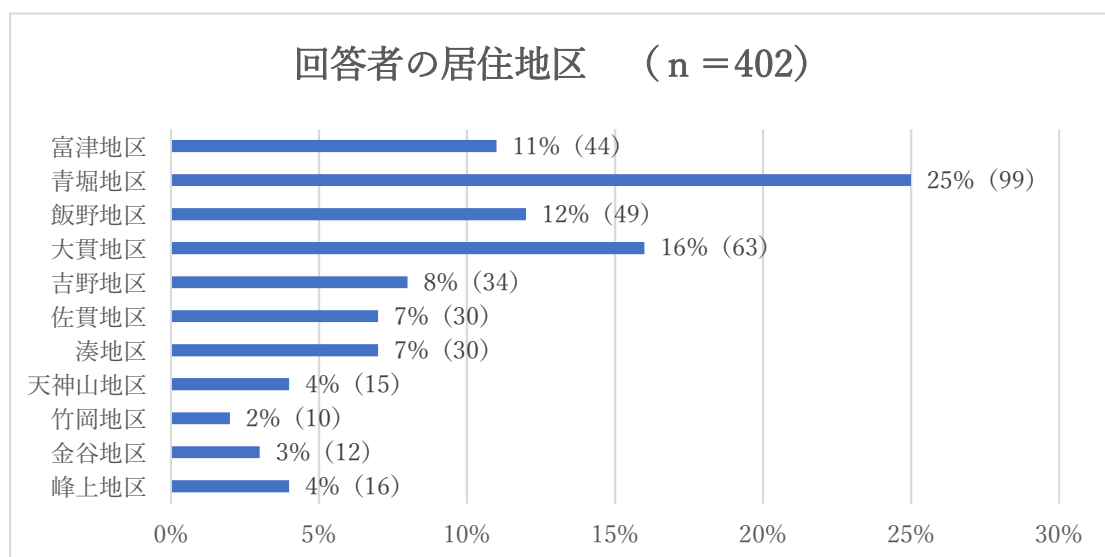
(3) 職業



(4) 居住地区



(参考 11 地区別の集計)



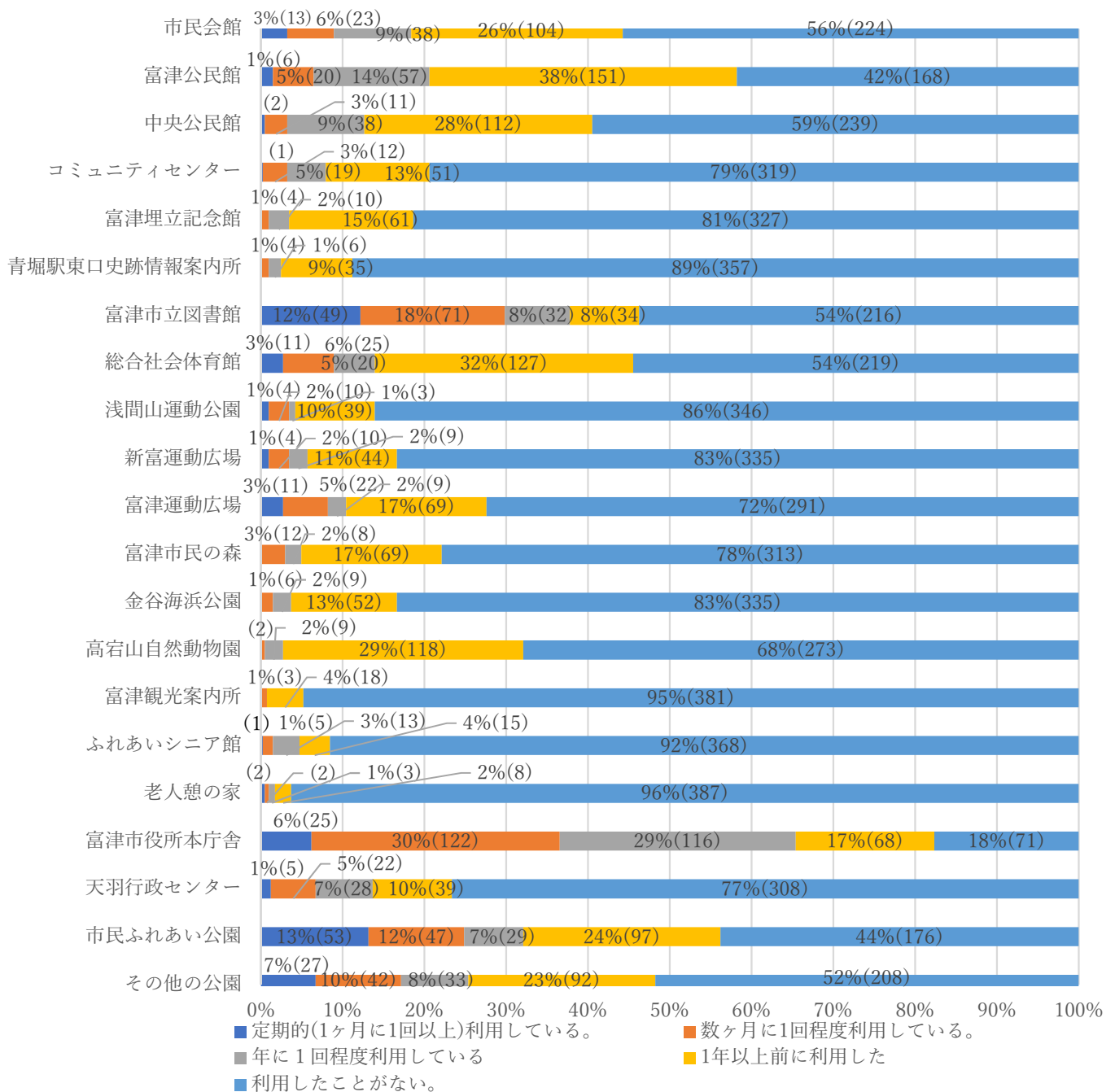
2. 公共施設の利用について

(1) 公共施設の利用頻度

「定期的に（1 カ月に 1 回以上）利用している」「数ヶ月に 1 回程度利用している」の合計では、富津市役所本庁舎が 36% で一番高い割合であり、次いで富津市立図書館の 30%、市民ふれあい公園の 25% となっています。

一方、「利用したことがない」「1 年以上前に利用した」の合計では、富津市役所本庁舎以外の施設は 6 割以上であり、富津観光案内所が 99%、青堀駅東口史跡情報案内所が 98%、老人憩いの家が 98% と高くなっています。

【全体】公共施設の利用頻度（n = 402）

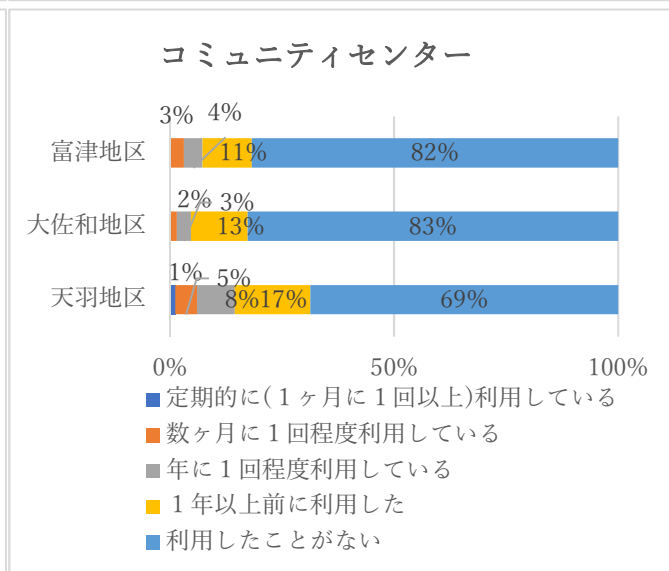
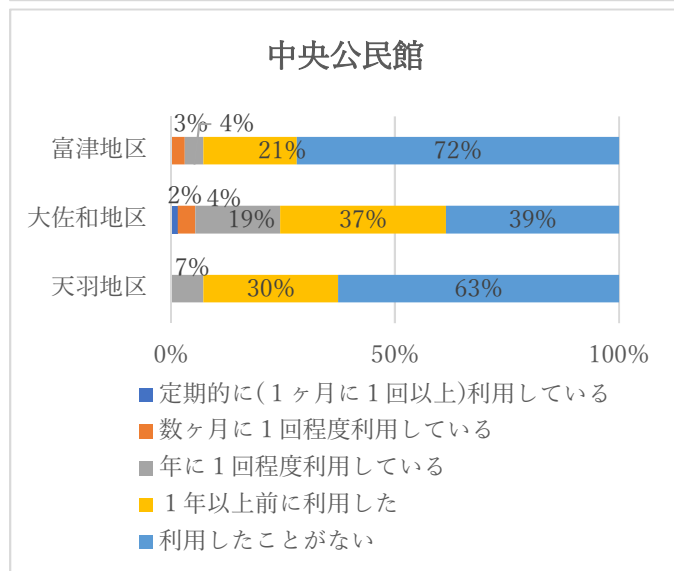
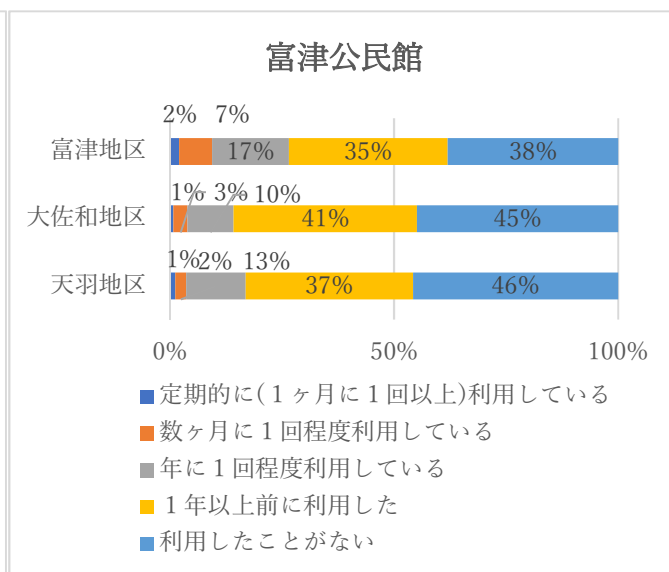
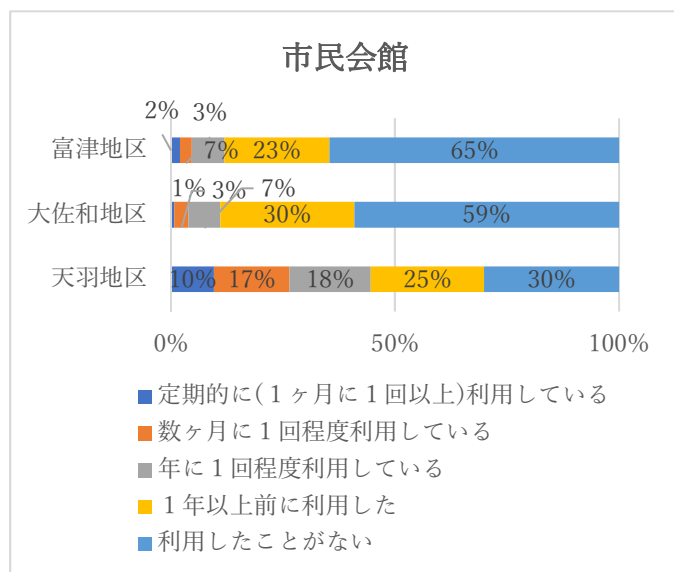


「定期的に（1 カ月に 1 回以上）利用している」「数カ月に 1 回程度利用している」の割合が一番高い富津市役所本庁舎について、地区別では大佐和地区（41%）、富津地区（40%）が高く、年代別では 30 代（42%）、70 代（41%）が高くなっています。

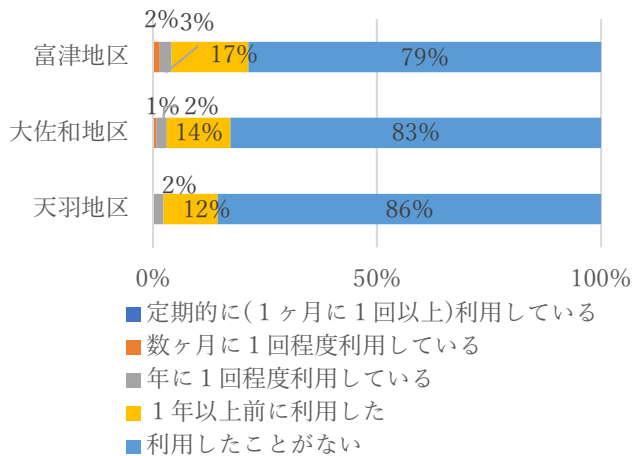
同様に、富津市立図書館について、地区別では富津地区（36%）が高く、年代別では 30 代（41%）、20 代（36%）、10 代（35%）が高くなっています。

また、市民ふれあい公園について、地区別では富津地区（36%）が高く、年代別では 30 代（44%）、40 代（28%）が高くなっています。

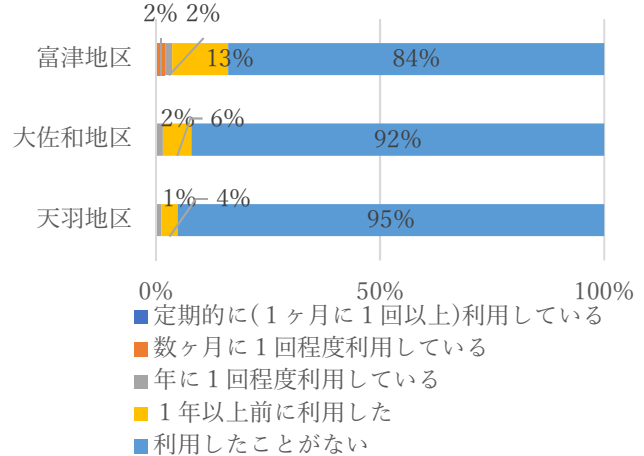
【地区別】公共施設の利用頻度



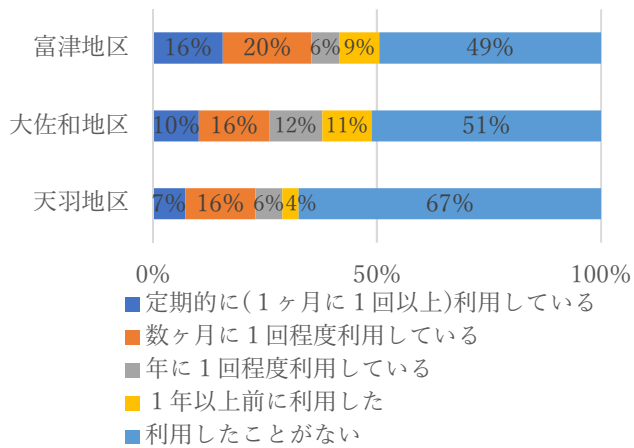
富津埋立記念館



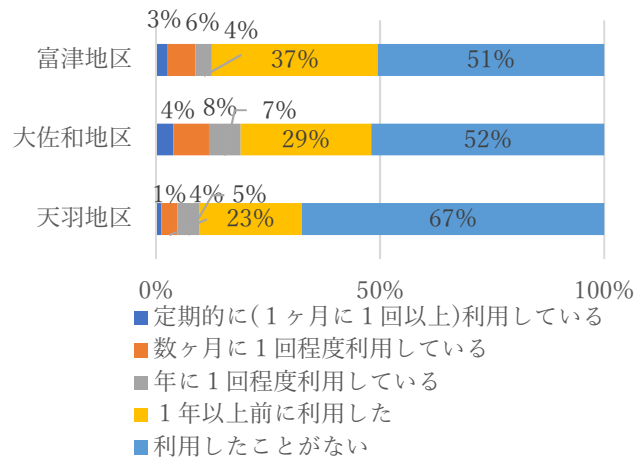
青堀駅東口史跡情報案内所



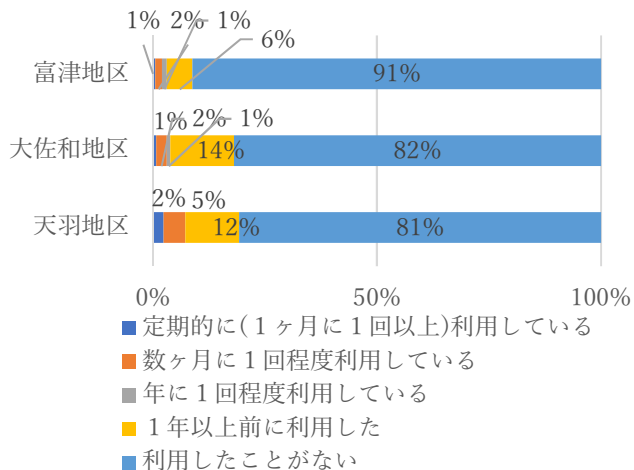
富津市立図書館



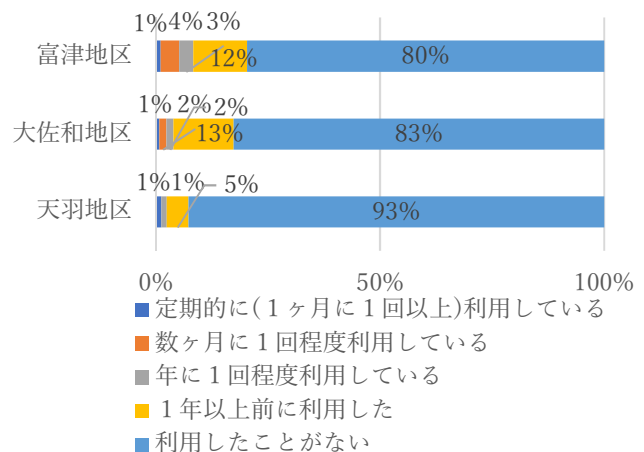
総合社会体育館



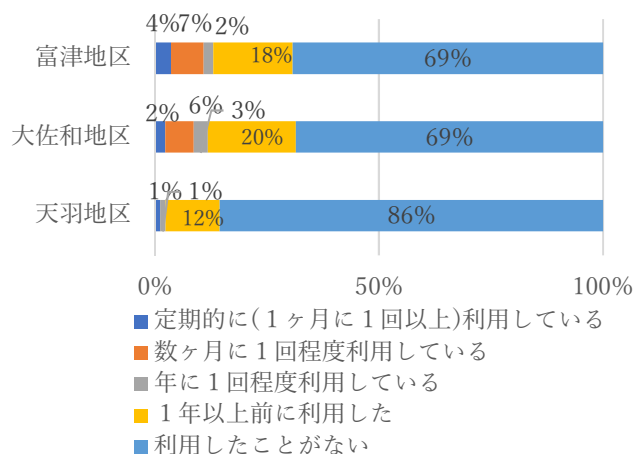
浅間山運動公園



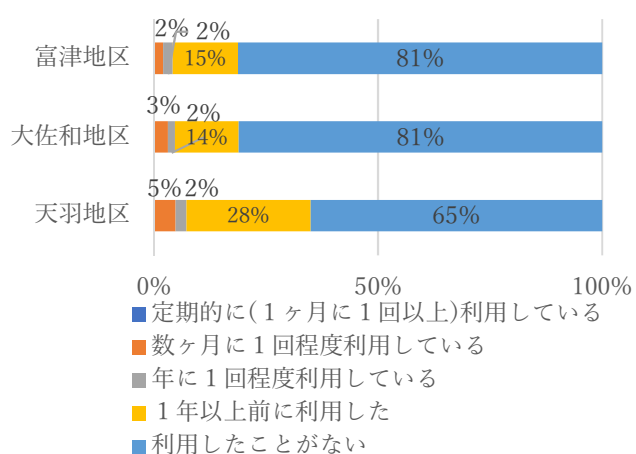
新富運動広場



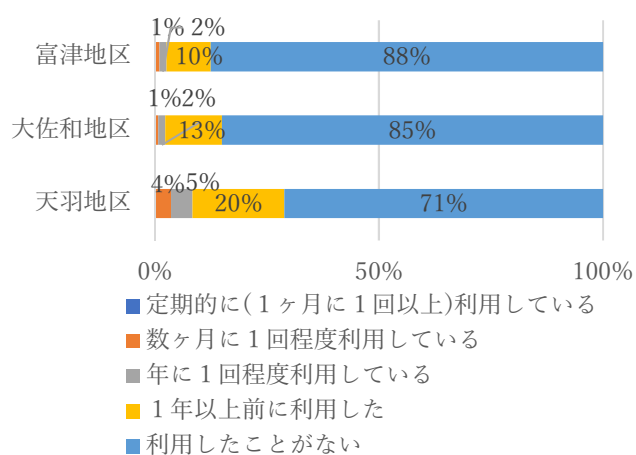
富津運動広場



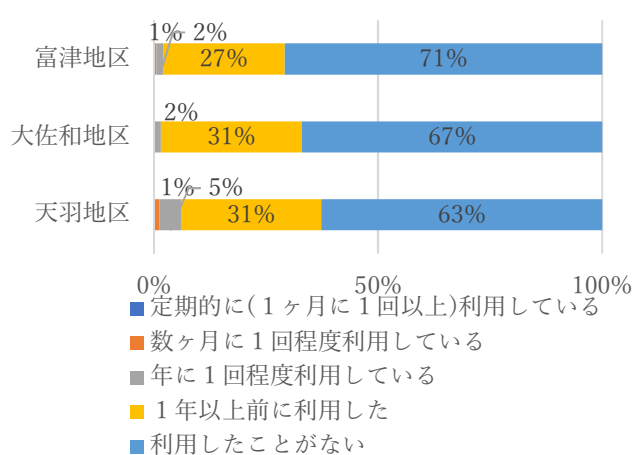
富津市民の森



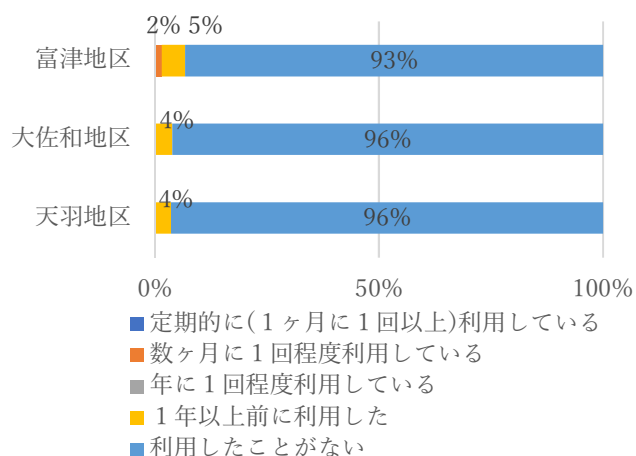
金谷海浜公園



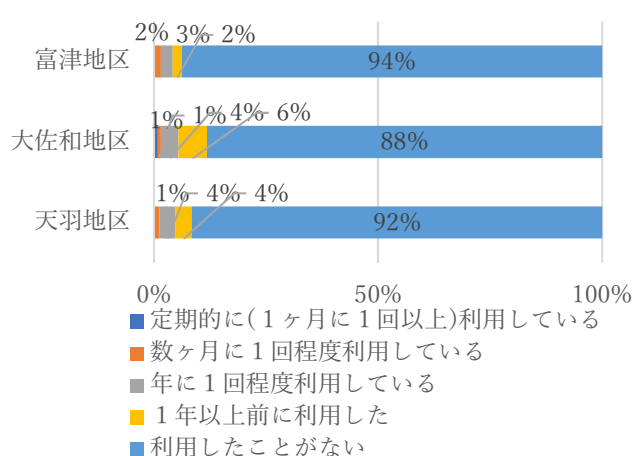
高宕山自然動物園



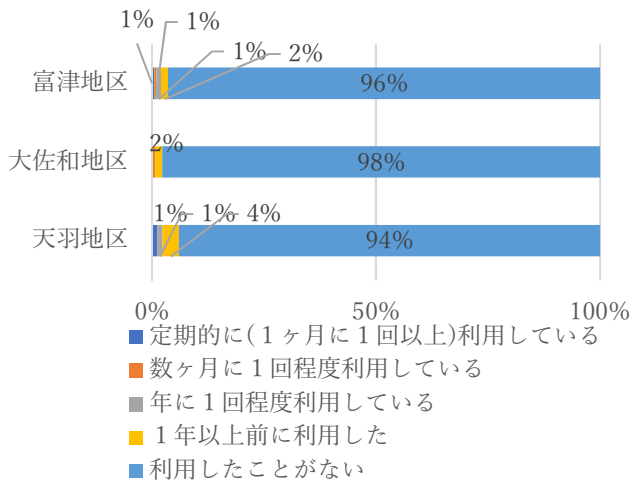
富津観光案内所



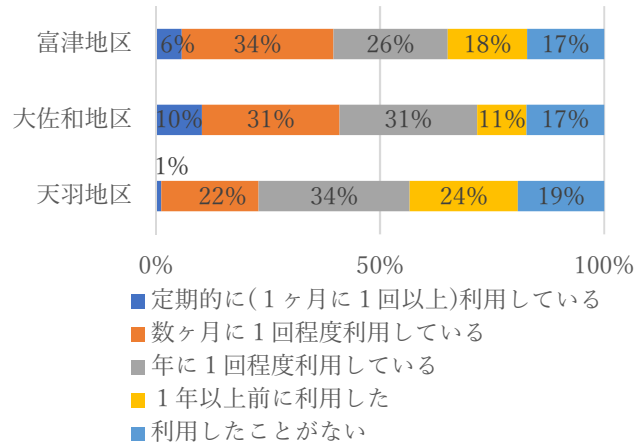
ふれあいシニア館



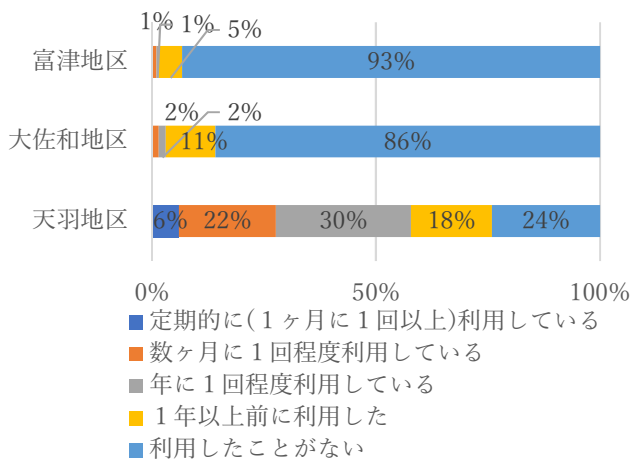
老人憩いの家



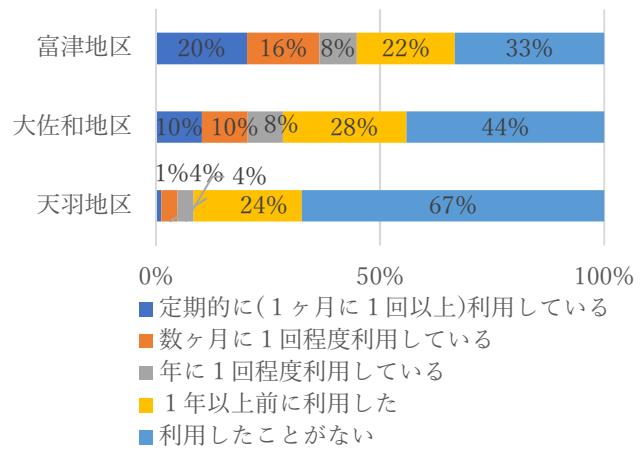
富津市役所本庁舎



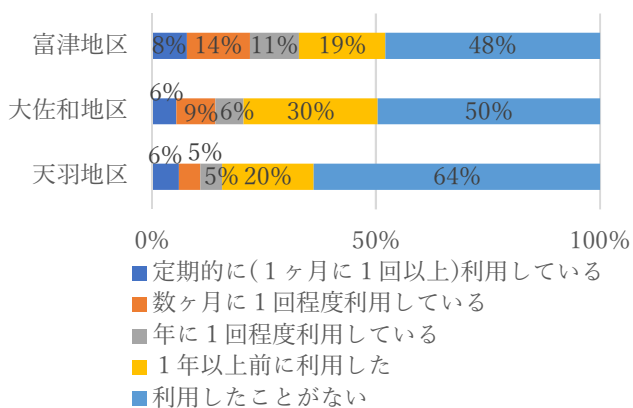
天羽行政センター



市民ふれあい公園

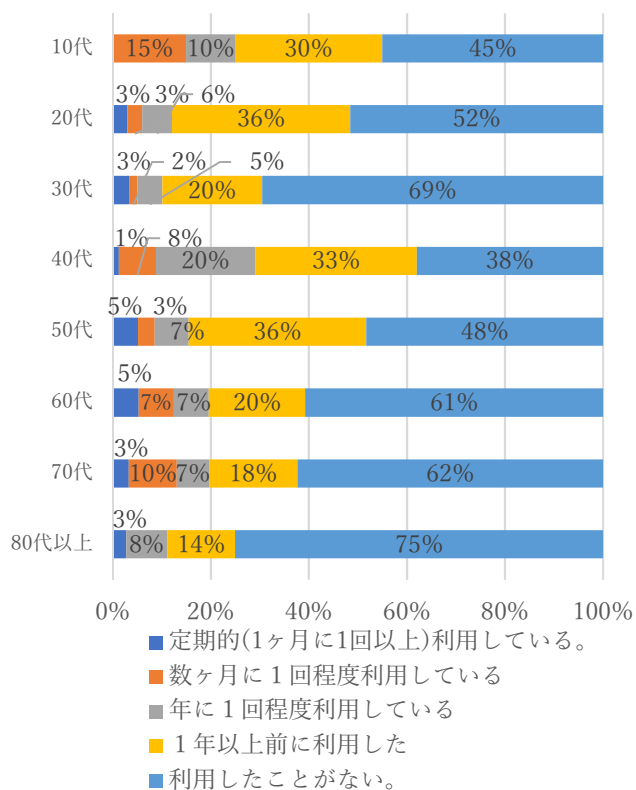


その他の公園

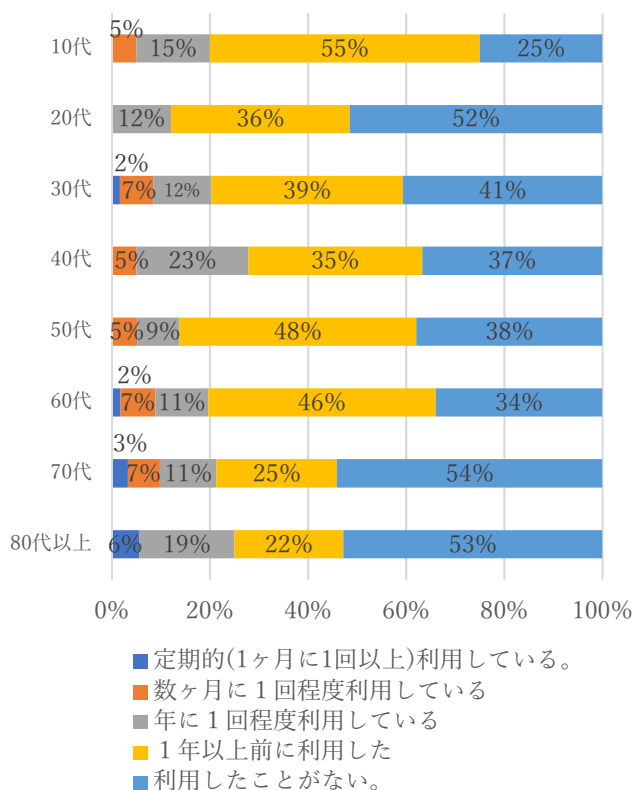


【年代別】公共施設の利用頻度

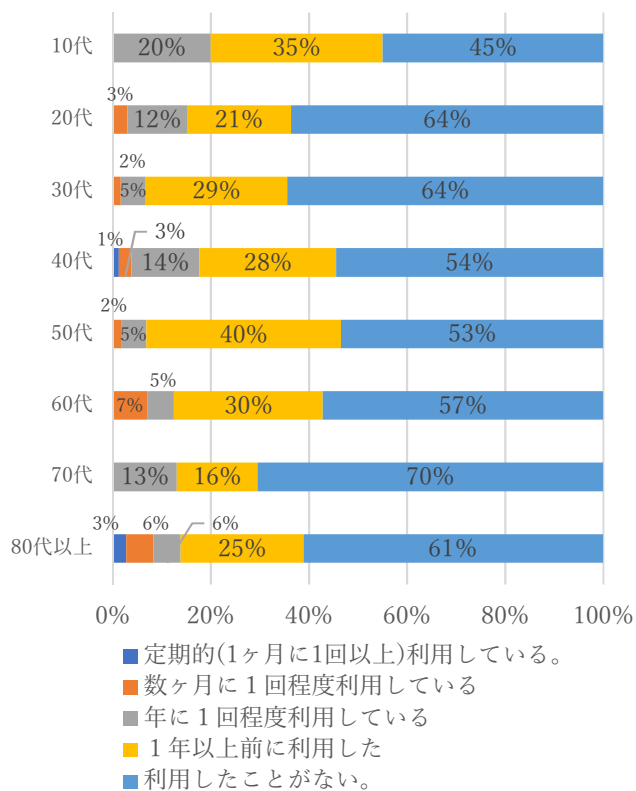
市民会館



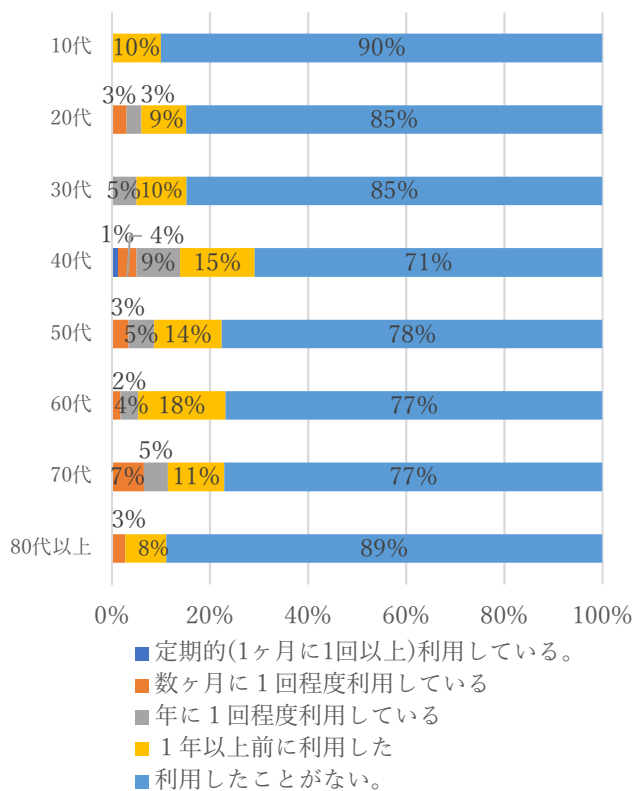
富津公民館



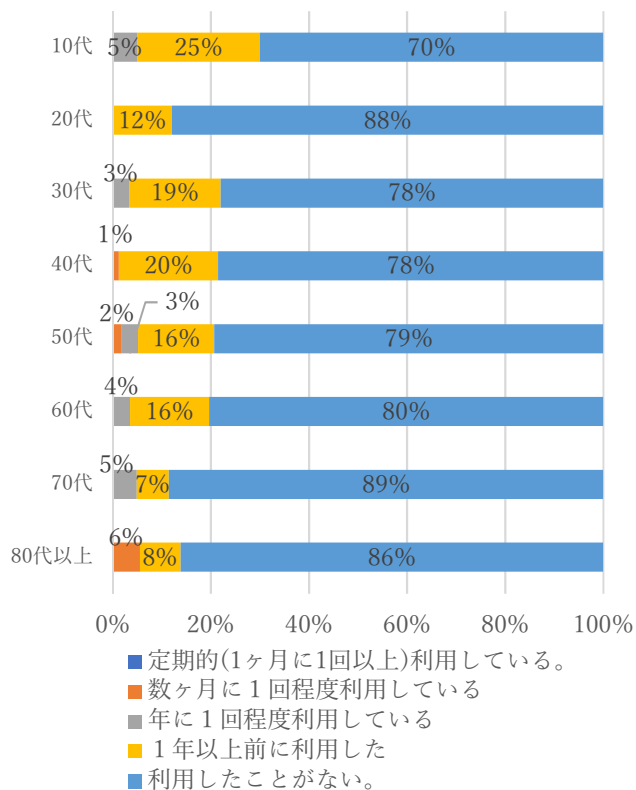
中央公民館



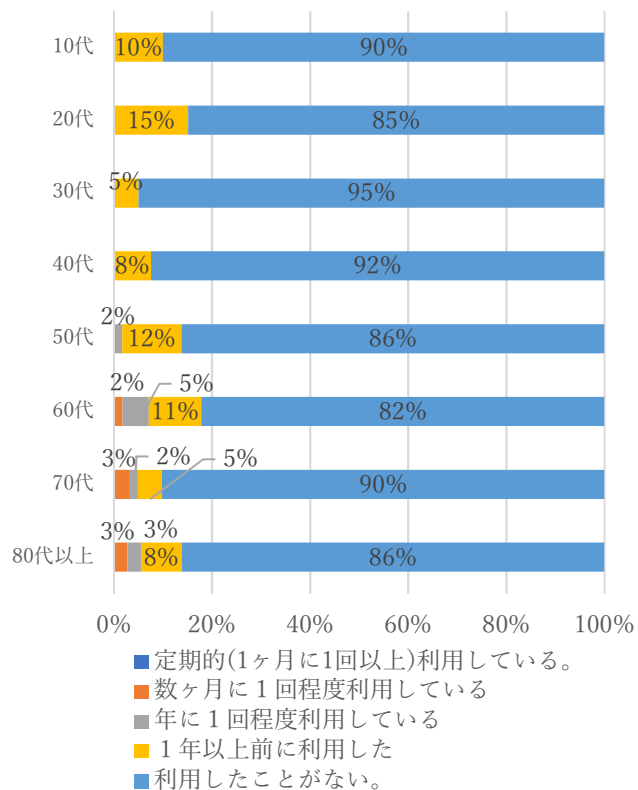
コミュニティセンター



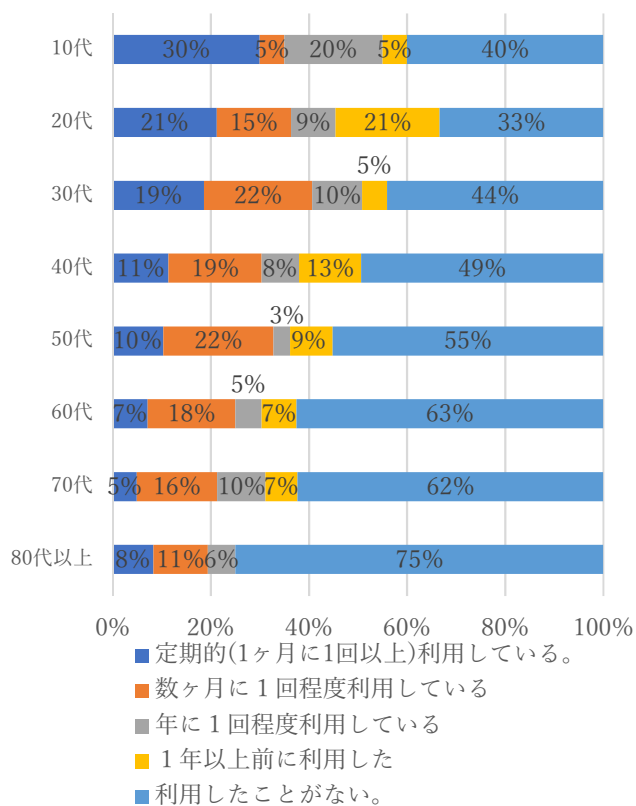
富津埋立記念館



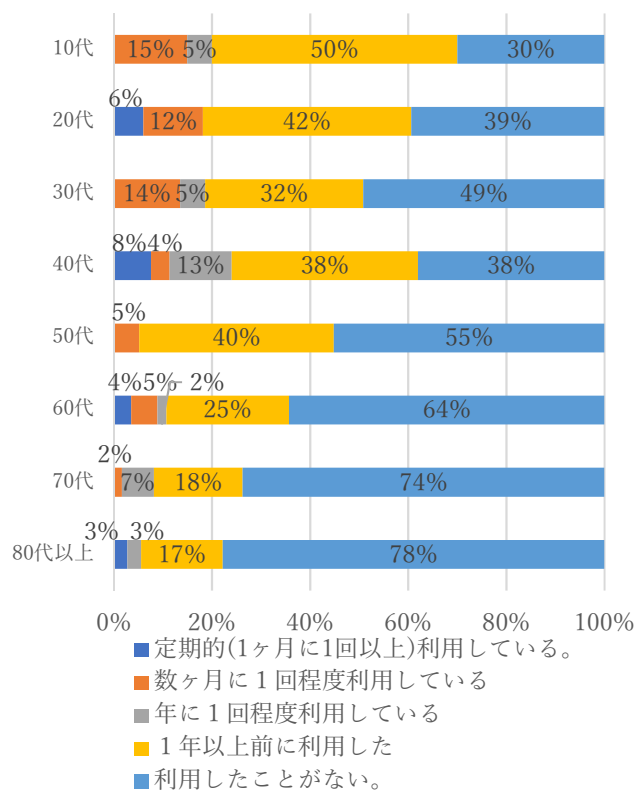
青堀駅東口史跡情報案内所



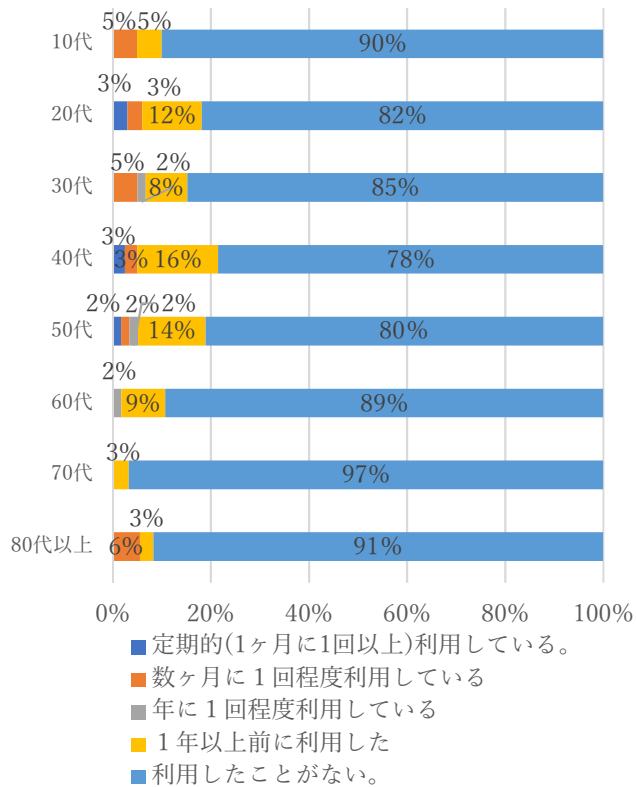
富津市立図書館



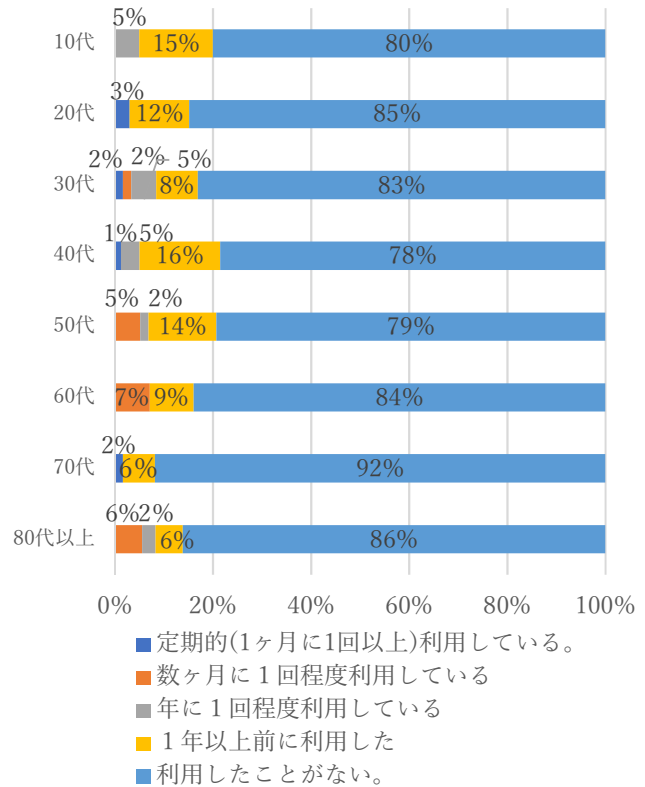
総合社会体育館



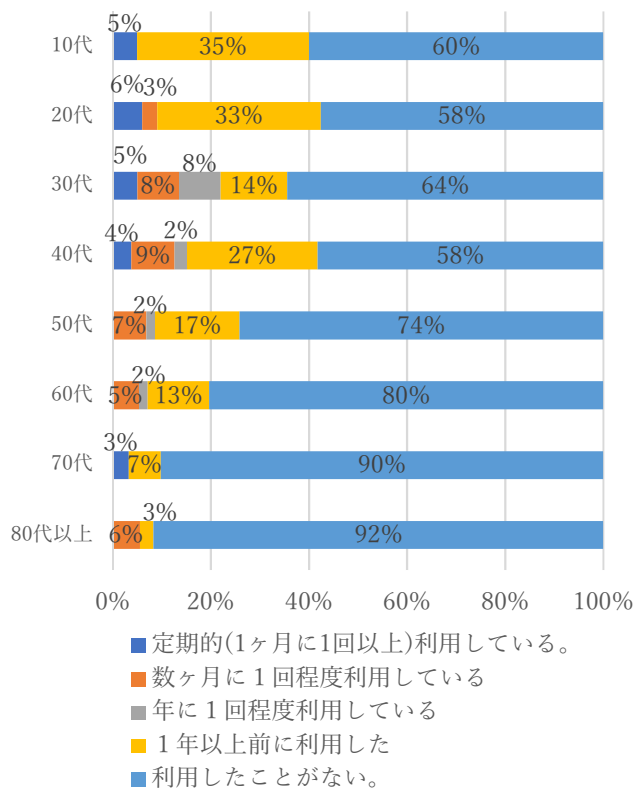
浅間山運動公園



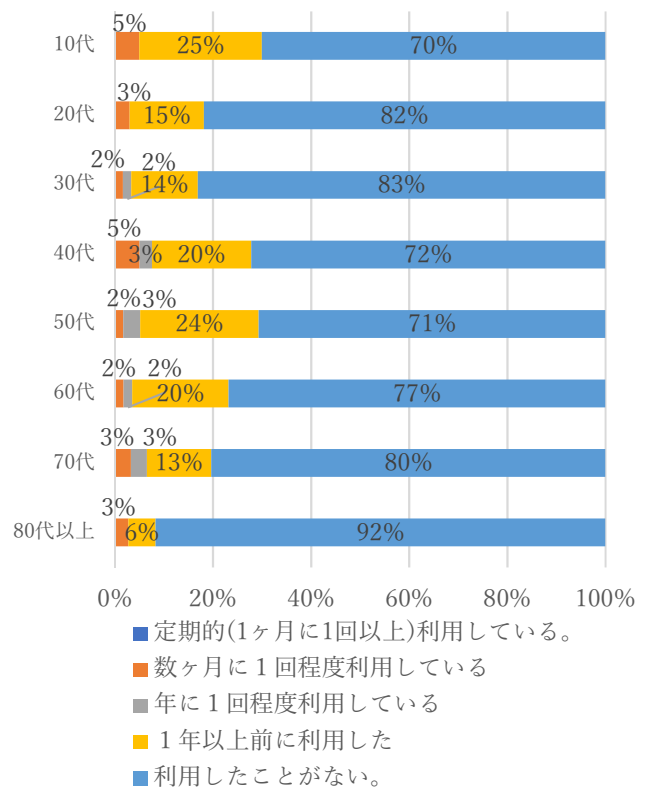
新富運動広場



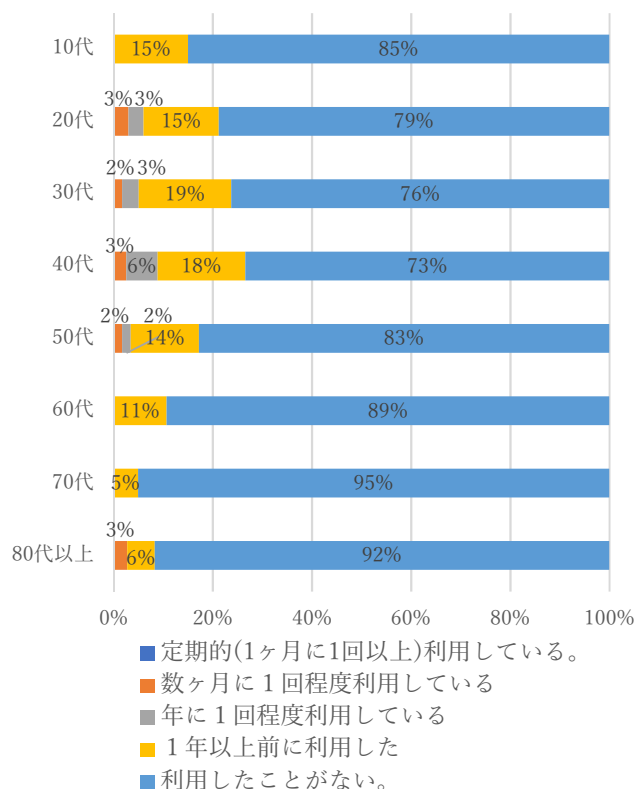
富津運動広場



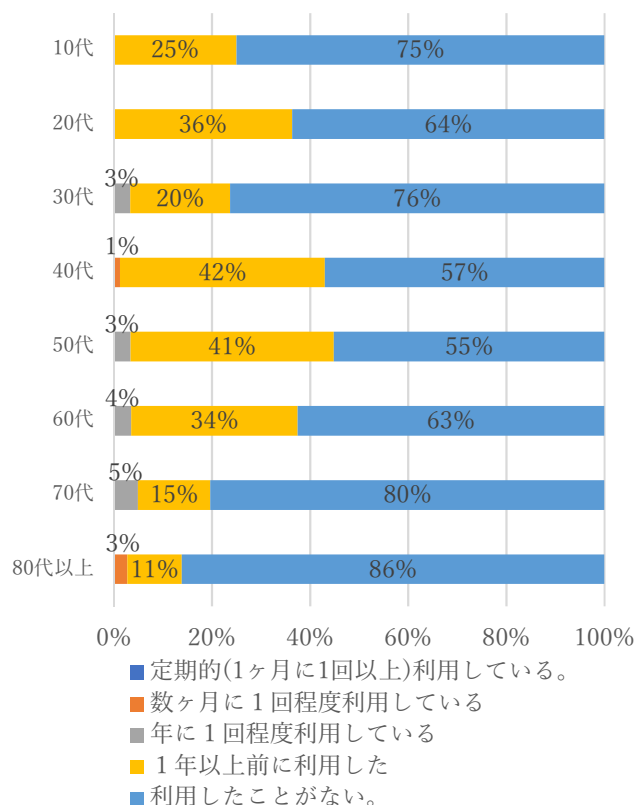
富津市民の森



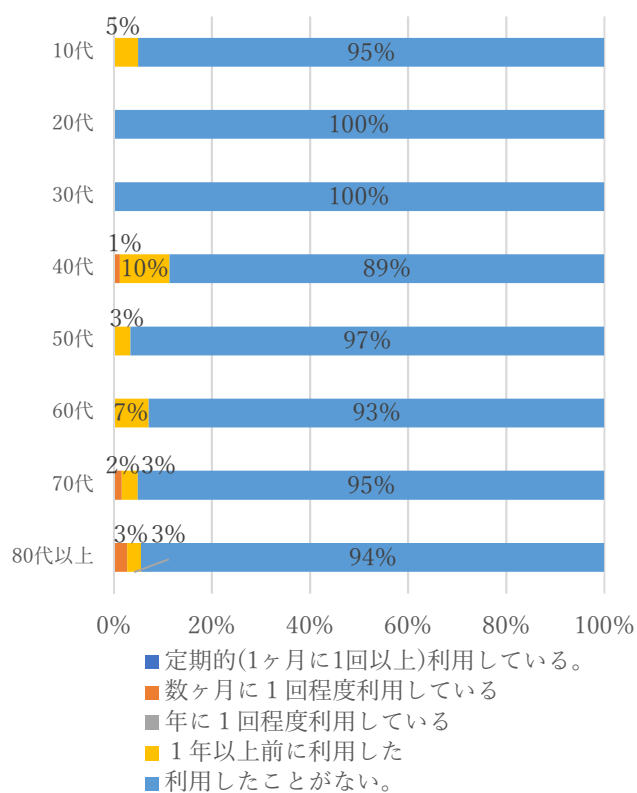
金谷海浜公園



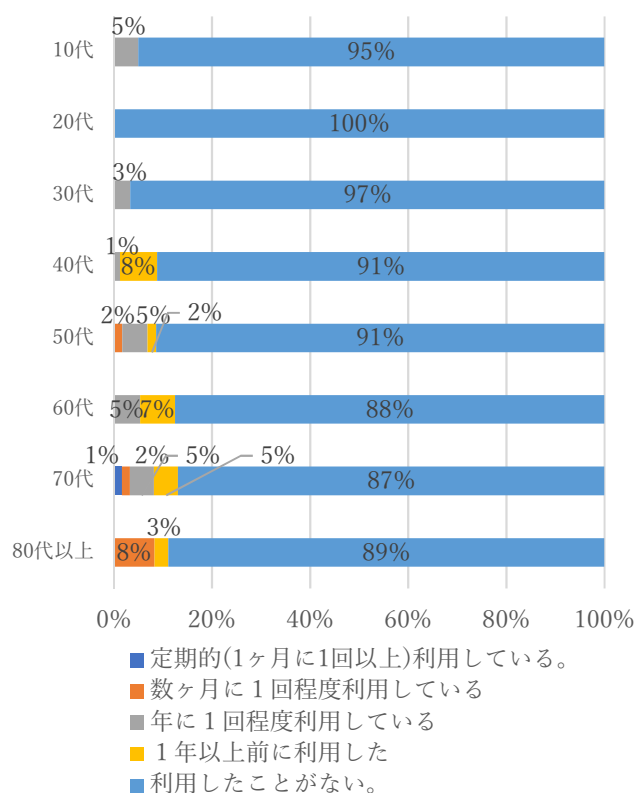
高宕山自然動物園



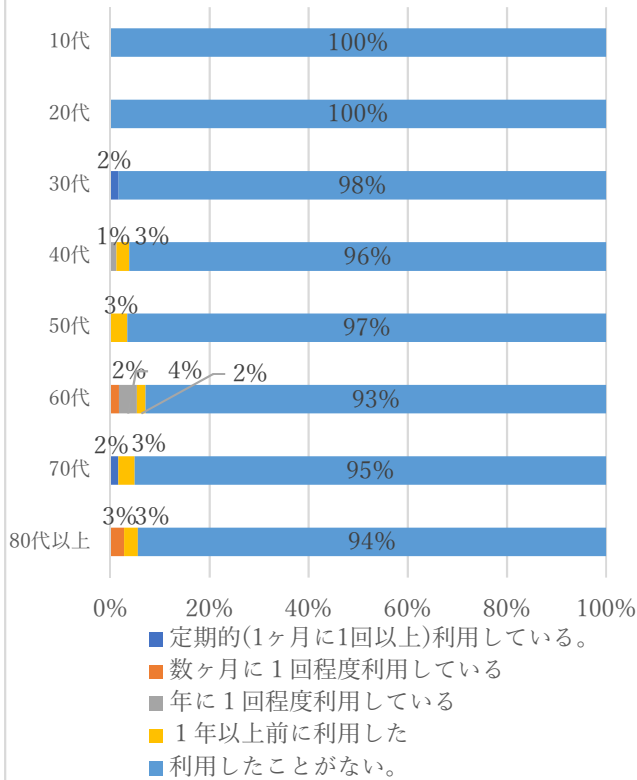
富津観光案内所



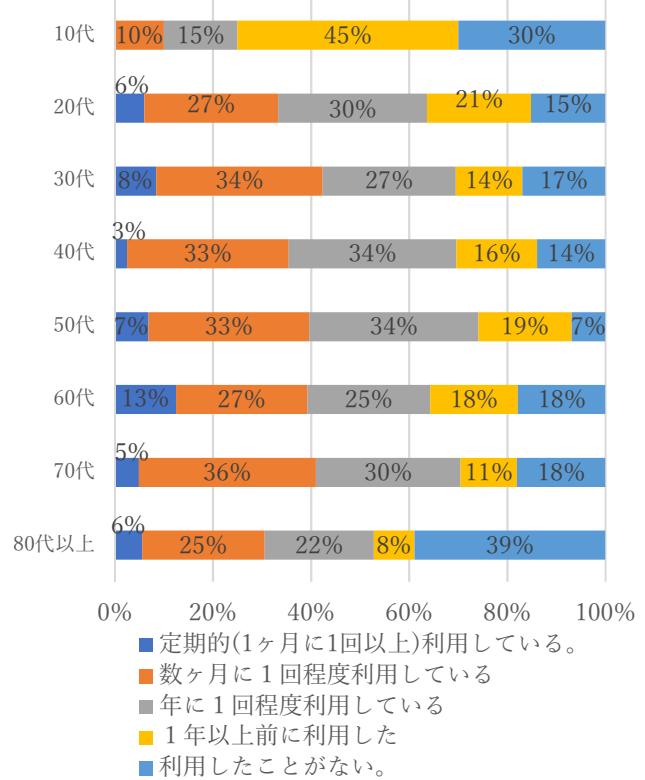
ふれあいシニア館



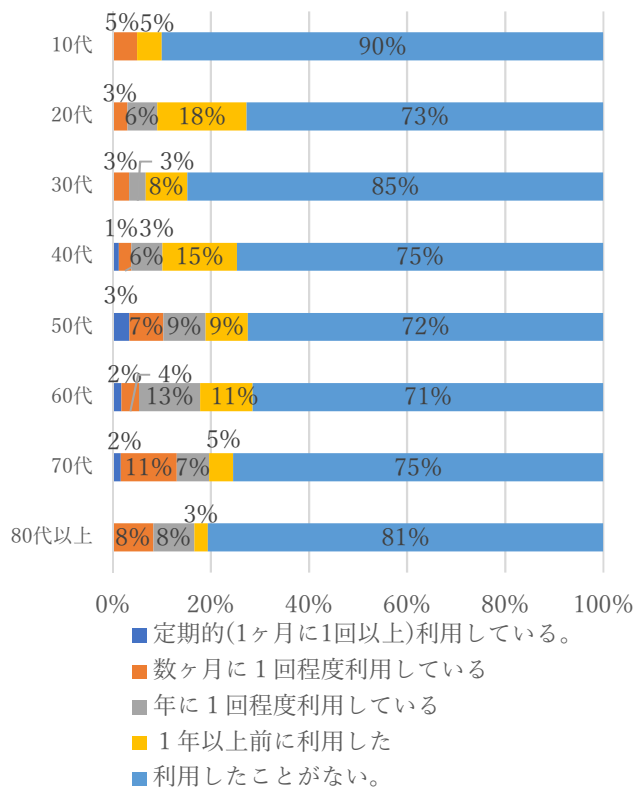
老人憩いの家



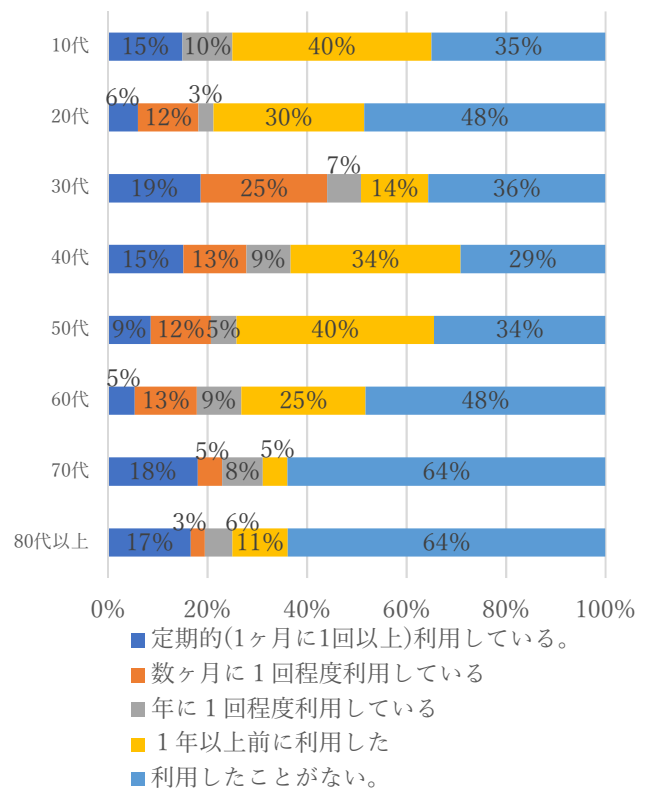
富津市役所本庁舎



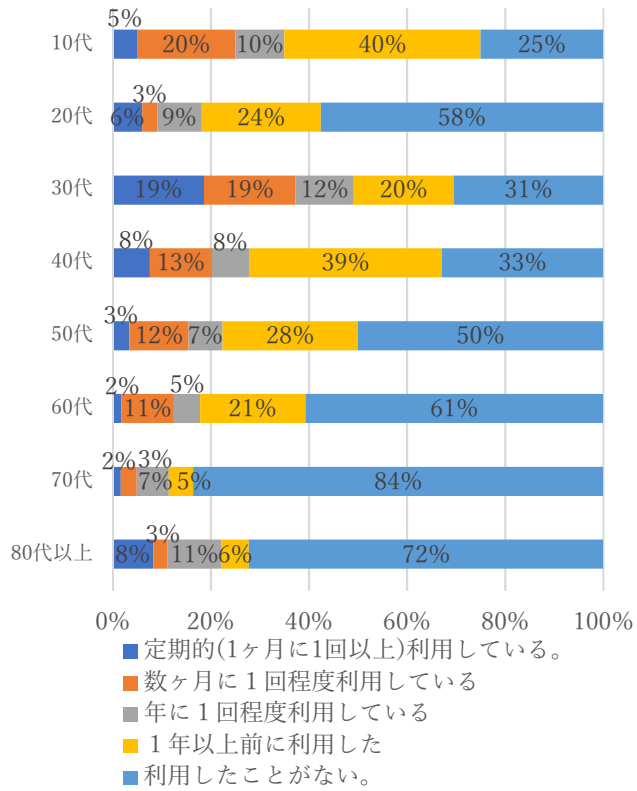
天羽行政センター



市民ふれあい公園



その他の公園



(2) 公共施設を利用したことがない理由 (※複数回答可)

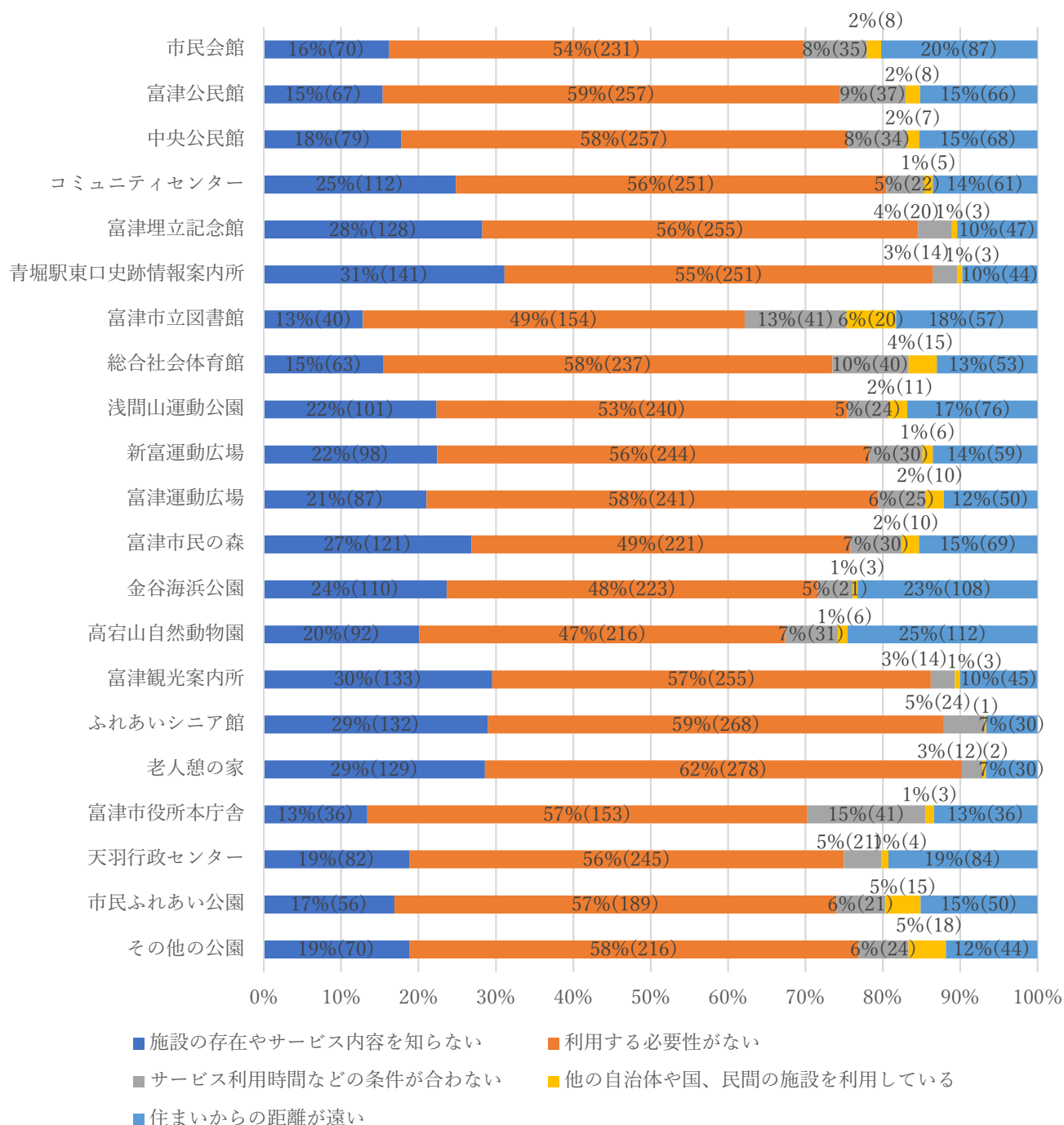
本設問は、(1) 公共施設の利用頻度 において、「年に1回程度利用している」「1年以上前に利用した」及び「利用したことがない」と回答された方を対象としています。

全般的に「利用する必要性がない」との理由が、一番高い割合となっています。

また、「施設の存在やサービス内容を知らない」との理由については、青堀駅東口史跡情報案内所が31%、富津観光案内所が30%と高くなっています。

「住まいからの距離が遠い」では、高宕山自然動物園が25%、金谷海浜公園が23%と高くなっています。

【全体】 利用したことがない理由

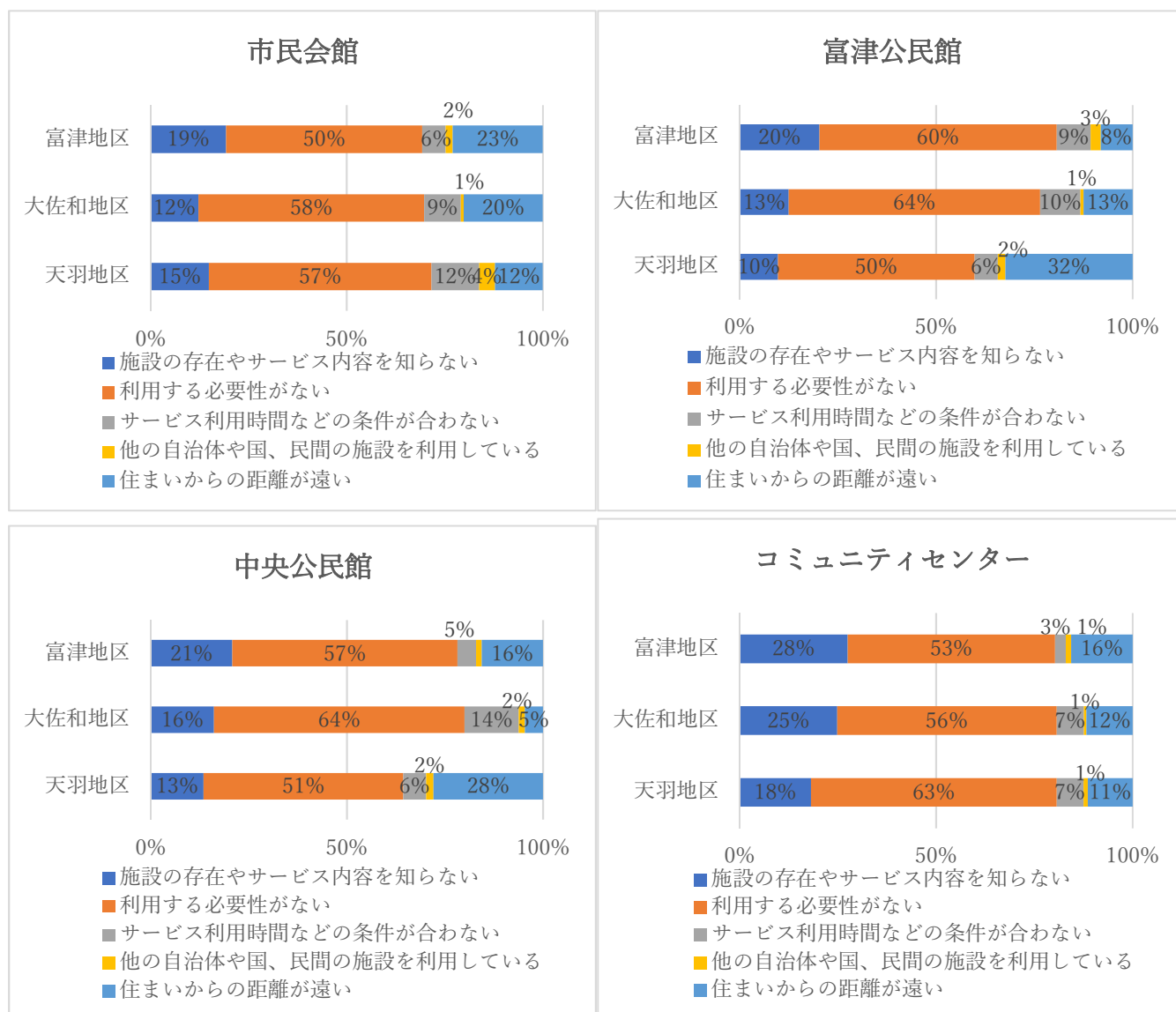


青堀駅東口史跡情報案内所は、地区別では「利用する必要性がない」がすべての地区で5割以上と高くなっています。年代別では「利用する必要性がない」が20代以降で最も高く、「施設の存在やサービス内容を知らない」が10代（45%）で高くなっています。

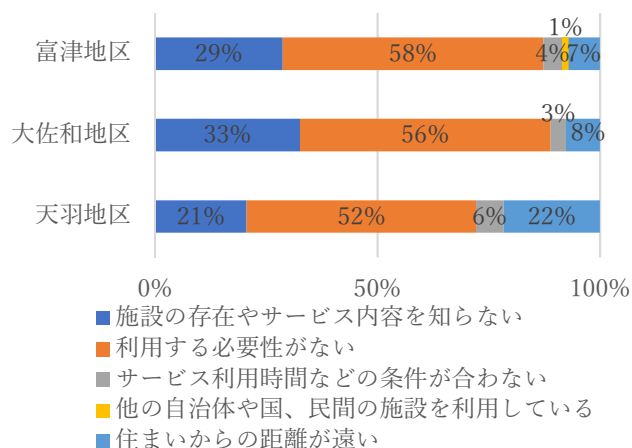
富津観光案内所は、地区別では「利用する必要性がない」がすべての地区で5割以上と高くなっています。年代別では「利用する必要性がない」が30代以降で最も高く、「施設の存在やサービス内容を知らない」が10代（45%）、20代（53%）で高くなっています。

老人憩いの家について、地区別では「利用する必要性がない」がすべての地区で6割以上と高くなっています。年代別では「利用する必要性がない」が20代を除く年代で5割以上と高く、「施設の存在やサービス内容を知らない」が20代（49%）で高くなっています。

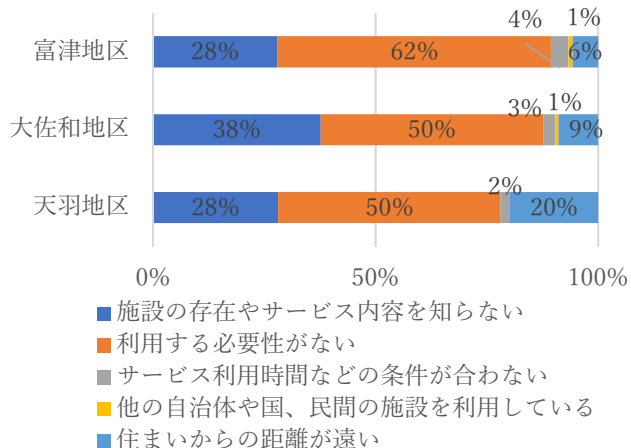
【地区別】公共施設を利用したことがない理由



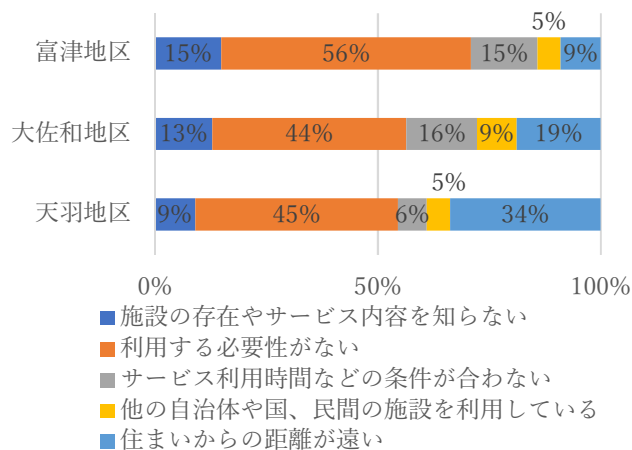
富津埋立記念館



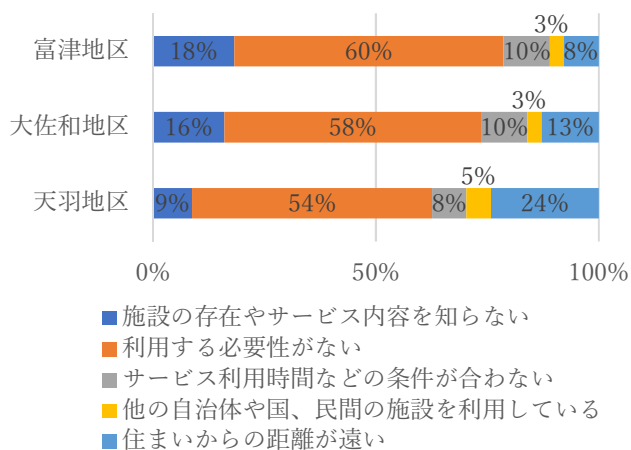
青堀駅東口史跡情報案内所



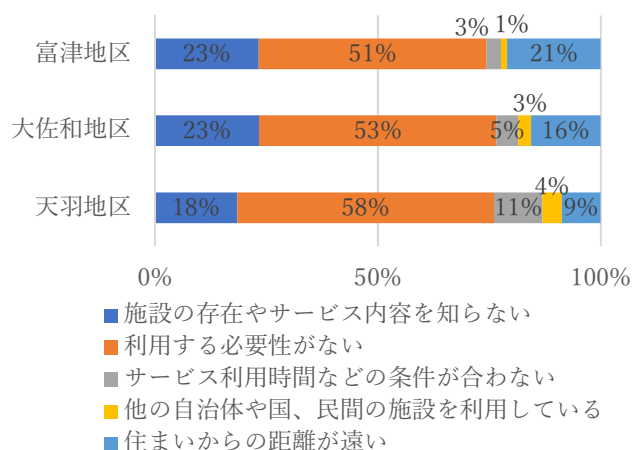
富津市立図書館



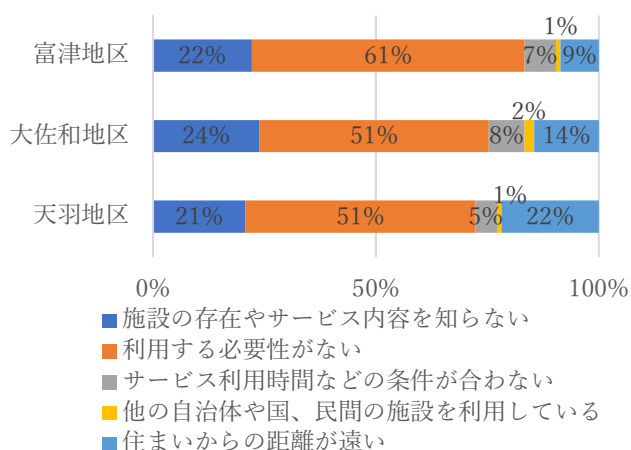
総合社会体育館



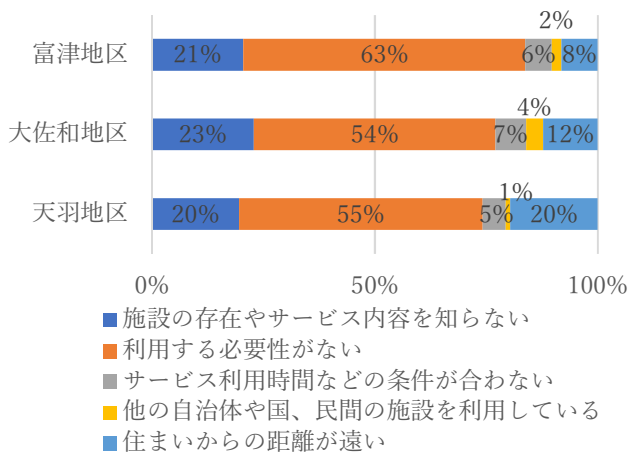
浅間山運動公園



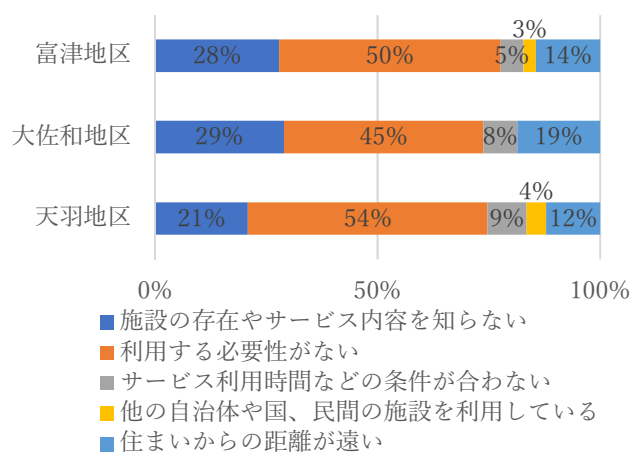
新富運動広場



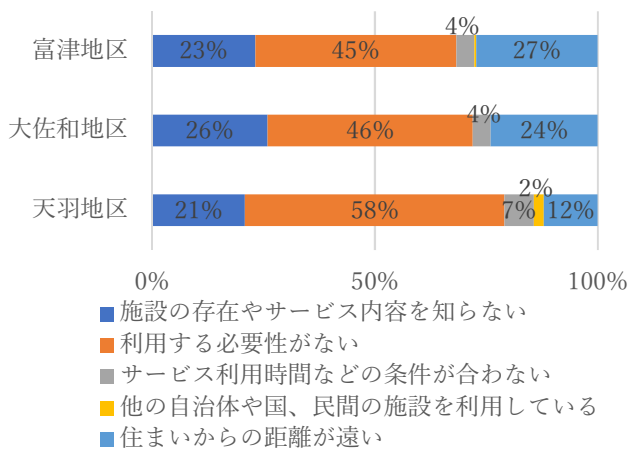
富津運動広場



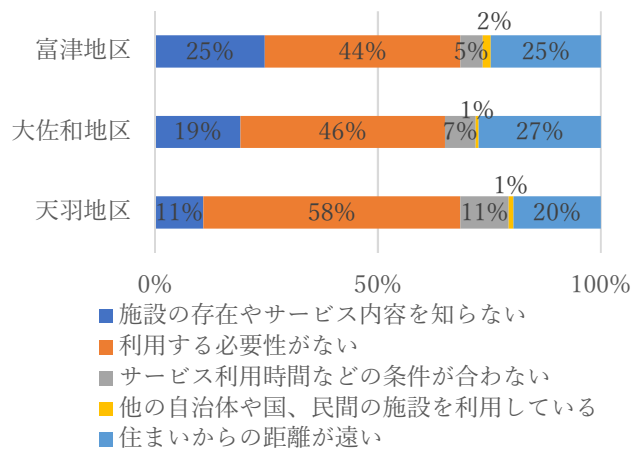
富津市民の森



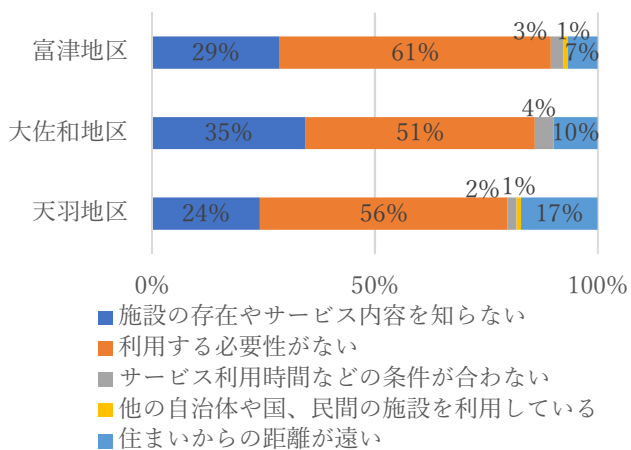
金谷海浜公園



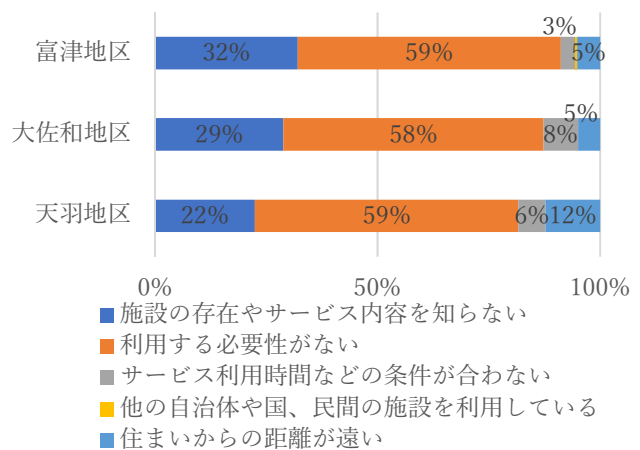
高宕山自然動物園



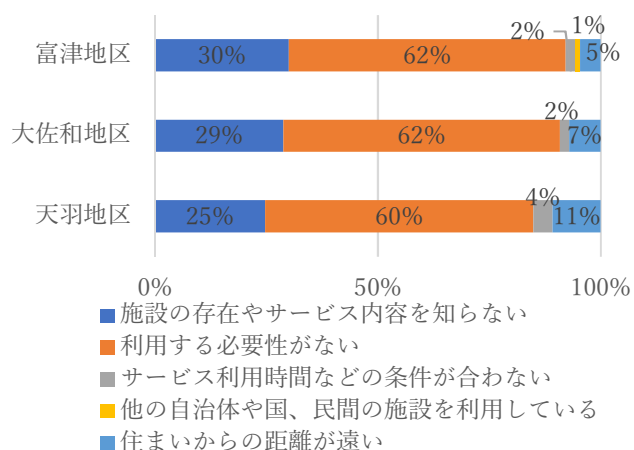
富津観光案内所



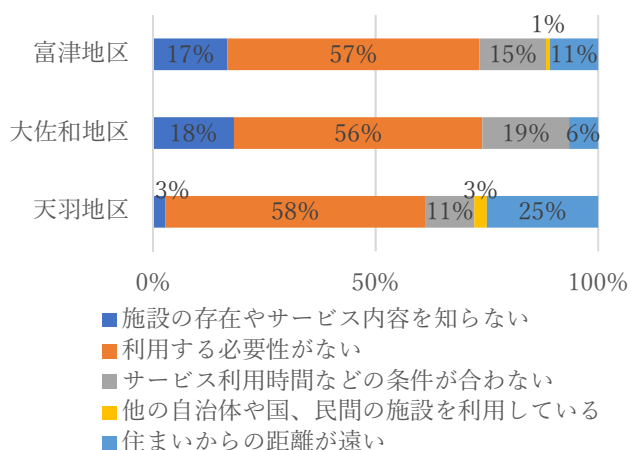
ふれあいシニア館



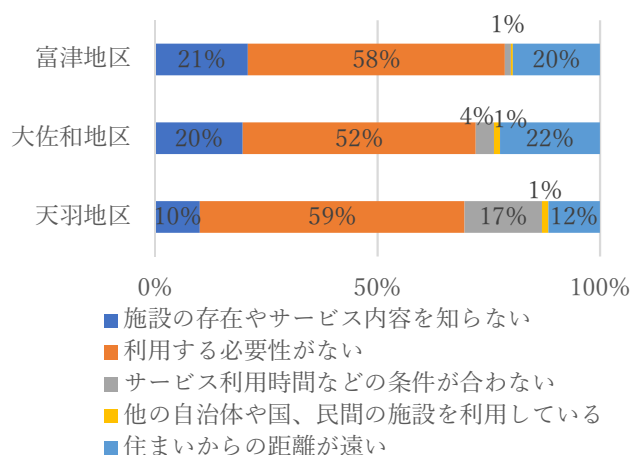
老人憩いの家



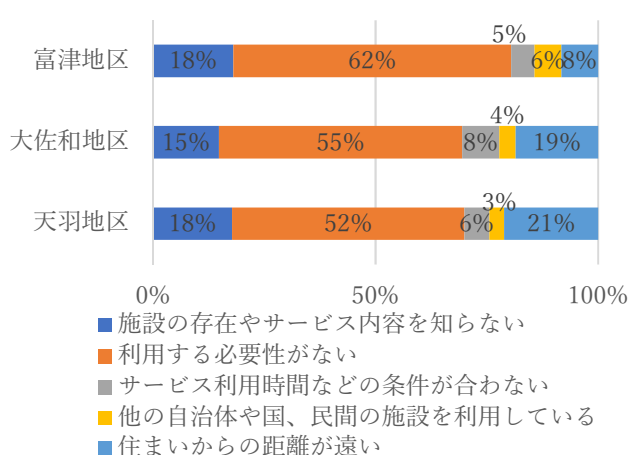
富津市役所本庁舎



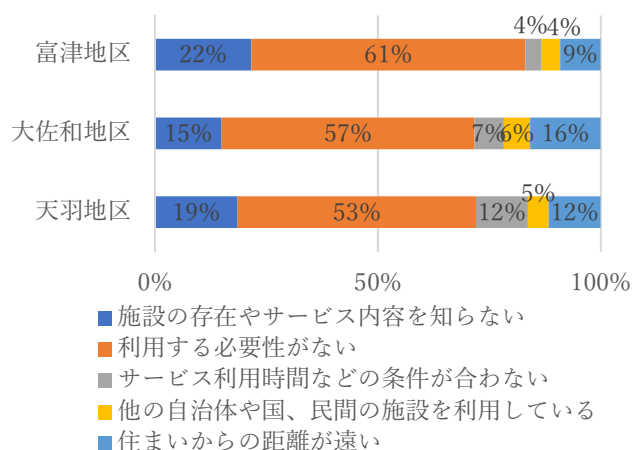
天羽行政センター



市民ふれあい公園

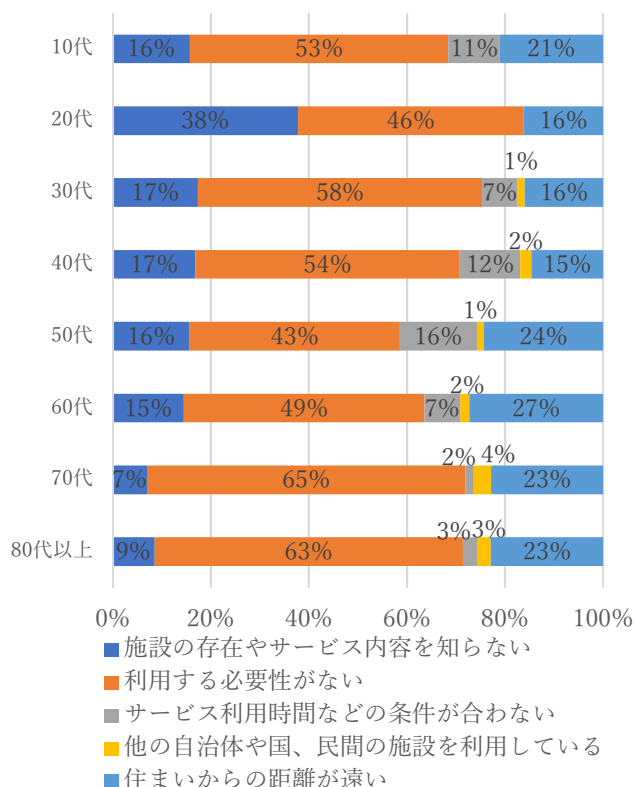


その他の公園

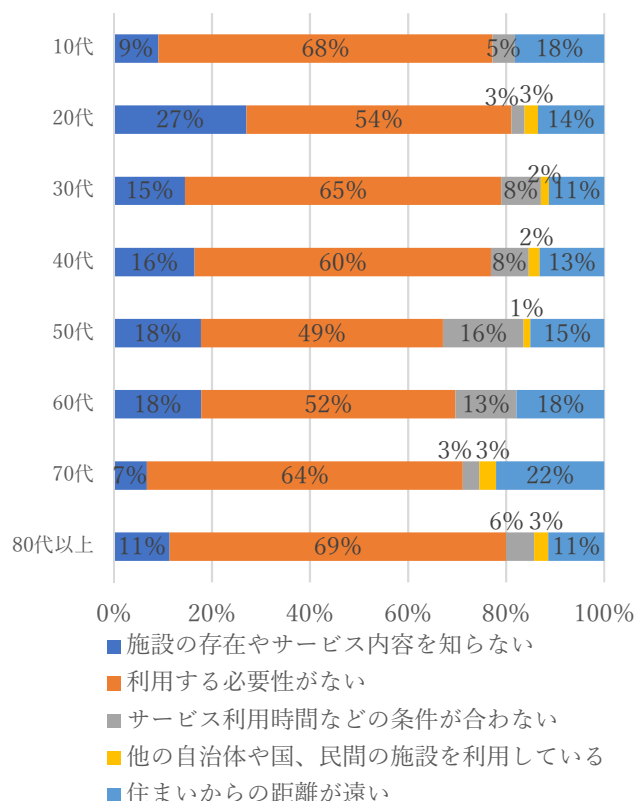


【年代別】 公共施設を利用したことがない理由

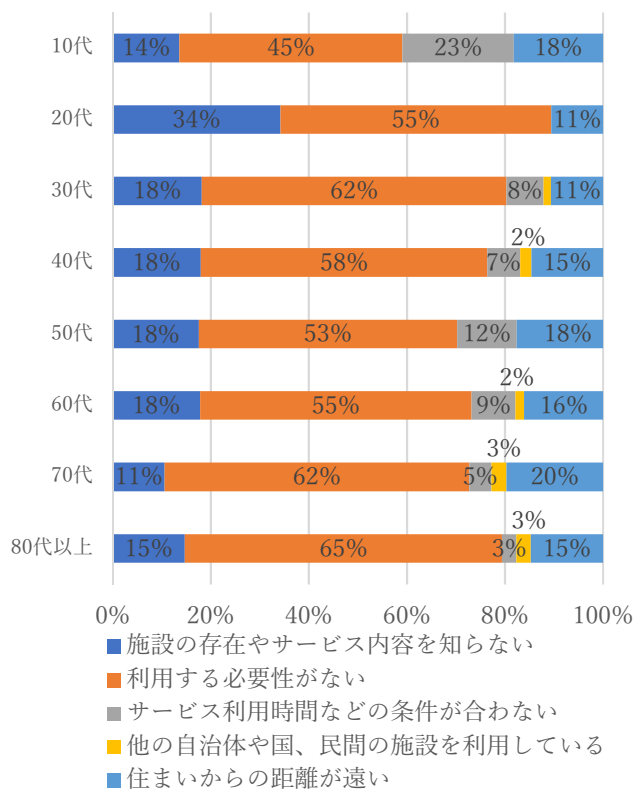
市民会館



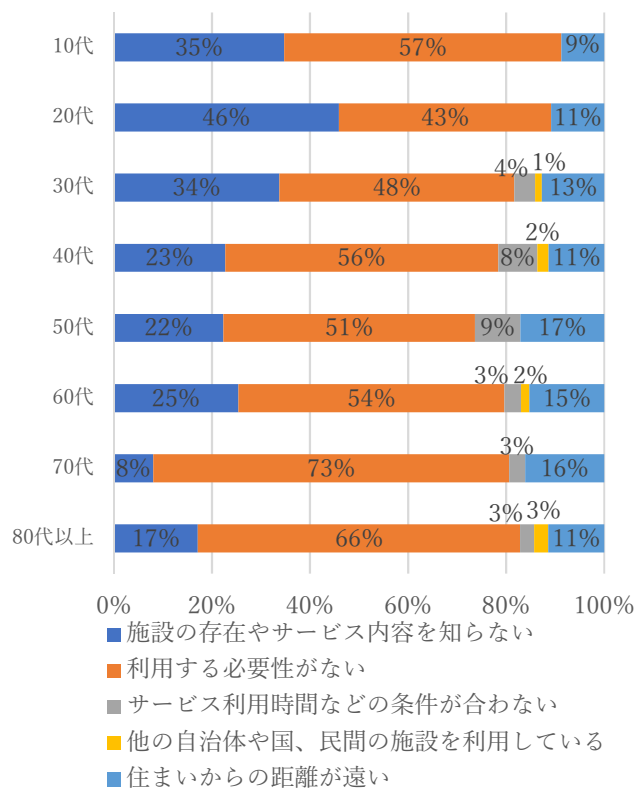
富津公民館



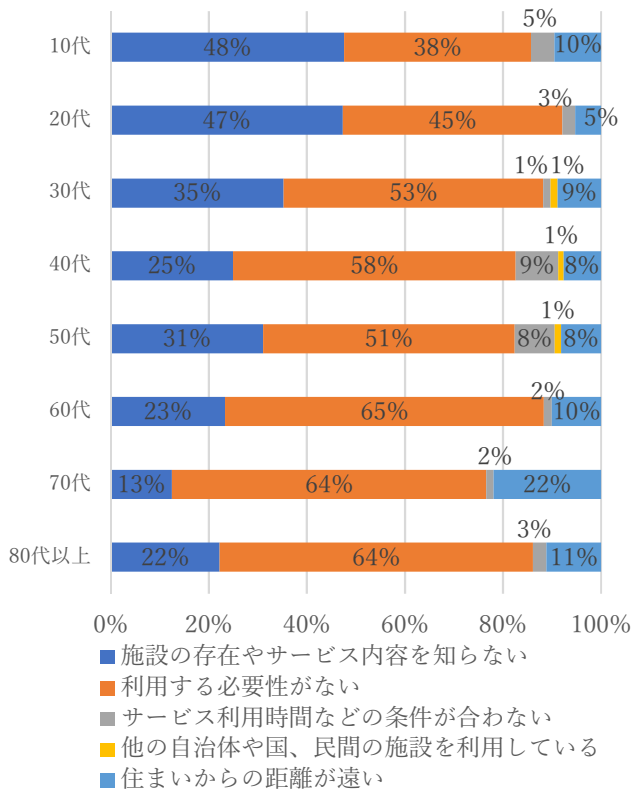
中央公民館



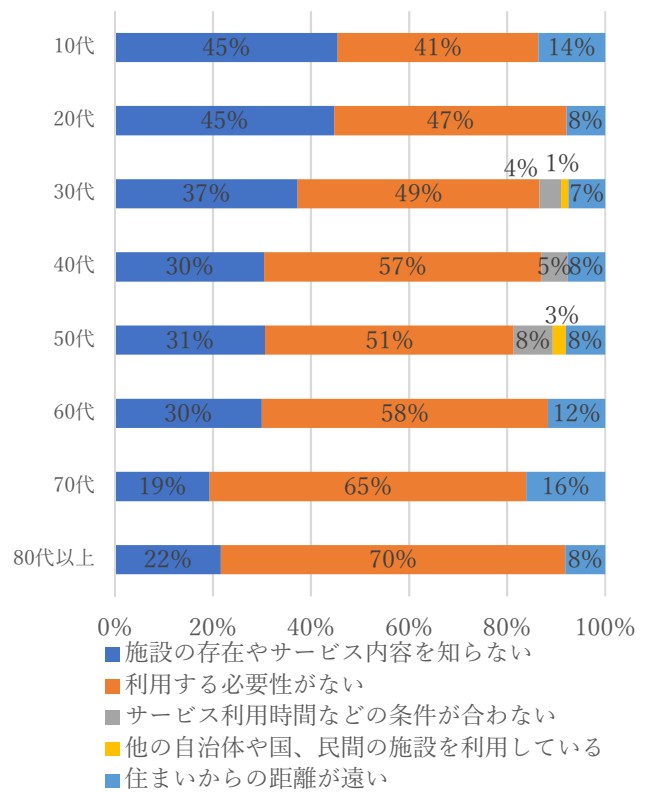
コミュニティセンター



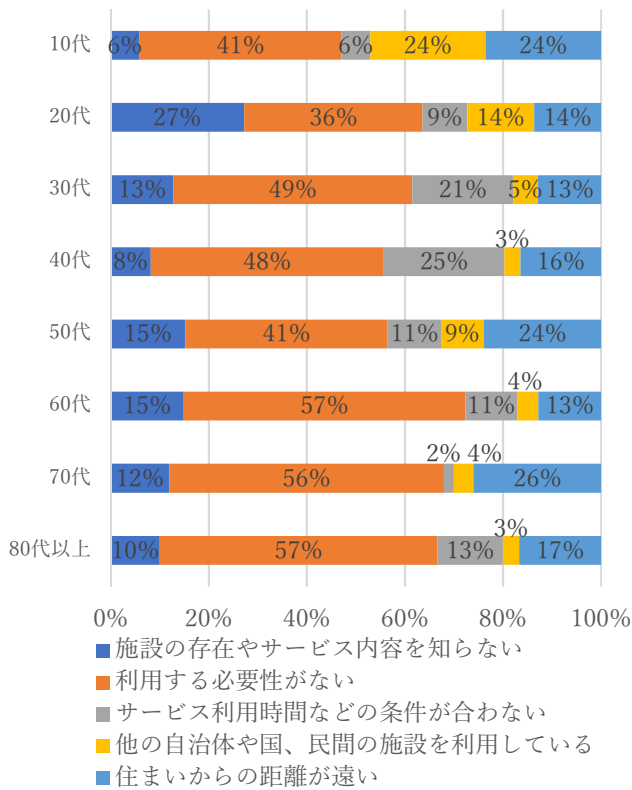
富津埋立記念館



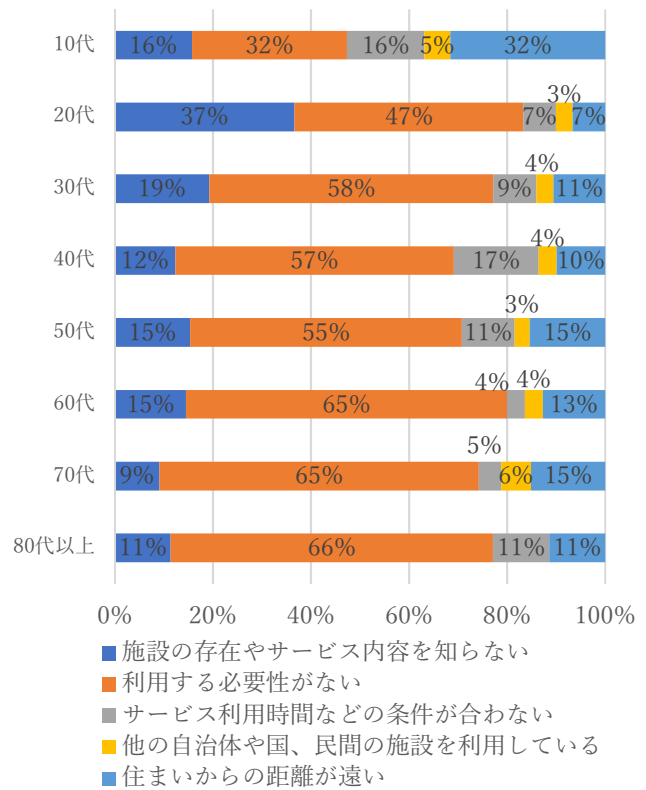
青堀駅東口史跡情報案内所



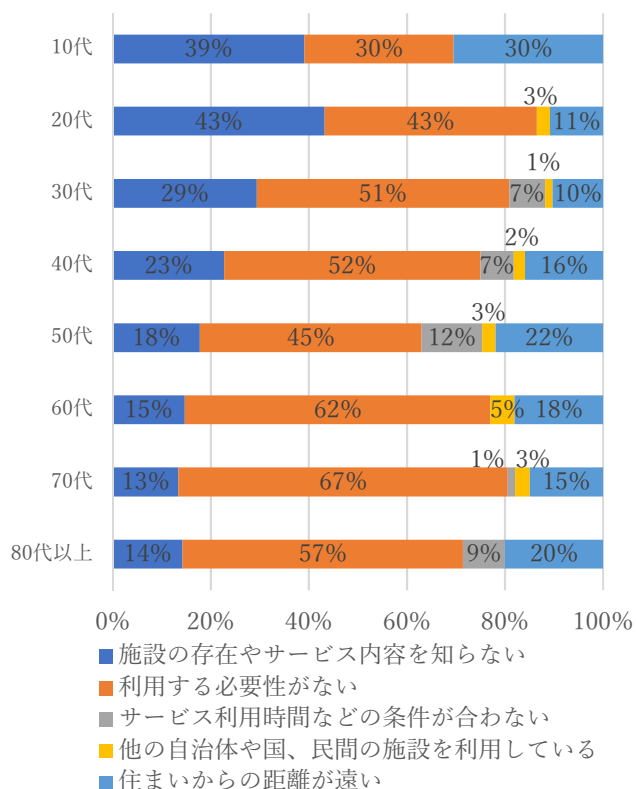
富津市立図書館



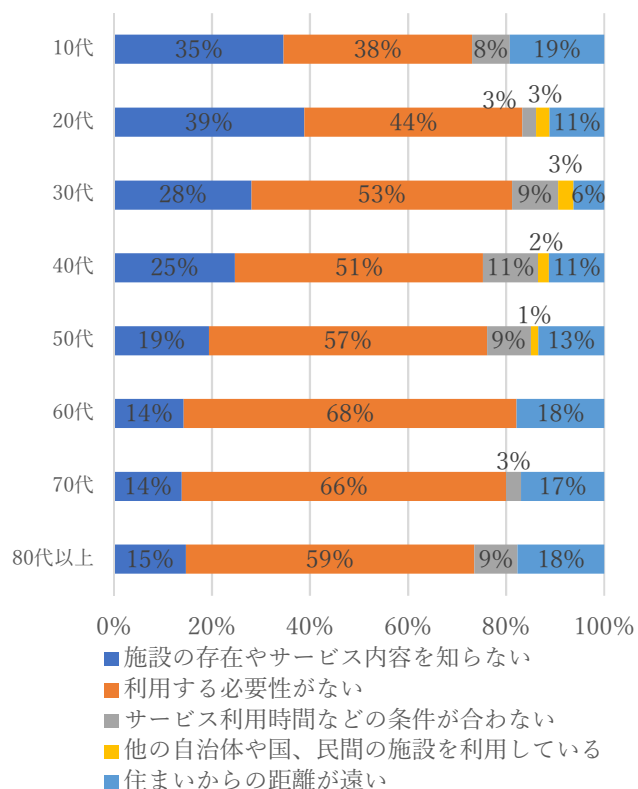
総合社会体育館



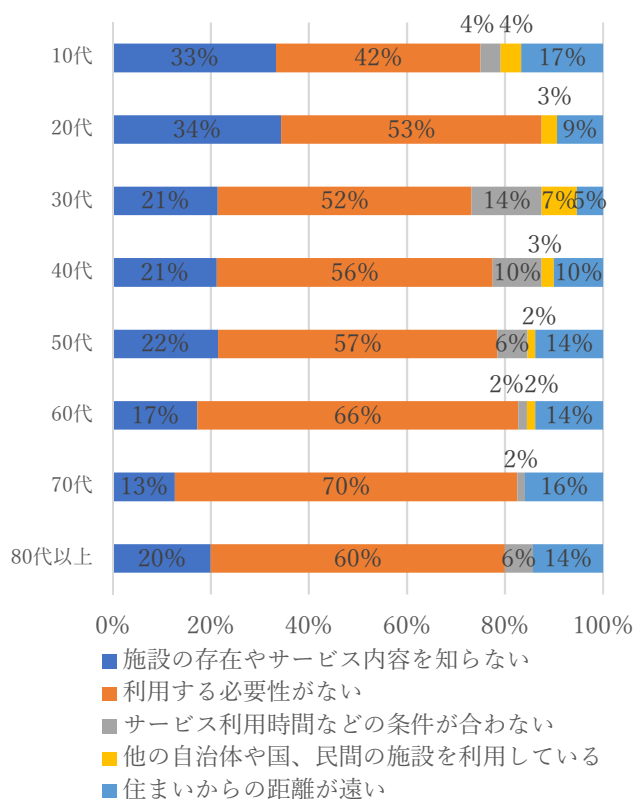
浅間山運動公園



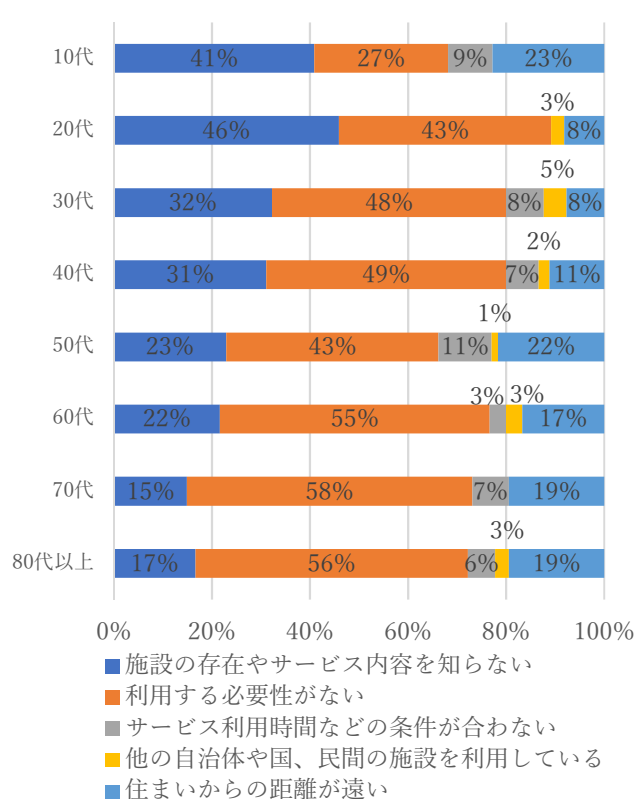
新富運動広場



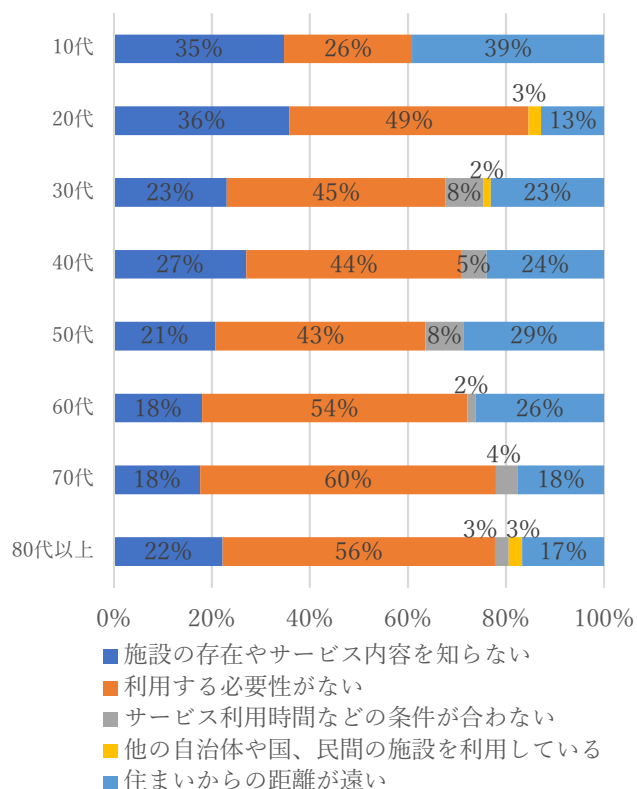
富津運動広場



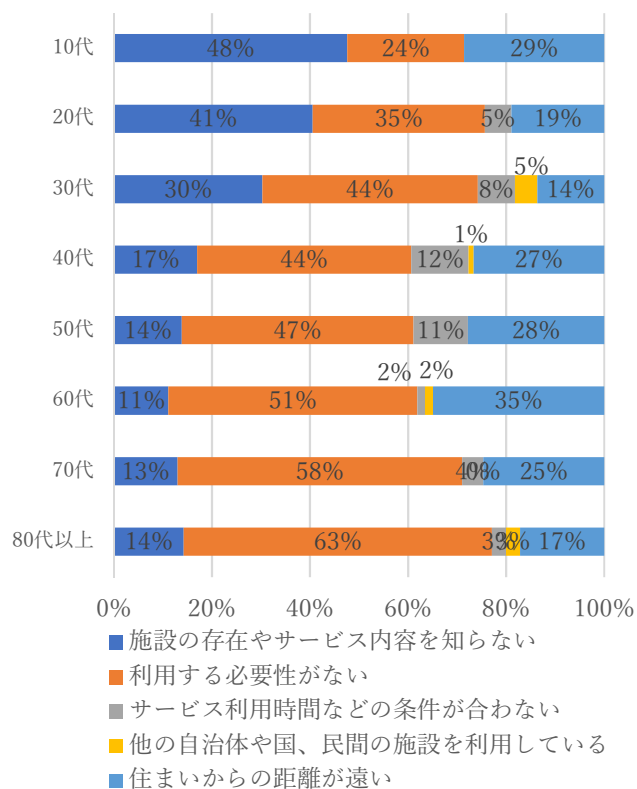
富津市民の森



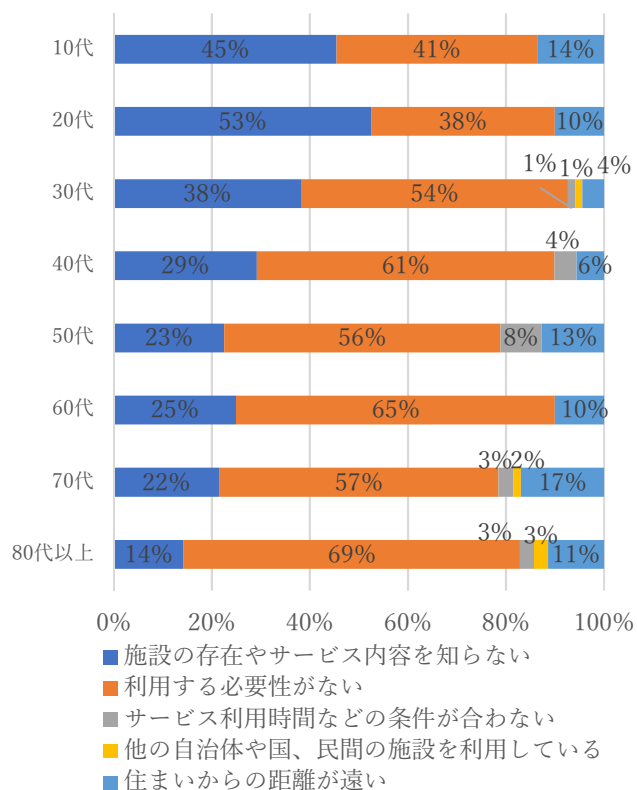
金谷海浜公園



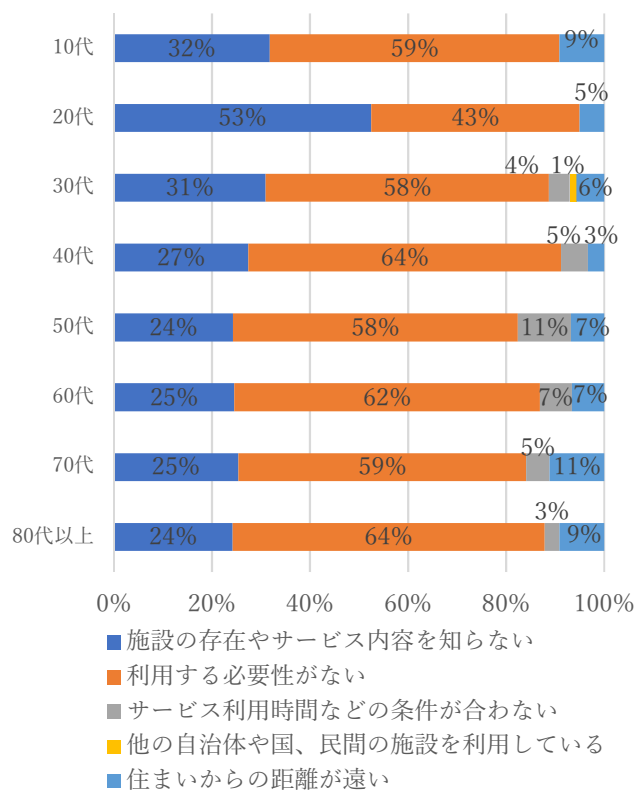
高宕山自然動物園



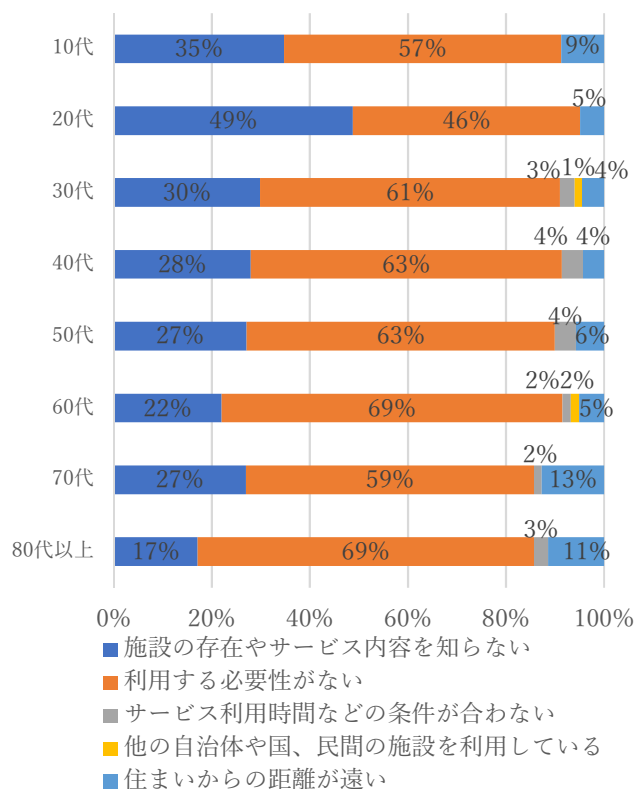
富津観光案内所



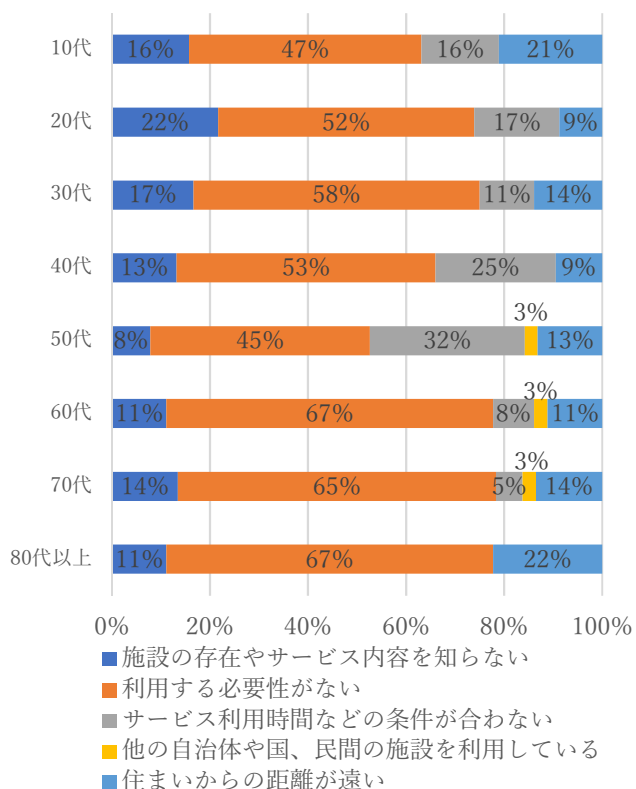
ふれあいシニア館



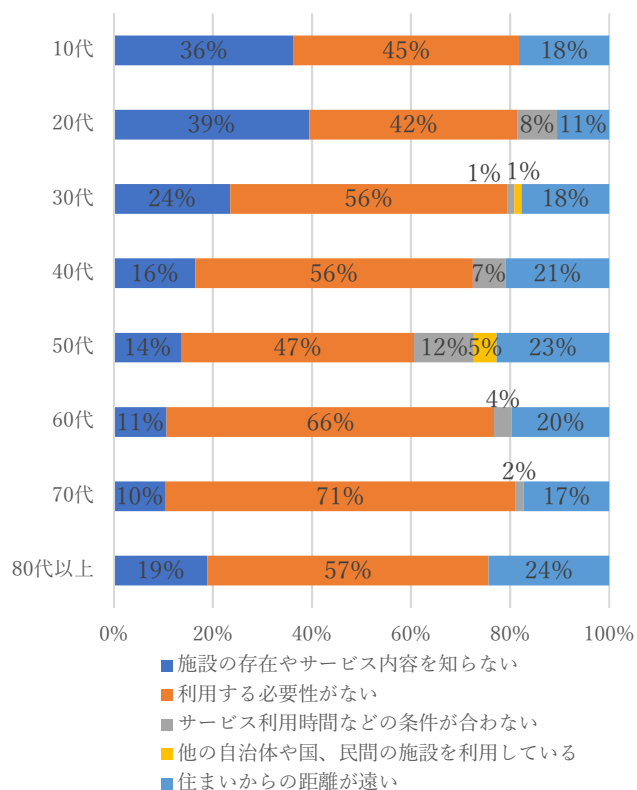
老人憩いの家



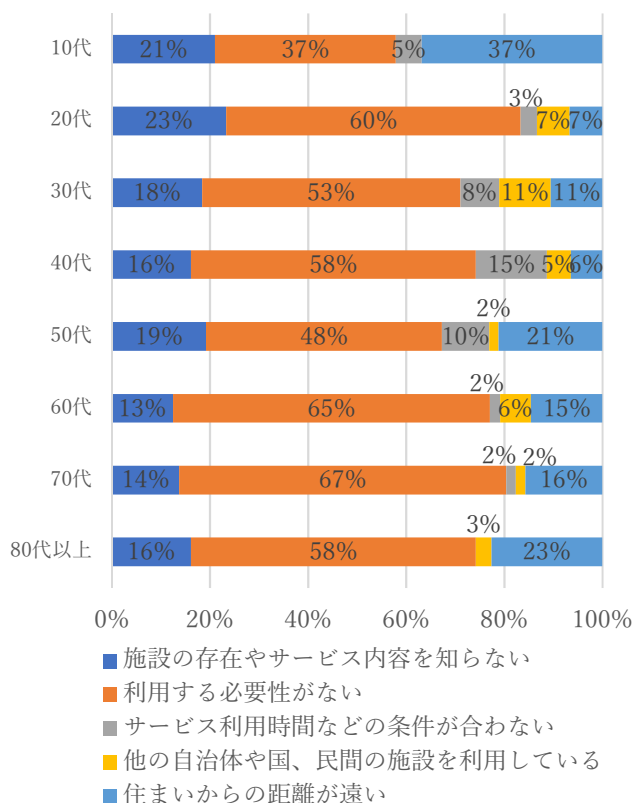
富津市役所本庁舎



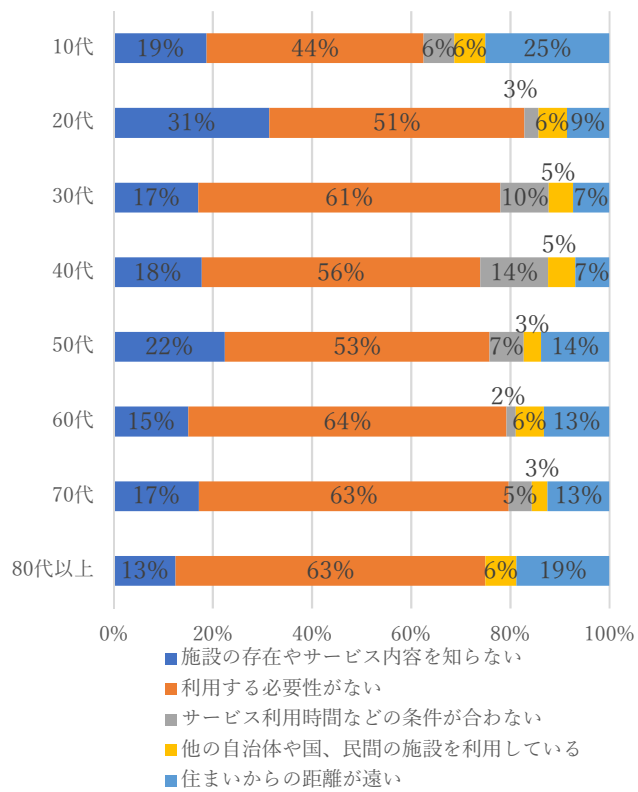
天羽行政センター



市民ふれあい公園

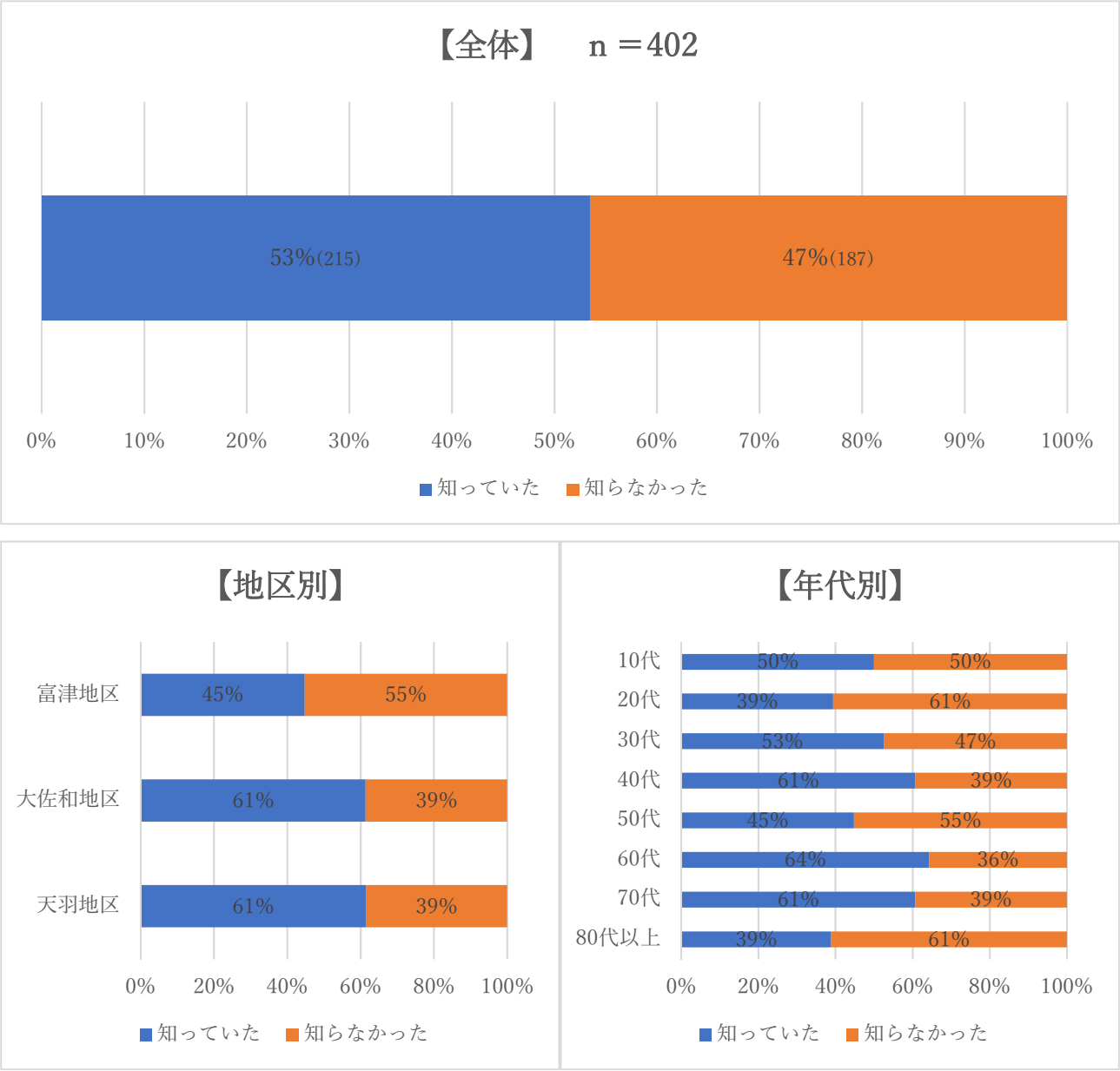


その他の公園

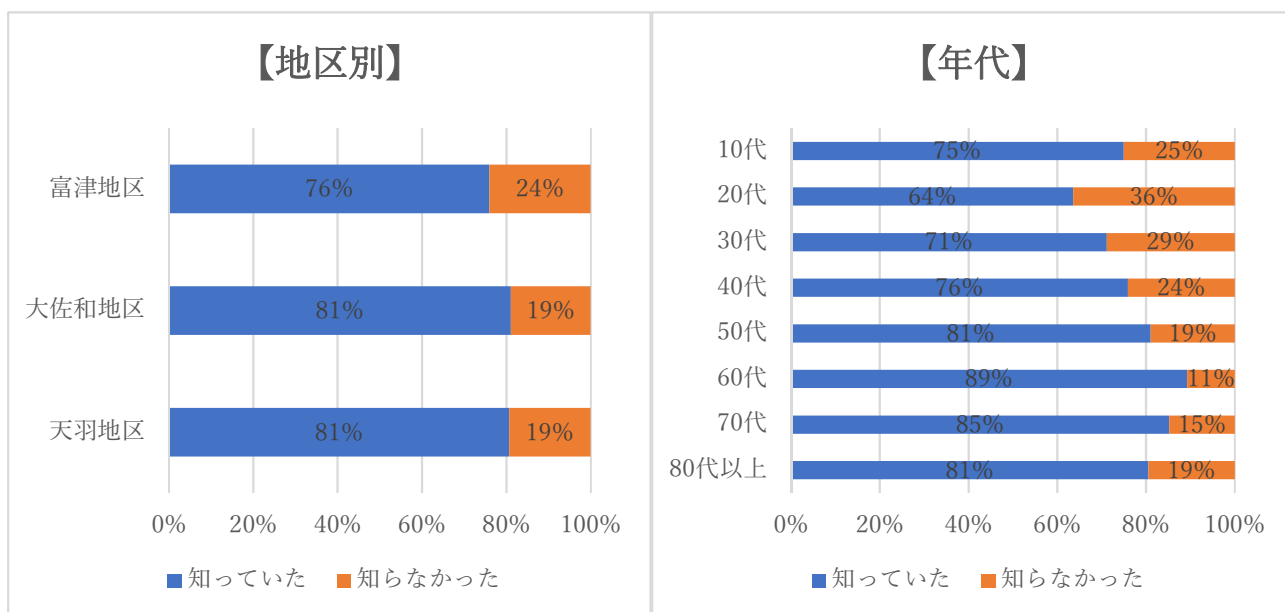
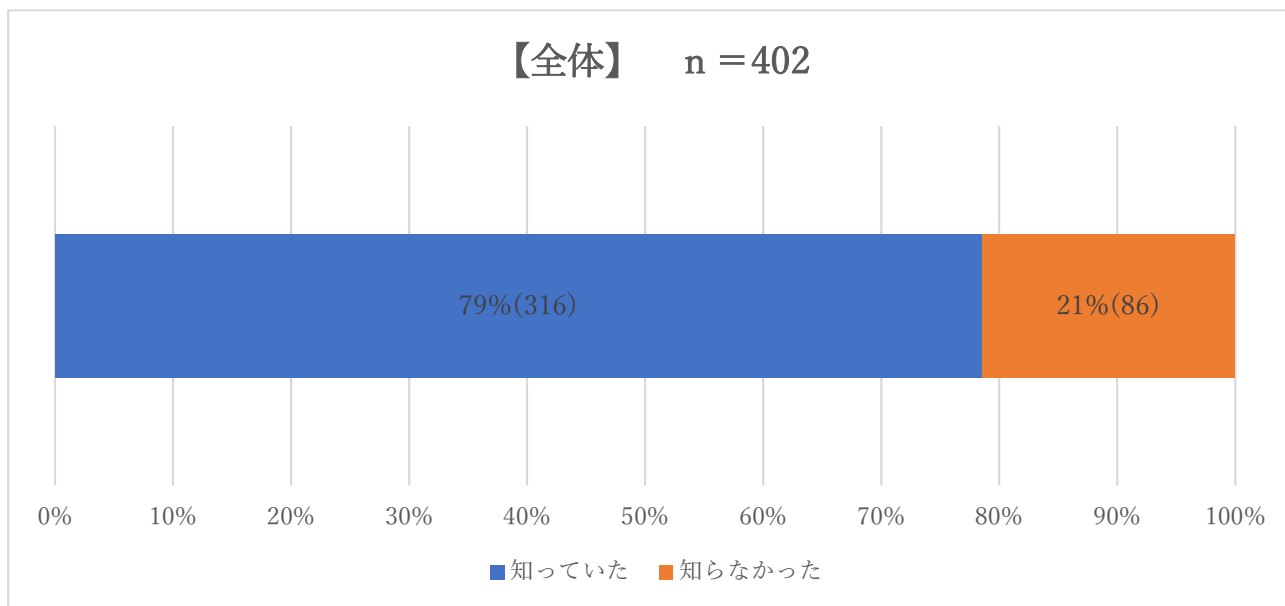


3. 富津市の公共施設を取り巻く課題について

(1) 富津市の公共施設の老朽化が進んでおり、今後、大規模改修や建替えが集中し、膨大な財政負担が必要になることが見込まれること

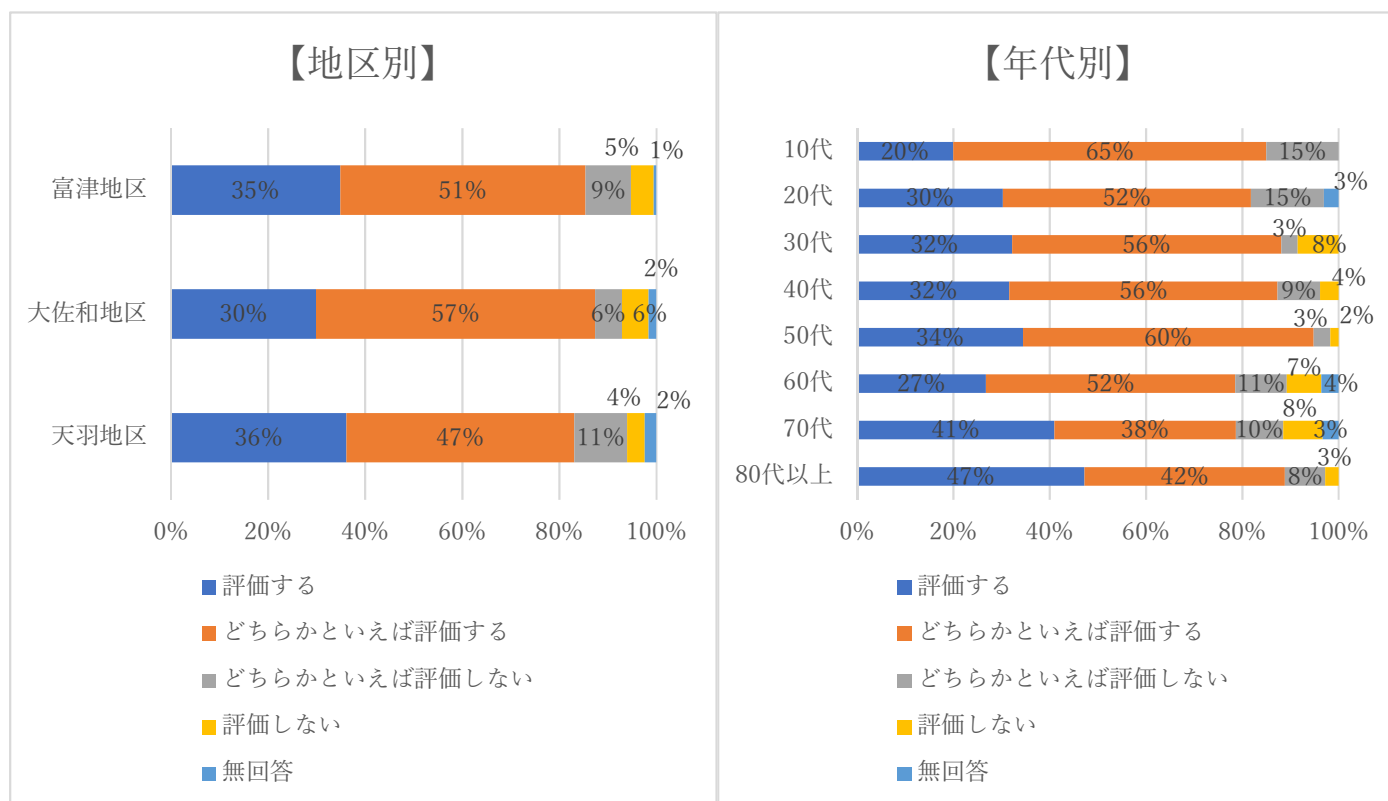
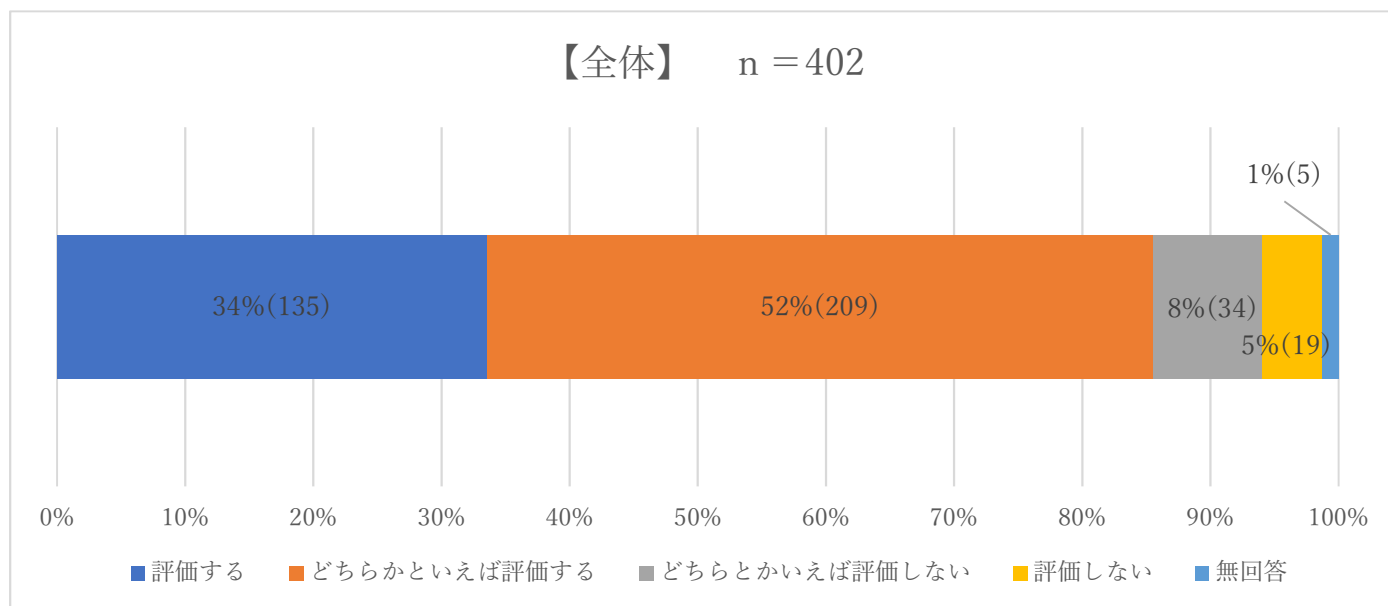


(2) 富津市の人口は、昭和 60 年（1985 年）をピークに減少していること



4. 資料「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を参照いただき、この取り組みについて 思うか

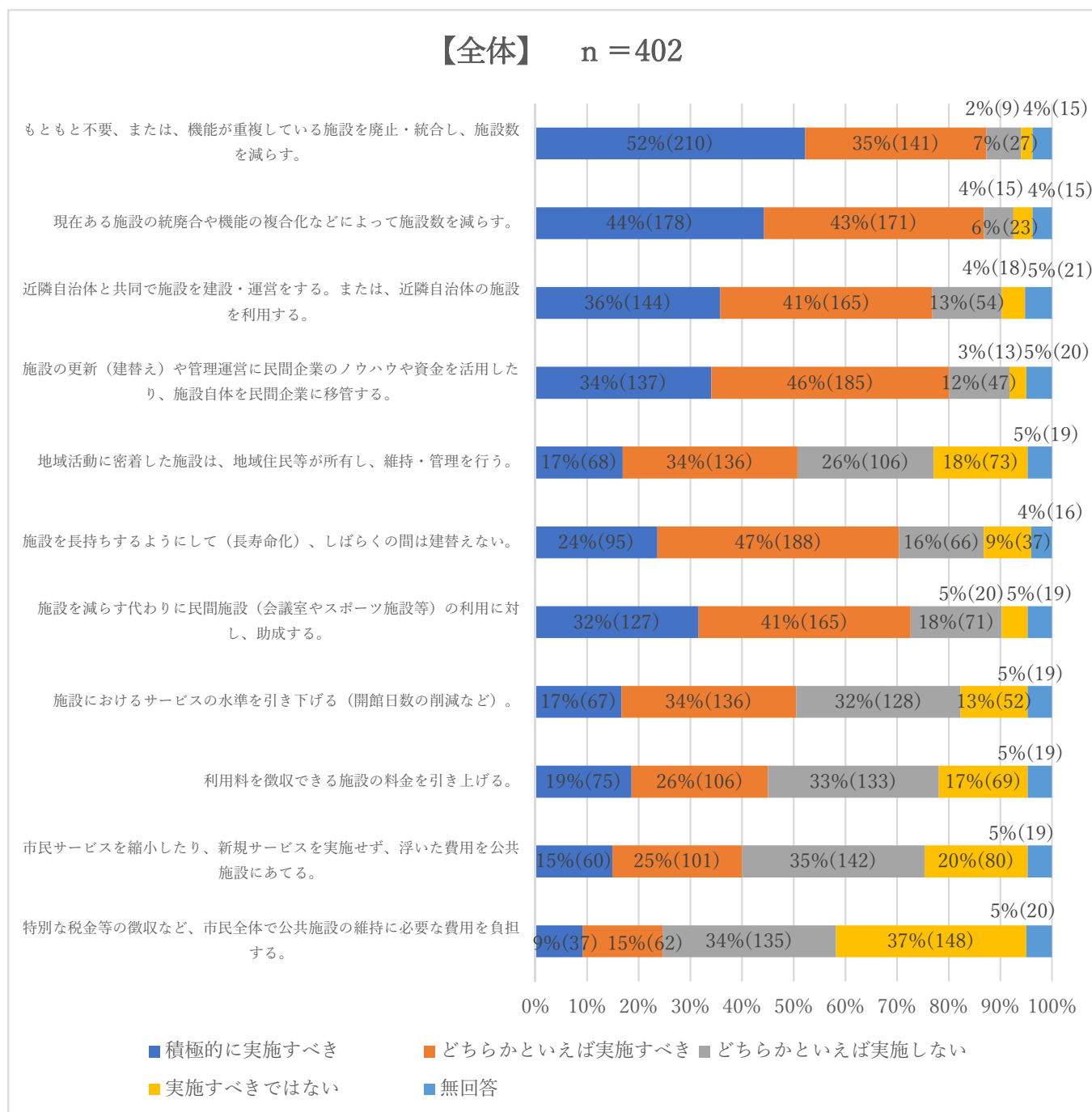
「評価する」「どちらかといえば評価する」の割合が86%と高く、地区別ではすべての地区で8割以上であり、年代別では、60代、70代以外の年代で8割以上、60代（79%）、70代（79%）と高くなっています。



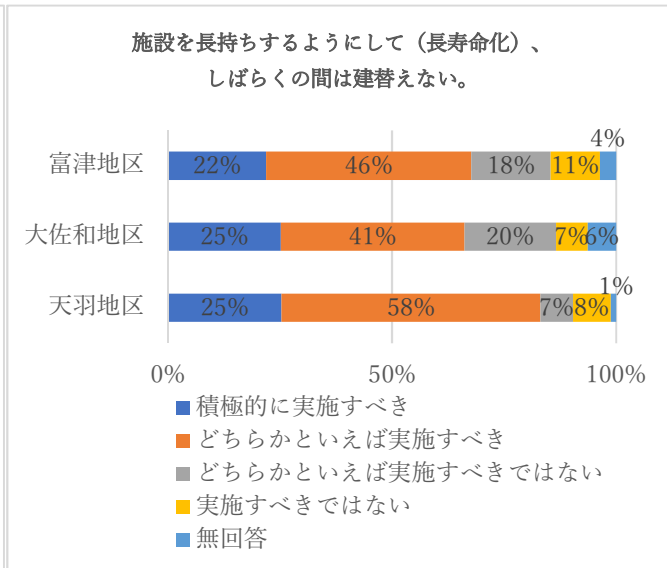
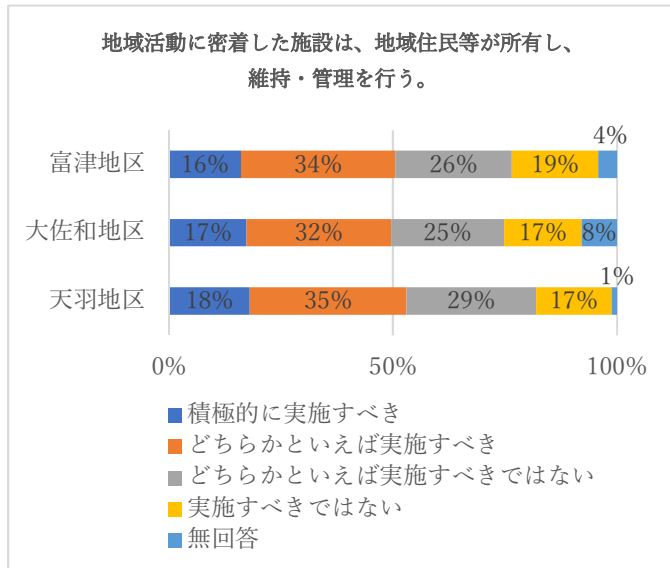
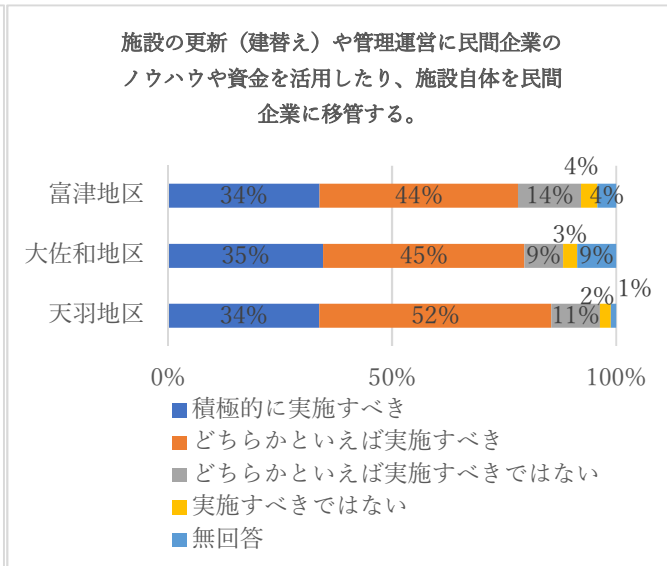
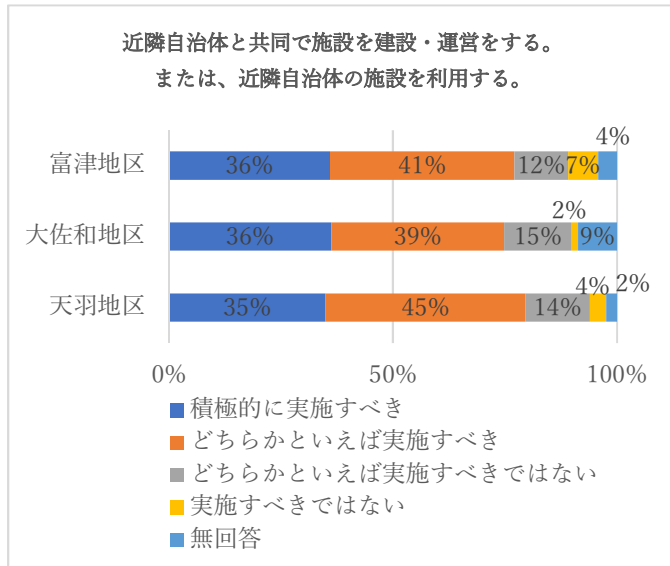
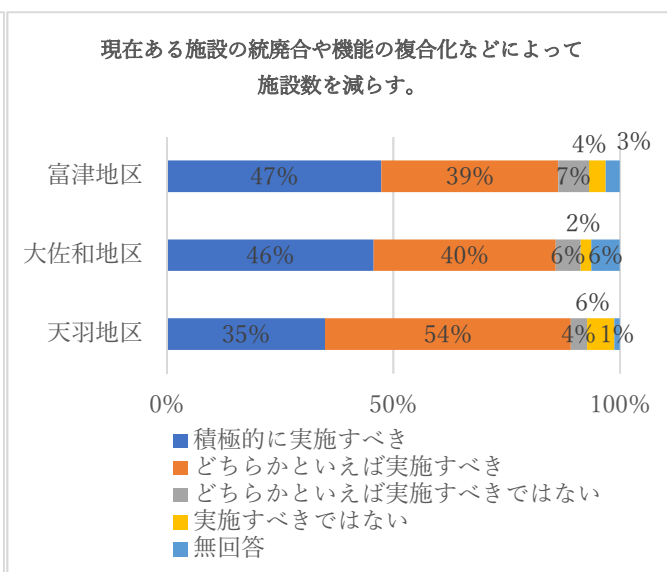
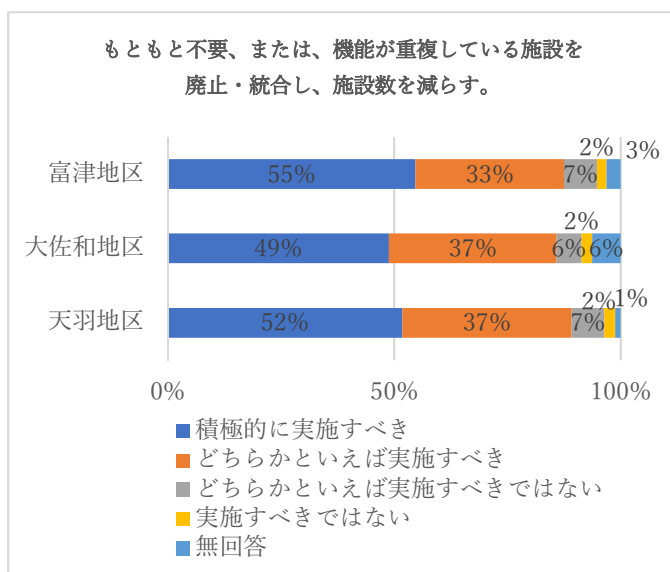
5. 将来に向けて、公共施設を維持していくために考えられる方策について

「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」との肯定的意見が高い方策は、「もともと不要、または、機能が重複している施設を廃止・統合し、施設数を減らす」（87%）であり、地区別・年代別でもすべて8割以上と高くなっています。

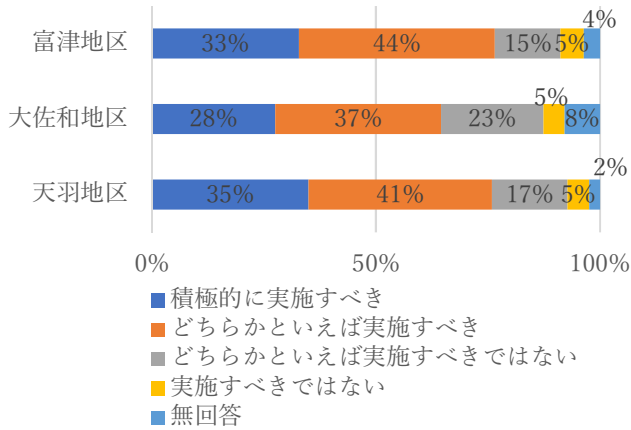
また、「現在ある施設の統廃合や複合化などによって施設を減らす」（87%）については、地区別ではすべての地区で8割以上、年代別では60代以下で8割以上、70代（79%）、80代（78%）と高くなっています。



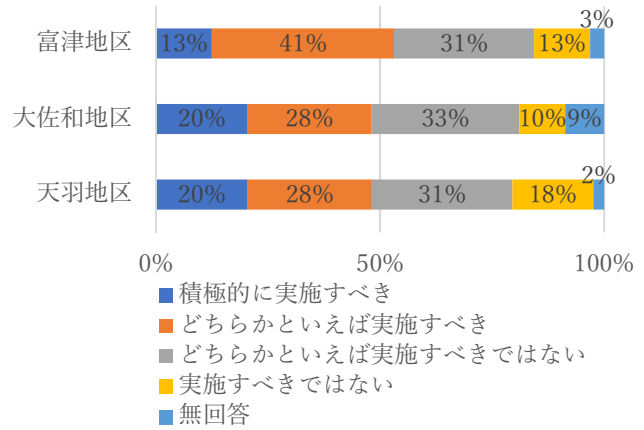
【地区別】 将来に向けて、公共施設を維持していくために考えられる方策について



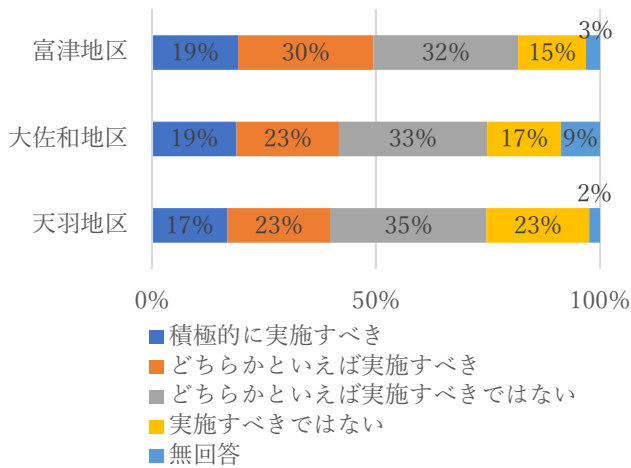
施設を減らす代わりに民間施設（会議室やスポーツ施設等）の利用に対し、助成する。



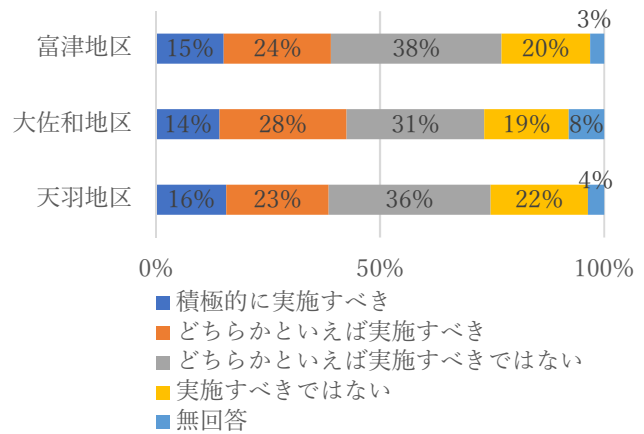
施設におけるサービスの水準を引き下げる（開館日数の削減など）。



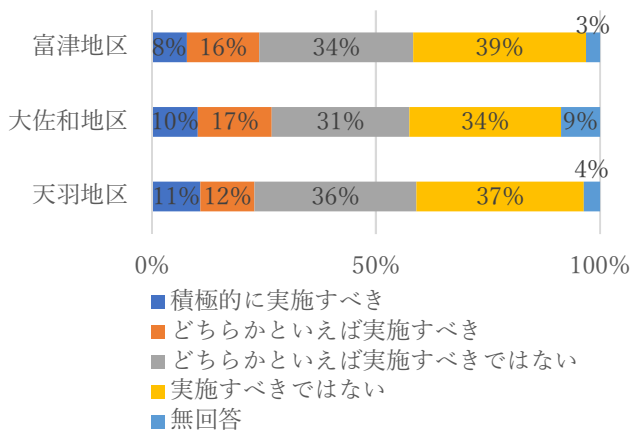
利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。



市民サービスを縮小したり、新規サービスを実施せず、浮いた費用を公共施設にあてる。

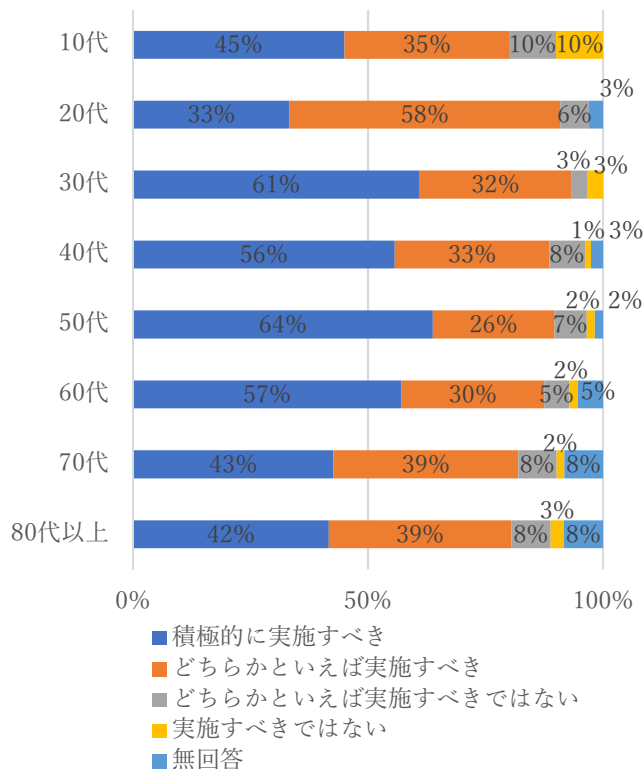


特別な税金等の徴収など、市民全体で公共施設の維持に必要な費用を負担する。

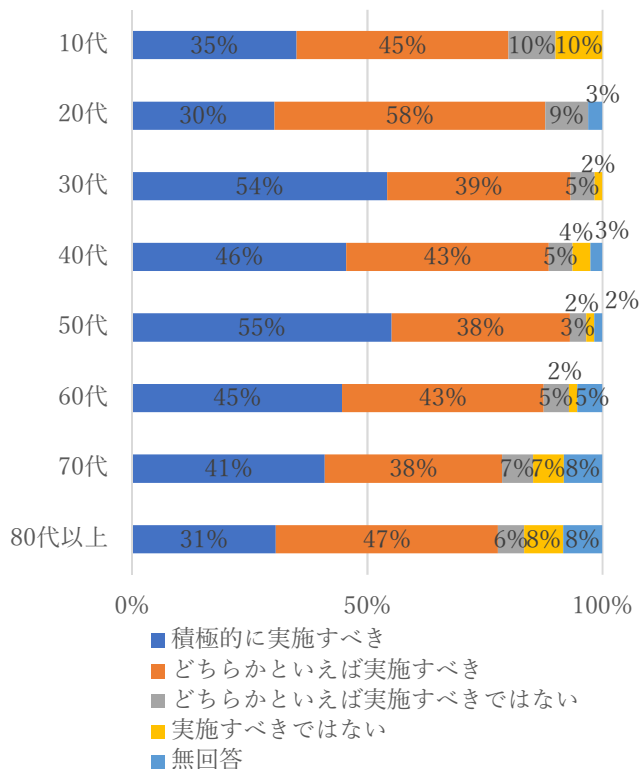


【年代別】将来に向けて、公共施設を維持していくために考えられる方策について

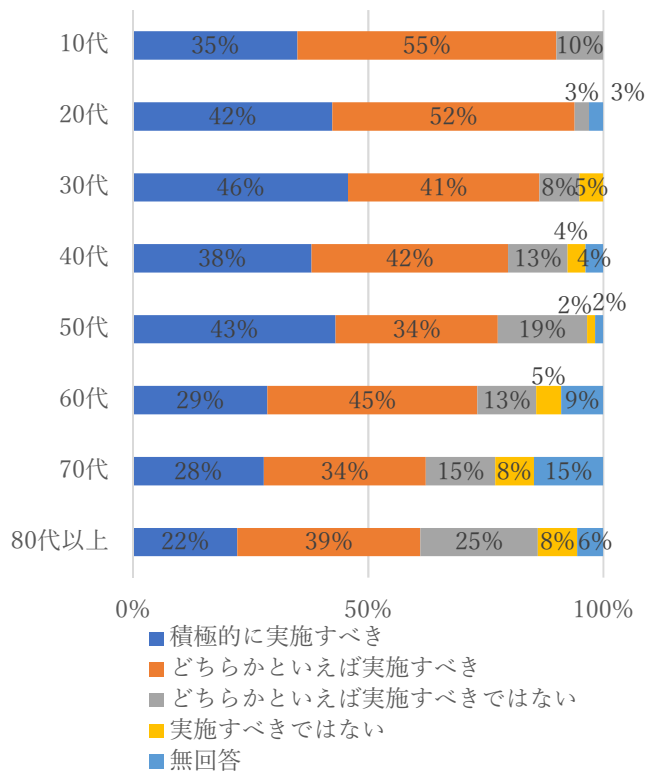
もともと不要、または、機能が重複している施設を
廃止・統合し、施設数を減らす。



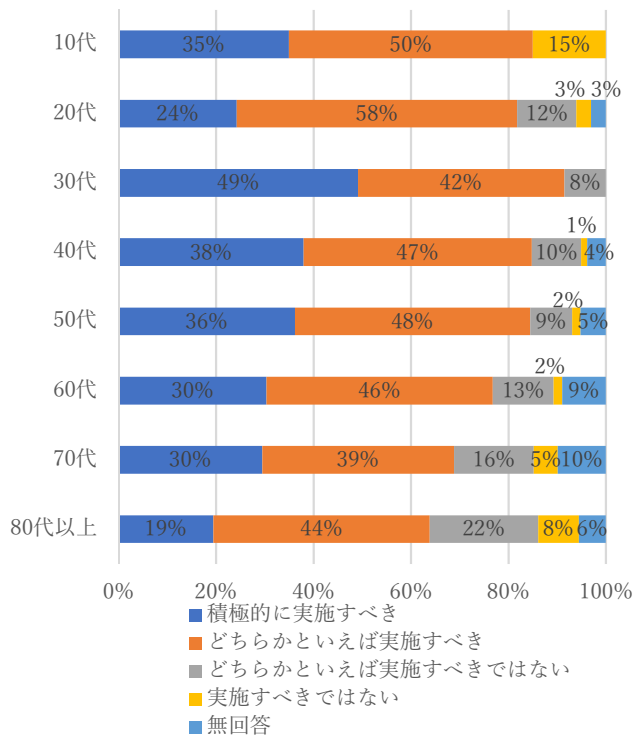
現在ある施設の統廃合や機能の複合化などによって
施設数を減らす。



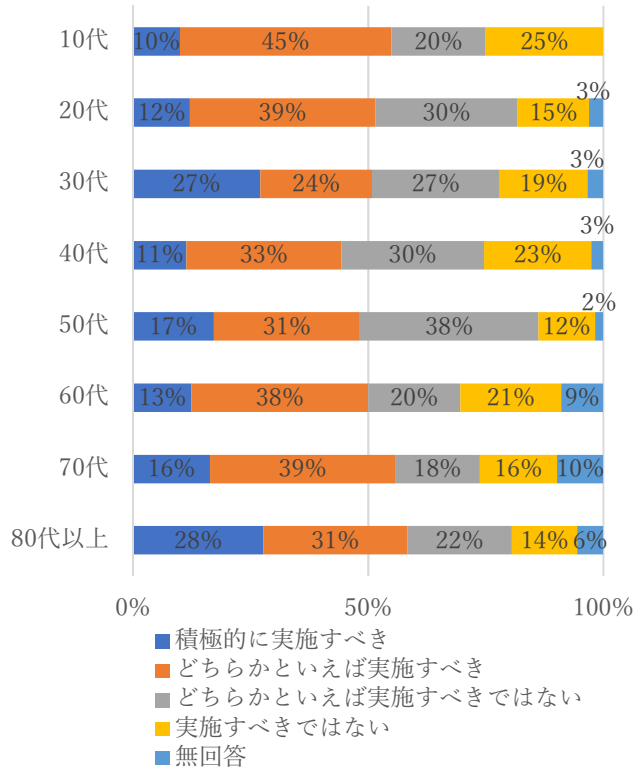
近隣自治体と共同で施設を建設・運営をする。
または、近隣自治体の施設を利用する。



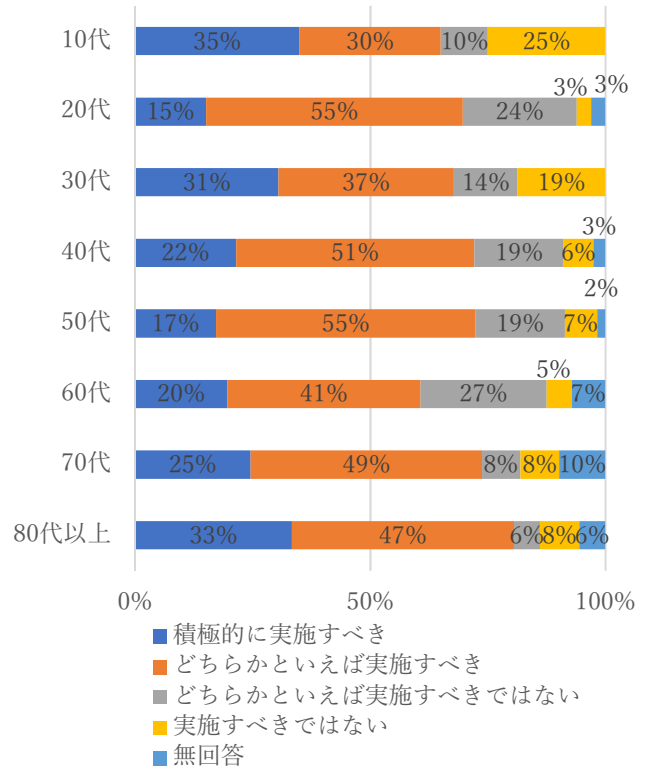
施設の更新（建替え）や管理運営に民間企業の
ノウハウや資金を活用したり、施設自体を民間
企業に移管する。



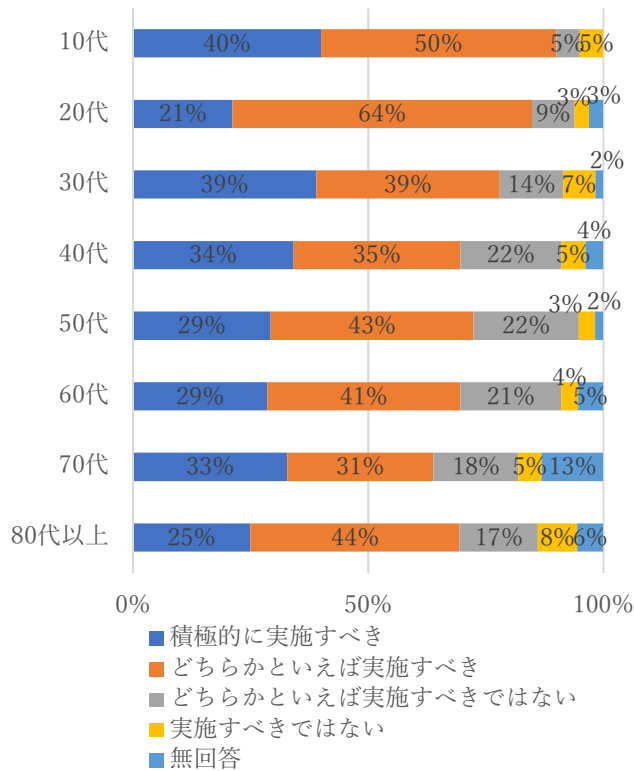
地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、
維持・管理を行う。



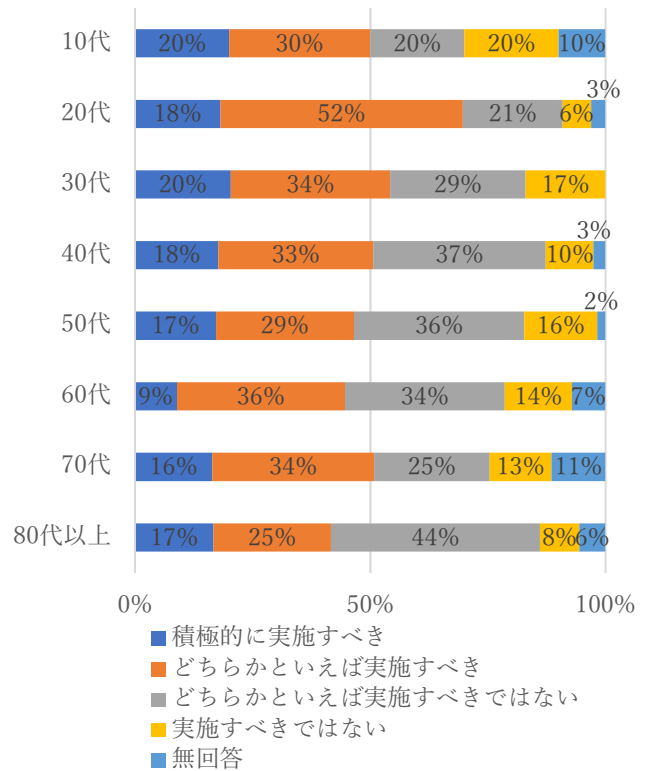
施設を長持ちするようにして（長寿命化）、
しばらくの間は建替えない。



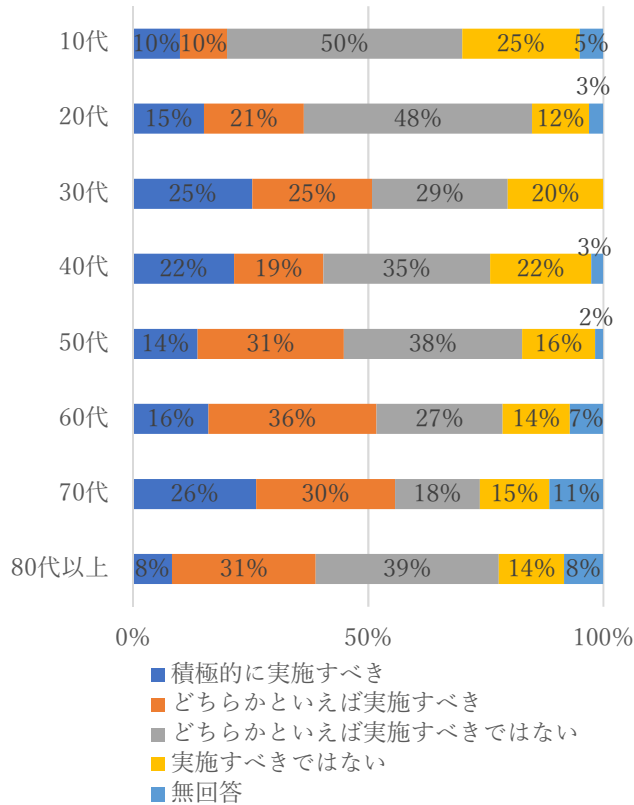
施設を減らす代わりに民間施設（会議室やスポーツ
施設等）の利用に対し、助成する。



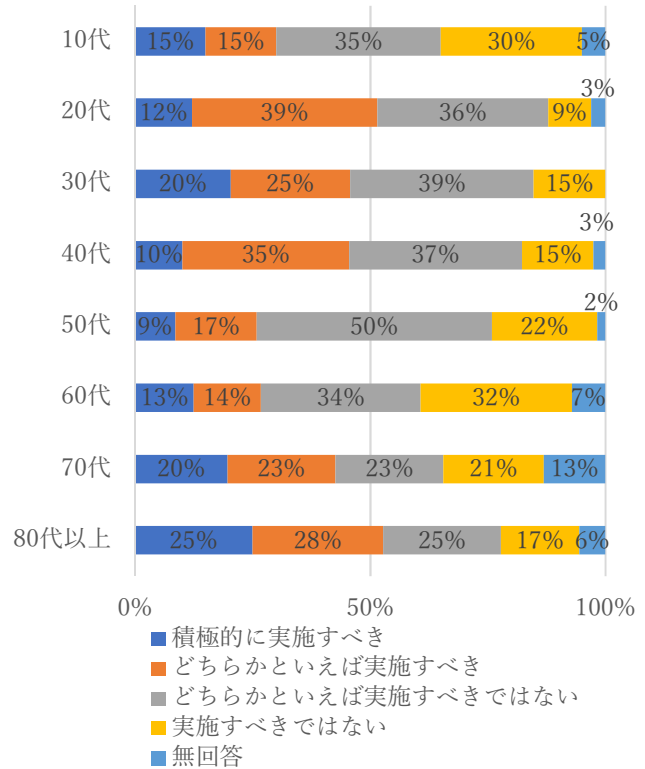
施設におけるサービスの水準を引き下げる
（開館日数の削減など）。



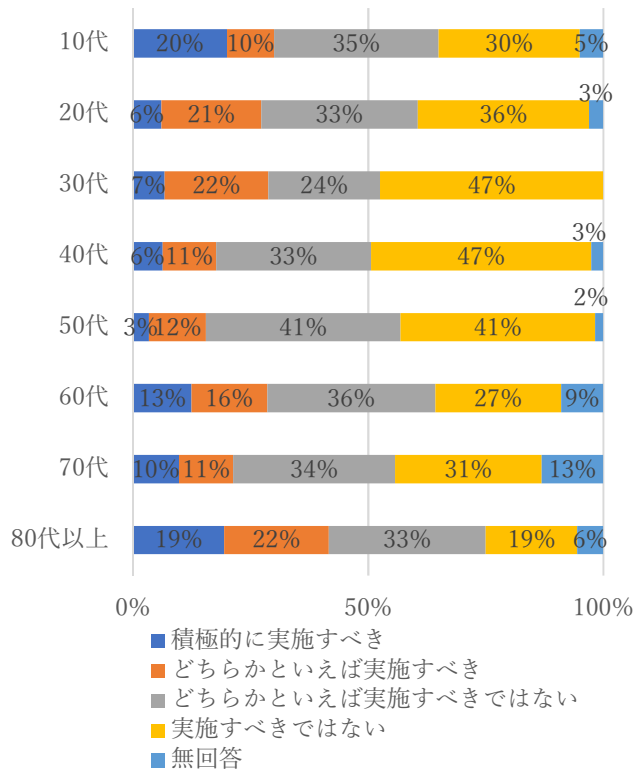
利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。



市民サービスを縮小したり、新規サービスを実施せず、浮いた費用を公共施設にあてる。



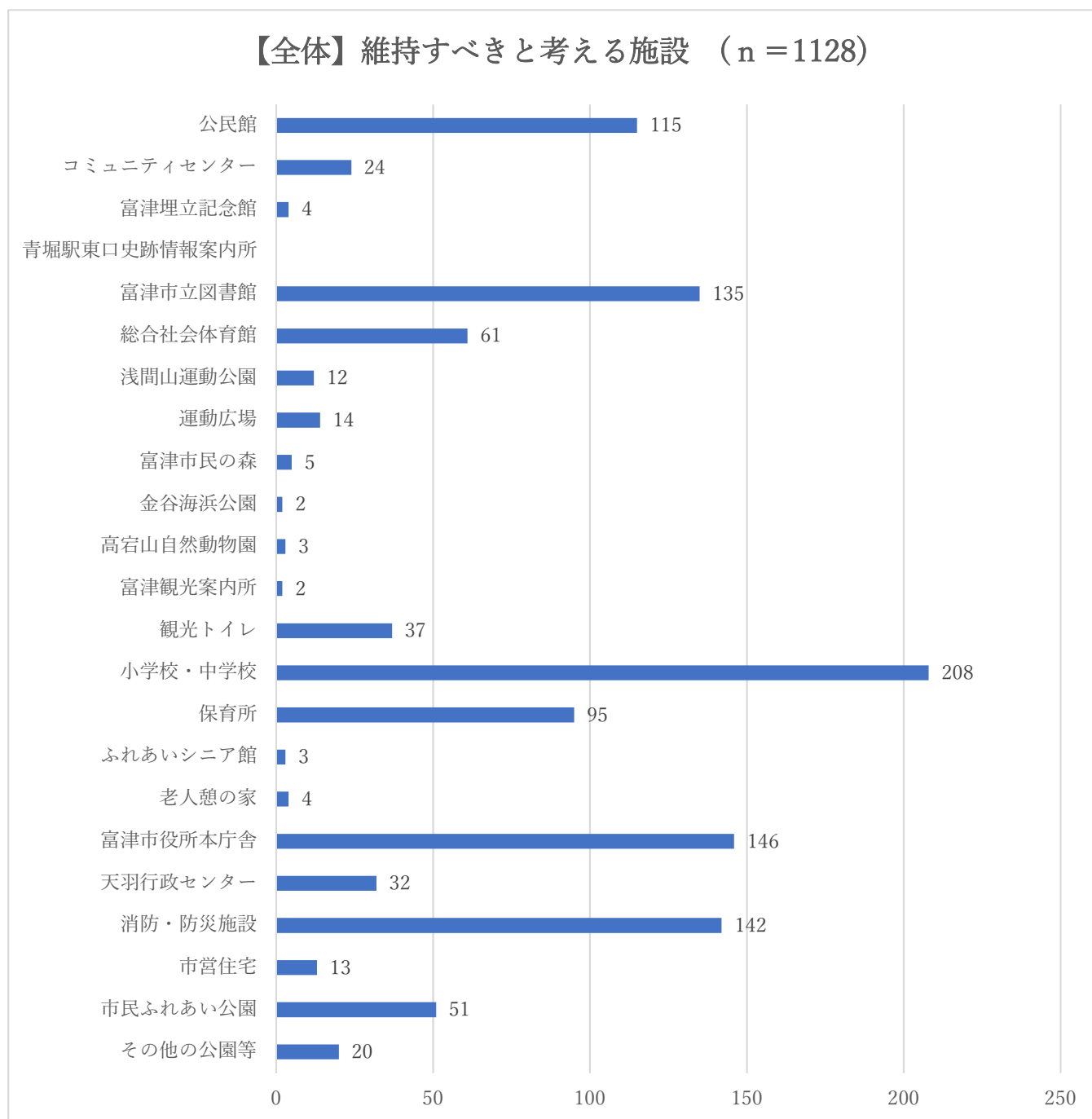
特別な税金等の徴収など、市民全体で公共施設の維持に必要な費用を負担する。



6. 「市が将来にわたり維持すべきと考える施設」と「今後、施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設」について

(1) 市が将来にわたり維持すべきと考える施設（※最大3つまで選択）

将来にわたり維持すべきと考える施設として、小学校・中学校（208）、富津市役所本庁舎（146）、消防・防災施設（142）が多くなっています。

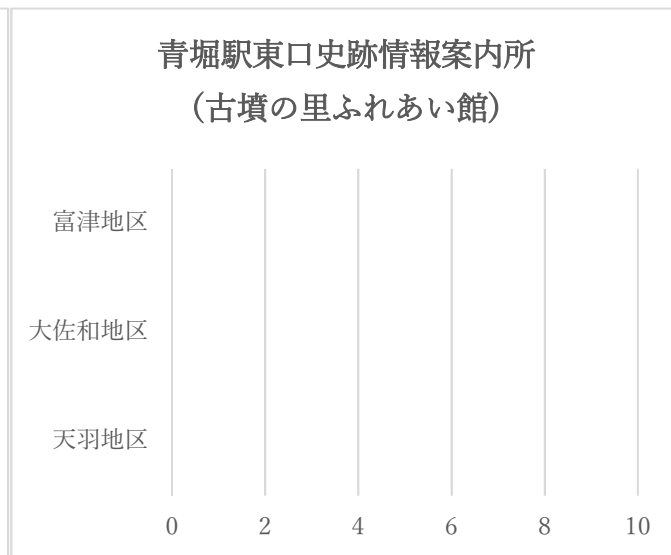
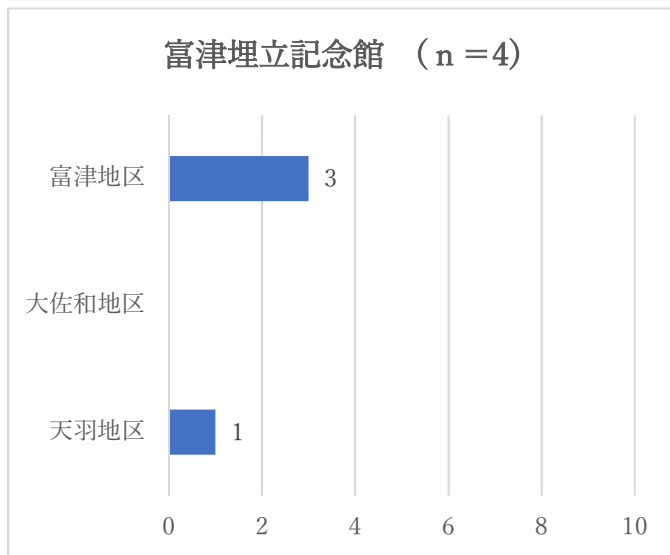
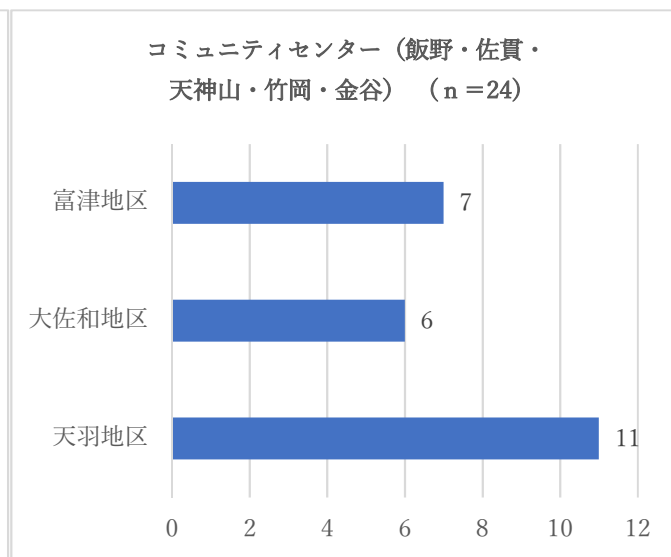
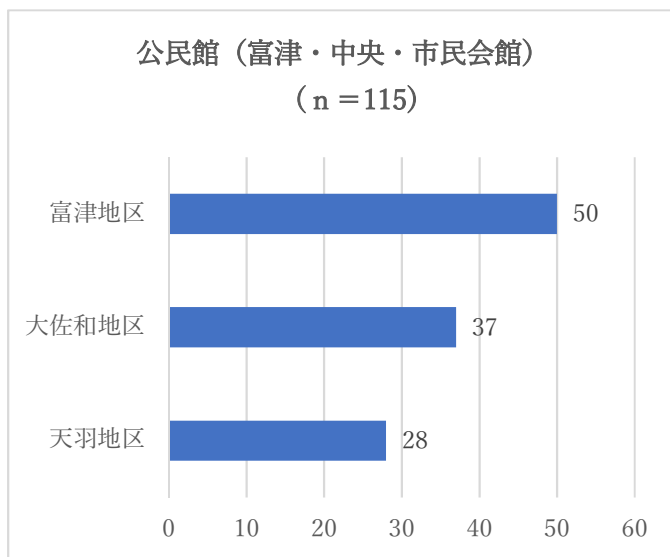


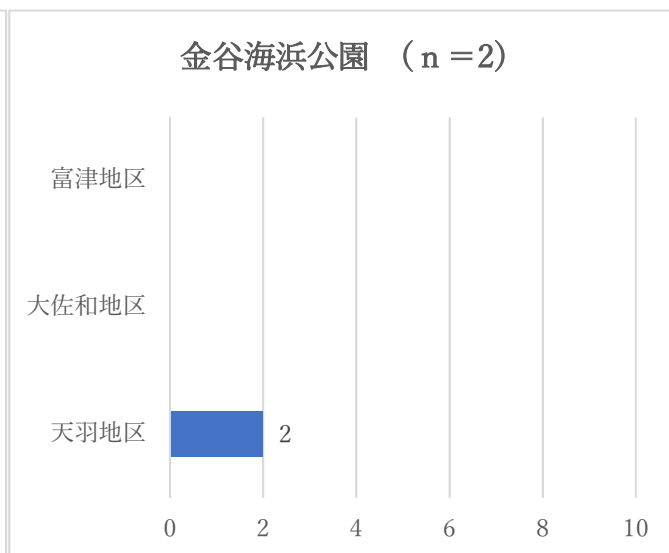
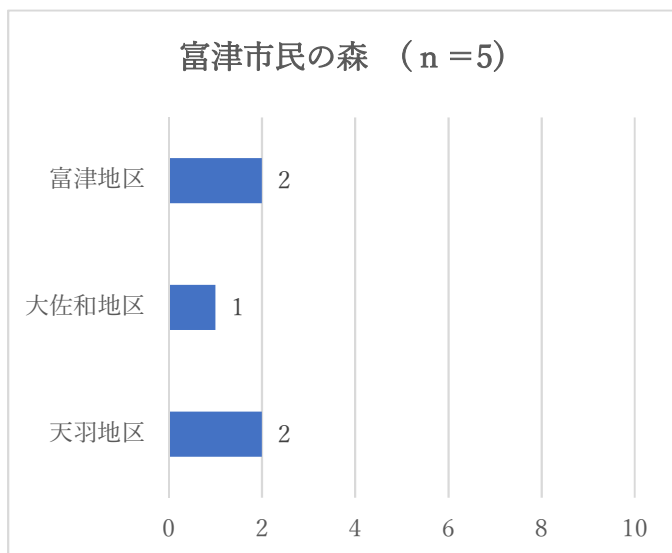
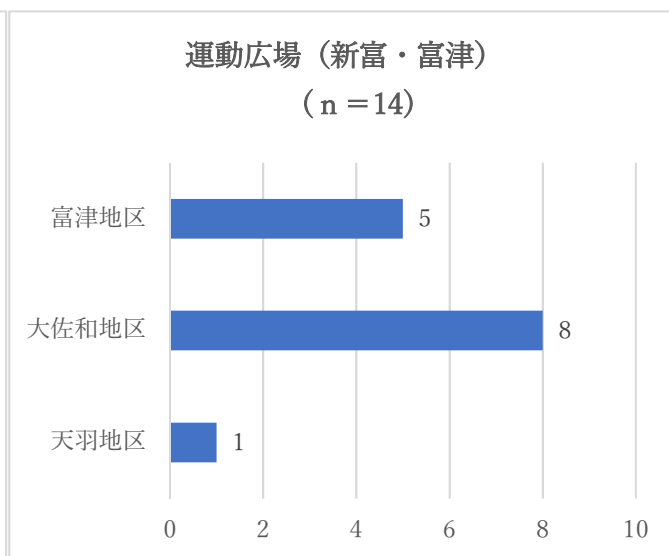
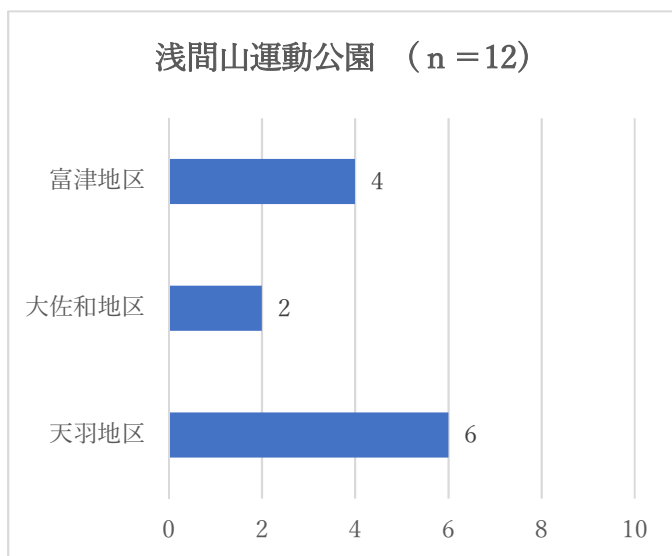
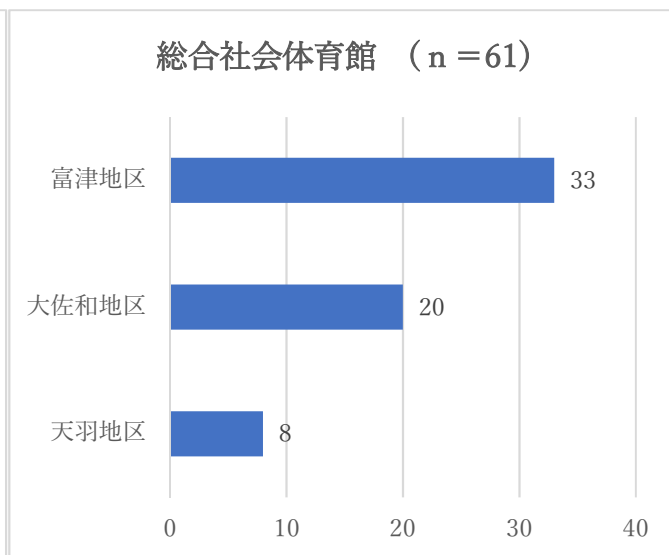
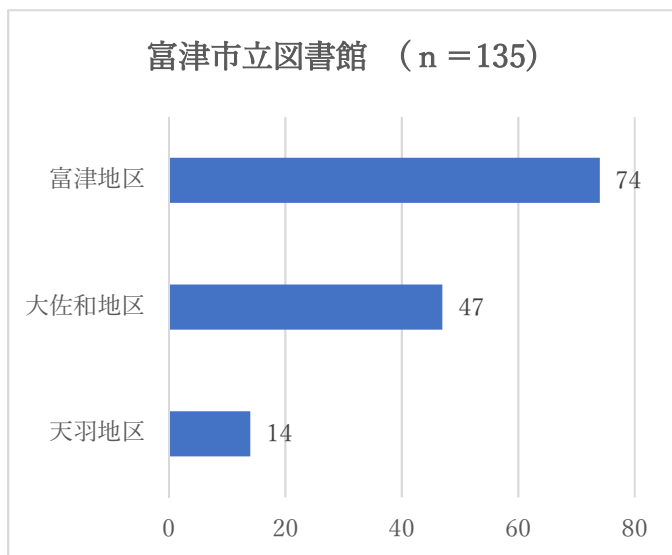
小学校・中学校について、地区別では富津地区（109）が多く、年代別では40代（49）、30代（33）、50代（33）が多くなっています。

富津市役所本庁舎について、地区別では富津地区（66）、大佐和地区（52）が多く、年代別では70代（29）、50代（26）、40代（25）、60代（25）が多くなっています。

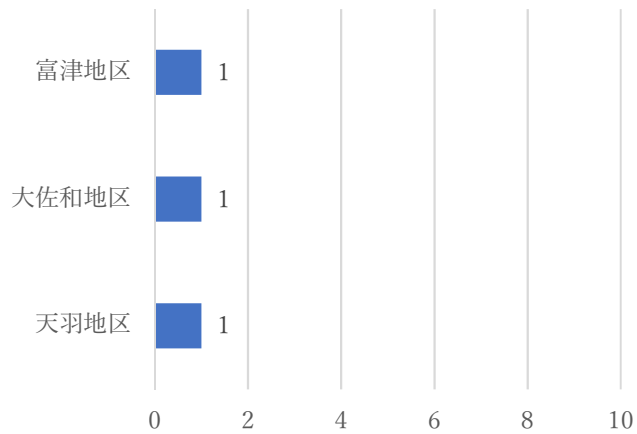
消防・防災施設について、地区別では富津地区（54）、大佐和地区（49）が多く、年代別では50代（26）、70代（25）、30代（20）、40代（20）、60代（20）が多くなっています。

【地区別】将来にわたり維持すべきと考える施設

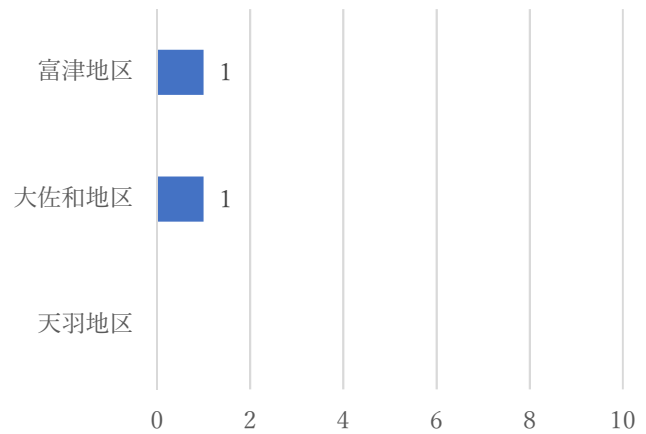




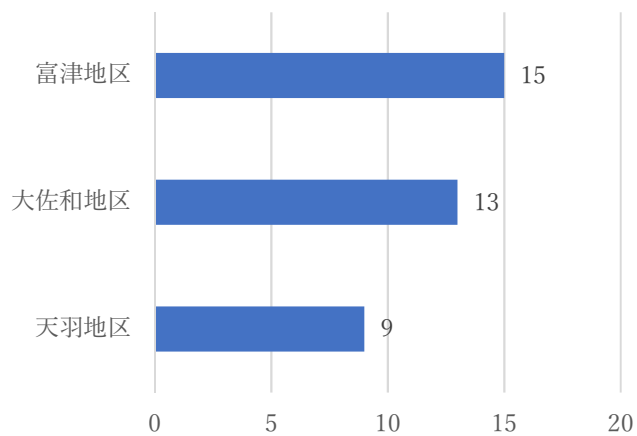
高宕山自然動物園 (n = 3)



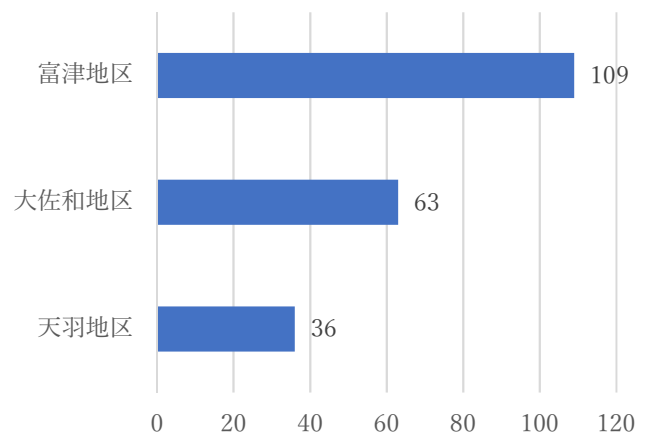
富津観光案内所 (n = 2)



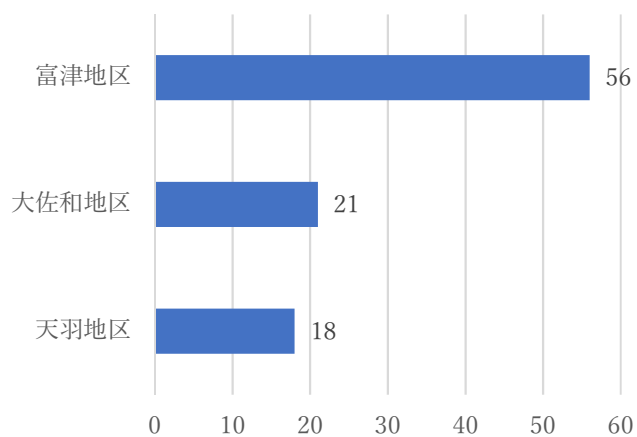
観光トイレ (n = 37)



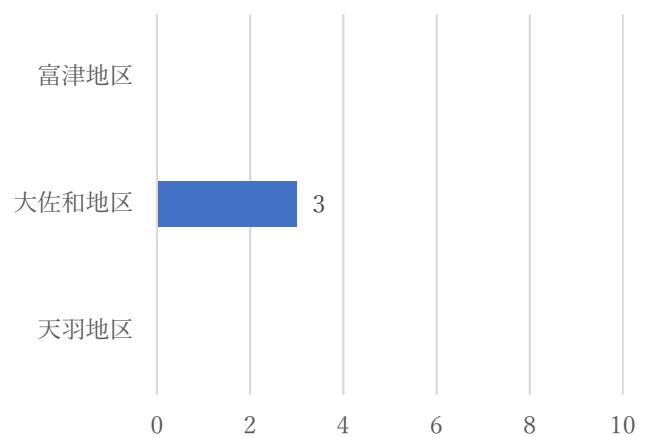
小学校・中学校 (n = 208)

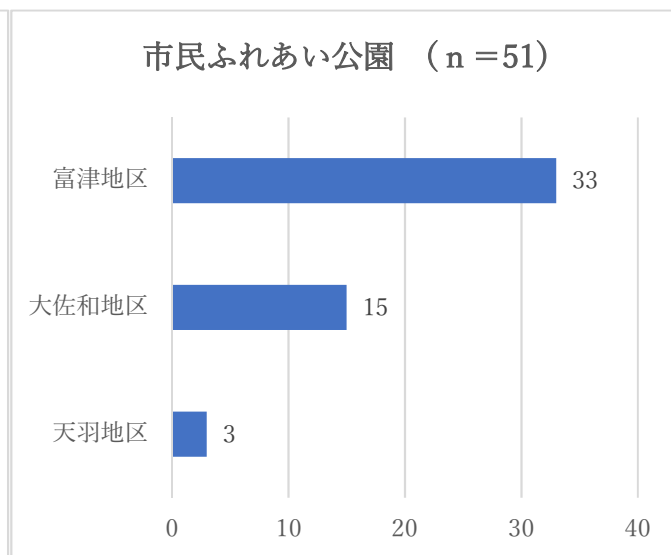
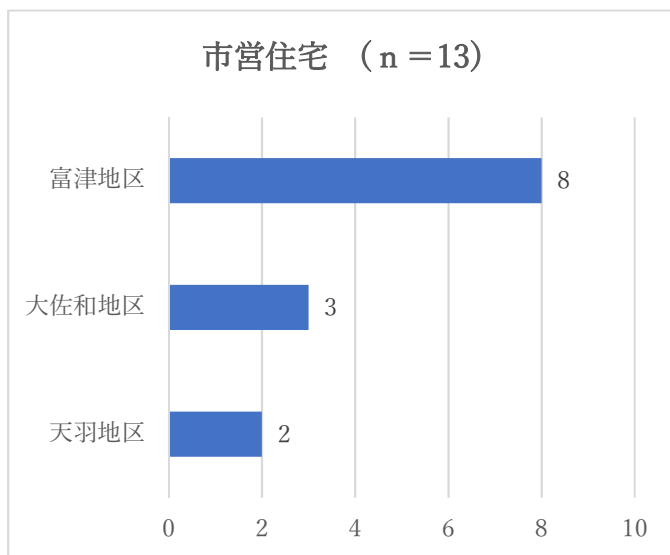
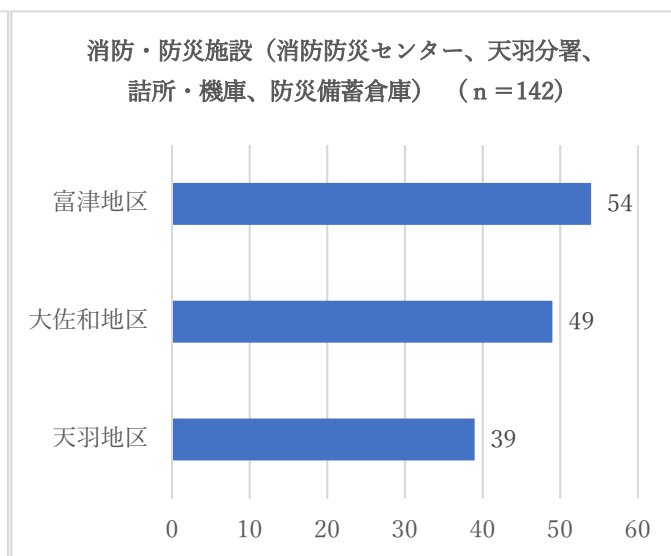
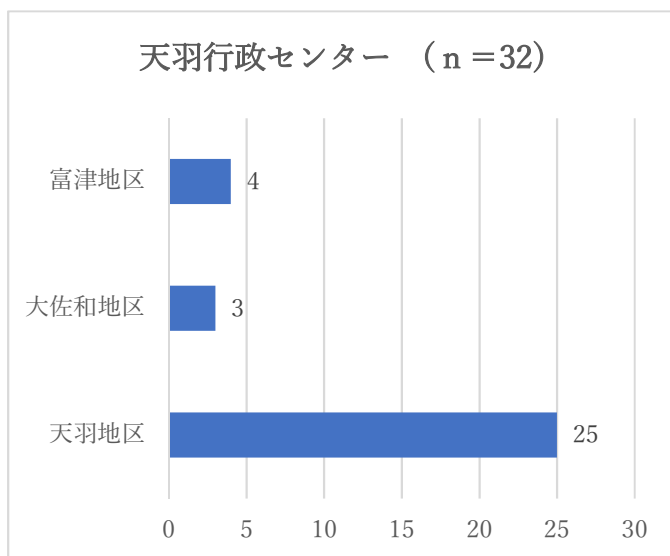
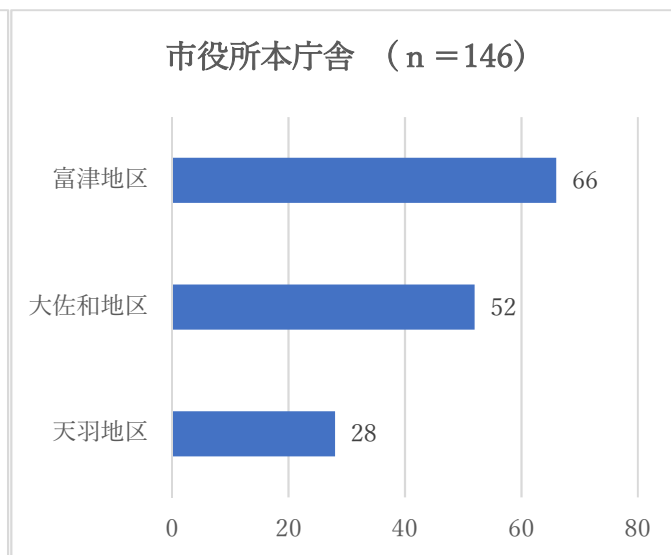
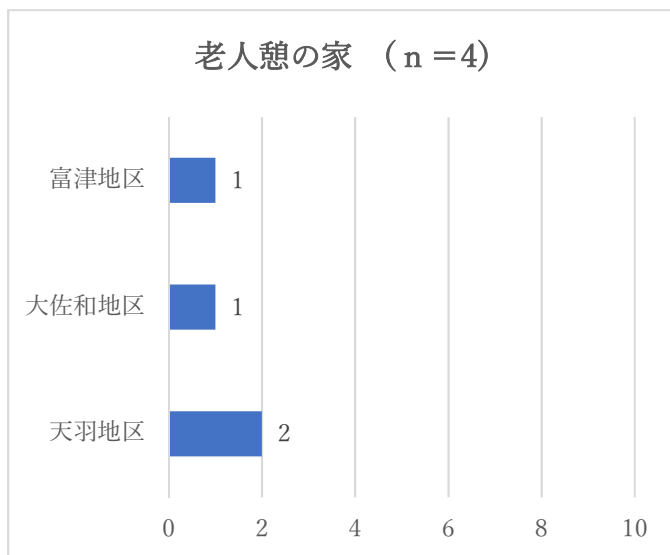


保育所 (n = 95)

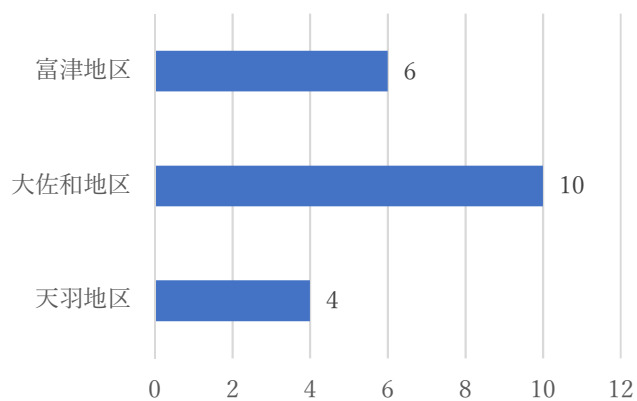


ふれあいシニア館 (n = 3)



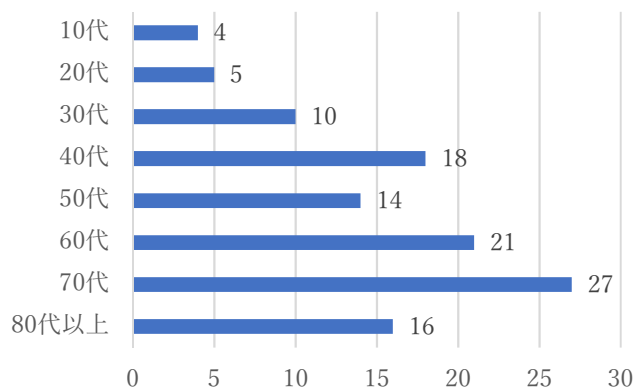


その他の公園等（都市公園・市立公園・
児童遊園地など）（n = 20）

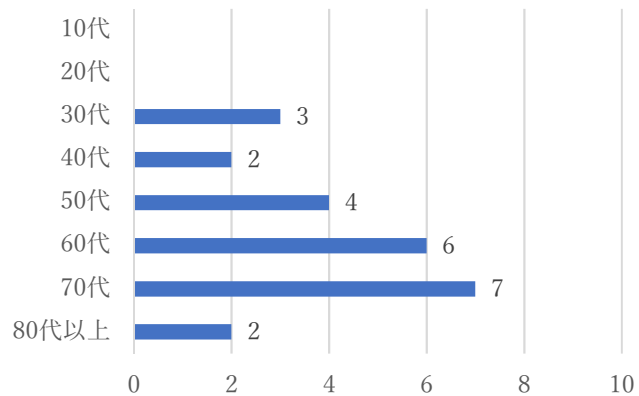


【年代別】将来にわたり維持すべきと考える施設

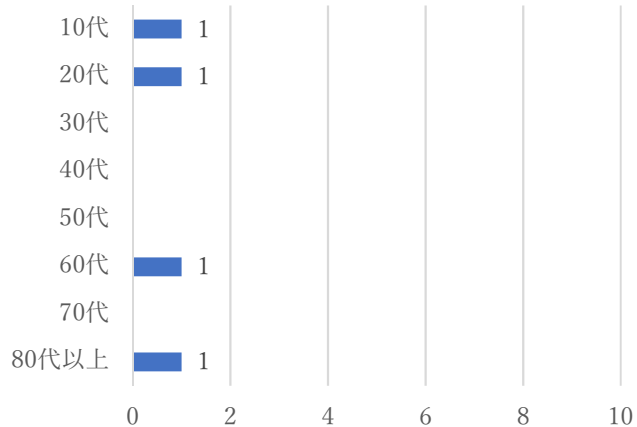
公民館（富津・中央・市民会館）
（n = 115）



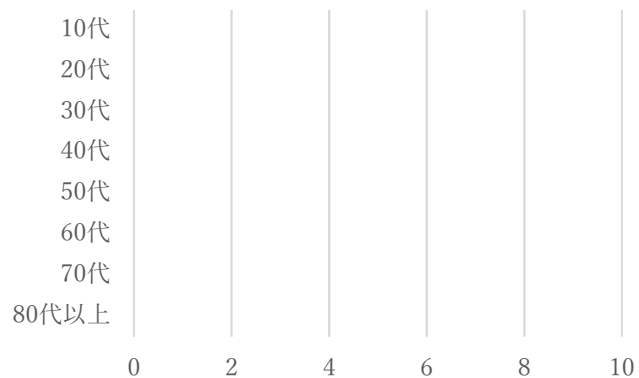
コミュニティセンター（飯野・佐貫・
天神山・竹岡・金谷）（n = 24）



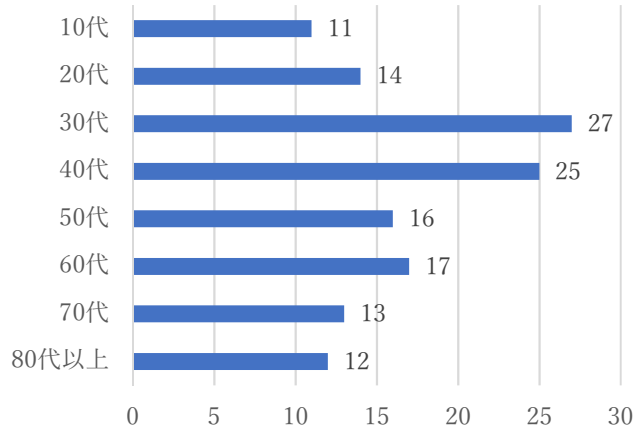
富津埋立記念館（n = 4）



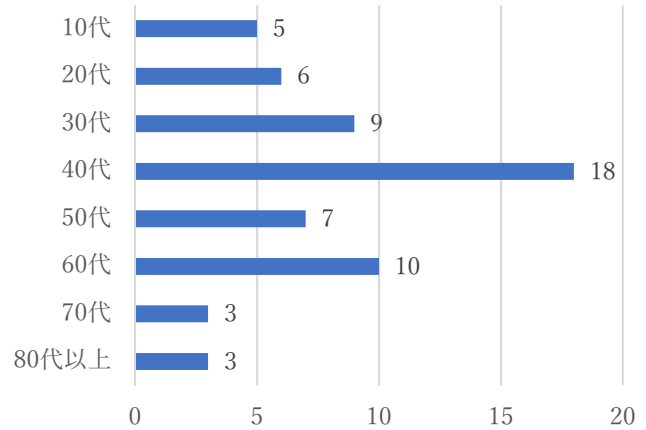
青堀駅東口史跡情報案内所
（古墳の里ふれあい館）



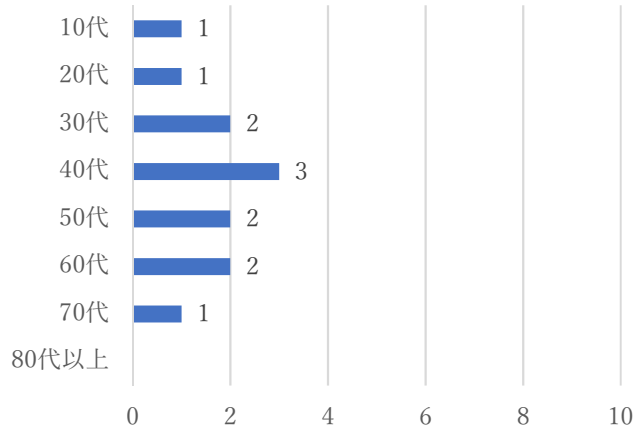
富津市立図書館 (n = 135)



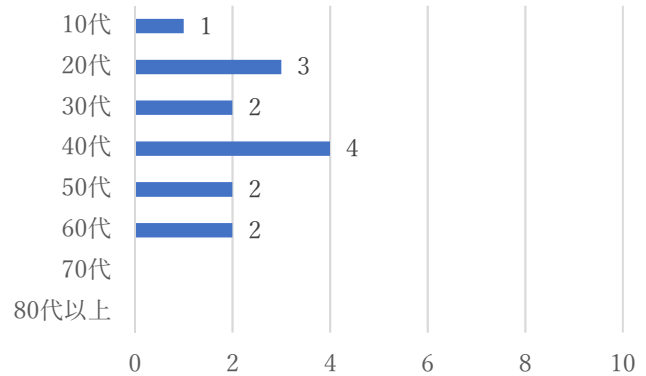
総合社会体育館 (n = 61)



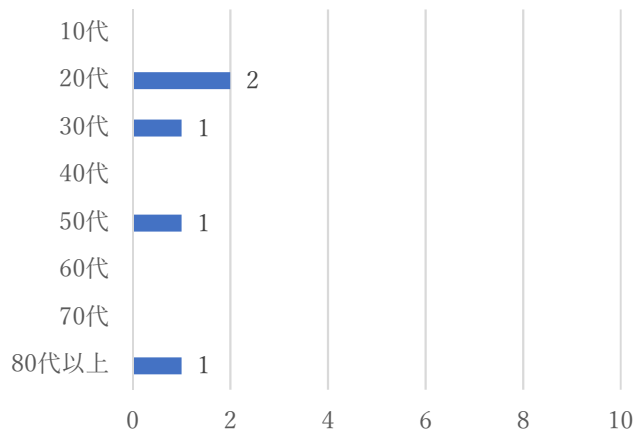
浅間山運動公園 (n = 12)



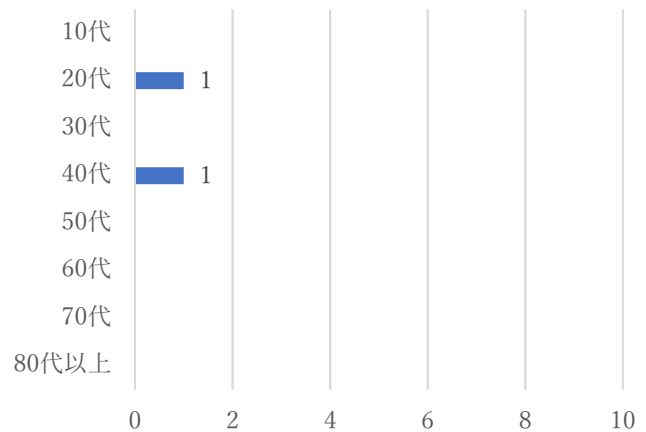
運動広場 (新富・富津)
(n = 14)



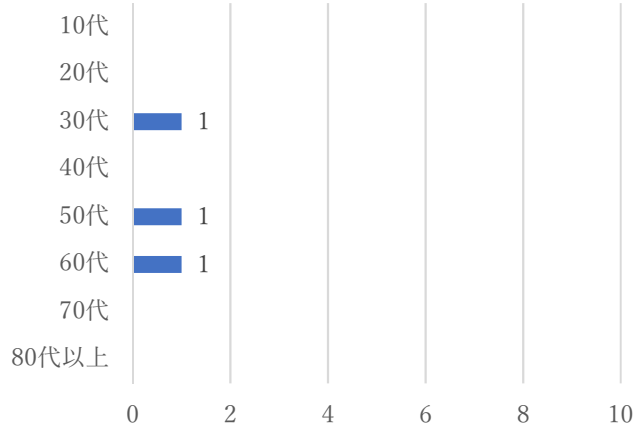
富津市民の森 (n = 5)



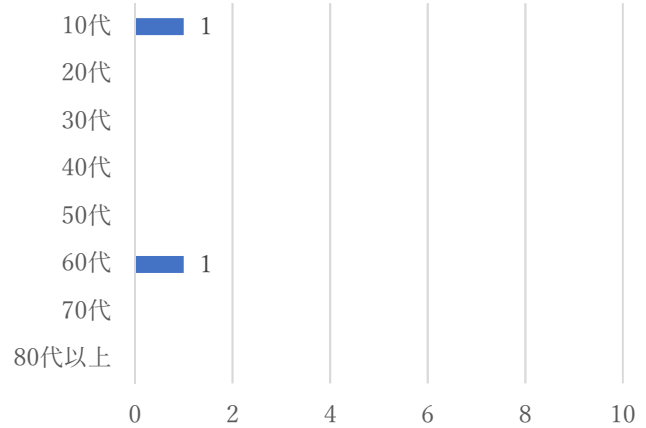
金谷海浜公園 (n = 2)



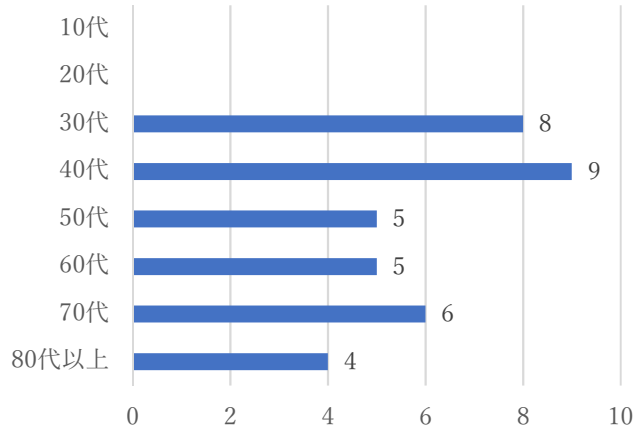
高宕山自然動物園 (n=3)



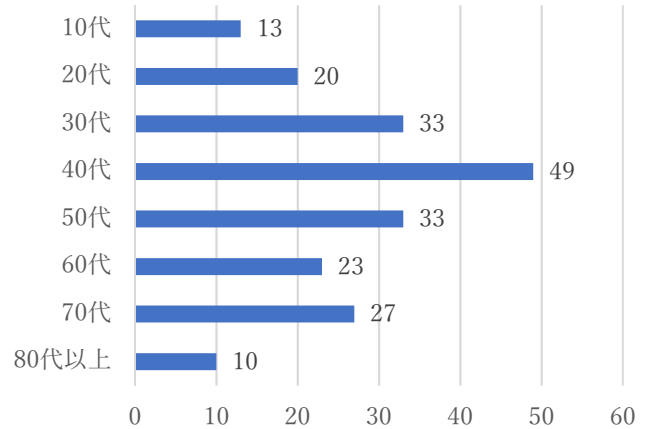
富津観光案内所 (n=2)



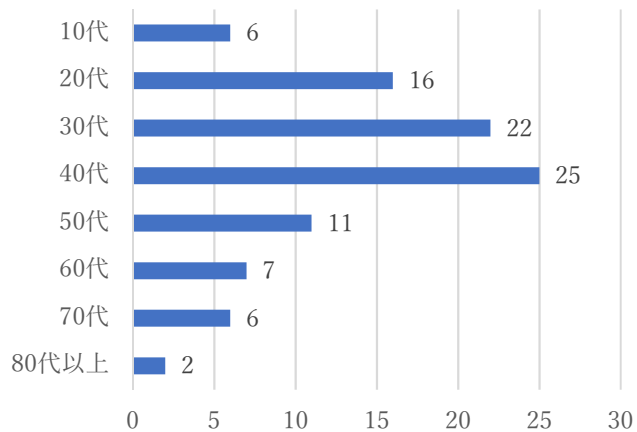
観光トイレ (n=37)



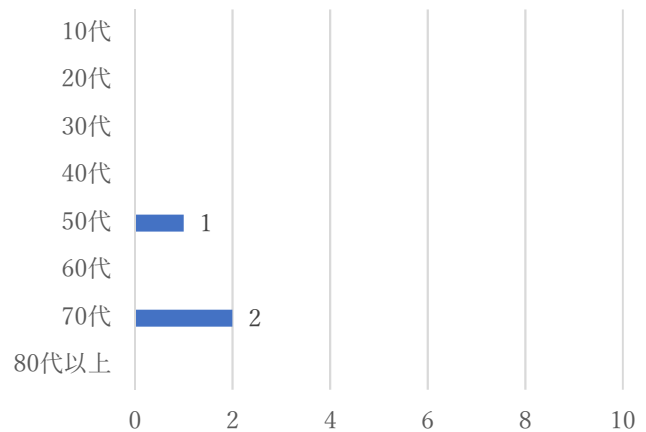
小学校・中学校 (n=208)



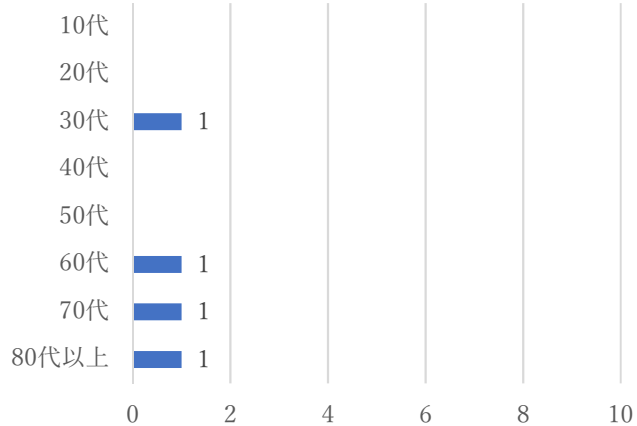
保育所 (n=95)



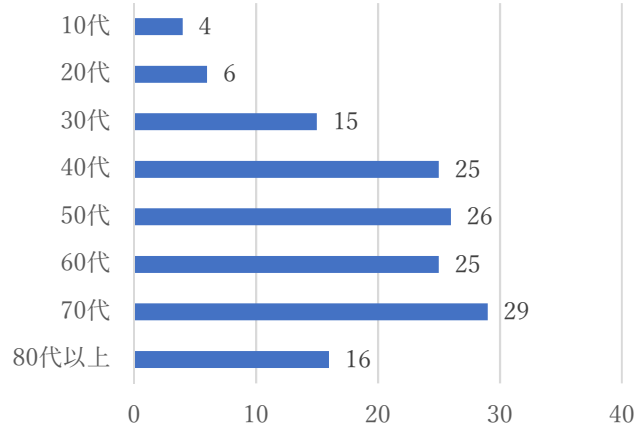
ふれあいシニア館 (n=3)



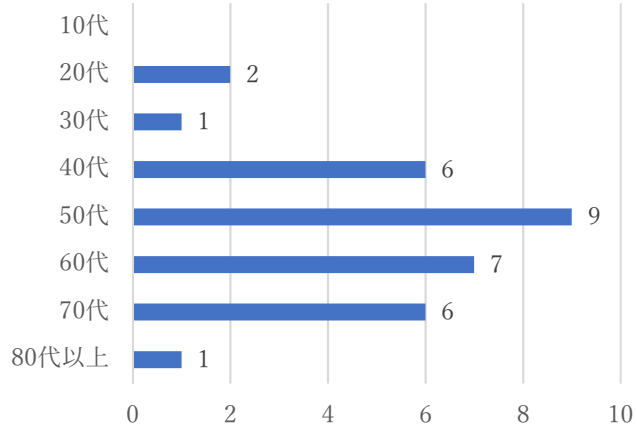
老人憩の家 (n=4)



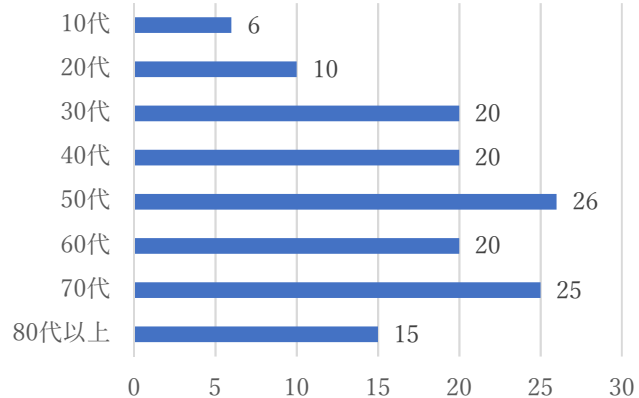
市役所本庁舎 (n=146)



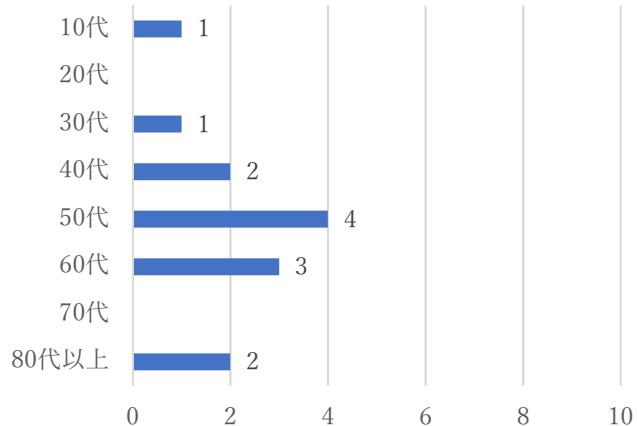
天羽行政センター (n=32)



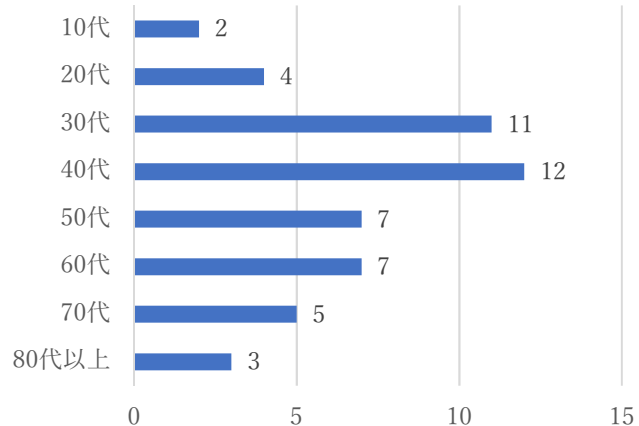
消防・防災施設（消防防災センター、天羽分署、
詰所・機庫、防災備蓄倉庫） (n=142)



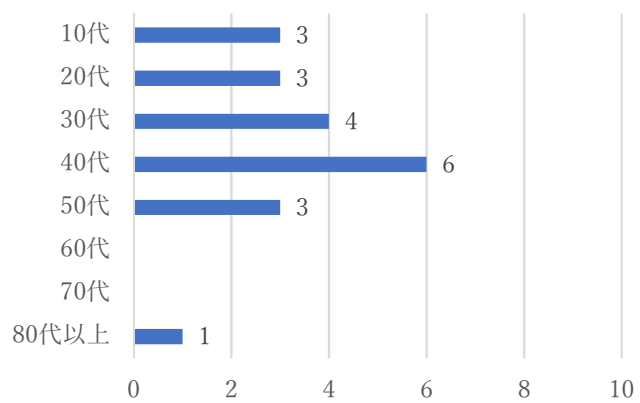
市営住宅 (n=13)



市民ふれあい公園 (n=51)

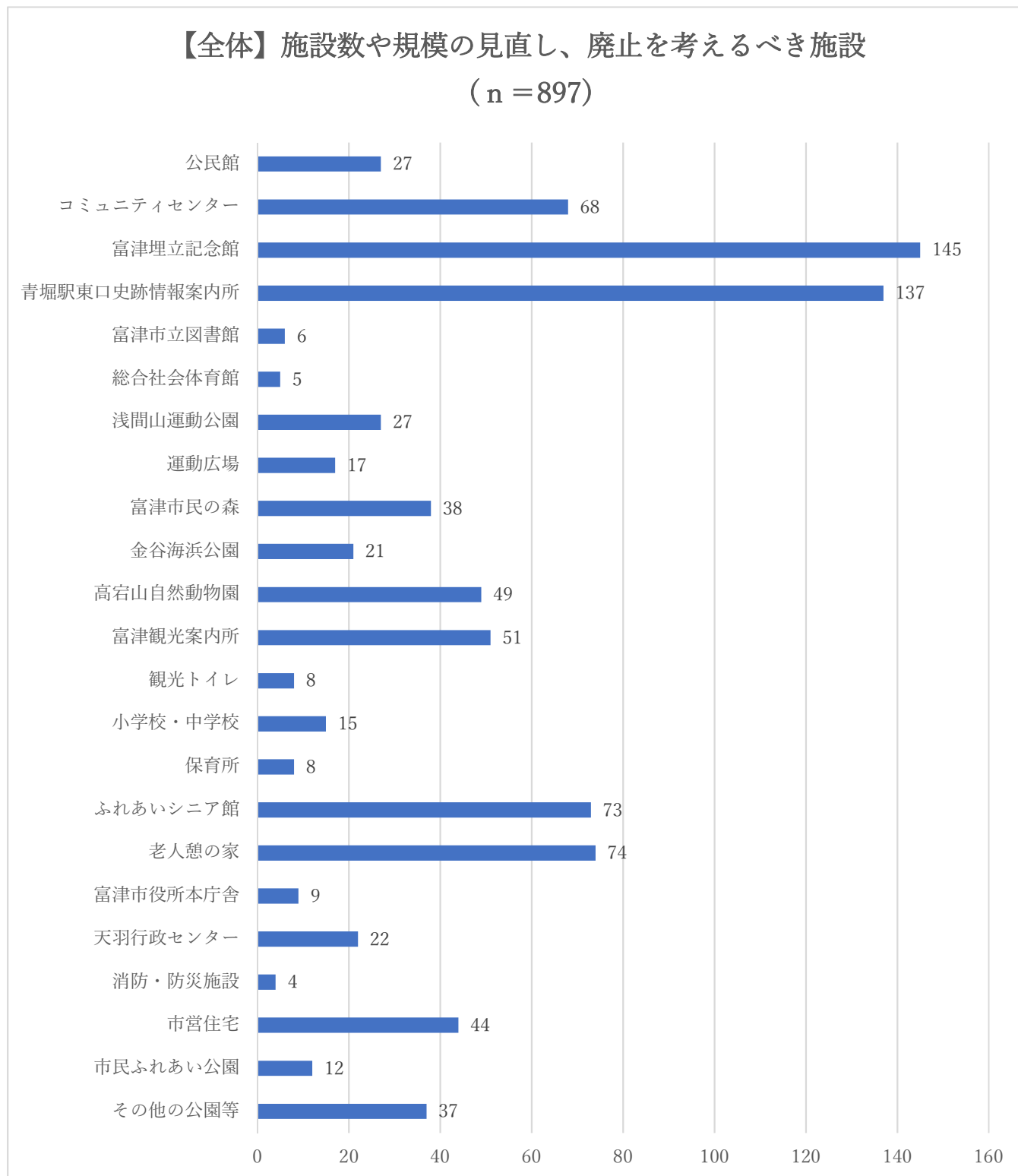


その他の公園等（都市公園・市立公園・
児童遊園地など）（n = 20）



(2) 施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設 (※最大3つまで選択)

施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設として、富津埋立記念館(145)、青堀駅東口史跡情報案内所(137)、老人憩いの家(74)が多くなっています。

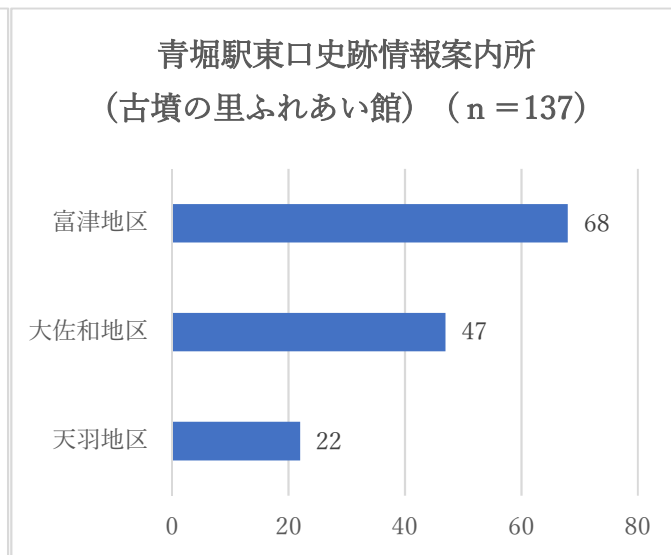
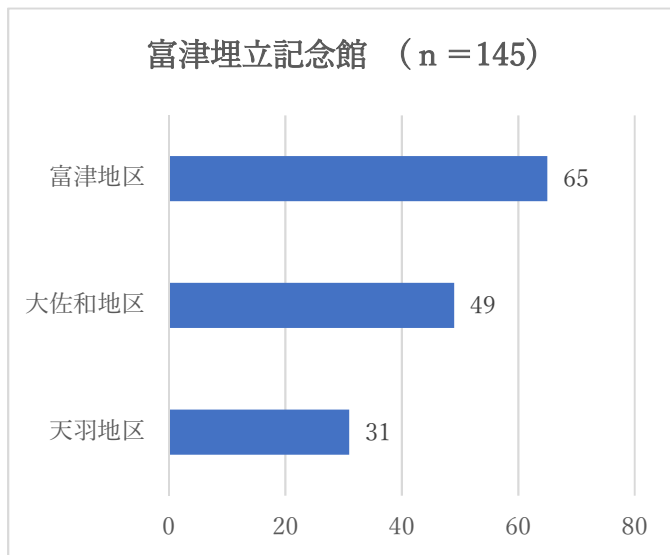
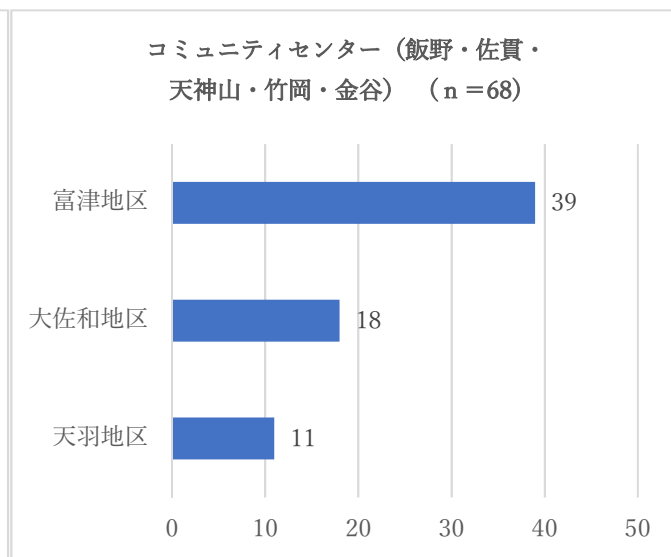
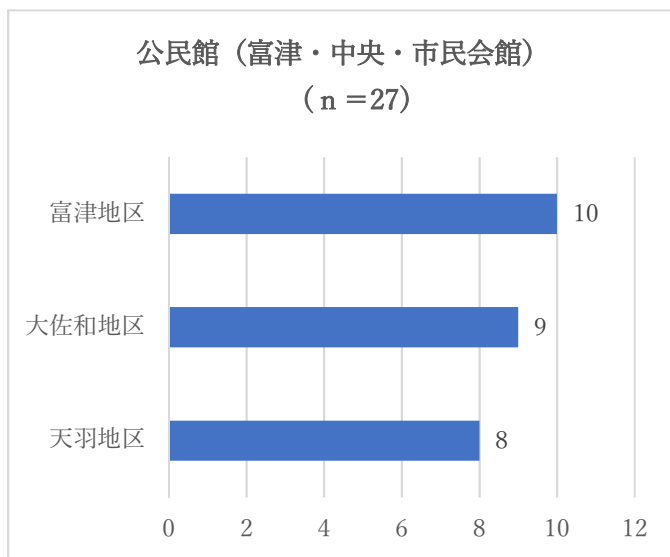


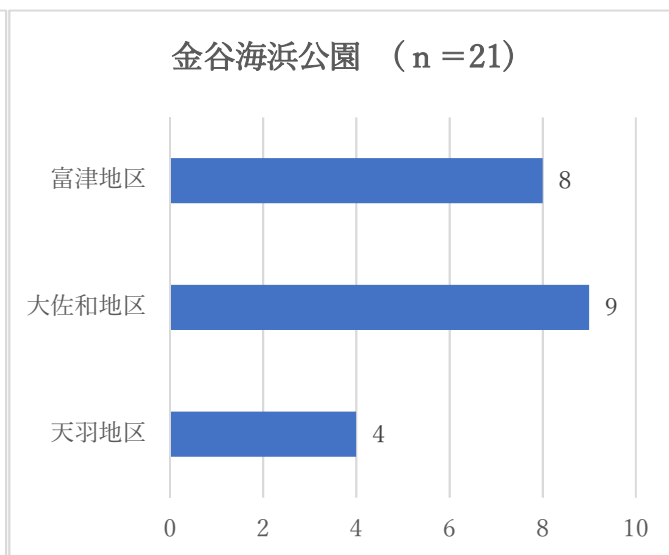
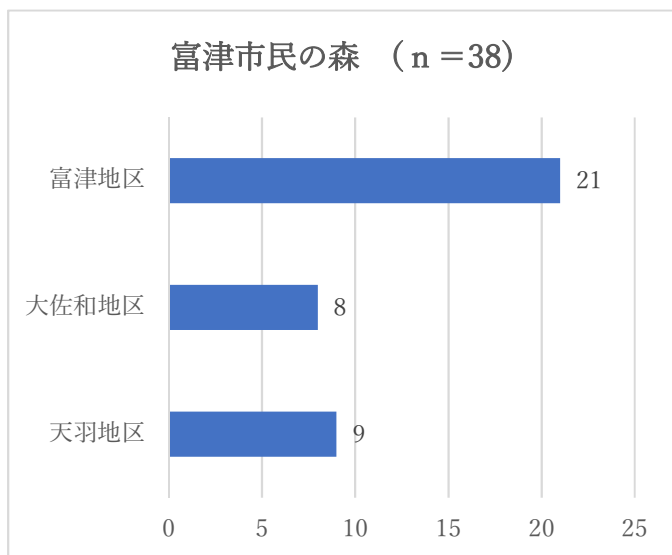
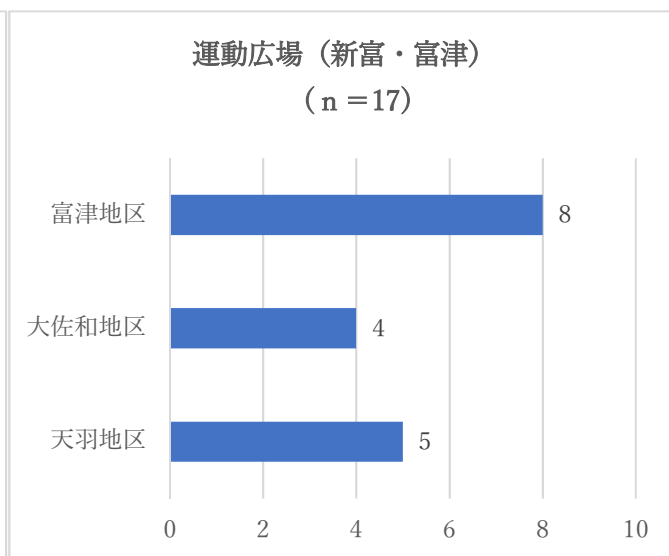
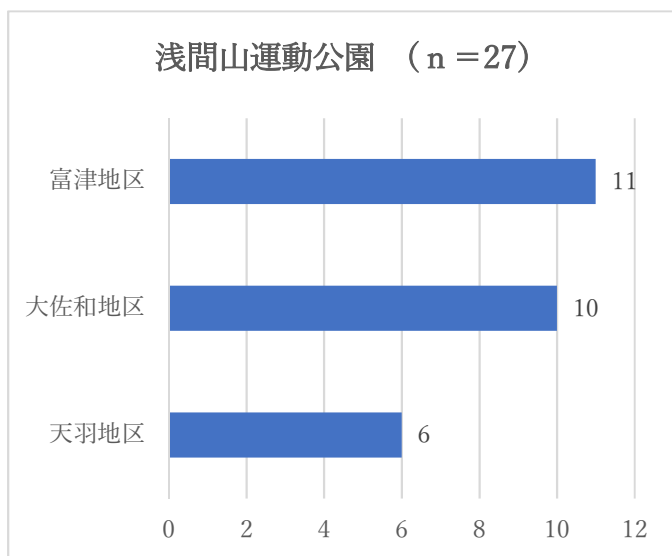
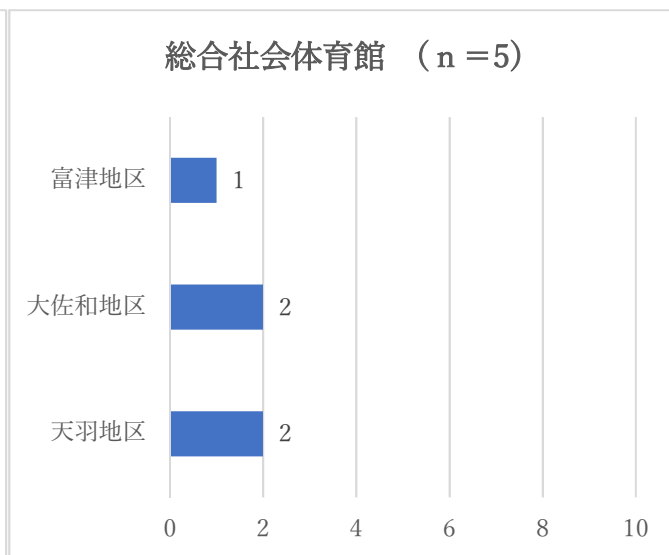
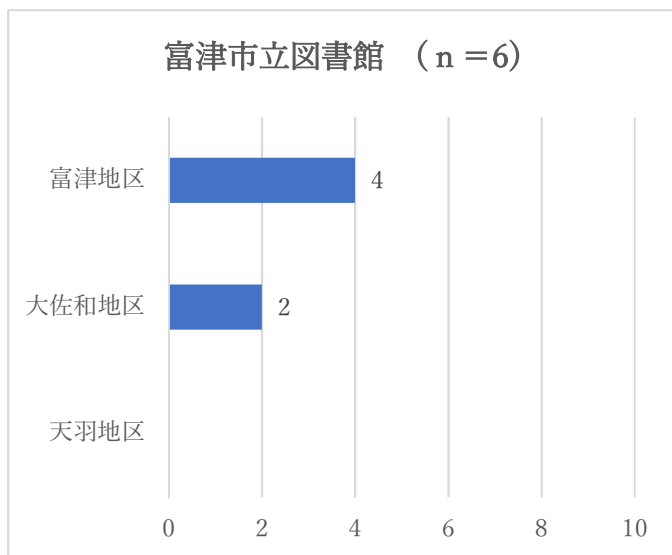
富津埋立記念館について、地区別では富津地区（65）、大佐和地区（49）が多く、年代別では40代（34）、50代（23）、30代（21）、70代（21）が多くなっています。

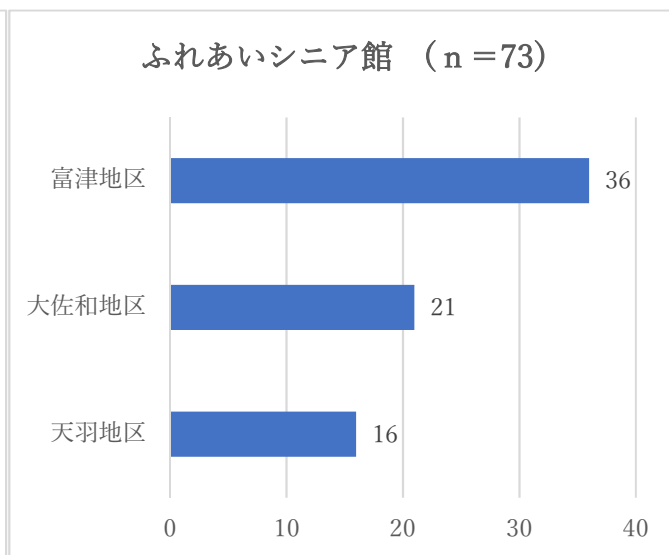
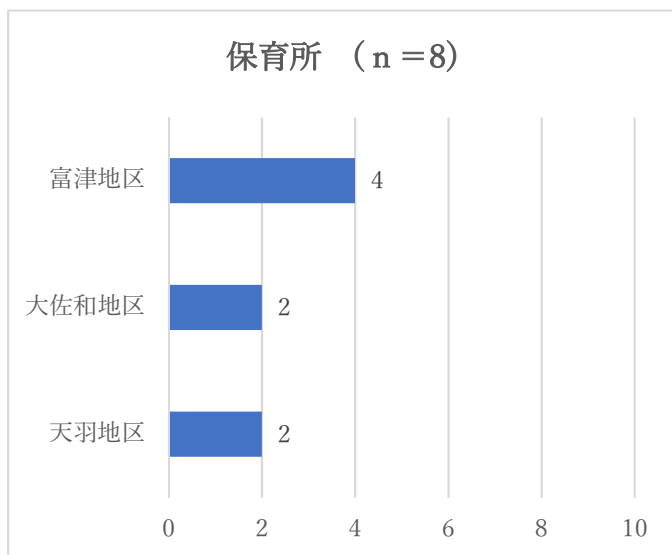
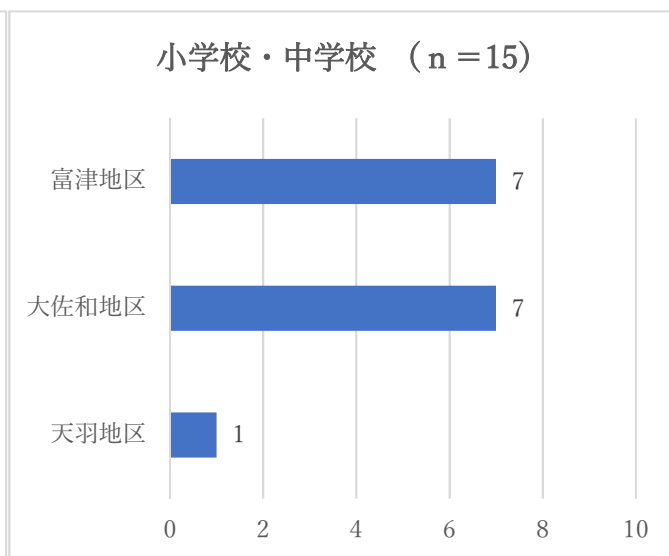
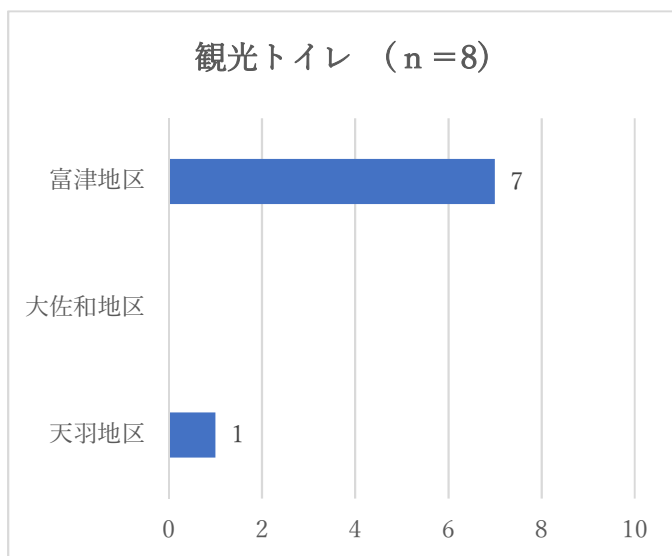
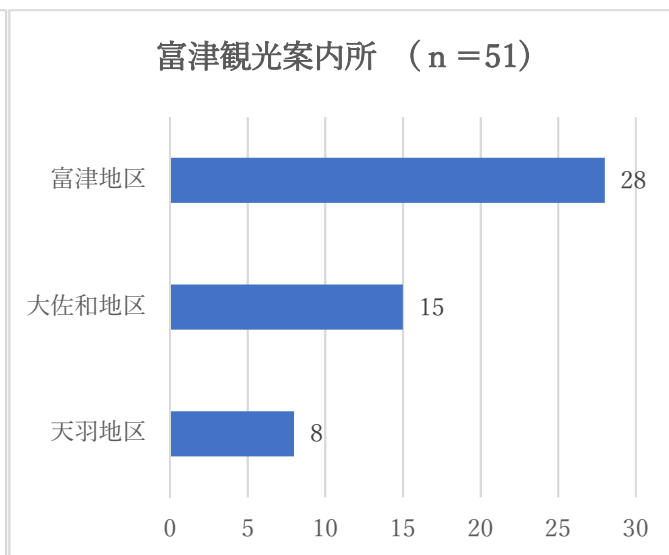
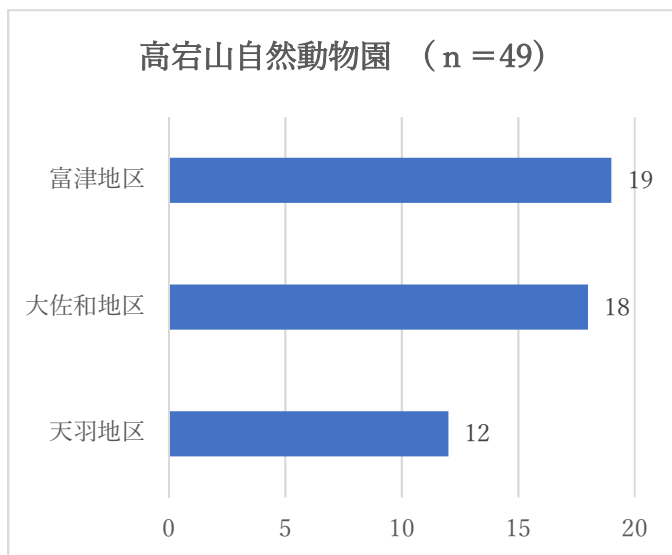
青堀駅東口史跡情報案内所について、地区別では富津地区（68）、大佐和地区（47）が多く、年代別では40代（30）、50代（26）、30代（19）、70代（19）が多くなっています。

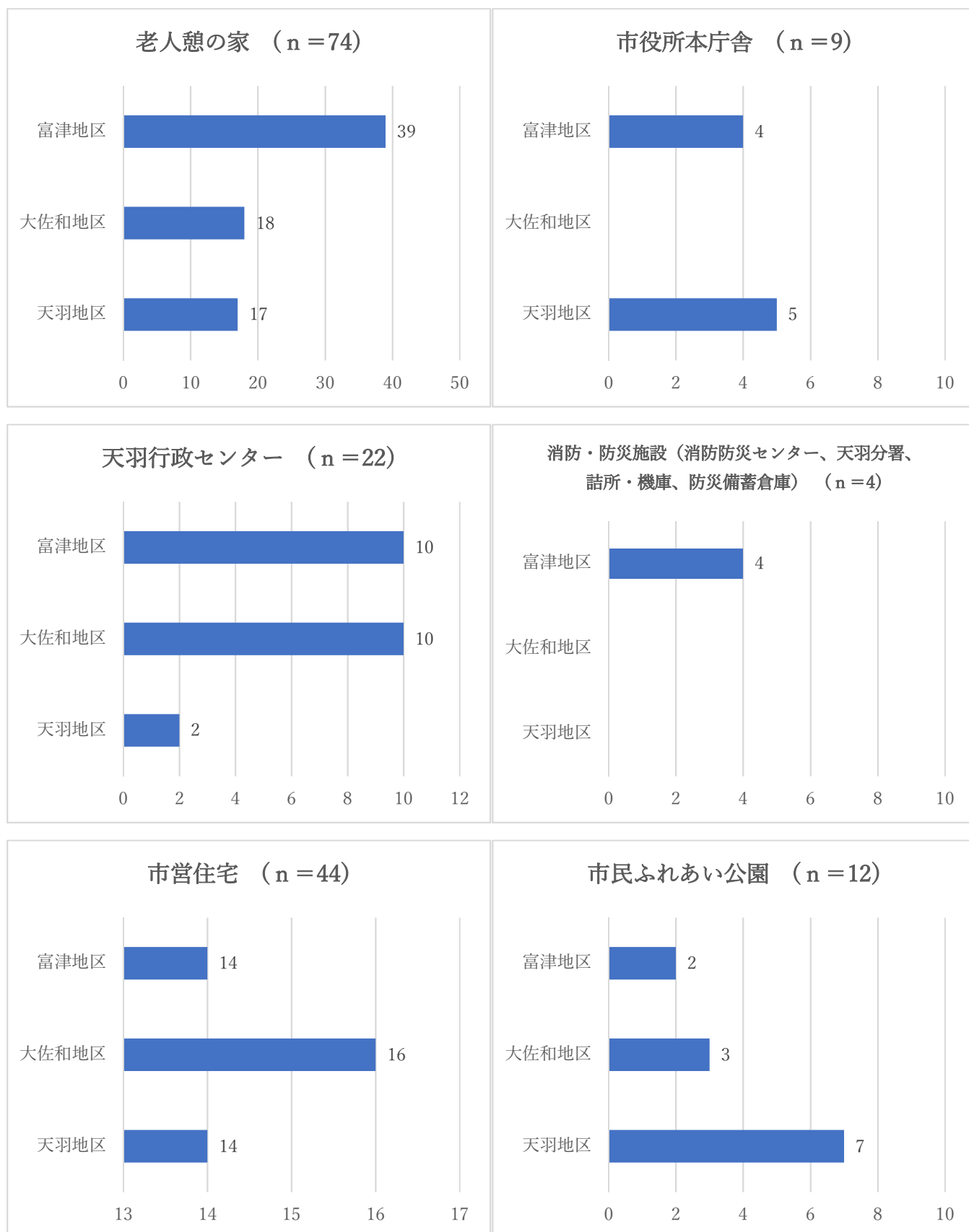
老人憩いの家について、地域別では富津地区（39）が多く、年代別では30代（20）、60代（12）、70代（10）が多くなっています。

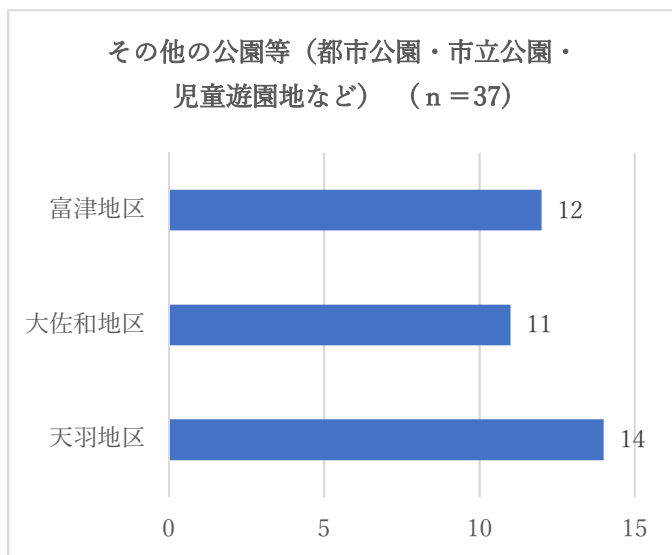
【地区別】施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設



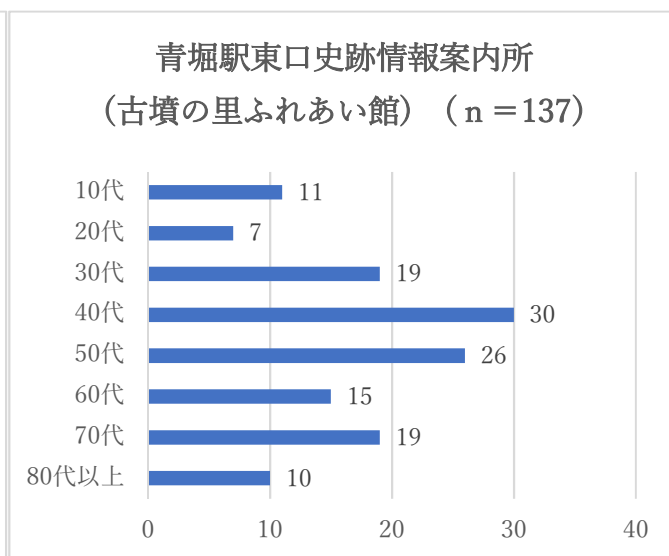
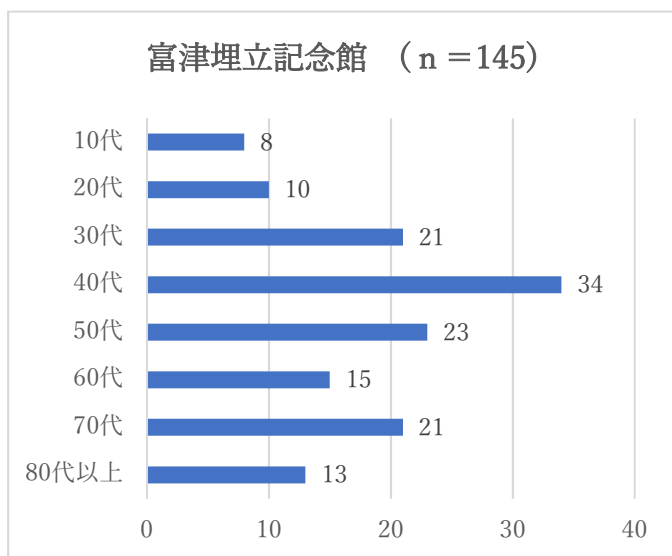
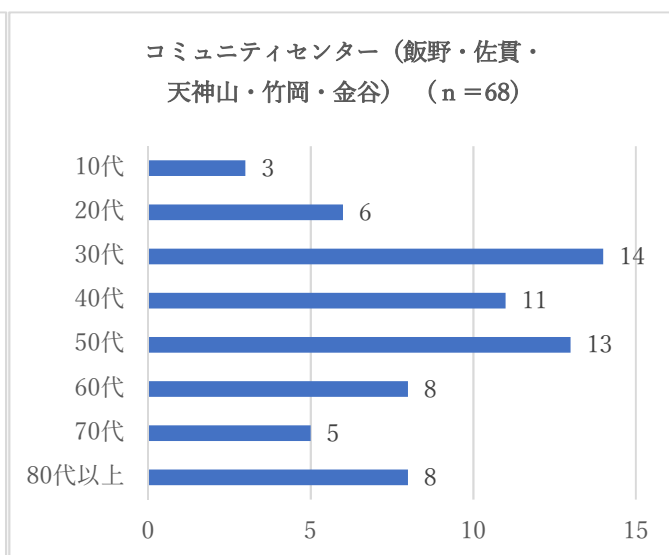
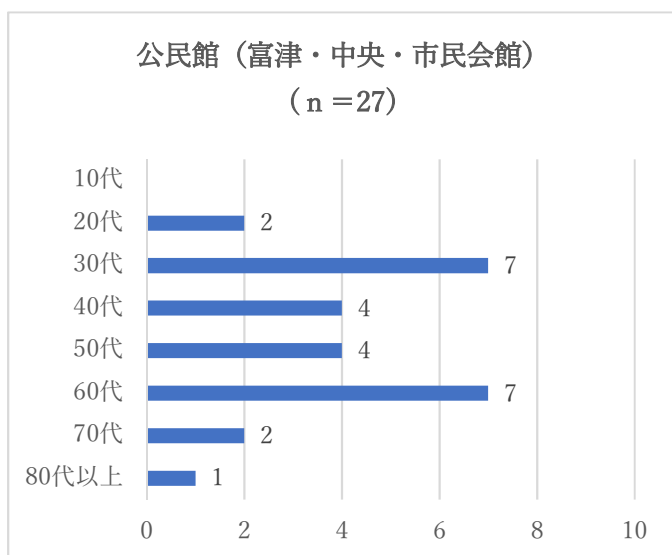




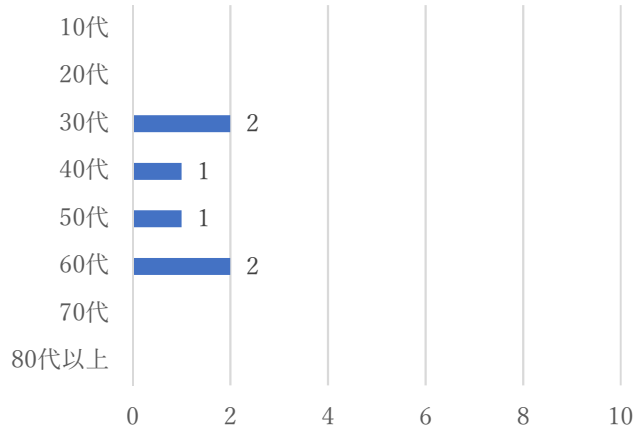




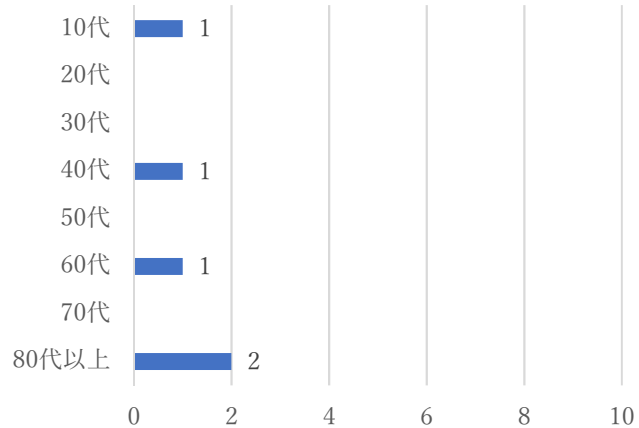
【年代別】施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設



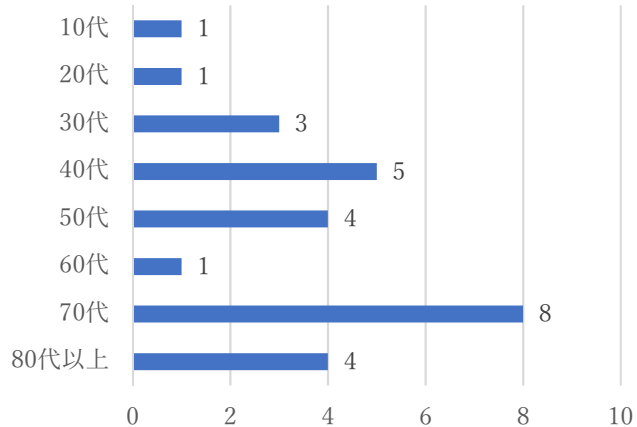
富津市立図書館 (n = 6)



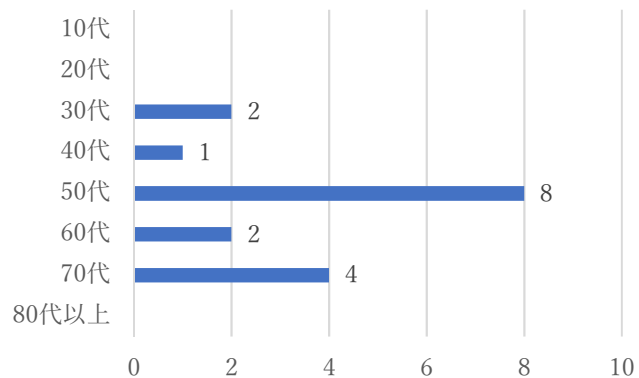
総合社会体育館 (n = 5)



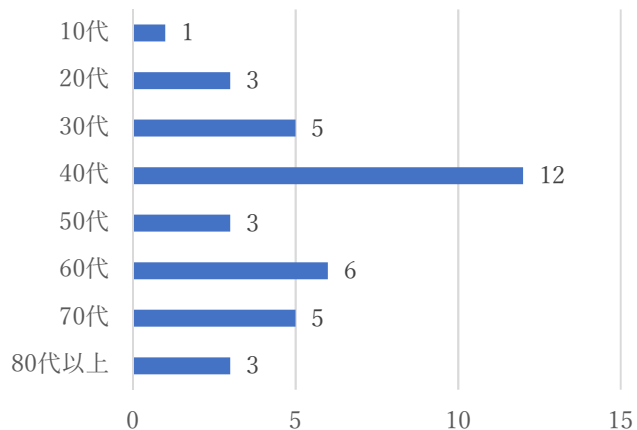
浅間山運動公園 (n = 27)



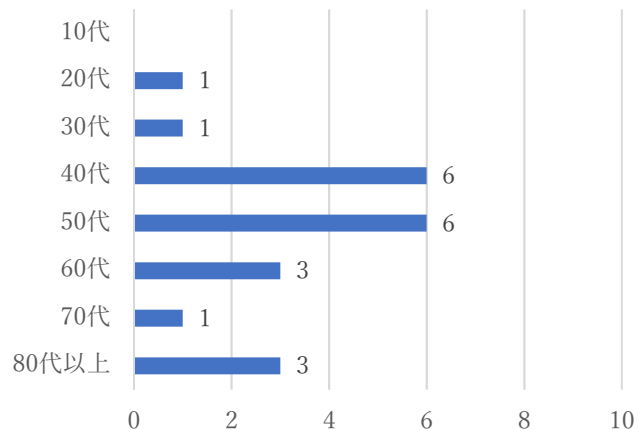
運動広場 (新富・富津)
(n = 17)



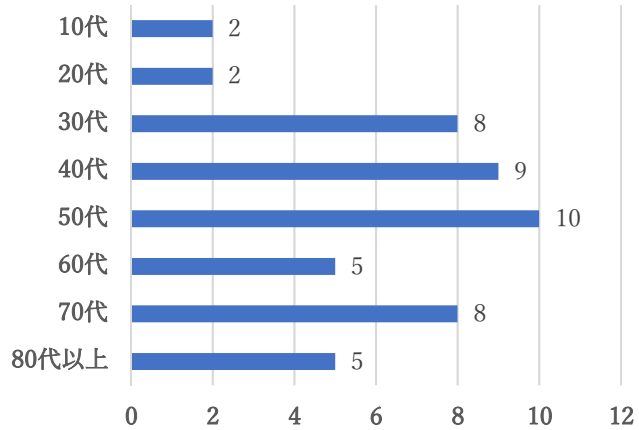
富津市民の森 (n = 38)



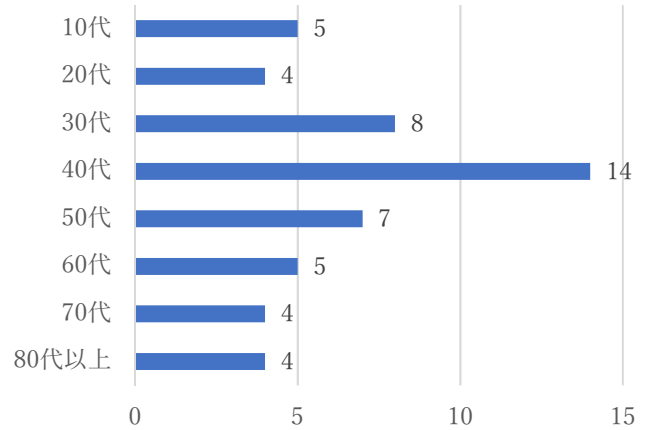
金谷海浜公園 (n = 21)



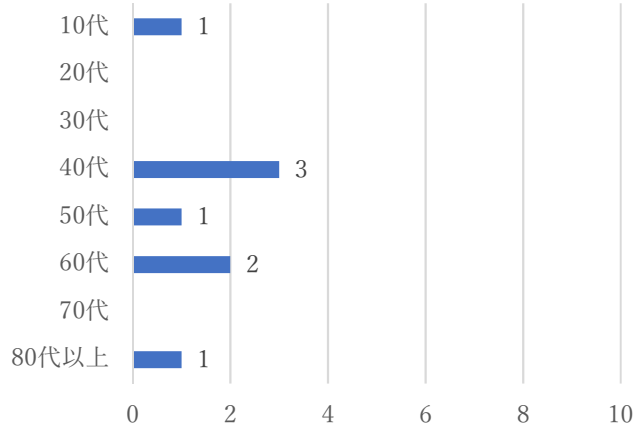
高岩山自然動物園 (n = 49)



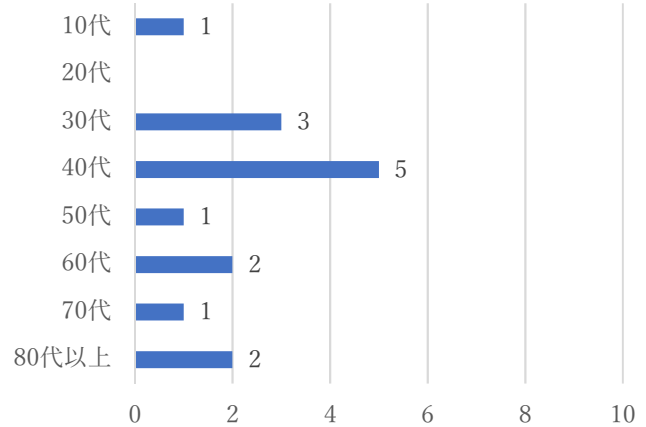
富津観光案内所 (n = 51)



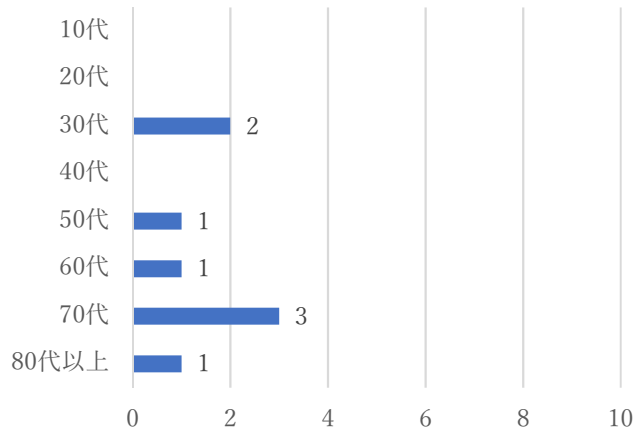
観光トイレ (n = 8)



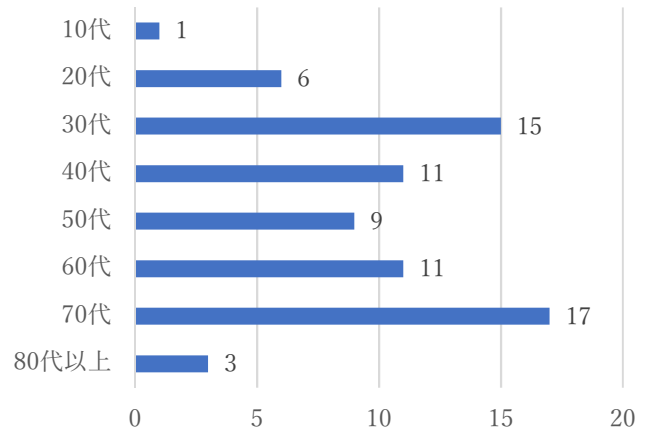
小学校・中学校 (n = 15)



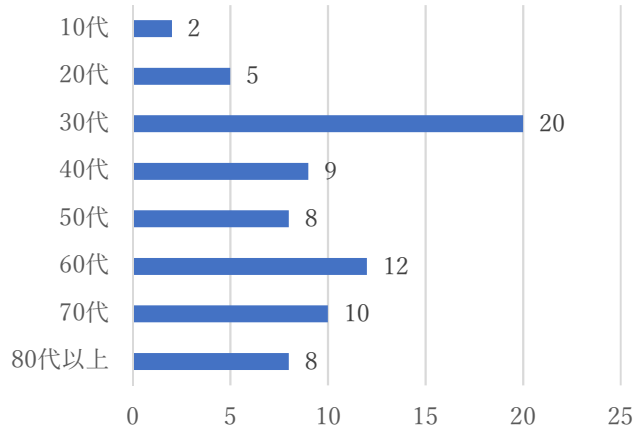
保育所 (n = 8)



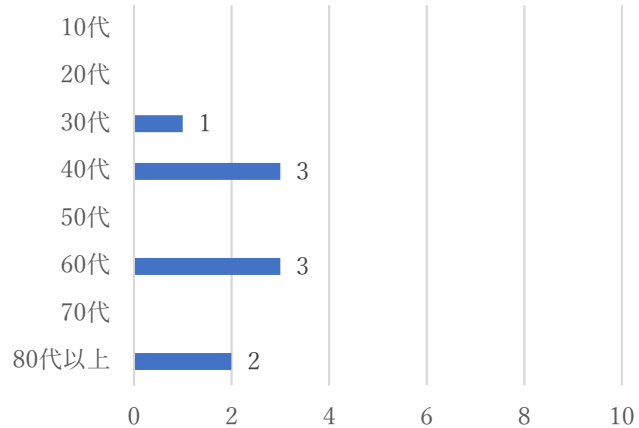
ふれあいシニア館 (n = 73)



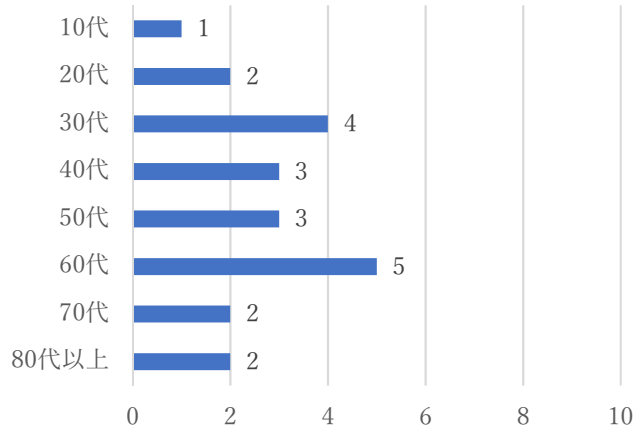
老人憩の家 (n=74)



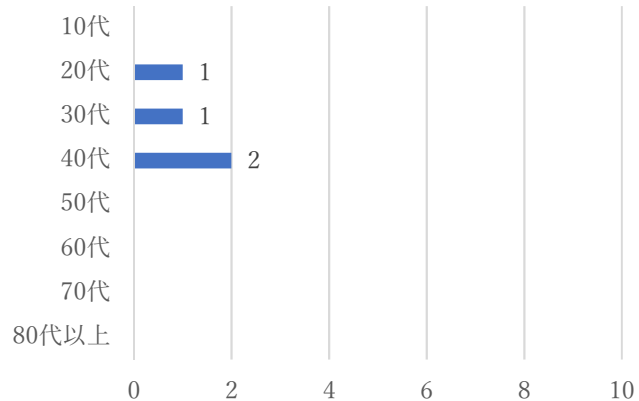
市役所本庁舎 (n=9)



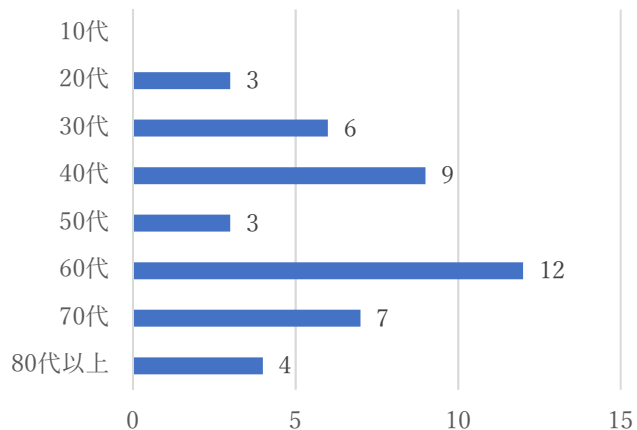
天羽行政センター (n=22)



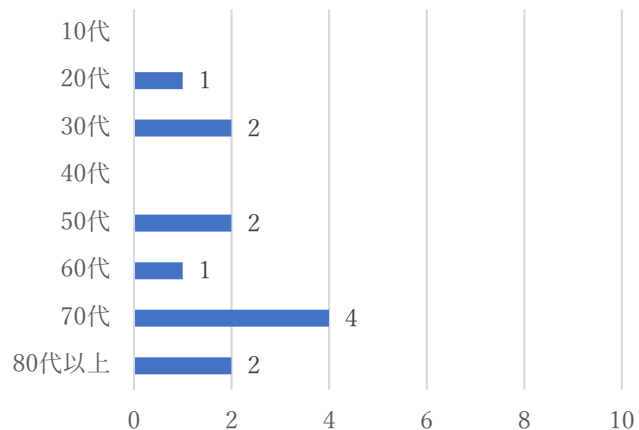
消防・防災施設（消防防災センター、天羽分署、
詰所・機庫、防災備蓄倉庫） (n=4)



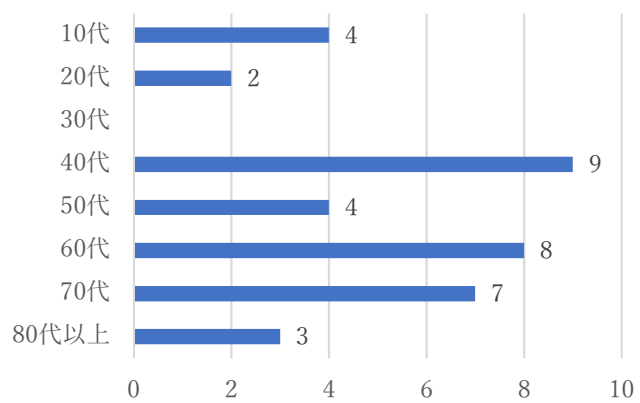
市営住宅 (n=44)



市民ふれあい公園 (n=12)



その他の公園等（都市公園・市立公園・
児童遊園地など）（n = 37）



7. 自由記載欄

(1) 4. 資料「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を参照いただき、この取り組みについてどう思うか

・評価する、どちらといえば評価する（回答理由）

公共施設を多く利用しています。もっと障害者用にも取り組んでほしいです。
少しでも富津市に良さを感じられるようになるなら良いと思う。
家族は図書館を特に気に入っています。月のお休みもあまりなく、イオンの時間と合っているので気軽に行けます。
利用者の少ない施設を見直し、廃止することは人口の減少を考えると、当然ではと思います。
人の手を借りての買物が不自由です。もともと運動は好きではないので体育系は、何も不自由を感じない。
問1に関して、住居地区は人が特定されやすいのもっと違う形にしてほしい。 利用頻度の少ない施設は、再配置または、別の形で利用できるようにした方が良いと思う。 ただ、高齢者の多い地区などは、歩いて行ける距離に公共施設を残してあげるべきです（金谷、竹岡、萩生など特に天羽地区）。通いの場を残すことは大切です。孤立高齢者を減らす。 検診に来ることのできない高齢者にコロナの時のようにスクールバスを利用して送迎してあげてほしい。避難所として利用するコミュニティセンターなどは洋式トイレを多くしてほしい。 市役所内のトイレも同様に洋式トイレを多くしてほしい。
給食センターの集約化は、大変評価できると思います。
文章の内容からよく検討されていることが伝わってきたため。
人口減少していく現状で、既存の施設の維持費、修繕費に優先順位をつけ、限られた予算で対処するのは当然なことと考えます
まず少子高齢化、若者離れについてなど、若者が富津から離れていくか考えた方が良いのではないかと。若者、子どもたちが遊べる場所が少ない。富津に住みたいと思えるまちづくりが袖ヶ浦、木更津、君津と比べてできていない。負のイメージしかない。
高齢のため、公共施設はほとんど利用しない。
もう少し大規模な再配置、改革を望みます。富津に移住できる、したい、そんな魅力的な市に変えていけたら良いですね。頑張ってください。
再配置は絶対に必要だと思います。税収＜費用とバランスが悪くなることも予想できますが、災害があった時の避難場所としての役割が持てる施設は何とか優先度をもって配置して頂けたらと思います。 また、環境としてはレジャー要素のある（例えば…富津公園施設トイレや休憩場所）をクラウドファンディングで少しでも維持の助けにならないかと思う。県外ナンバーの利用が多く、外からの人の出入りが多いのであれば周辺のお店には利益にもつながると思われます。
予算に合わせた取組を行うのは、とても良いと思います。 Aの資料において、円グラフを活用していますが、グラフのルールは守って表示してほしいです。量の大きいものから並べて表示するルールです。今回の図では、何がどう変化したのか、非常にわかりにくいです。

富津が明るく元気になるのであれば、賛成です。
上総湊駅の海浜公園の整備。一度雨が降ると、水がたまっていて、入れなくなってしまう。大体2日以上はその状況が続いていると思う。 ふれあい公園を毎月利用しています。とても景観が美しく、道も整備されている為とても助かっています。長く残ってほしいです。 市役所のトイレが古く汚い。転入届を出したとき、前の市の市役所と比べてびっくりしてしまった。
高齢者向けの施設ばかりではなく、学校教育施設に力を入れる点。 その他の内容がわからない点。
ぜひ税金ばかりかかっていて不要なものは廃止、統合、人件費の最適化などしてください。 そして、小志駒の道路を直して下さい。他の地域のきれいな道路ばかり不要な塗装が繰り返され我々の道は見捨てられており、今にも崩れそうです。街に出られなくなる未来が見えます。
人口に対して施設の数が多すぎると思う。
イベント情報など、訪問のきっかけになる情報発信があるとありがたいです。
無駄な施設は廃止して、若い人を呼び込み空き家バンクなど利用しやすい環境、市営住宅の設備。周りにビーチ海があるんだから、もっとコマーシャル。 富津は土地が安く静か、渋滞がない。市営キャンプ場の設備、グランピング、ドッグランなど、老若男女楽しめるようにしてください。
カナリエができたことを評価しています。ただ、駅から遠い、車がないと（免許証）行くことが出来ない場所にあるというのは残念。
コミュニティセンターなどは理解できるが、大きい建物の中央公民館、市民会館などはないのではないか、利用している人は大体決まっているように話を聞いている。
近くの公民館（二間塚）利用数が減っているので、いっそのことなくてもいいのではと思う。定期的にそうじなどをする必要もない。利用価値がない。
私は70代ですので学校教育施設関係、子育て支援施設等はその年代の母親とは考え方が全然違うと思いますので、すごく悩みます。
少子高齢化により、人口が減少していくため、必要な措置であるが、当初から利用率が低かったのではないのでしょうか。
色々な施設の廃止は、人口が少なくなっているのでは仕方ないと思いますが、不便になりますます人口の減少につながると思います。若者はみんな都会に行ってしまうと思います。
富津図書館について→期待していたが本が少なすぎて、借りたい本がない。 みんないっている。君津図書館まで行って借りている。 子供たちにとって市内で体を動かしたり、遊べるところがあるのは大切だと思う。公園にいても、壊れているものがあり、遊べないのはとても悲しい。住んでいる場所で遊べたり、お金を使っても遊べるところがあるのはとても大切なことだと思います。
使わない施設、古い学校は壊してもいいと思う。災害時に困らないよう、最低限のところは確保しつつ、更地にしたとしても、避難所がすぐ建てられるように？ 災害トイレや水道など用意があればいいかなと思う。
利用されることが極端に少ない施設は、同類の他の施設の利用でカバーすることができる。

今までは必要だったと思うが、今後は利用者も減ってくるのではないかと思う。
酷暑の中、冷房使用不可だったり高齢者が多くなっているのに段差があり、また、和室で椅子が必要なのになかったり2Fへの移動難しかったりする。
人口減、高齢化→財政が大変となる事、早期に検討した方が良い。
がんばっているのはわかる気はします。財源がキビシそう。今後も人口（国も地方も）減少することや、維持管理からの解放を視野に、公共施設（建物、ハード面）は減らし各区ごとの施設役割を市役所に集約。立派な市役所を活用すべく、公民館での催しやスクール、スポーツも市役所で行う。市役所を人が集う場所にして活性化を狙う（カフェなども設置し楽しめる場所にする。みんなが行きたいと思う場所にする！）。
必要に伴って小型バスを巡回。病院、スーパー、ホームセンター、市役所と新警察署など、主要施設を（各住民票などはコンビニでも取れる時代ですし）（イオンモールの利用も）。
人口増減により公共施設の見直しをすることは当然である。近隣のコミュニティセンター、運動場、集会場等見ても利用頻度が非常に少ない様に感じている。
公共施設について。利用者の少ない所は閉鎖して難しいかもしれないが格安で貸し出し、利用して頂く。移動手段の無い方には乗り合いタクシーを出してみても？ 子供の為、雨や残暑、強風などで外で遊べないときに利用できる遊具のある体育館がほしい。 今の子供はゲームや室内で過ごすことが多い気がします。 高齢者の憩いの為、居場所を残してほしい。
人口が減り高齢化が進み、高齢化対策が今後一層必要になる。そのための費用も増大するでしょう。人口が減れば、各種施設の利用者も減るので統廃合は止むなしでしょう。 道の駅、保田小学校のように転用できたらいいですね。
少子高齢化が進んでいる中ですので、施設の再配置は必要だと思います。各施設の利用率が問題だと思います。利用する市民は限定的な面が多分にある様な気がします。
限りある財源の中で、現在の市民が心地よく住むための取組として、適している方向性と思ったため。
閉校した学校の再活用は特に良いと思います。一部地域では、教室ごとにオフィスが入る施設になっていたり、色々可能性が広がるかと。
財源が限られるため、選択と集中により効率的に使わざるを得ないから。
富津市は住みにくく生活しにくい市だと思うので、財源を無駄に消費しない様にする試みは良いと感じたため。
人口は右肩下がり→子育て関係分かるが、調整区域見直し進まず住宅建設不可→君津や木更津に移住。太陽光発電の空き地天国。劇的に取り巻く環境の変化が進んでいます。民間と行政のスピード格差を感じます。各設問の中に情報としてSNS利用項目無い。
老朽化している施設や機能が重複している施設の見直しは、人口が減少しているし必要性を感じるから。
人口減少と共に高齢化のため、施設等は集約したら良いのではと思う。
利用頻度の少ないものは廃止した方が良いと思う。
行政サービス過剰、税金のムダ使い、ネットで完結すべし。
人口減少に伴い税収入が少ない中での取組みとしますので評価いたします。

日々自分の健康維持に精一杯、富津市の財政が大変なのは薄々知ってはいますが、何もすることでもできず若い人たちにお願いするだけです。生まれ育った郷土がいつまでも後輩の人たちに自慢できるようお願いいたします。
適正化は必要だと思うが、まず公務員が身を切るべき。質が低い。
再配置計画を市だけで考えていくことも大切ですが、市外の取組（大学、企業等）の情報も活用していく方が計画の広がりが期待できると思います。
市の人口減少と、老朽施設の対策を事前に対応しようとするのは良い。ただ、修繕はしなくてもよいと思う。移譲・または解体で良いのではないか。
各施設の利用者数が減ってきていることを考えると再配置は必要だと思うが、再配置をする以上、弱者に優しい街づくりをしていくには、誰でも利用できる交通手段を提示する必要があるのではないかな？ ただ人的・予算の軽減だけを考えた再配置だったら、なぜ今なのか？ もう少し早い段階で検討はできたのではないかな？
安全性を考慮したら必要だと思う。
子供たちのために公園を作ってあげてほしい。遊ぶ場所がないのはかわいそう。
手ぬるいと思う。どんどん廃止すべき。
人口減少や、過疎化問題で各地区にあった連絡所や出張所が廃止になったのは仕方ないと思うが、大層不便だろうなあと思像する。まだ自動車を運転でき、移動には不自由していないが、この先のことを考えると他人事ではない。 閉校した小中学校の利活用が、富津市の魅力を広められる事業者を活用されることを願っている。 公共施設がどんどん老朽化してくるものだと実感している。限られた予算の中で修繕や改築・新築のための費用は難しいとは思いますが、他県に観光に出向くと学校や市町村施設がきれいでうらやましくなる。規模の見直しなども含めて、より良い施設の充実を希望しています。
老朽化や維持に莫大な税金が使われるぐらいなら、減らす方向は当然です。このように市民にアンケートという形で意見を求めてくださるのは良いことです。
とにかく富津を元気にして欲しい。素晴らしいところを活かしきれていない。ふるさと納税などもしっかり取り組み、納税をしていただき、ぜひ公共施設を改修し富津に住んでいる人、訪れる人に富津の素晴らしさを知って貰いたい。
数を減らしてコストを削減している。
少子化に伴って学校教育施設の割り当てが少し少なくなって、他の施設に割り当てられてるから。
施設建設前に市民に色々と宣伝、理由等知らせてほしい。皆知らないことが多い。
費用がないから仕方ない。家庭でもお金がなければどこかで節約するしかしかたない。それがいやなら収入を増やす（転職等で）しかない。行政は転職はできないので、人口や企業を増やし税収を増やすしかない。 ただ、人口や企業を増やさずに現在の市民の税金を上げるのは絶対に反対します。行政の目線ではなく庶民や企業の目線で対策をすることが良いと思います。

地域全体の中で利用する動機の範囲が解らない。年1回位は必要に応じて活用できれば良いと思います。
公共施設へのアクセス等の不便さと不必要な施設が多い。利用しやすい施設が望ましいと思う。
地域、地元の意見等、少数の声も大事にしてほしい。
必要がないものにお金を使う必要はない。また、転用するなど工夫していることが評価できる。ただ、行政関連の施設がまだまだ多いような気がするので、要不要の判断を引き続き実施して欲しいです。
富津市、富津市民の将来のことを考え取り組む事は良い事
公共施設の状況を表す資料の円グラフが非常に見づらい、似た色を使用しすぎ、%上位順でもない、見る人のことを考えて作られていない。 施設更新の要否は、現状の用途・利用者数、将来的にはそれがどう変動するか、費用対効果の観点からも、優先順位、序列をつけて線引きをする必要がある。そのための現状把握のリサーチが今回のアンケートとすれば一定評価するが、ここまで来るのが遅すぎる。10年ほど前に財政破綻のニュースが流れ、住民説明会が開かれた。その時に取り組んでここまでやっていなかったのか？と危機感スピード感のなさ、一般的感覚からのズレ、鈍さというものを市役所というお役所体質につくづく感じる。
人口規模に比して3館の維持は過大であるように感じる。
精査する必要がある。
人口の減少と公共施設を維持していく費用を考えると、見直しは必要だと思う。
人口減少及び高齢化等による税収減少。

・評価しない、どちらといえば評価しない（回答理由）

1.具体的な取り組みがわかりません。 2.目先のことばかりで、将来（10年後、20年後）を見据えた取り組みを考えてほしい。このアンケートも箱物（建物）の再配置であり未来像がうかがえない。 3.若い人が住みたいまちづくりを考えたほうが良いのでは？ 4.富津市全般の道路網があまりに貧弱である。→もっと力を入れるべき事項だと考える。 ※ひとつ伺いたいのですが浅間山地域のメガソーラーは将来も継続されるのですか？
人口が減少しているのに公共施設の再配置取り組みなど検討しているのは、おかしいと思う。財政等はどうするのか、必要ではないものは再配置しなくて良いと思います。テレビなどでやっていますが、30年以上も不況で財政が回っていない状況でお金はかけない方で良いと思うし、今後について検討した方が良いと思ってるからです。
計画性が低い。こうなる前に目先にとらわれず先進性をもって考えていけば、もっと無駄なく市の予算を使えたであろう。廃止が解っているものを耐震工事をしたり、もう少し早く手をつければよかったものが手遅れの状態になったり、見直しも時代の変化を早く察知して早く別の手を打つなりすればよかっただろうに。施設も公務員等が良く知っていて利用活用している。活用法を考え出すことが必要。市の活性化のためにも頑張してほしい。

お金の使い方が必要なところに使われていない。いらない道路など無駄な所に使ったりしている。本当に必要なところにお金を使ってほしいです。
まずグラフが見つらい。比較するグラフに円グラフを使うのはわかりづらいと思う。単位も㎡でまとめてあるが、施設数で見せてもらいたい。 公共施設はもっと減らしていいと思う。木更津のように、イオン等にテナントとして入れる施設は入ったらいい。少子化対策として子供たち、子育て支援施設は維持してもらいたいところだが、使う人が減っていくことに変わりはないので、年齢で分けずに子供も高齢者も使える施設を維持してほしい。同じような施設、(公民館などは) 地区で分けず、まとめてバスや予約制の送迎車で対応するのはどうか？ A の書類だと、どのような施設がどれくらい減ったのかわかりづらい。
自身の子供に帰ってきてといえない。他の市や都内に住んでいる。公共交通が不便。夜間に照明がなく歩道には街路樹の根が、アスファルトがもり上がりつまずく。発電所がある市とは思えない！ 広いので古いものを見直すことが出来ないのは理解しているが、新しい考え方を少しでも取り入れた方が良くと思う。今レトロブームやインバウンドを良い機会にとらえて、富津岬までバスを走らせて夕日の名所として人を呼ぶなどもよいし、アクアラインの混雑を逆手にとって東京湾カーフェリーの便を増やすとか。
再配置 建設費 新規発生(将来)維持費と現状維持との比較検討。 現状維持費<今後の維持・建設費を含む築 100 年の古民家建築の検討。
情報が何も入ってこない。
将来への展望が見えてこない。施設を市民に移管して維持管理を含め市民に丸投げをして終わりですか？
利用していないものに税金を投入することに評価できない。人口が減少している為、税の収入も減るので使用しない物(建物)は民間へ移管するようにしてほしい。
施設の廃止が遅い。
広場がありあまっているので、色々な商売があるので初めから現金を何パーセント取ることをやめ、現場貸しの代金は取ることをやめ、出店が良くなれば少しの出店料を頂くこと。 それまでは、出店料は無料です。常備類は各自店側で精算のこと。
もっと他に無駄なことに金を使っているところはありませんか？ 細かい所を見直すより大口の見直しをした方が良く考えます。このままだと富津市は県内で最低な市になってしまいます(何の魅力もない市、人口減は当たり前。)
公共施設の充実化よりもバスを充実させてほしい。若者が不便でいなくなっています。
趣旨は大いに理解できますが、富津市が今後どうあるべきかという話抜きには評価しようがない。人口に対して土地が広く、非効率な市をどうするか？ なぜ不便な場所に市役所があるのか？ 駅のあるところに公共施設を集中し、機能をコンパクトにすべきです。 また、観光か、工業か農・漁業かもはっきりすべきです。税収を増やす方法はあるはず。東京に近いですから。
老朽化した施設の廃止、他団体への貸与、民間への経営のアウトソーシングなどを今以上に積極的に推進していくべきである。

少子高齢化が進行することを考えると、スポーツ施設の整備を進め子供、高齢者の利用しやすい改修を進めるとともに、施設利用料金の無償化を実現すべきである。それに伴い一般利用者の施設利用料金の見直しを行う必要もある。（陸上競技場が 100 円以下で利用できる現状はどう考えてもおかしい）他市の料金並みにすべきである。
小中学校などの統廃合や再配置などが行われる中、それ以外の施設にお金をかける必要はあるのかと疑問に思います。 財政の負担を減らすためにも考え直した方が良いのではないのでしょうか。
減らすことを考える前に、いまあるものを活用出来るよう最大限努力していない。それでは数を減らしても同じ。
再配置よりやるべき事があつたらそっちを優先的にしてほしい。
1.公共施設の解体よりも先に、市民の移動手段を考えるべきでは？ 例えば他市町にみられるコミュニティバスの運行等を考慮してみたら如何？ 2.公共施設の利用に関しては催しものの周知不足が目立っています。 少しカーナビの案内を見習うのもアリ！（1000m-700m-300m-ココ） 3.市の運営に関し、保護主義に徹底してみては？（職員&市の委託業務等） 4.市の中央部過疎化について、カーボンニュートラルが注目される昨今、実用原発（高温ガス炉）の誘致は魅力的である。実験炉は 10 年以上前に東海村にあり、山の中の設置可。政府の自然エネで 40%の電源を得るなど不可能である。
交通の便が不便で運転免許を持たない物としては住みにくい町、地元の方は車中心の様。
お金のかけ方がおかしいのではないかな？
人口の減少に伴い使用者も減り必要ないと思う。
人口が減少するなか、公共施設の再建設などは不要ではないか。人を呼ぶためにレジャー施設のようなものを作って、回していくのはどうか。
学校教育施設、子育て支援施設、保健福祉施設が減っているから。
小中学校が無くなるのは寂しいけど仕方ないか。

7. 公共施設の再配置についての意見

・施設に関する意見

市民が使用するものと訪れる人が使用するものを分け、利用者と経費を示し、地区で話し合ってみてはいかがか。
富津市内の中でも、富津大堀地区は若い人が多く、車を利用する人やバス、タクシーなどが十分あるので、そちらから再配置してほしい。 天羽地区（特に）は、高齢者が多く、自転車、徒歩が多い。バス、タクシーがないので、近くに公共施設は残してほしい。
利用数の少ないものは早急に見直し、維持費、人件費を節約。有効利用できるスペースを貸し出し、（低額で利用しやすくする）無駄なスペースをつくらない。 市民が足を運べる（足を運びやすい）施設設置をよろしくお願いいたします。

建物が古くなることについて、常に月1回、2回など点検手入れが必要だと思われます。そうすれば、建物は長く使用できる可能性があるし、古くなってから手入れはおそいと思われます。

3つの公民館は必ず必要なのでなくさないでください。いろいろなヨガや体操をしたり、とても楽しく利用させていただいています。市民の生きがいとなっていると思います。

あまりに利用していない施設は統廃合した方が良くと思いますが、それも壊したりするには、また大金になると思います。いらない施設は壊したりしないで、それを利用して利益を得ることを考えたらいかがでしょうか？利用していない施設は民間に貸して利益を得る。壊したりすればまた大きな費用がかかります。いろいろなことをして、富津市を楽しく、住みやすく魅力ある街にしましょう！

何時も公民館を利用させていただいて、とても感謝しています。3つの公民館はとても大切です。市民の心の量となっています。

浅間山運動公園の必要性？→総合運動場の有効活用

ふれあいシニア館と老人憩いの家の違いは？→利用頻度？

富津市は南北に長いので交通手段を考えるとシニアの人には利用しにくい→コミュニティバス等の検討。

機能が重複している施設を廃止、統合し施設数を減らしたら近くにあった人は遠くなり、通わなくなる。施設が今までよりも少なくなったら富津に何があるの？と今までも言われているのに…。

もう少し人が集まる魅力的な施設新規開発他、まちづくりに注力ください。今までのままでは若者離れが加速していくだけです。

思い切った廃止は必要だと思います。市民がもっと関心を示し、意見ができるだけ届くようにこのようなアンケートなどは回数を増やしていただきたい。

富津市が色々努力（企業誘致等）しているのはみんなわかっていると思います。努力を重ねた上で維持しきれないものが出てしまったのならば、説明を要すると思いますが、仕方ないと思います。

ただ、先にも記入しましたが外（県外）に向けた施設の改修に票を要するのであればクラウドファンディングもありだと思います。すべて税金で補う時代ではないと思います。

個人的には子供がいないと先細りになると思うので、教育の場、子供が必要とする施設は大事にしていきたいと思います。社会体育館とグラウンドは学校以外の利用団体には世間の平均的な利用料を徴収してもよいと思います。

かんぼの宿のような施設と違い必要性（サービスも）があって作ったものは、規模を縮小しても残してほしいと思う。埋立記念館等はずっとPR、イベントを考えて広めたら、地元の歴史を知るうえでよいことだ。シニア関係は知らない人は知らない。

人の動きのはっきりしない市だが、隣の市の様に施設の出入りが目立つ、はっきりしたものがあれば、もっと広まるだろうと思う。

木の建物なら、増やしたり減らしたりが簡単だがコンクリートは増やすのも大変だし、減らすとゼロになってしまう。未来を見据えて話し合っ、早めなこまめな調整をしてほしかった。デジタルではなく、ゼロかイチではないところで、進んでいってほしい。

再配置において利点、欠点をよく吟味して実施して頂きたい。
公園の遊具の見直しをしていただきたいです（新しいものを増やす、使用禁止になっているものを直す）。
コミュニティセンターの存在を知らなかったです。公民館は数を減らしてもいいと思うが、公共の交通機関が不足しているため、車がない方が必要時に足を運べない懸念もあると思う。
今回は建物のみのことについてですが、維持していくための人件費等もふまえて検討して頂きたい。 公共施設を縮小させていくことに対しては、積極的に行ってほしいと考えているが、災害時の避難場所が減ることに不安がある。ハザードマップでの安全性の高い場所に避難施設として使える施設は維持してもらいたい。
利用者数が少ない施設から積極的に廃止していくべき。地域住民での管理は共働き世帯が多く、定年も延長している中で無理があると思う。また高齢化で管理していける人もいなくなるのであれば、利用者が偏っていたり、利用していない施設は無くしてほしい。
利用されていない施設があるのであれば、減らすことを考えるべきだと思います。しかし、少しでも市民から必要とされているのであれば、存続を考えるべきです。 使用頻度と照らし合わせた廃止検討基準を設けてはいかがでしょうか。
利用数の少ない公園の一部や、運動広場に遊具を置いたりドッグランにして欲しい。
図書館はいらなかったかな。人口 4 万人（利用者がいない）。税金をもっと有効活用してください。
保育所や小学校、中学校は家から近いところがいいのでなるべくそのままの場所で存続して頂けたらと思いますが、難しいことも理解できるので悩ましい所です。
二間塚の公民館必要性が全くないので廃止お願いしたい。
少子高齢化により、人口が減少していくため、必要な措置であるが、当初から利用率が低かったのではないのでしょうか。
高宕山自然動物公園、富津市埋立記念館はいますぐ廃止すべきだと思う。高宕山自然動物園に大人になって子供と一緒に一度だけ行ったら野生の猿がたくさんいて、買った餌を奪われてひっかかれた。機能していない。すぐに帰った。市で運営しているとは知らなかった。やめてほしい無駄だと思う。
旧町村単位はもう考えなくてよい。一か所に集約してコミュニティバスの本数を増やせばよい。
もっとまとめて数を減らすしかないのでは。今のままでの維持は難しいと思う。ニーズも多様化しており、オンラインでの手続きなども可能な世代になっていくので箱は少なくても良いと思う。 施設を減らしても災害時に困らないように。施設を減らすと移動手段足が問題になると思う。ドローンとかオンライン診察とか移動投票所とか移動販売とか、施設に投資するのではなくそういった新しいものにチャレンジしてみてもいい。
維持するべきと考える施設は 全部。施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設 なし。
人口減少や財政が厳しい中、また、住民の理解を図りつつ再配置をすすめていくのは、大変だと思いますが、コンパクトで住みやすい市になればうれしく思います。

高齢化もあり歩いての移動は困難と思われ、車の移動になる事が多くなると思われるので、大きな施設は統合しても良いと思われる。
高齢のため、高齢者施設（デイサービス）、市役所本庁舎（予防接種、各種申請書等）など、行動範囲が限られるため、再配置の件は「どちらかといえば評価する」が、近隣の公園等は家族に連れていってもらっている。公園は維持してほしい。公園の維持管理費がかかるのは承知しているが、富津市の公園は良く管理なされていると思う。
公園や休憩所をもっと建ててほしい。
どんどん無駄、利用頻度の少ないものは見直すべきである。
上総湊駅周辺に公共施設を再配置してまちづくりをしてほしい。富津市役所を今のところに移転したことが、人々の往来を分散して町の衰退を招いたと考える。市民会館の立地を利用し再整備してまちづくりを考えていただきたい。 君津駅まではJR 乗り合わせが良いが、君津駅以南のJR 乗り換えが大変なので上総湊駅の改装、駐車場の整備、店舗等呼び込みしてもらえたら、移住者も増えると思う。
問5 に関して 公共施設はそれぞれ性格が違うので、十把ひとからげにされては答えようがありません。文化的な都市にしたいか、したくないかで自動的に決まると思います。「税金を増やすために〇〇をする→だったら△△は必要ない。」が考える上で必要な気がします。ただコストカットでは、多分あとで後悔します。
市民の安全・安心な町づくりに生かせない施設の充実の優先順位をはっきりさせて、再配置、廃止の計画を進めてほしい。 少子高齢化に向かっているが、人口の減少に歯止めをかけられるような施策を大幅に進めていく必要がある。いすみ市や鴨川市のような魅力ある移住先というイメージが富津市には欠けている。観光地としての価値から更に進めていってほしい。
・ 広い緑（山林・田畑）の多い富津市の面積に対し、人口減少と交通機関の不便が増し、近年の少子高齢化が進み、次世代を継ぐ若い方々が市外の利便の良い所に転出していくような考え方が増えてきたようです。 ・ 公共既存施設保有総量の減と、特に少子化に伴う学校教育施設の減量。 ・ 市の公共施設につき、令和4年度末の割合表を見ますと、約40%強を占める学校教育施設となっていますが、少子化減少比率位まで既存施設の減少、廃校施設の部活動専用施設等・民間業者への譲渡をしたらどうかと思います。
ふれあい公園にて老人のスポーツができる道具場所があったらよかったと思います。パターゴルフ、グランドゴルフ等。
富津市立図書館。図書館がない市は初めてです。せっかく出来たので絶対なくさないようにお願いします。富津市役所の場所を変えないようにお願いします。
再配置をする前に利用を最大限引き出せるように工夫、努力して下さい。努力が足りません。市役所に座っているだけでは何も良くなりませんよ。
統合ありき。
早急にスピード感を持って進めるべき。アンケート意見は行政に反映されるのか？

統合できる施設、廃止できる施設を積極的に扱ってください。
すでに公共施設の利用状況等を市として把握済みと思いますが、再配置について慎重な意見がひとつでもあれば話し合いを丁寧に行ってほしいです。
老朽化で建て替えるのはわかるが、建物自体をもっと低コストにおさえてほしい。ベンチャー企業などの新しいテクノロジーなどに目をむけるべき。
市内にすばらしい施設があることさえ知らなかった。自分が恥ずかしくなりました。人口が減少し小中学校も統合の中ですが、親子で共同作業や見学する機会を増やし市民の皆様に施設の利用法や施設のあることを衆知させることもいかがでしょうか。古典的ですが一步步進めて下さい。
日頃から市政の推進に尽力いただき誠にありがとうございます。今回のアンケートを通じて、公共施設の維持に多額の費用がかかっていることを知りました。施設の維持管理費用については、私達市民の大切な血税が元となっていますので、今後も施設の保有量の適正化に努めて頂きますようお願いいたします。 各コミュニティセンターや福祉施設などは、高齢者の集いの場所としての大切な役割があると思いますが、このような施設は一定の地元地域住民しか利用しておらず、維持管理費用もかかるため、今以上に集約化及び廃止を推進した方が良いと考えます。 上記の施設は、インターネット文化があまり普及していない世代が利用している現状ですが、これから先の世代はインターネット文化が身近にある世代が中心となっていき、物理的な距離があっても（ハコモノが無くて）誰かと繋がることのできる時代になってきていますので、いずれ不要になる施設だと思われます。公共施設の保有量の適正化を目指すのであれば、30年、40年先に利用する年代の意見をより多く取り入れるべきだと考えております。 すぐには受け入れ難いと思われそうですが、近年の情報社会化が進む中、今ある施設が今後も必要である保証は何処にも無いと思います。
・新築はしなくていい ・修繕などは施設の利用率、方法によって集約すればよい（資料館、案内所、小規模集会所）。学校の空き教室や、まだ使える建物へまとめるなど。 ・利用しない施設に税金を使われると市の魅力がなくなる。
あまりの必要のない市の施設が多く、その施設について継続して維持管理することは無駄なことだと思う。40年以上富津市に住んでいるが、だいたいどこにあるのか、何をするのかわからない施設がほとんどだった。
施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設について、利用したことがないので強く言えません。ただ、利用する人が極端に低く、施設維持に多額の費用が掛かる場所はなくしても仕方ないと思います。再配置の意見ではなく「気になっていること」 ・市民ふれあい公園や富津公民館を利用させてもらったとき「トイレ」を使いました。「トイレ」の水が古いからかあふれるほどジャージャー流れます。水がもったいないなあーと思っています。節水できないでしょうか？ ・市民ふれあい公園のトイレは一部改修工事入っているので節水に今後なるといいのですが。 ・再配置の集約をもっとまとめて減らすことが出来ませんか？
維持費がかかる施設は廃止する。

利用頻度が少ない施設はできるだけ早く廃止する。利用頻度が多い施設はサービスを拡充する。
市民の安全に関わるものは、規模は縮小しても残してほしい。
少子化高齢化の中で利便性や子供達を育てる環境を考えた施設を考えるべき。
公共施設の統廃合を進める事は、大いに賛成です。利用の少ない施設は積極的に取組むべきだと思います。街中の街灯やふれあい公園内の街灯をもっと増やすことで防犯対策にもなると思います。
老人ホームなど高齢者が使用する施設は高齢化に伴い増やして行った方がいいと思う。小さい子から高齢者までが利用できる施設を維持または新しく建ててほしい。
移住者など、市民数を増やすことを考えてほしい。公園等、次世代を担う子どもたちが利用できるものは残したい。
保育園の老朽化、補修を行うではなく、新規に建て直す考えが良いと思う。富津市は土地は広々としていて建て替えスペースはたくさんあると思う。教室の面積で保育の人数なども変わるので、未来を見るならまず、新規の受け入れは子供達が使うものからだと思う。待機児童問題も市外からの受け入れもできる規模にすると良いと思う。
いくつもの公共施設があるようですが、利用がほとんどない施設についてはなくすべきです。
保育所や小中学校の施設維持は慎重に行ってほしい。いきなり廃止や統合は避けるべき。
富津市は広いので、単に利用者数が少ないからというだけで廃止するのは反対です。例えば天羽地区の方が富津地区まで来るのは大変なのではないでしょうか。特に高齢の方は移動手段も少なくなります。再配置の必要性は理解できますが、高齢者の利用者の切り捨てにならないような配慮は必須だと思います。再配置するならそこまで行く手段まで考える必要があると思います。
再配置については地区要人・代表等で検討なさった方が良いと思われます。
市民が利用活用しやすい公共施設に再配置するのが望ましい。
ショッピングセンターの空いているスペースを借りて、コミュニティセンターなどを設置するなど、民間企業と協力して欲しいです。利用率が高くないが、まだ利用価値のある建物は思い切って民間企業に売ることも検討して欲しいです。 高齢者が増えているので、バス停の近くの施設は残して利用するなど、利用者が通えることも考えて計画して欲しい。
富津の公園は広いので年会費等取ってドッグラン作って欲しいです。
子育てに関わる施設は維持していただきたいです。
若い世代においての施設は、車がないと生活できない地域なので皆さん車をお持ちなので、大きな施設を一つ活発に運営していただければ点在する必要はないと思います。
公園を増やす、遊具を増やす、現在の遊具を補修する。
使用頻度が明らかに低い施設は統合廃止すべき。

本アンケートの設問内容の設定に疑問を感じます。市が維持すべき施設が３つに限られ、その選択肢に、小中学校、保育所や、消防署が含まれています。最低限この３施設は必要と思い選択しましたが、これら３施設を選択せず、これよりも優先して維持すべき施設を選択された方の意見を、市は参考にされるのでしょうか？

なお、次の規模見直し、廃止に関する選択については、市の持続可能な施設管理のため、特に過大であると思われる施設を選択させていただきました。更新時や、建て替え時、又は新たな施設を建設しなければならない場合には、アンケート冒頭にも書かれていた、人口減少や、財政状況を鑑み、相応の施設規模とされるよう希望します。

富津市民でも知らない施設が多すぎる。誰が利用しているのか？ 一体誰のための施設なのか？ 市職員でも同じ認識の人多いのでは？ 誰の顔色を伺って、忖度して存在させているのか？ 不要なものは不要で廃止すべき。逆にこれだけ知らない施設が多いということは、広報が下手とも言える。

住民の意見を聞くのも大事だが、これだけ多岐にわたると第三者的視点からコンサルで覚悟を持ってバッサリ切り捨てる必要もある。

税収で修繕費を賄えば良いという考えは改めて、今後、労働人口が一層減少する中で持続可能な展開を考えるべき。市内の民間企業へ外注できるものは外注し、お金をクリーンに循環させる仕組みも大切。

人口が減る→公共交通機関の本数が減る→施設利用者が利用しづらい→過疎→施設が減って住みづらくなる、の悪循環になっている。利用者が少ない施設があるか、その代わりになる施設が近くにあるのなら積極的に減らしていくべき。結局人口が増えないことには支出を抑える方向にしか舵をきれないのだから、富津市に人口が流入するような政策に金を使ってほしい。日本の地方の市はどこも同じような状況になっているのだから、その中で上手くいっている市を参考に取組んで欲しい。

気軽にスポーツをする場所がなさ過ぎて小中学生が可哀想です。

もっと自由にいつでも使える場所を与えてやりたい。バスケットゴールなどを設置して欲しいと強く希望します。

小学校、中学校について。これからの人口減少、現在の施設設備の状況、教員不足等を考えると３小学校、３中学校が当面の適正規模であると考え。富津地区、大佐和地区、天羽地区の小学校をそれぞれ１校に再配置したほうがよい。スクールバス等の予算はかかるが施設設備や教職員にかかる費用はかなり削減できる。学校の再配置についてはそれぞれの地区の住民感情を最優先に考えるとなかなか前に進まないが、そういう場合でない。他の公共施設も同じ。利用者が多い、活用頻度の高い公共施設に予算を使い、その逆については廃止、縮小すべき。

公共施設ではないのかも知れませんが駅のバリアフリー化を希望します。青堀駅をよく利用しますがエレベーターがなく改札もひとつのため苦労している方をたくさん見かけます。市からも働きかけをしていただけますと幸いです。

公共施設につきましてはどこでどんなことが出来るのかがわからないため、一年に一度程度で良いので特集のようなものを広報ふつつ等でお知らせいただけると幸いです。

広報ふつつを含め SNS 等での告知はとても見やすいので紙媒体やオフラインでのやりとりを減らしオンラインで出来ることが増えるとても有難いです。

都心へのアクセスもよく、それなのに田舎&自然があって応援しています。移住したいと思える公共施設、サービスを目指してください。

また市役所のイベントも他県からも人が来るようになりますように。のみの市、ファーマー市場とかの開催など、行きたいと思ってもらえる場所になりますように。市役所の建物をもっと活用しないともったいないです。土地もありますし！！それが田舎の強みかと！！

再配置することは良いと思いますが、そこまで行く為の交通手段等の補助をする。

富津市といっても広くて、住んでいる場所によっては絶対必要などともあるでしょうし、とても難しいアンケートでした。

市民の税金を増やすのではなく、カットできるところはカットし、市民に還元できるようなことをしてほしい。いらぬものにお金をかける必要はないと思う。

富津市が魅力的な市になり、沢山の人が訪れるような市になることを期待しています。

市役所本庁舎は利便性に長けた場所、例えば JR 駅に極力近いところが Best。

IT 関連の通信網は平時は便利に見えるが、一度他国と揉めると取り返しつかない事態を招く恐れを懸念すべきである。

・その他の意見

公共施設の取捨選択をせざるを得ないことをもっと積極的に広報、情報公開、SNS 等拡散して多くの人にまずは周知することが大事と考えます。

仕分け後、浮いた資産で、小志駒の道を直してください。市民は平等に。納税者に格差対応するのはいかなものか。

公共施設もわかりますが、私たち高齢者にとって病院へ行く移動手段に苦労しています。介護タクシーのこともお願いいたします。

営利について何かお金（税金）を稼ぐことを考えられないか？ 以前、小学校の廃校時の備品をメルカリ？で売った行政があり、ニュースで見て良い取組みだと思った。古い消防車なども売ったとか、他の市のしていることを取り入れてもよいと思う。

40代の時公民館でお世話になりましたが、楽しかったです。

少子化はどの地域、国全体でそのような傾向であることは承知のことではありますが、今、子育てを大切に考えていくことが最大の課題でありましょう。手当の支給はありがたいことですが、その親子を支える場所、特に育てにくい子供と親を支えるシステムが当市にはありません。ぜひとも君津郡市で一か所、発達支援センターを早急に作ってくださることを願ってやみません。育て方がわかればみんな納税者になることができます。近隣では市原市までしかありません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

富津市の中を見ても大きなお店はイオン富津その近くでランドロームとカインズとの2店で生活をまかなわなければいけない。町は縦長で西側が幅広くて、人口を見ても高齢者が多く、一人生活している人が多い。私の周りは若い人が仕事に出る人が多い。

車を手放した者は徒歩で買い物に出掛けなければいけない。それすら出来ない人たちがどうして、公民館のようなところまで出向いていくことができない。このような施設を作ろうとするのが無理である。

富津市には自然な所がいっぱいありますが、それがほとんど生かされていないので、もっと市議会議員がいるので、金もかかると思いますが、長い間でいいので考えてそれを活かすように、小さいことから大きく。活かされていない為に、収入が外に行ってしまう。 一般市民に良い？ 農家の方達に少しずつ参加して頂き、自然を利用するようにして収入を増やすこと。議員たちも自分の収入ばかり取るばかりで何を感じているのか、自分の力を出すべきです。 皆さんがいつもいっぱい集まる場所でよいので、はじめから多額のお金をかけないで少しでも良いからやる。始めから多額なお金をかけると失敗の元になるので小さなことから始め大きくすることが大事。
市役所前の道路をもっと見直してください。他の市に行くといかに市役所前がみすばらしいことか。
施設があったって移動手段がない。免許がない。おまけにスマホなし。箱物使う用事なし。意味なし。地域の偏りあり。箱物より、箱物までのコミュニティバスの方がありがたい。
市営プールに通いたいのが遠いのでバスを利用したい。市営バスの回数券をもっと増やしてほしい。バス時刻など回覧板でまわしてほしい。
とにかくバス！！ 富津地区から青堀駅まで車で送ってもらわないとどうにもこうにも動けません！！その不便さをアンケートしてください！！
既得権益との闘いという要素もあると思いますが、粘り強く頑張ってください。
管理する施設を減らすのだから、公務員も減らすべき。
金谷海浜公園の駐車場が一部の民間の商業施設の利用で占拠されている、公園の利用目的外使用はさせてはならぬ。市民税で賄われている施設を民間の利益に還元させないようにしていただきたい。
ベンチ等の休める見晴らしの良い場所を増やして欲しい。
富津市は山も海もあり、適度な自然に囲まれていて、子育てするのに適していると思います。せっかく素晴らしい環境に恵まれているので、もっとファミリー世帯にアピール出来るようなまちづくりにして欲しいです。

8. 参考資料

(1) アンケート調査票等

「富津市の公共施設再配置に関するアンケート調査」 へのご協力をお願い

市民の皆様には、平素より市政に対し、ご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

富津市では、市民サービスの観点から、高度成長期を中心に多くの公共施設を整備し維持してまいりました。

しかしながら、公共施設の老朽化による更新費用の増大や人口減少、少子高齢化の進展などといった時代の変化に対応し、必要な市民サービスを維持・向上していくためには、公共施設の数や規模の適正化を図り、効率的かつ効果的な維持管理を行っていく必要があります。

そこで、この度、公共施設の利用者であり、また、施設の維持管理費を税金としてご負担いただいている市民の皆様に、市の公共施設についてのご意見をお伺いするため、『富津市の公共施設再配置に関するアンケート調査』を実施させていただくこととしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、同封いたしました **A「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」**をお読みいただき、**「Web 回答フォーム」**又は **B「富津市の公共施設再配置に関するアンケート調査票」**について、令和6年12月27日(金)までに回答いただきますようご協力をお願い申し上げます。

なお、お寄せいただいた内容は、市の公共施設に関する施策を検討するために利用させていただきます。

本郵便は、令和6年11月29日時点で、市内在住の16歳以上の方1,500名を無作為に抽出し、送付させていただきました。お忙しいところ恐れ入りますが、裏面をご参照のうえ、令和6年12月27日(金)までにWeb回答フォームでご回答いただくか、アンケート調査票にご記入いただき同封の返信用封筒(切手不要)にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

※集計の都合上、出来るだけWeb回答フォームでのご回答のご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

富津市役所 企画政策部資産経営課

〒293-8506 富津市下飯野 2443 番地

電話 0439-80-1213 FAX 0439-80-1350

アンケート回答に際してのお願い

アンケート調査票の回答方法

アンケートは Web 回答フォームでの回答又はアンケート調査票に記入いただき返送いただく方法の2 種類の回答方法がございますので、回答しやすい方を選択していただきご回答をお願いいたします。

【Web 回答フォームでの回答方法】（回答方法 1）

- ・封筒の宛名に表示のあるご本人様にご回答下さい。ただし、事情により、ご本人の回答が難しい場合には、ご家族の方にお手伝いいただいても構いません。
- ・下記、回答フォームの QR コードを読み取り、12 月 27 日（金）までにご回答ください。



パソコン・スマートフォン・タブレット等でのご回答は下記 URL を開いてください。

<https://logoform.jp/form/v3ao/791552>

【アンケート調査票での回答方法】（回答方法 2）

- ・封筒の宛名に表示のあるご本人様にご回答下さい。ただし、事情により、ご本人の回答が難しい場合には、ご家族の方に代筆やお手伝いいただいても構いません。
- ・アンケート調査票でご回答の場合、ご記入は、鉛筆・ボールペン等何でも結構です。はっきりと濃くご記入ください。
- ・誤って記入された場合は、消しゴムや横線などで抹消して、再度ご記入ください。
- ・**A**「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」をお読みの上、ご回答は、質問ごとの説明に従い、アンケート調査票に直接ご記入ください。

【共通事項】

- ・本アンケートは無記名式です。氏名・住所のご記入は不要であり、個人が特定されることはありません。また、いただいたご回答は、統計的に処理し、オープンデータとして利用させていただきます。

アンケート調査票の返信方法

- ・ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、12 月 27 日（金）までに郵便ポストへご投函ください。
- ・返信用封筒に切手は不要です。また、返信用封筒にご住所などのご記入は必要ありません。
- ・Web 回答フォームでご回答いただいた方は、アンケート調査票の返送は必要ありません。

A

富津市では公共施設の再配置に取り組んでいます

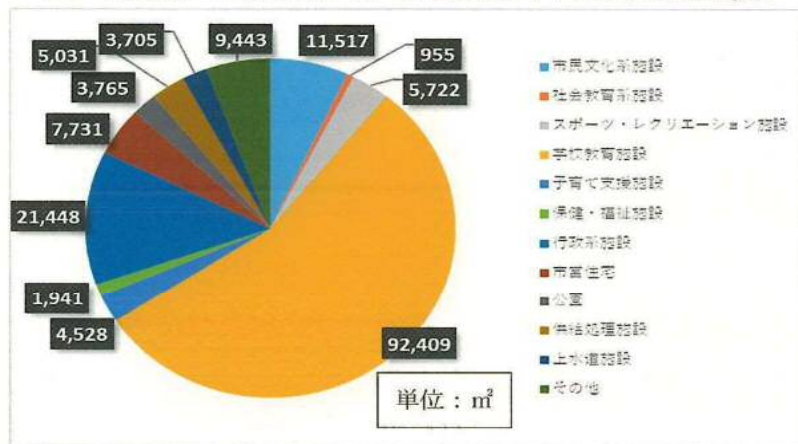
富津市では昭和40年代後半～50年代後半に多くの公共施設を整備し、維持してきました。

しかし、公共施設の老朽化が進み、少子高齢化による人口減少で市の歳入が減少していくことなどを考えると、公共施設の数や大きさを見直していく必要があります。

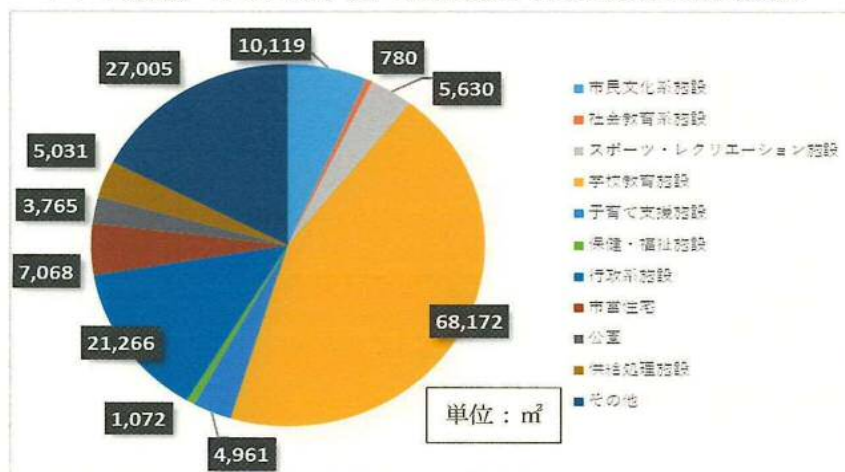
市では、平成28年3月に「富津市公共施設等総合管理計画」、令和2年9月に「富津市公共施設再配置推進計画」を策定し、公共施設の保有総量の適正化や、計画的な修繕計画による建物の長寿命化等に取り組んでいます。

1 公共施設の状況

※平成28年度末時点（「富津市公共施設白書 平成29年度更新版」）
217施設、466棟、延べ床面積約17万㎡の公共施設



※令和4年度末時点（「富津市公共施設白書 令和5年3月現在更新版」）
171施設、362棟、延べ床面積約15.5万㎡の公共施設



○公共施設再配置の主な取組み

【廃止・集約化・転用・移譲した施設】

- ・富津連絡所、大貫連絡所、関豊連絡所、金谷連絡所、峰上出張所の廃止
- ・各調理場を廃止し、富津市学校給食共同調理場（建設中）に集約化
- ・天羽老人憩の家を富津市地域交流支援センターへ転用
- ・閉校した小・中学校を利活用事業者へ貸付
- ・萩生集会所（建物のみ）を地元地縁団体に譲与

【再配置計画での方針を見直した施設・再配置計画の見直しに取り組んでいる施設】

- ・コミュニティ施設（各コミュニティセンター）、保健・福祉施設（ふれあいシニア館等）
地元区への移譲を予定していましたが、地元区との協議の結果、当面の間、大規模な修繕は行わずに、利用できる期間は利用することを見込んでいます。
- ・市立保育所
富津市市立保育所再配置計画を策定。適切な保育環境の整備を図るため、計画の見直しに取り組んでいます。

【あり方の検討や再配置計画を策定した施設】

- ・公民館
富津市公民館のあり方を策定。3館を維持するが、大規模改修または改築時に複合化・面積縮小を図ることとしています。

2 公共施設の更新費用

○新築・改築や大規模修繕に係る経費

- ・平成30年度～令和4年度の5年間
年平均 約10.3億円

※この期間は、小学校整備事業（天羽中学校校舎改築、各小中学校トイレ改修）や図書館整備事業など大規模な施設の更新を行っています。

○将来の更新費用の推計

令和4年度末時点で保有する公共施設を、全て同じ規模のまま維持すると、今後50年間の累積更新費用の総額は約472億円、年平均で約9.44億円のコストが必要。

（「富津市公共施設白書 令和5年3月現在最新版」）



公共施設の再配置等に取り組んできましたが、依然として多額の更新費用が見込まれている状況です。市では、いずれも令和7年度までとなっている「富津市公共施設等総合管理計画」及び「富津市公共施設再配置推進計画」の更新について検討しています。

※「富津市公共施設等総合管理計画」及び「富津市公共施設再配置推進計画」は市のホームページに掲載されています。

B

富津市の公共施設再配置に関するアンケート調査票

同封のA「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を御一読の上、下記のアンケートにご協力ください。

問1：それぞれの設問の該当する番号1つに○印をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性
年代	1. 10歳代 5. 50歳代	2. 20歳代 6. 60歳代 3. 30歳代 7. 70歳代 4. 40歳代 8. 80歳以上
職業	1. 会社役員 4. 学生 7. 無職	2. 会社員・公務員 5. 家事専業 8. その他 () 3. 非正規社員 (パート等) 6. 自営業
居住地区	1. 富津地区 (富津・新井・川名・篠部) 2. 青堀地区 (大堀・青木・西川) 3. 飯野地区 (二間塚・上飯野・下飯野・本郷・前久保) 4. 大貫地区 (小久保・岩瀬・千種新田) 5. 吉野地区 (西大和田・絹・相野谷・一色・障子谷・上・近藤・八田沼・中) 6. 佐貫地区 (宝竜寺・花香谷・佐貫・亀沢・亀田・鶴岡・八幡・笹毛) 7. 湊地区 (湊・数馬・岩坂・更和・加藤・望井・台原・桜井) 8. 天神山地区 (海良・売津・花輪・不入斗・長崎・横山・相川・梨沢) 9. 竹岡地区 (竹岡・萩生) 10. 金谷地区 (金谷) 11. 峰上地区 (上後・関尻・小志駒・岩本・山脇・田原・押切・六野・大森・寺尾・恩田・東大和田・田倉・高溝・宇藤原・志駒・山中・大川崎・大田和・関・御代原・豊岡)	

問2-1：あなたは、市の公共施設（※）をどのくらい利用していますか。それぞれ該当する項目の番号1つに○印をつけてください。

※不特定の方が自由に利用できる施設を対象としています。

分類・施設名		定期的に (1ヶ月に 1回以上) 利用して いる	数ヶ月に 1回程度 利用して いる	年に1回 程度利用 している	1年以上 前に利用 した	利用した ことがな い
市民文化系施設	市民会館	1	2	3	4	5
	富津公民館	1	2	3	4	5
	中央公民館	1	2	3	4	5
	コミュニティセンター（飯野・佐貫・天神山・竹岡・金谷）	1	2	3	4	5
社会教育系施設	富津埋立記念館	1	2	3	4	5
	青堀駅東口史跡情報案内所 （古墳の里ふれあい館）	1	2	3	4	5
	富津市立図書館	1	2	3	4	5
スポーツ施設	総合社会体育館	1	2	3	4	5
	浅間山運動公園	1	2	3	4	5
	新富運動広場	1	2	3	4	5
	富津運動広場	1	2	3	4	5
レクリエーション 施設・観光施設	富津市民の森	1	2	3	4	5
	金谷海浜公園	1	2	3	4	5
	高宕山自然動物園	1	2	3	4	5
	富津観光案内所	1	2	3	4	5
保健・福祉施設	ふれあいシニア館（青堀・大貫・関豊）	1	2	3	4	5
	老人憩の家	1	2	3	4	5
行政系施設	富津市役所本庁舎	1	2	3	4	5
	天羽行政センター	1	2	3	4	5
公 園	市民ふれあい公園	1	2	3	4	5
	その他の公園	1	2	3	4	5

問2-2へ
続く

問2-2：前問で、「年に1回程度利用している」、「1年以上前に利用した」、「利用したことがない」と回答された方にお伺いします。その理由の主なものを施設名ごとに選んで番号に○を付けてください。（複数回答可）

※「定期的に利用している」、「数ヶ月に1回程度利用している」と回答したものについては、ここでは回答しないでください。

分類・施設名		施設の存在やサービス内容を知らない	利用する必要性がない	サービス利用時間などの条件が合わない	他の自治体や国、民間の施設を利用している	住まいからの距離が遠い
市民文化系施設	市民会館	1	2	3	4	5
	富津公民館	1	2	3	4	5
	中央公民館	1	2	3	4	5
	コミュニティセンター（飯野・佐貴・天神山・竹岡・金谷）	1	2	3	4	5
社会教育系施設	富津埋立記念館	1	2	3	4	5
	青堀駅東口史跡情報案内所（古墳の里ふれあい館）	1	2	3	4	5
	富津市立図書館	1	2	3	4	5
スポーツ施設	総合社会体育館	1	2	3	4	5
	浅間山運動公園	1	2	3	4	5
	新富運動広場	1	2	3	4	5
	富津運動広場	1	2	3	4	5
レクリエーション施設・観光施設	富津市民の森	1	2	3	4	5
	金谷海浜公園	1	2	3	4	5
	高宕山自然動物園	1	2	3	4	5
	富津観光案内所	1	2	3	4	5
保健・福祉施設	ふれあいシニア館（青堀・大貴・関豊）	1	2	3	4	5
	老人憩の家	1	2	3	4	5
行政系施設	富津市役所本庁舎	1	2	3	4	5
	天羽行政センター	1	2	3	4	5
公 園	市民ふれあい公園	1	2	3	4	5
	その他の公園	1	2	3	4	5

問3：あなたは、富津市の公共施設を取り巻く課題について知っていますか。それぞれ該当する項目の番号1つに○印をつけてください

	知っていた	知らなかった
富津市の公共施設の老朽化が進んでおり、今後、大規模改修や建替えが集中し、膨大な財政負担が必要になることが見込まれること	1	2
富津市の人口は、昭和60年（1985年）をピークに減少していること	1	2



国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)より
 ※令和7年より推計値のグラフとなります。

問4-1：同封のA「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を参照いただき、この取り組みについてどう思うか、該当する項目の番号1つに○印をつけてください。

評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない
1	2	3	4

問4-2：問4-1の回答について、特に理由がありましたらお書きください。

問5：将来に向けて、公共施設を維持していくために考えられる方策について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれ該当する項目の番号に○印をつけてください。

方策 \ 考え	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
もともと不要、または、機能が重複している施設を廃止・統合し、施設数を減らす。	1	2	3	4
現在ある施設の統廃合や機能の複合化（注）などによって施設数を減らす。	1	2	3	4
近隣自治体と共同で施設を建設・運営をする。または、近隣自治体の施設を利用する。	1	2	3	4
施設の更新（建替え）や管理運営に民間企業のノウハウや資金を活用したり、施設自体を民間企業に移管する。	1	2	3	4
地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う。	1	2	3	4
施設を長持ちするようにして（長寿命化）、しばらくの間は建替えない。	1	2	3	4
施設を減らす代わりに民間施設（会議室やスポーツ施設等）の利用に対し、助成する。	1	2	3	4
施設におけるサービスの水準を引き下げる（開館日数の削減など）。	1	2	3	4
利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。	1	2	3	4
市民サービスを縮小したり、新規サービスを実施せず、浮いた費用を公共施設にあてる。	1	2	3	4
特別な税金等の徴収など、市民全体で公共施設の維持に必要な費用を負担する。	1	2	3	4

（注） 複合化：一つの施設に複数の機能を持たせること。

問6：①市が将来にわたり維持すべきと考える施設、

②今後、施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設

を次の中からそれぞれ最大3つまで選び、下の回答欄に番号を書いてください。

1. 公民館（富津・中央・市民会館）
2. コミュニティセンター（飯野・佐貫・天神山・竹岡・金谷）
3. 富津埋立記念館
4. 青堀駅東口史跡情報案内所（古墳の里ふれあい館）
5. 富津市立図書館
6. 総合社会体育館
7. 浅間山運動公園
8. 運動広場（新富・富津）
9. 富津市民の森
10. 金谷海浜公園
11. 高宕山自然動物園
12. 富津観光案内所
13. 観光トイレ（布引海岸・新舞子海岸・志駒・鋸山登山道）
14. 小学校・中学校
15. 保育所
16. ふれあいシニア館
17. 老人憩の家
18. 市役所本庁舎
19. 天羽行政センター
20. 消防・防災施設（消防防災センター、天羽分署、詰所・機庫、防災備蓄倉庫）
21. 市営住宅
22. 市民ふれあい公園
23. その他の公園等（都市公園・市立公園・児童遊園地など）

①維持すべきと考える施設			
②施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設			

問7：公共施設の再配置について、ご意見がありましたらお書きください。

質問は以上になります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

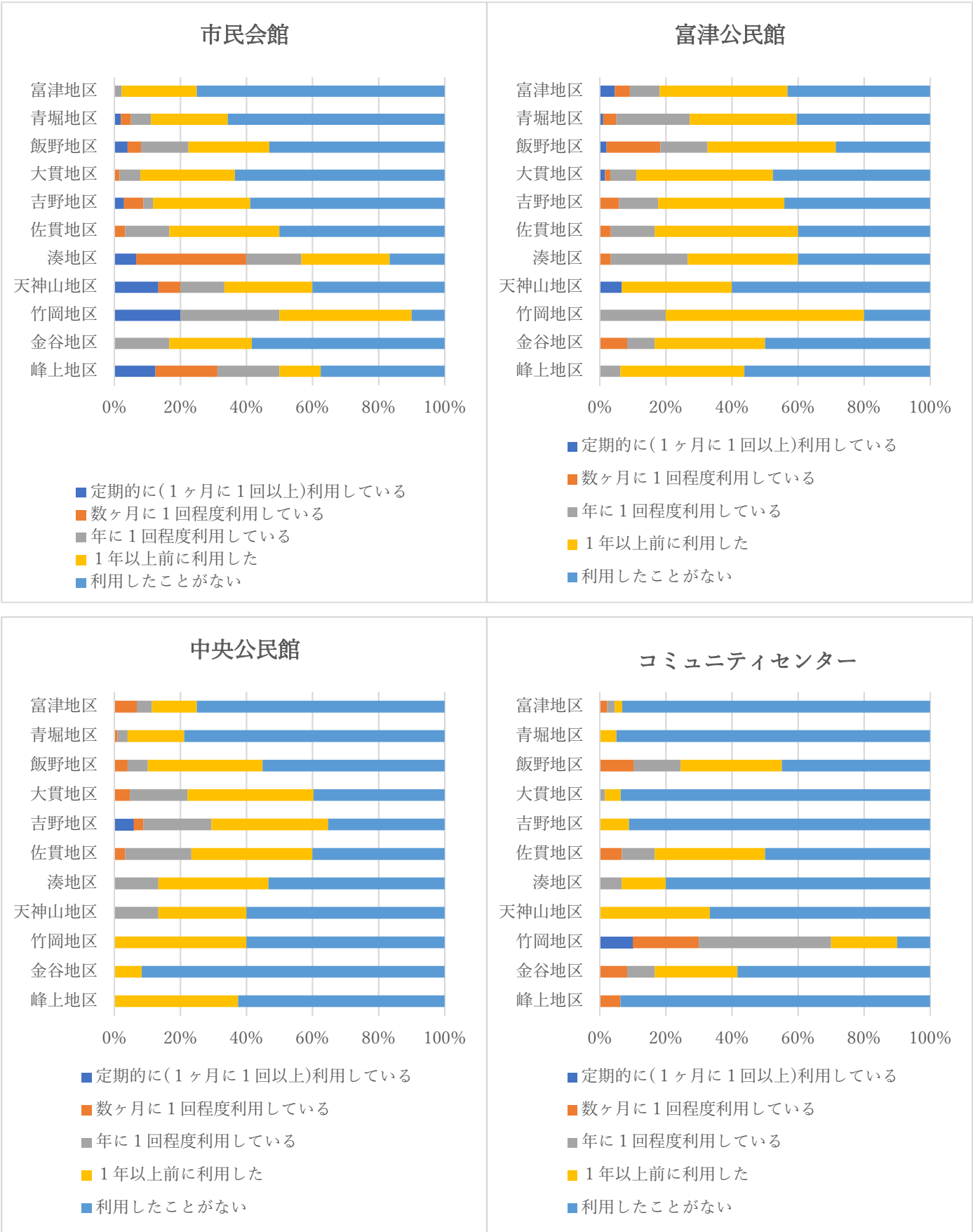
ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月27日(金)までに郵便ポストに投函してください。

Web 回答フォームでアンケートに回答いただいた場合は、本調査票の返信は不要です。

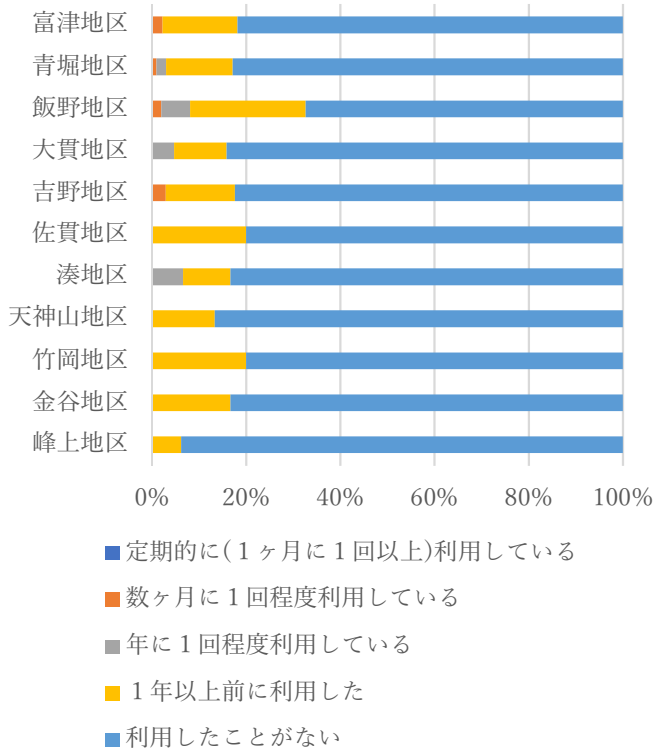
(2) 居住地区別(11地区)集計

2. 公共施設の利用について

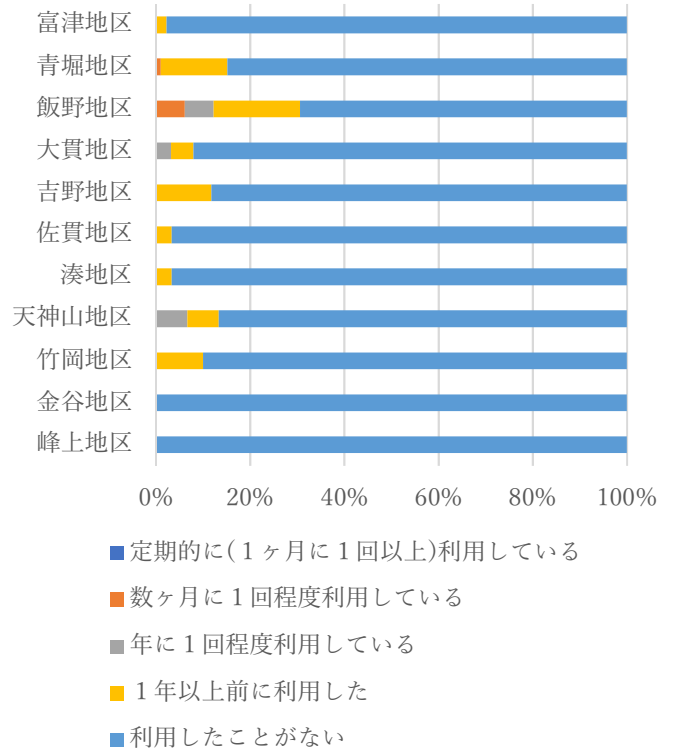
(1) 公共施設の利用頻度



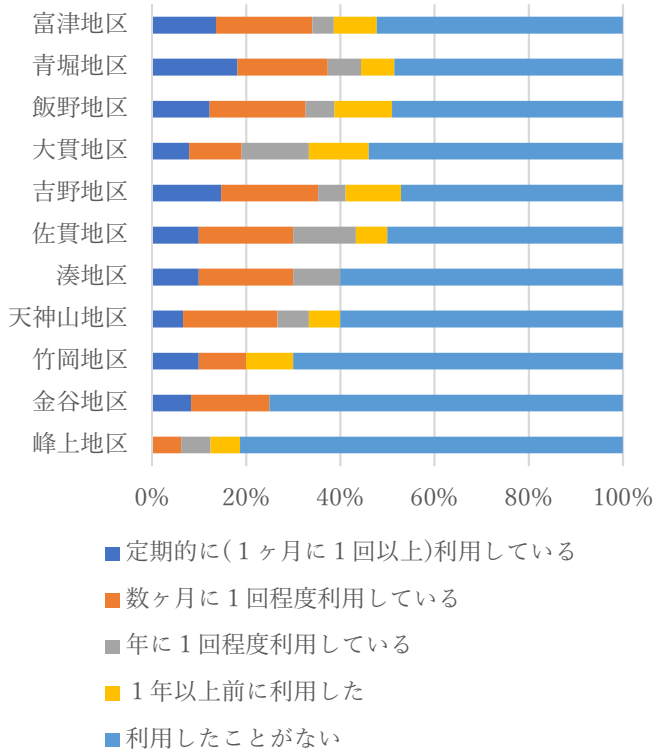
富津埋立記念館



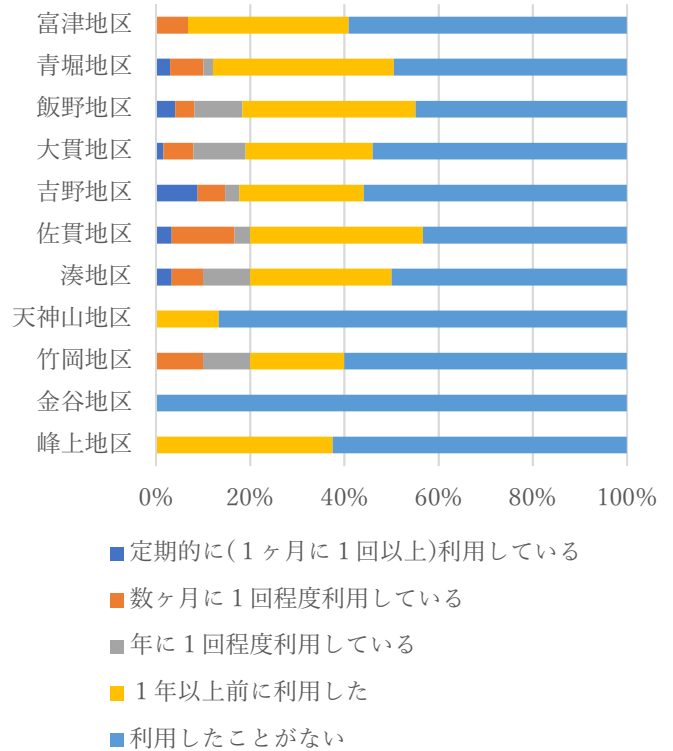
青堀駅東口史跡情報案内所



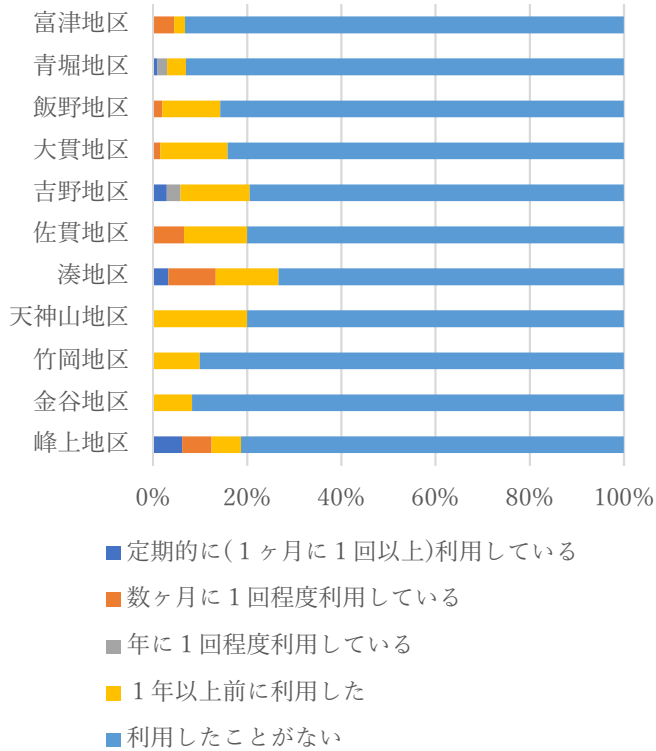
富津市立図書館



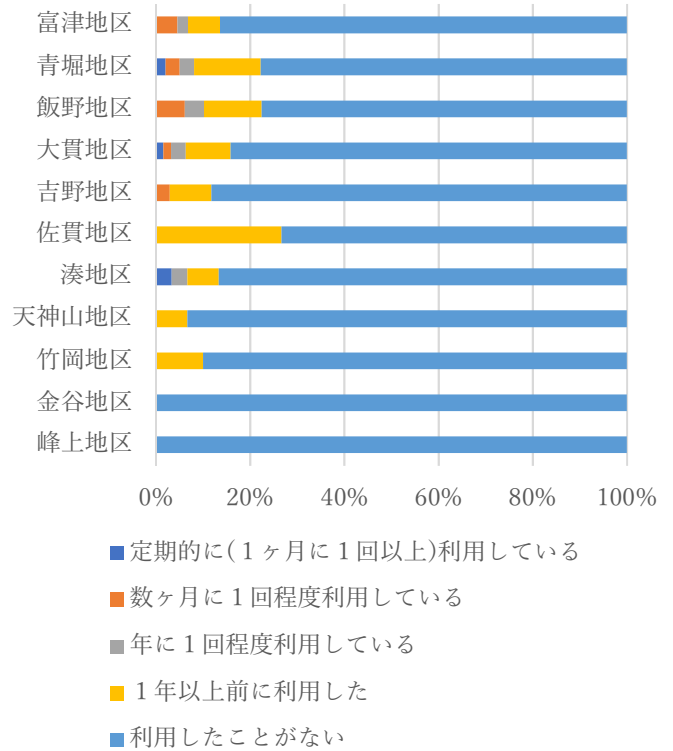
総合社会体育館



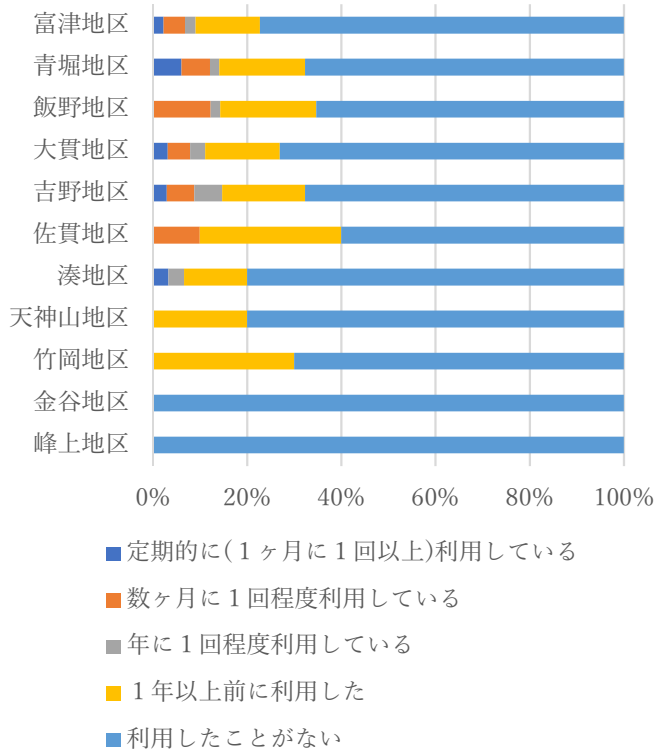
浅間山運動公園



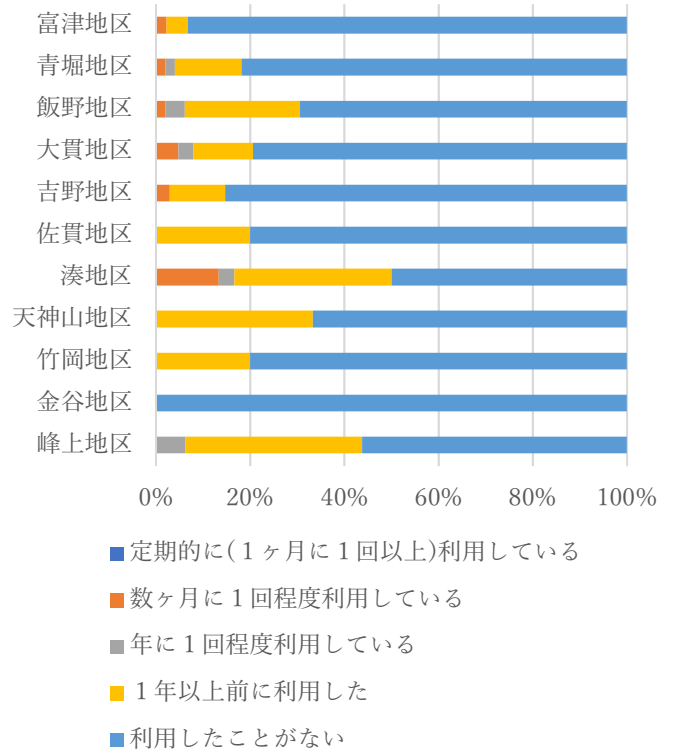
新富運動広場



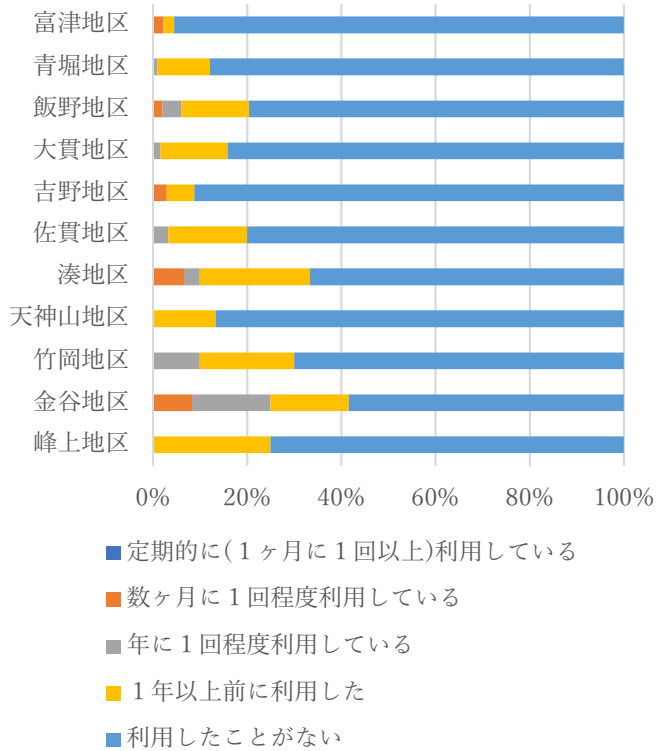
富津運動広場



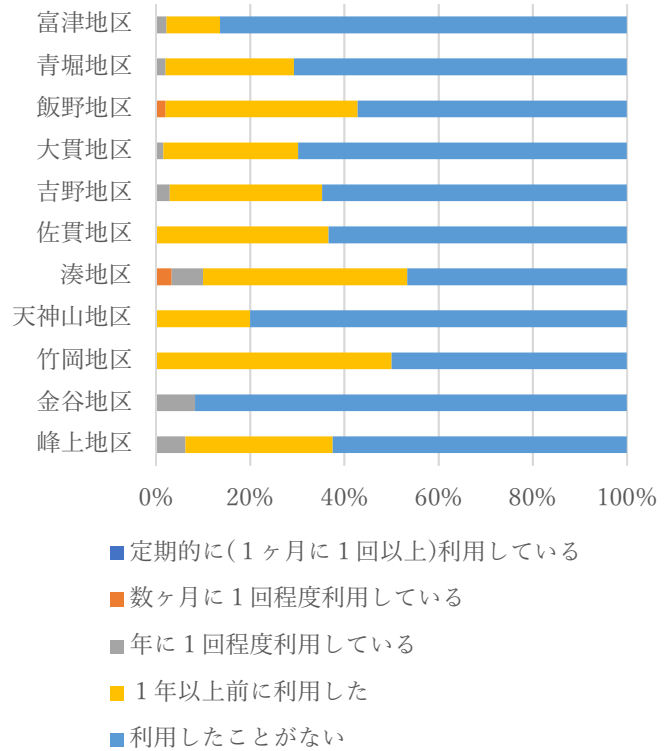
富津市民の森



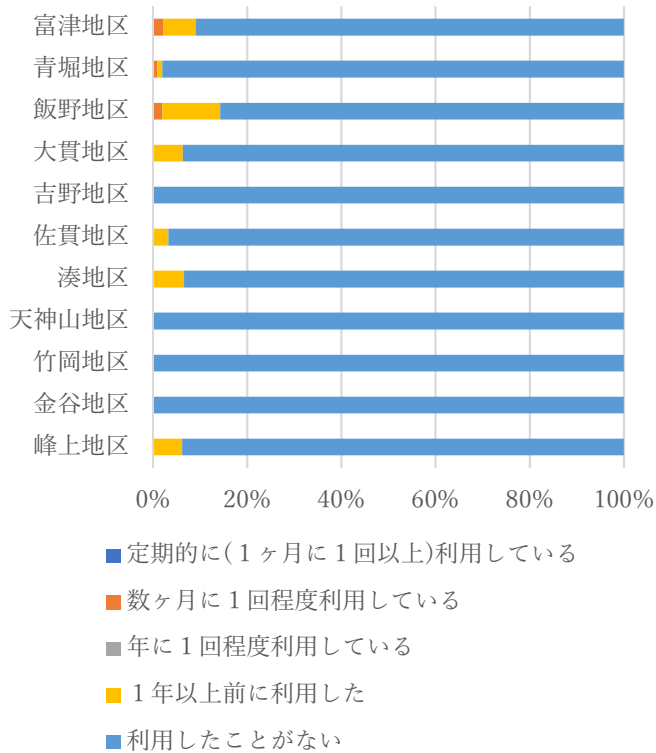
金谷海浜公園



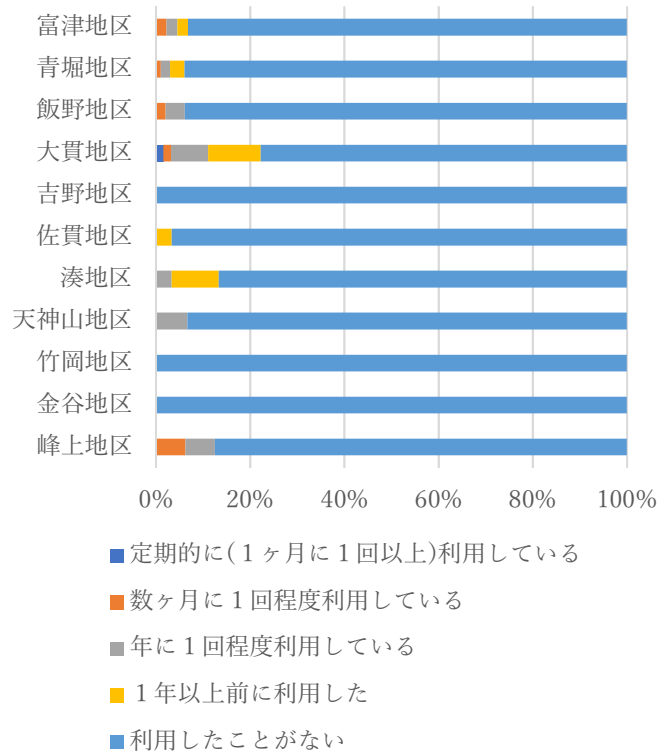
高宕山自然動物園



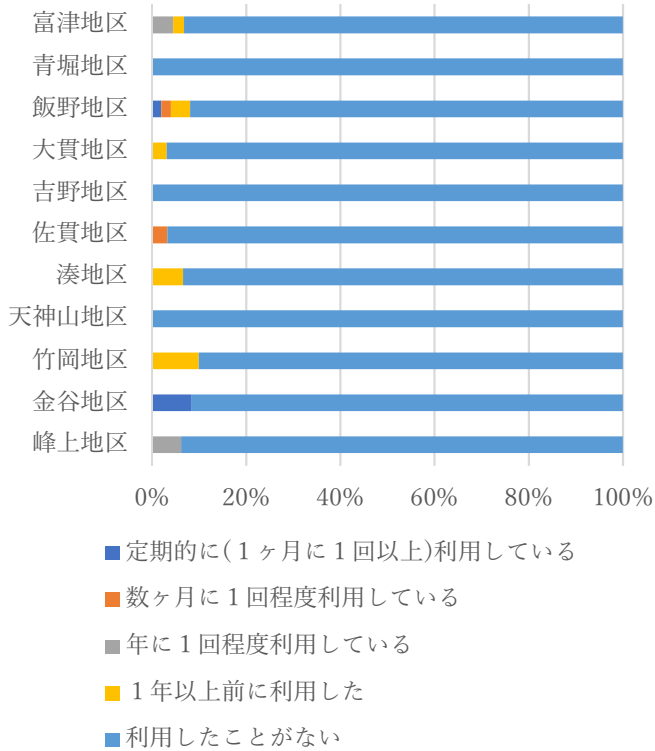
富津観光案内所



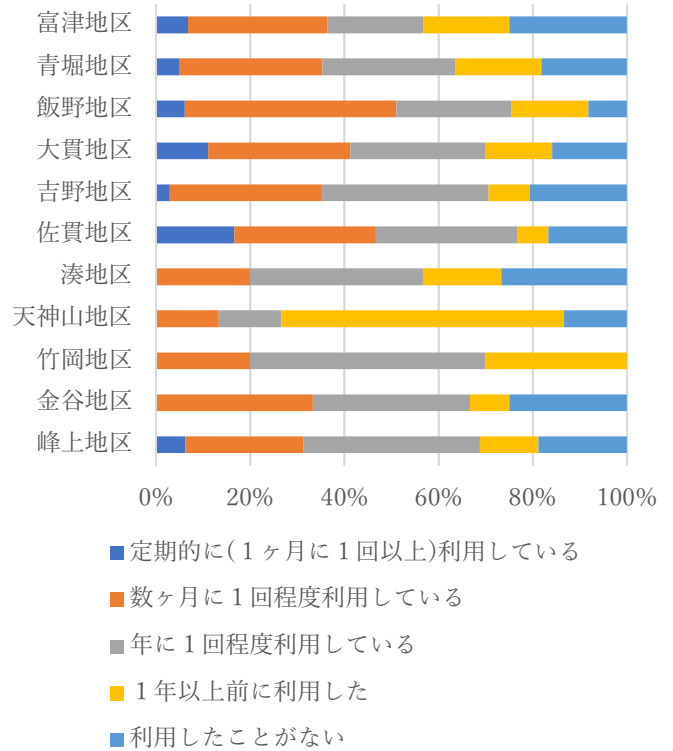
ふれあいシニア館



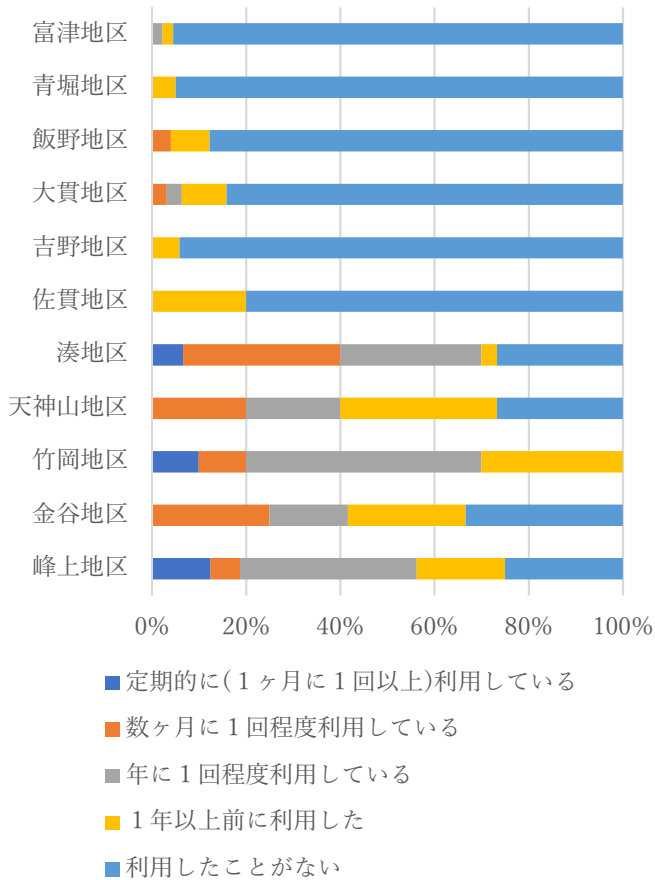
老人憩いの家



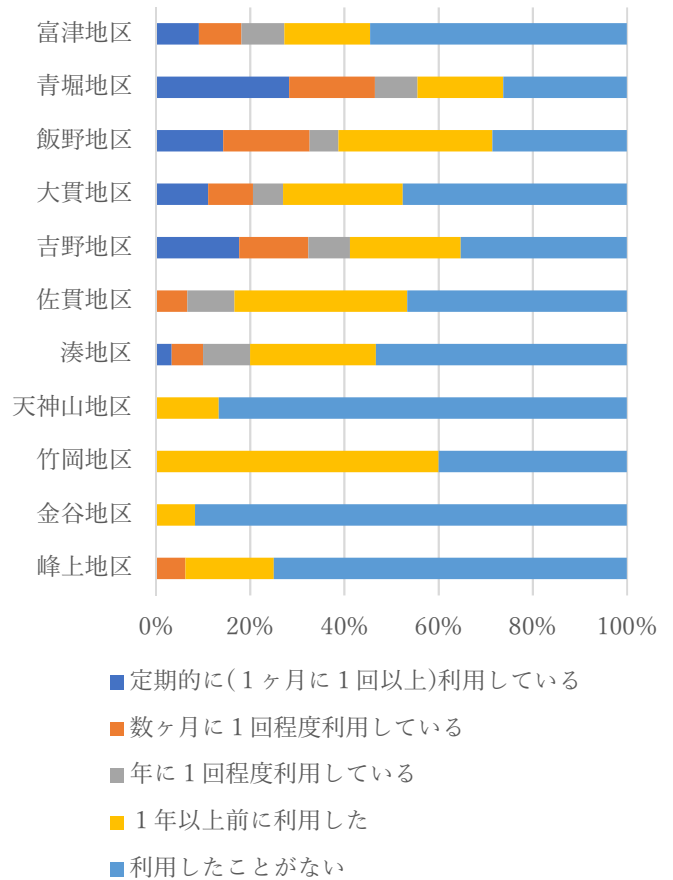
富津市役所本庁舎



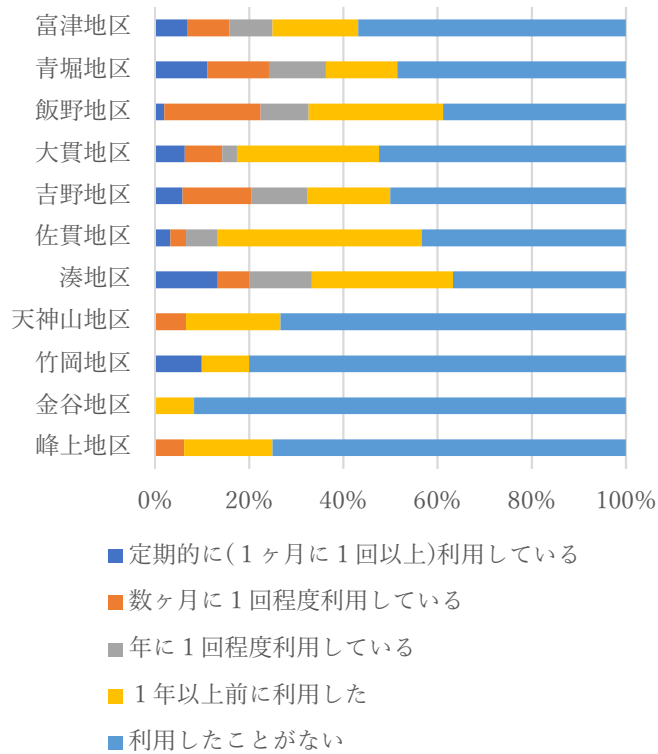
天羽行政センター



市民ふれあい公園



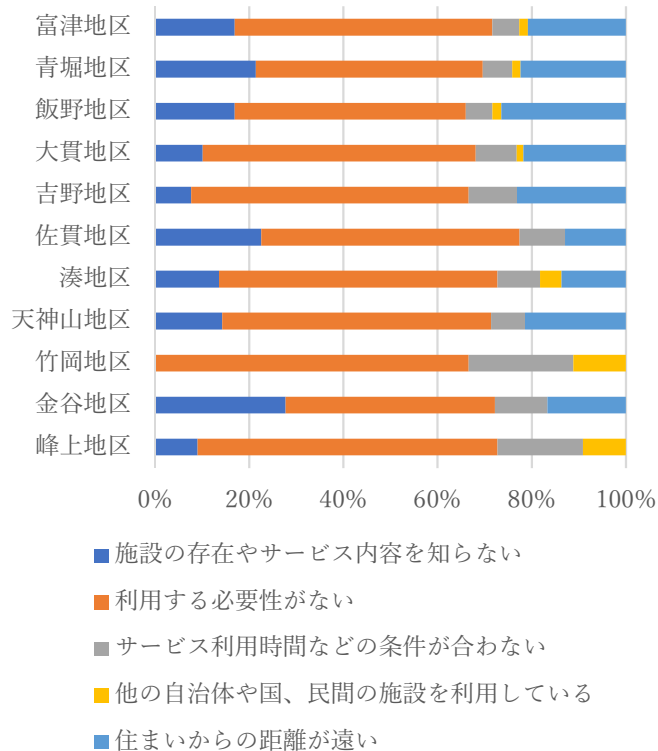
その他の公園



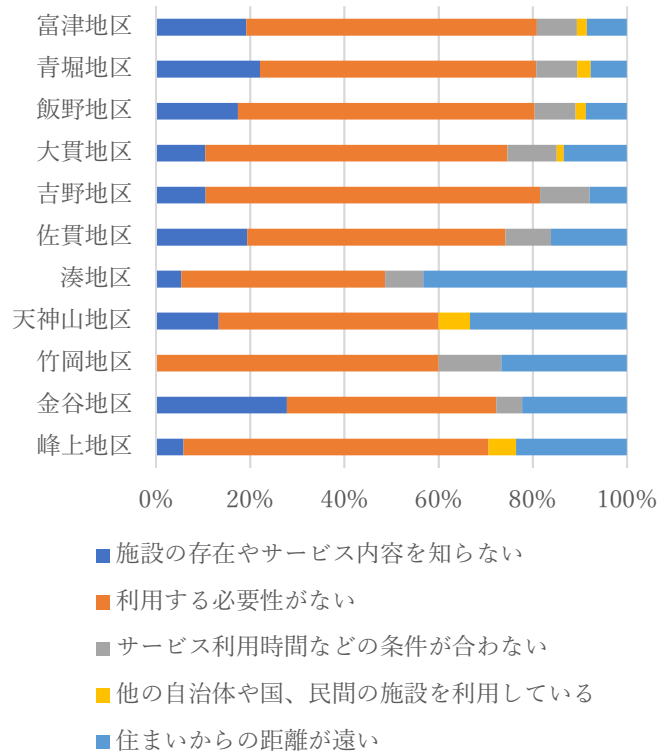
2. 公共施設の利用について

(2) 公共施設を利用したことがない理由

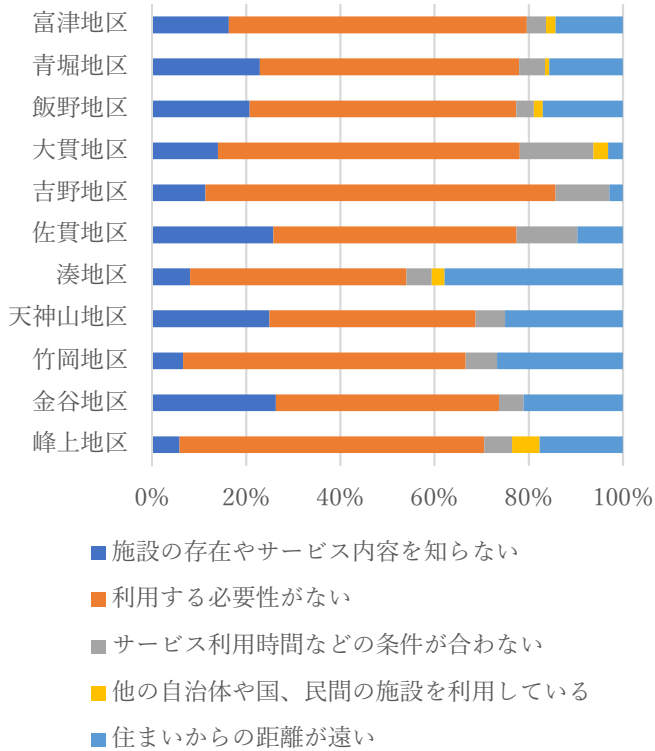
市民会館



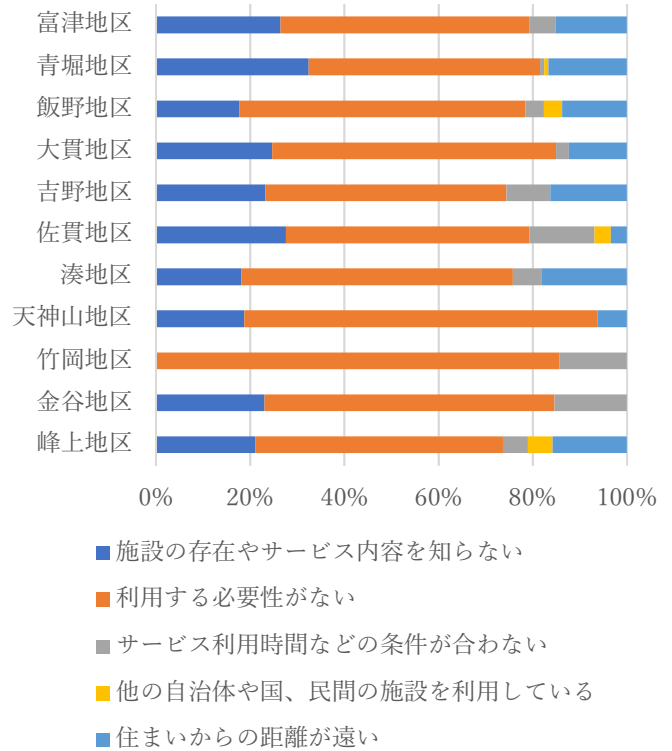
富津公民館



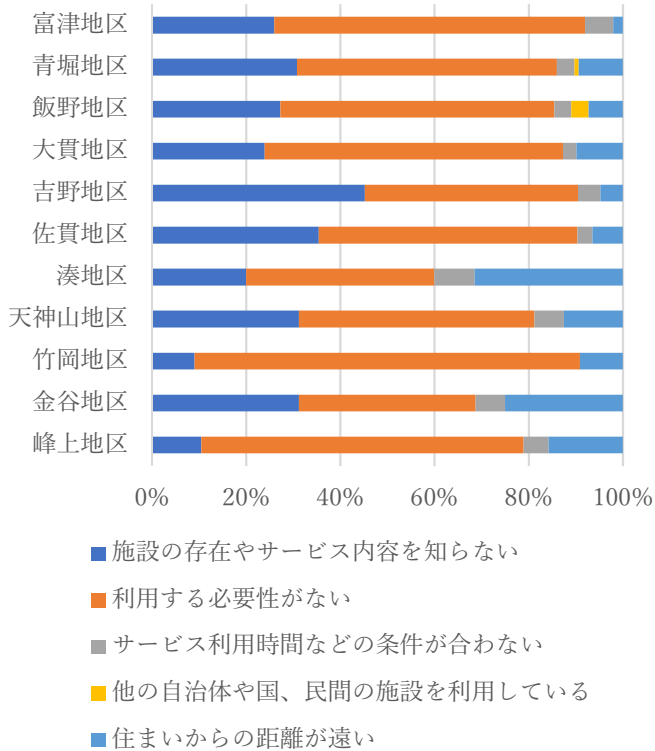
中央公民館



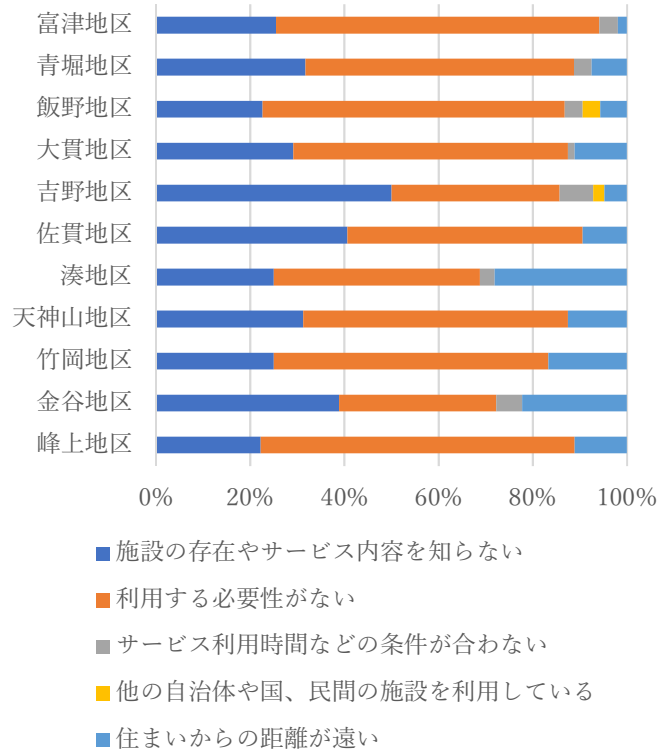
コミュニティセンター



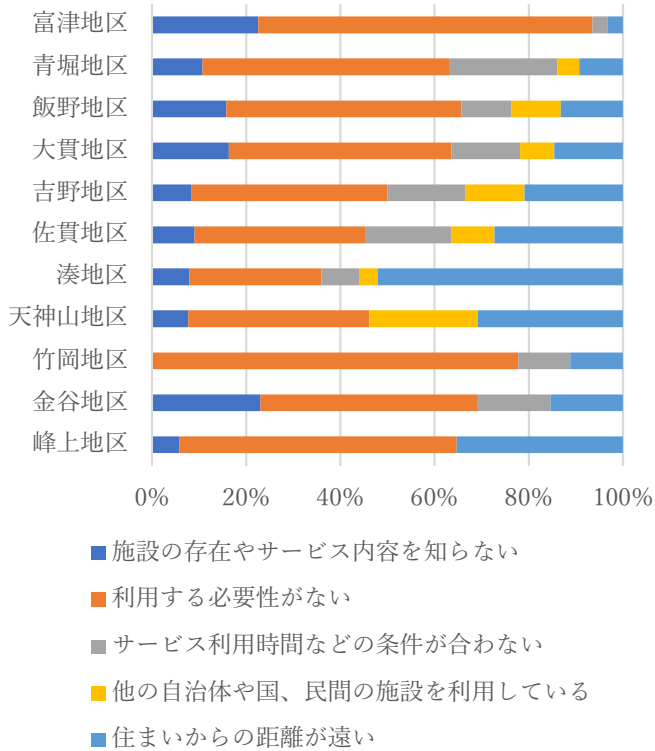
富津埋立記念館



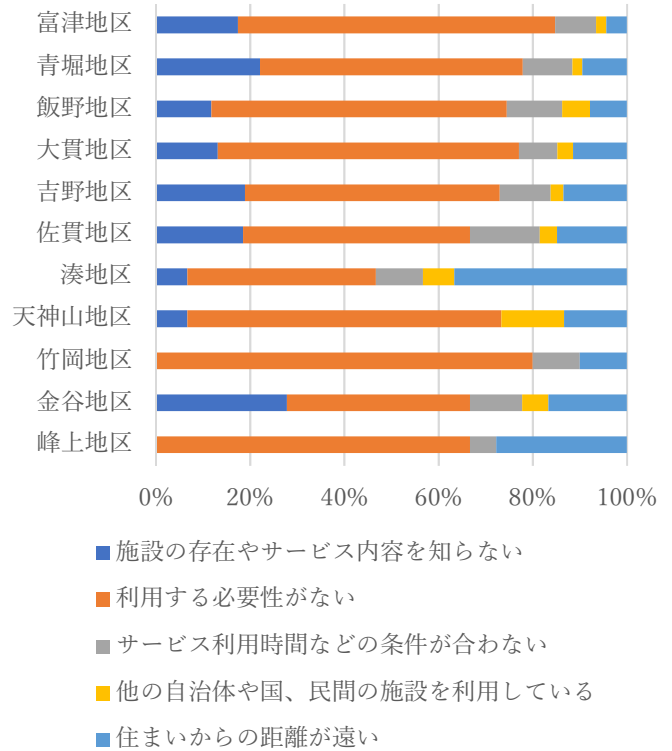
青堀駅東口史跡情報案内所



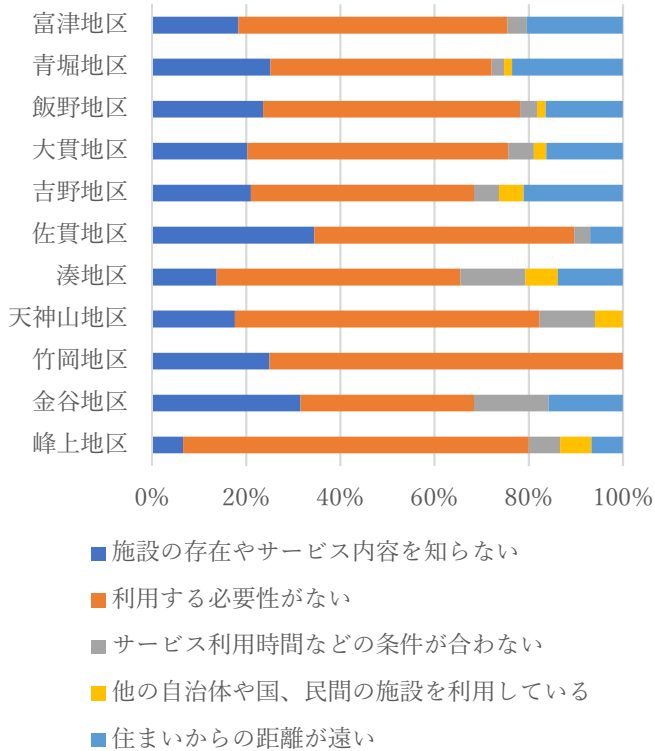
富津市立図書館



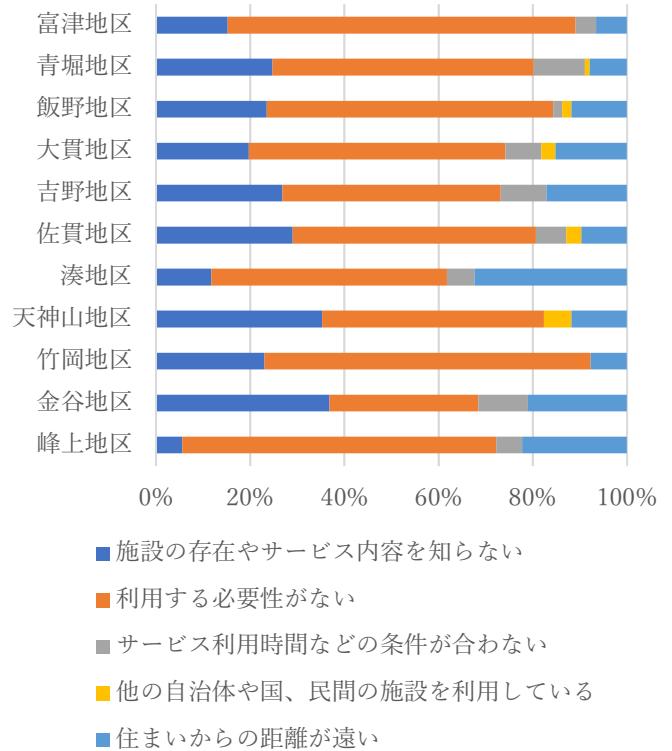
総合社会体育館



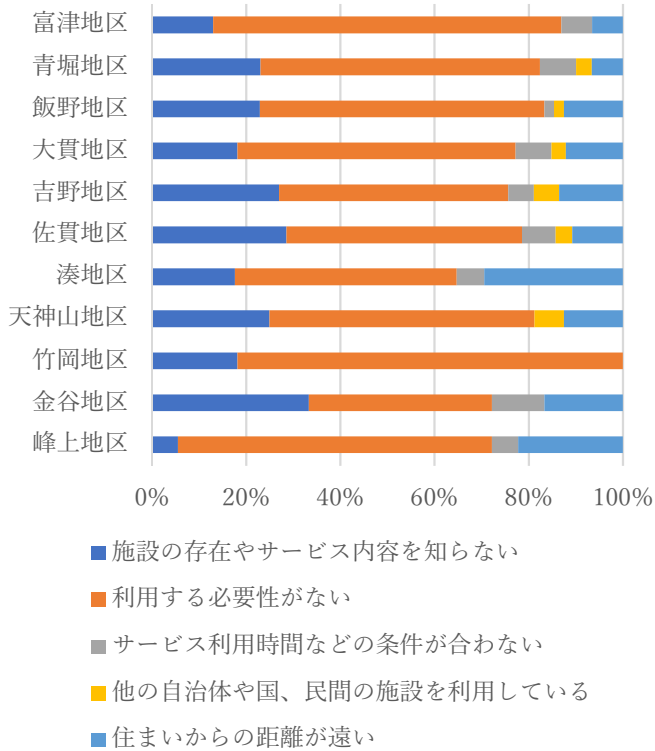
浅間山運動公園



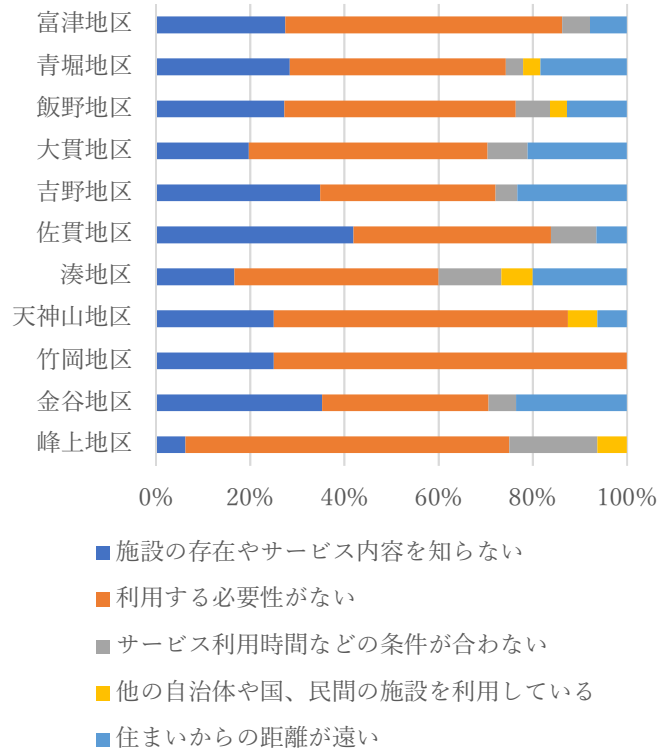
新富運動広場



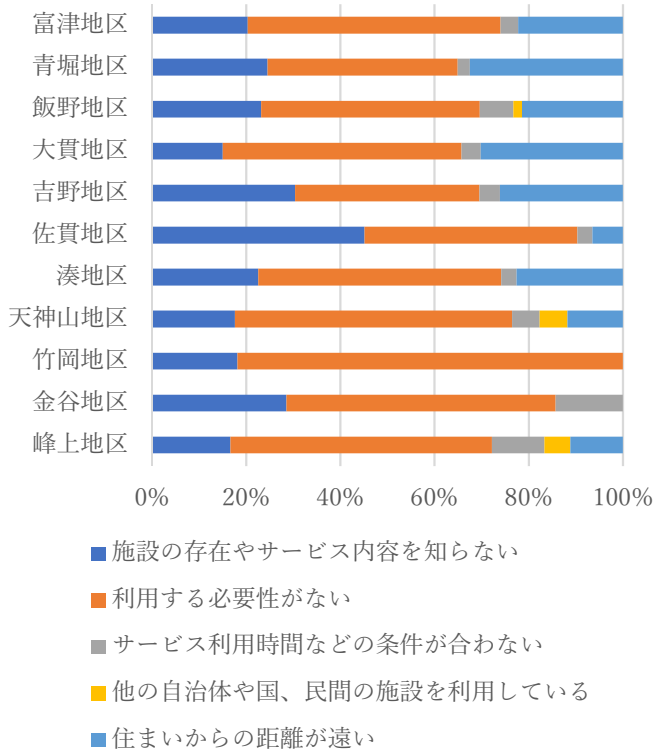
富津運動広場



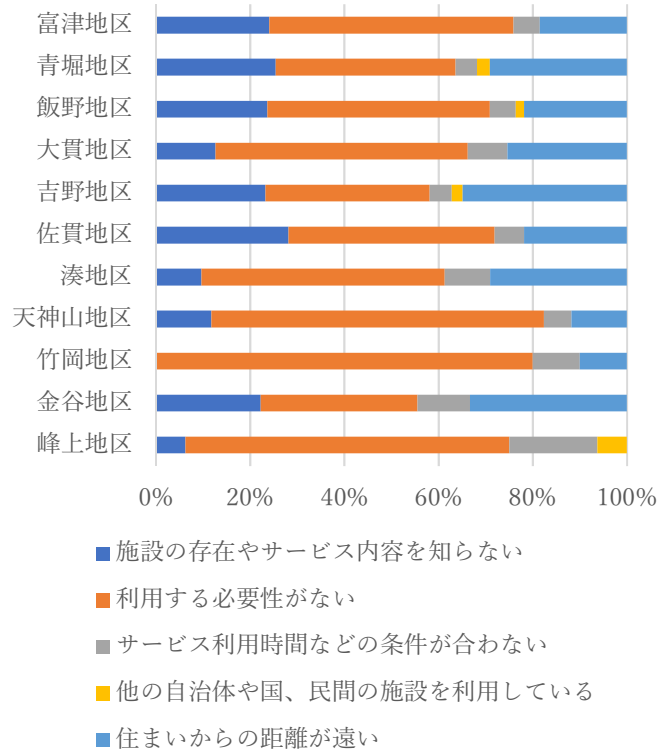
富津市民の森



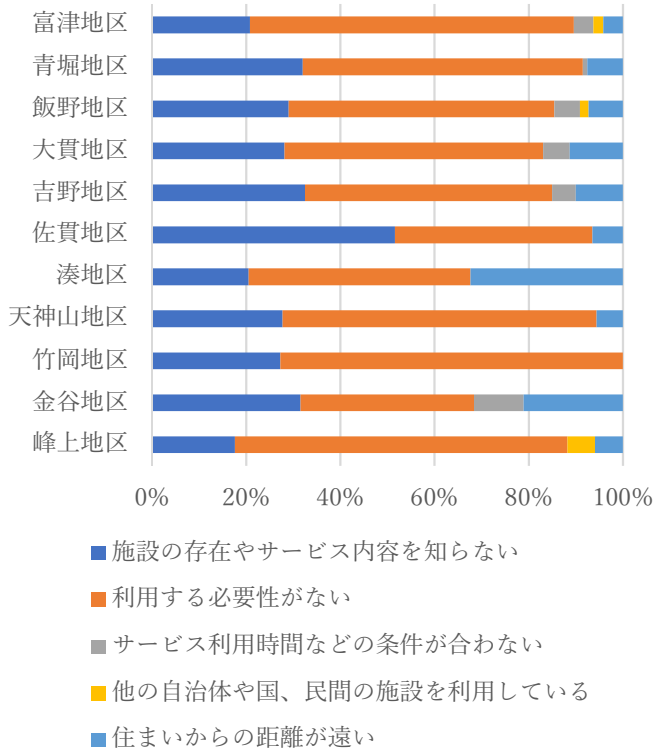
金谷海浜公園



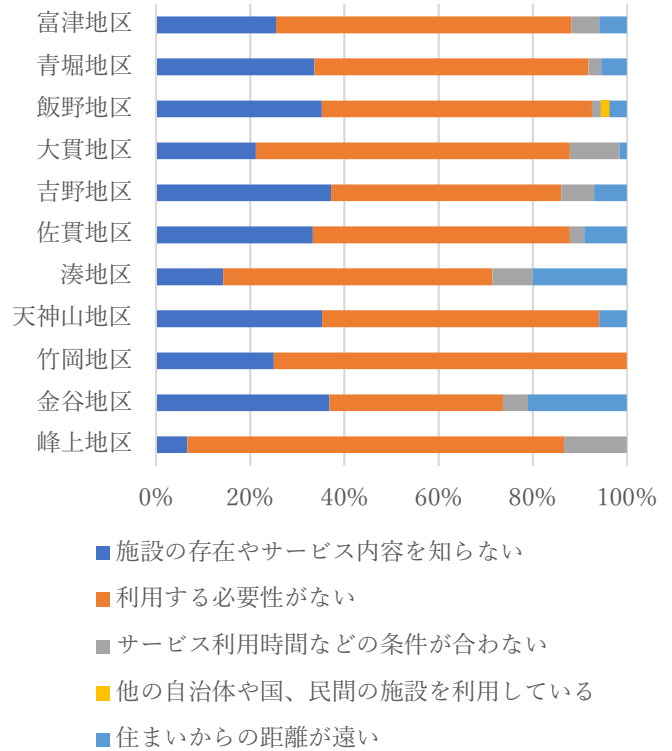
高宕山自然動物園



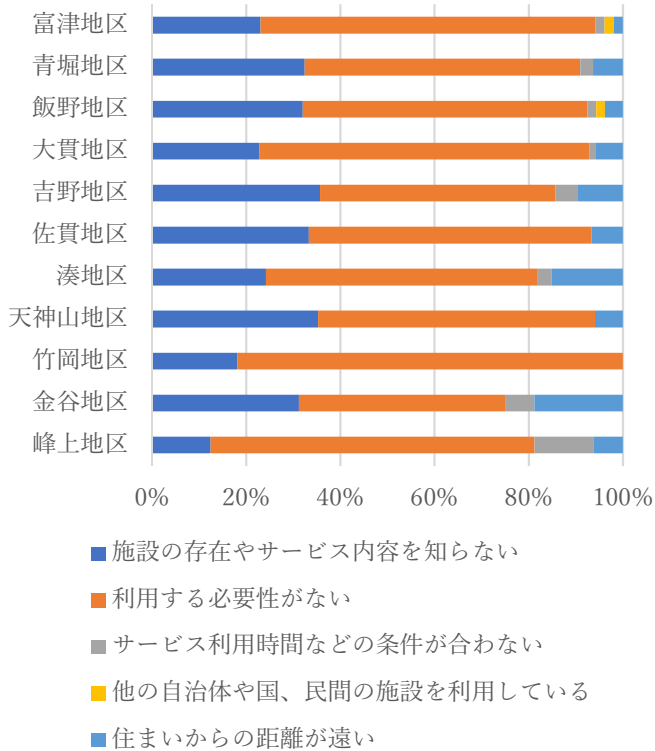
富津観光案内所



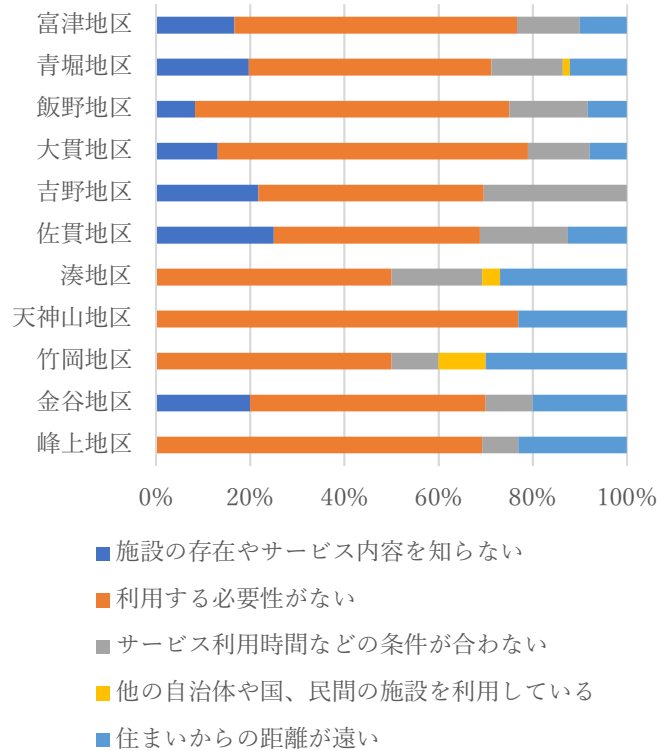
ふれあいシニア館



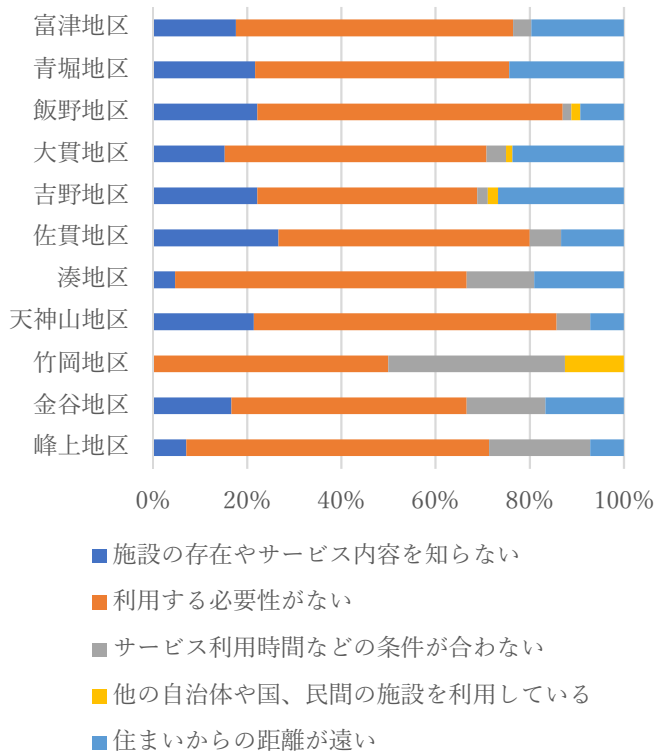
老人憩いの家



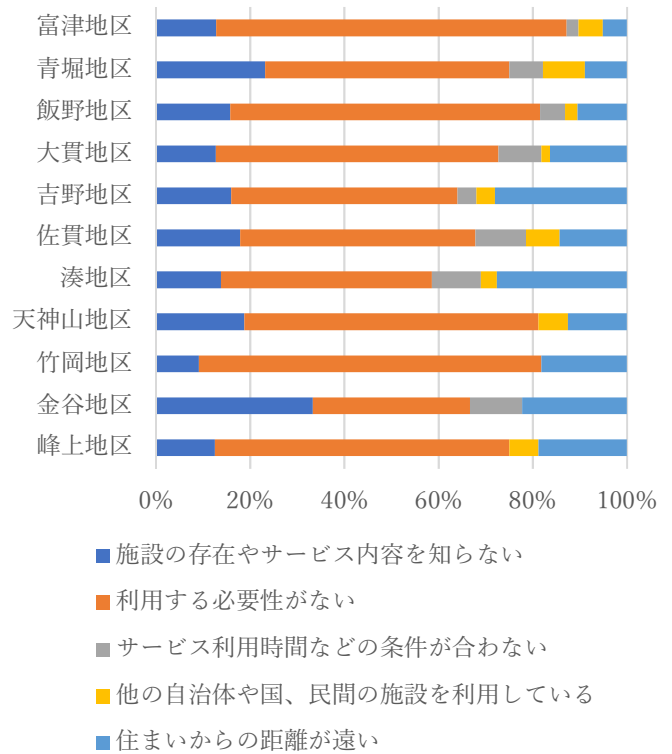
富津市役所本庁舎



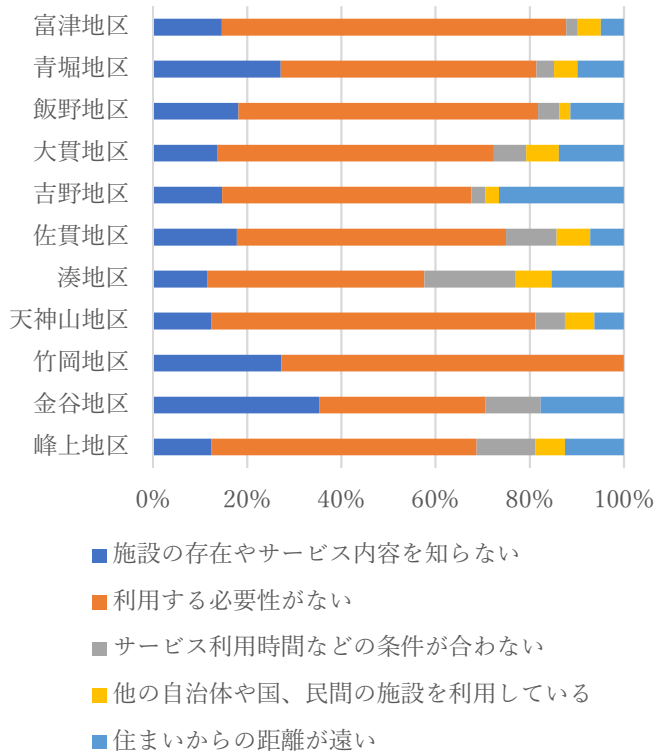
天羽行政センター



市民ふれあい公園

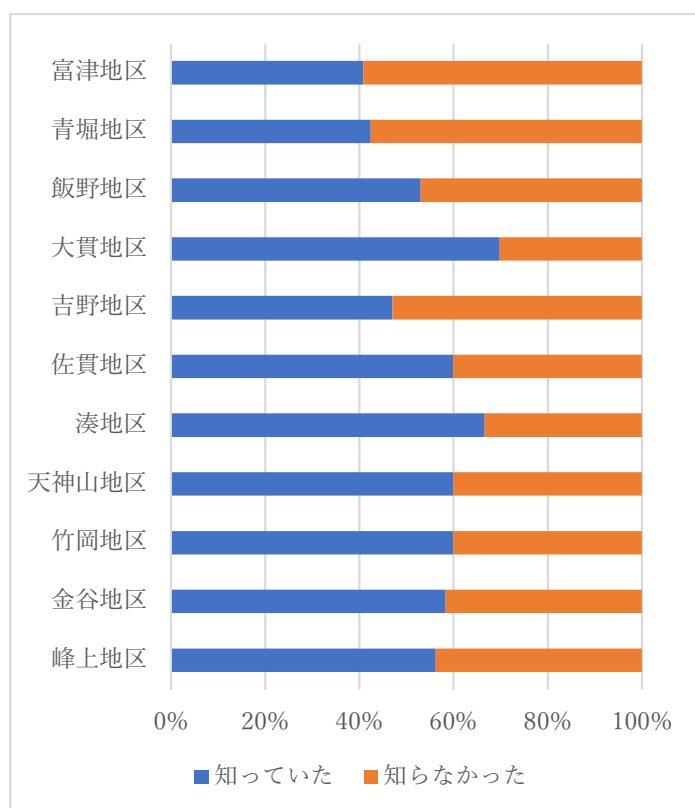


その他の公園

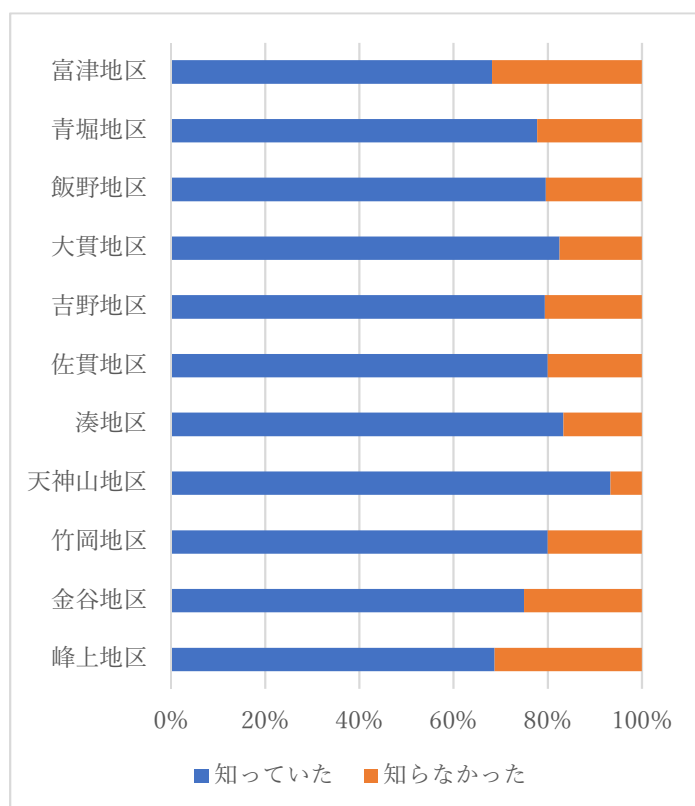


3. 富津市の公共施設を取り巻く課題について

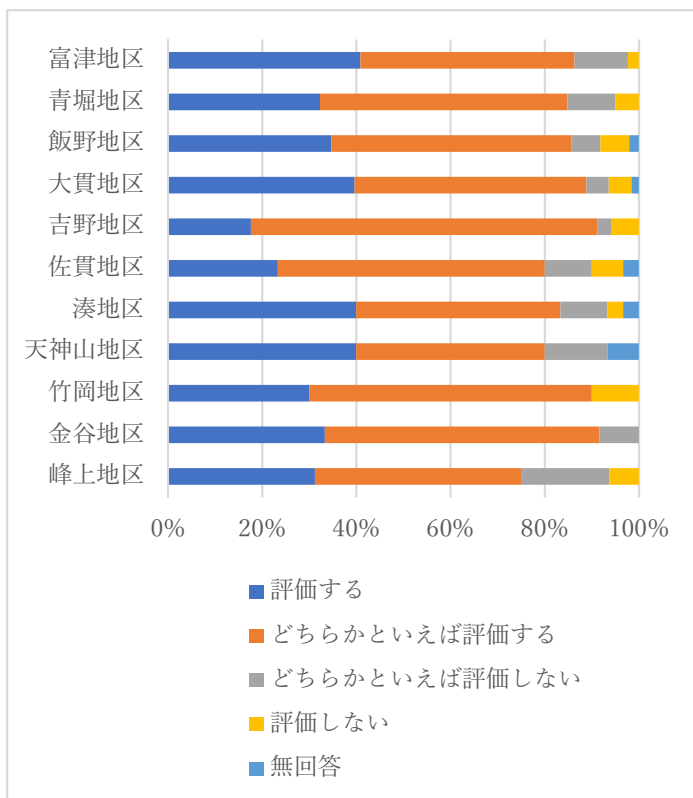
(1) 富津市の公共施設の老朽化が進んでおり、今後、大規模改修や建替えが集中し、膨大な財政負担が必要になることが見込まれること



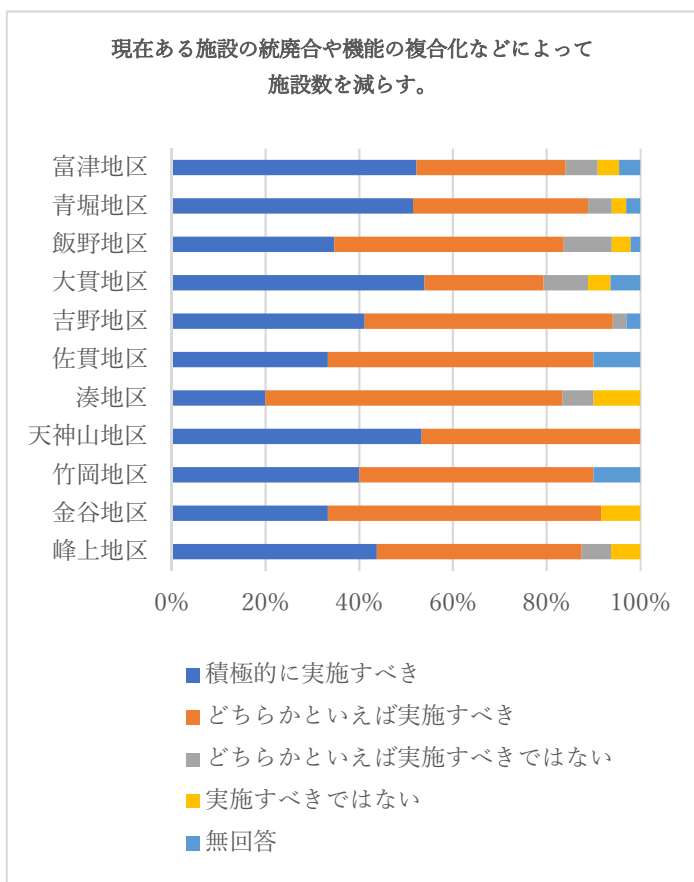
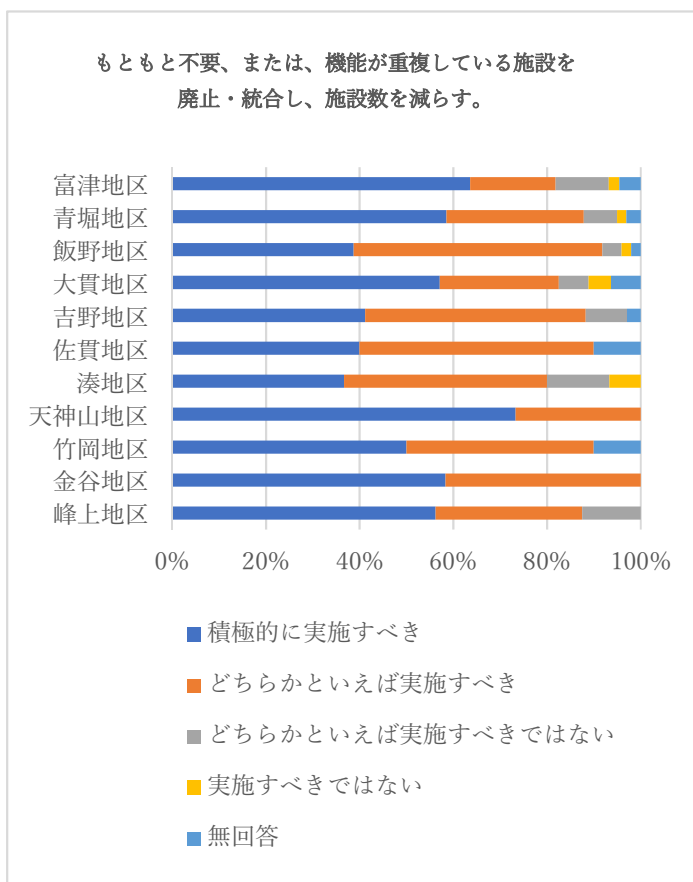
(2) 富津市の人口は、昭和 60 年（1985 年）をピークに減少していること



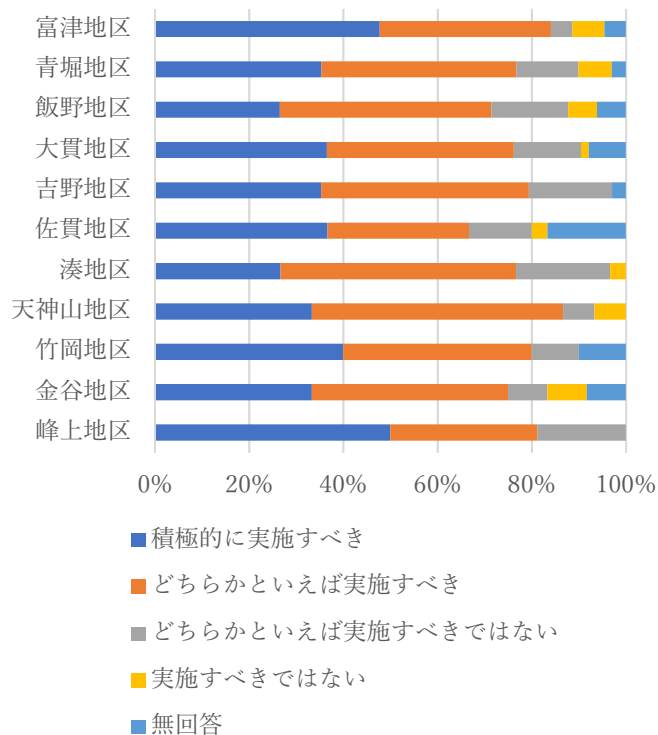
4. 資料「市では公共施設の再配置に取り組んでいます」を参照いただき、この取り組みについて 思うか



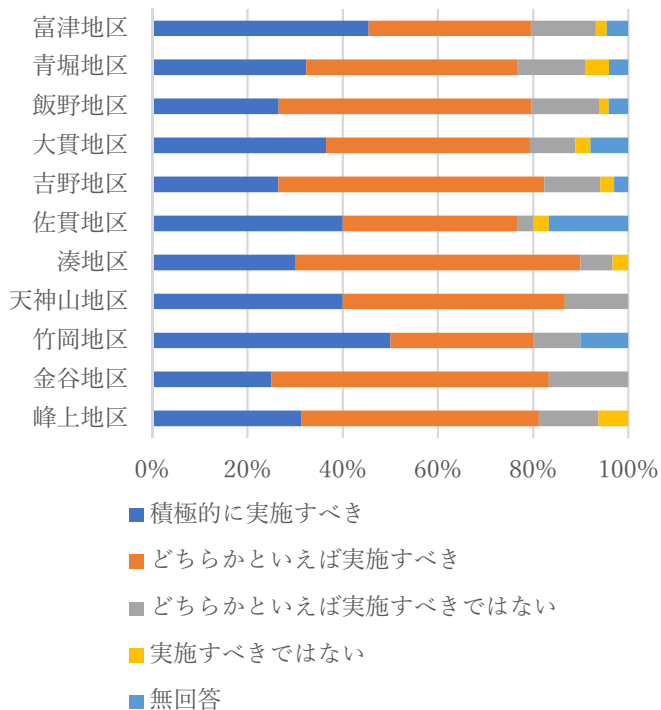
5. 将来に向けて、公共施設を維持していくために考えられる方策について



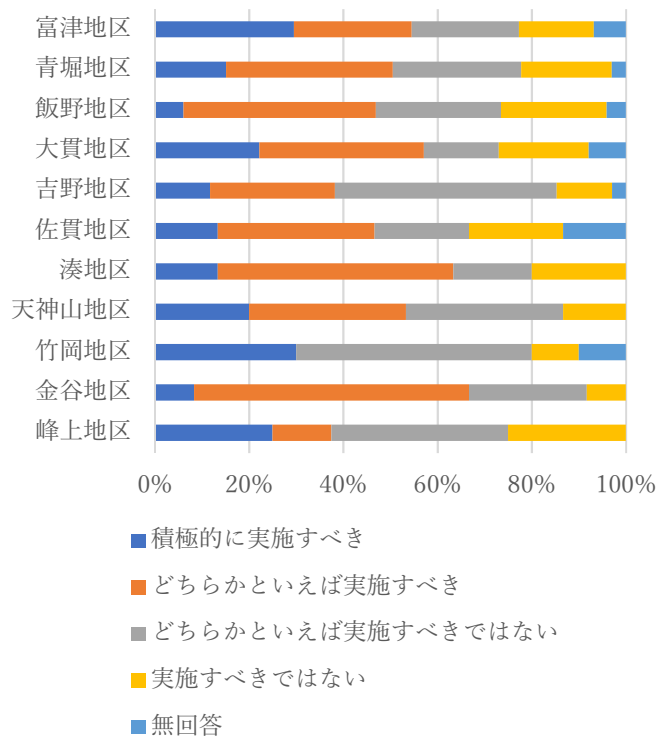
近隣自治体と共同で施設を建設・運営をする。
または、近隣自治体の施設を利用する。



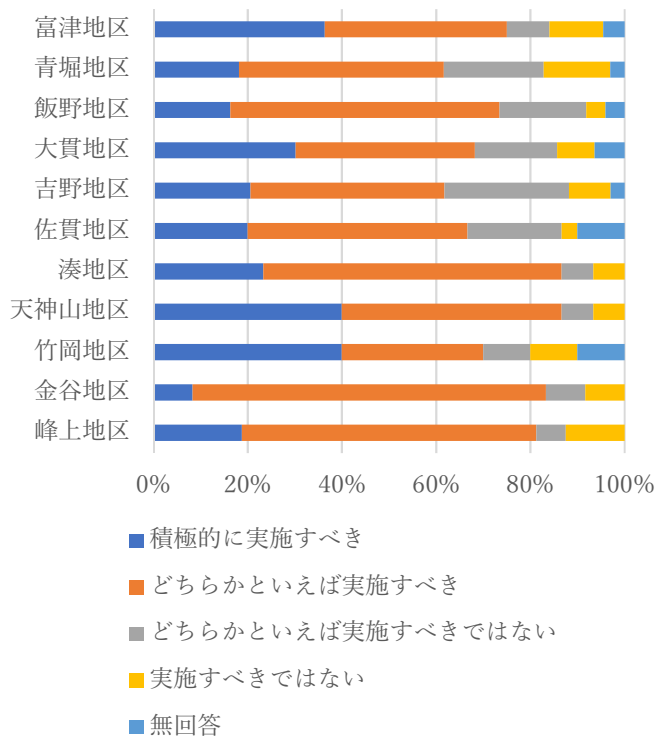
施設の更新（建替え）や管理運営に民間企業の
ノウハウや資金を活用したり、施設自体を民間
企業に移管する。



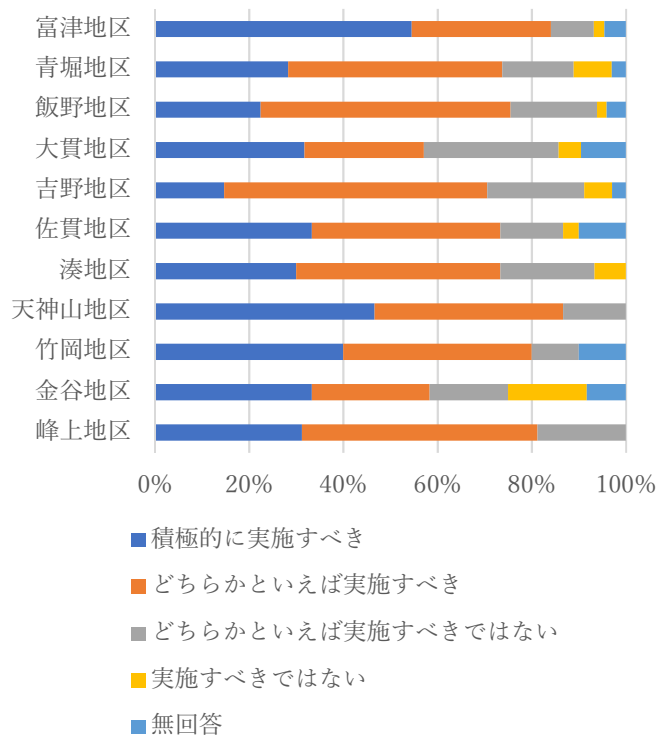
地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、
維持・管理を行う。



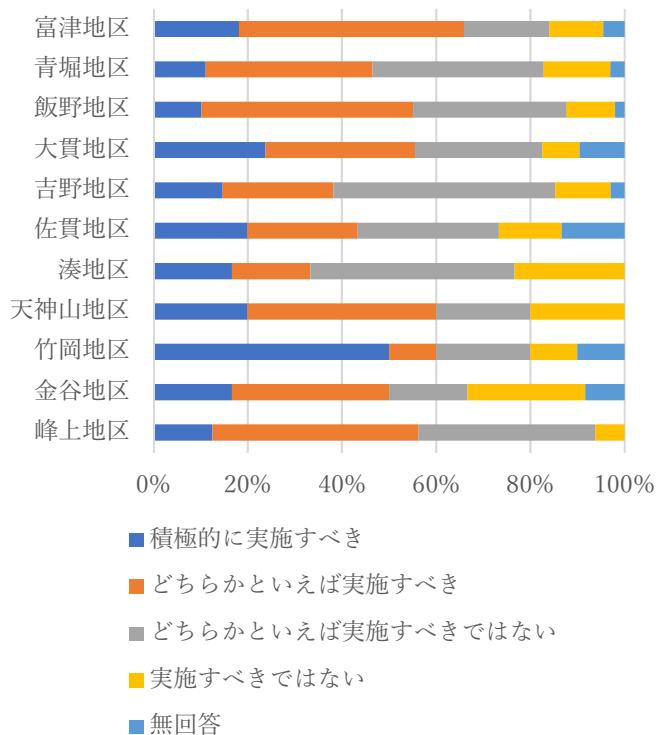
施設を長持ちするようにして（長寿命化）、
しばらくの間は建替えない。



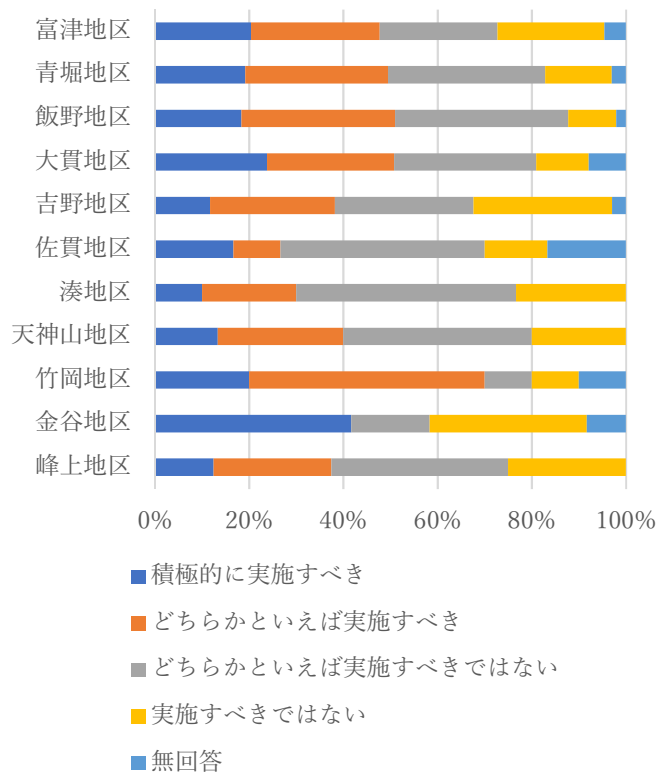
施設を減らす代わりに民間施設（会議室やスポーツ施設等）の利用に対し、助成する。



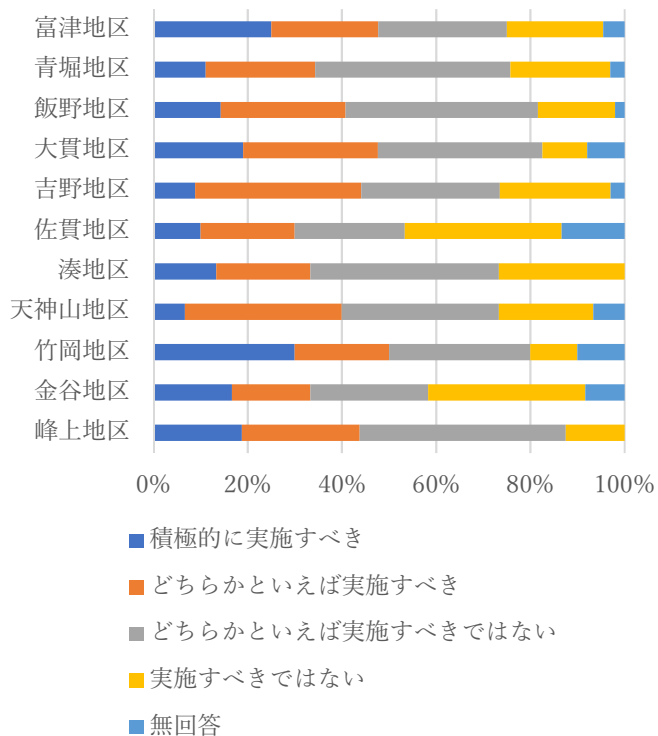
施設におけるサービスの水準を引き下げる（開館日数の削減など）。



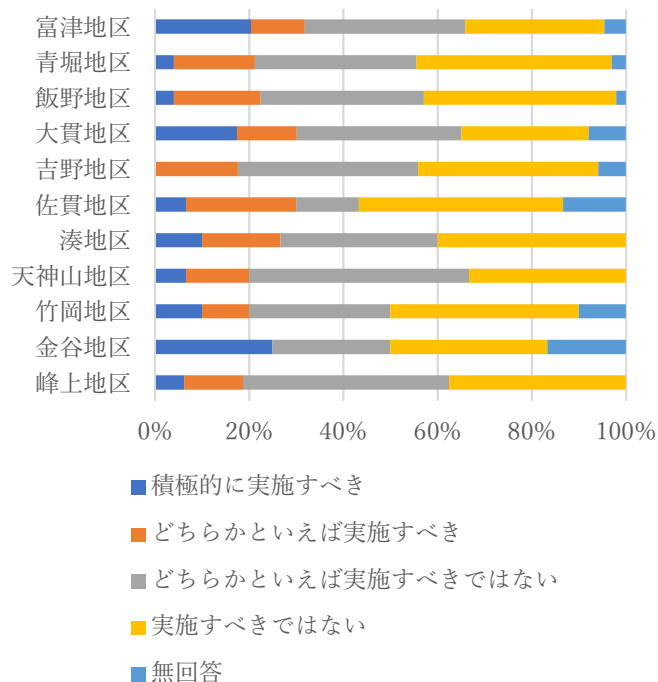
利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる。



市民サービスを縮小したり、新規サービスを実施せず、浮いた費用を公共施設にあてる。

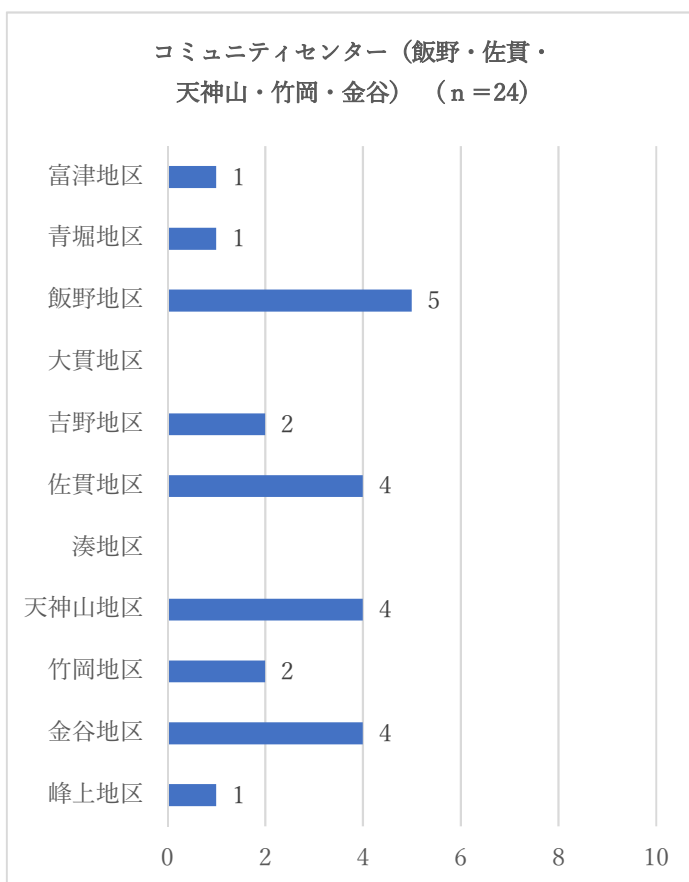
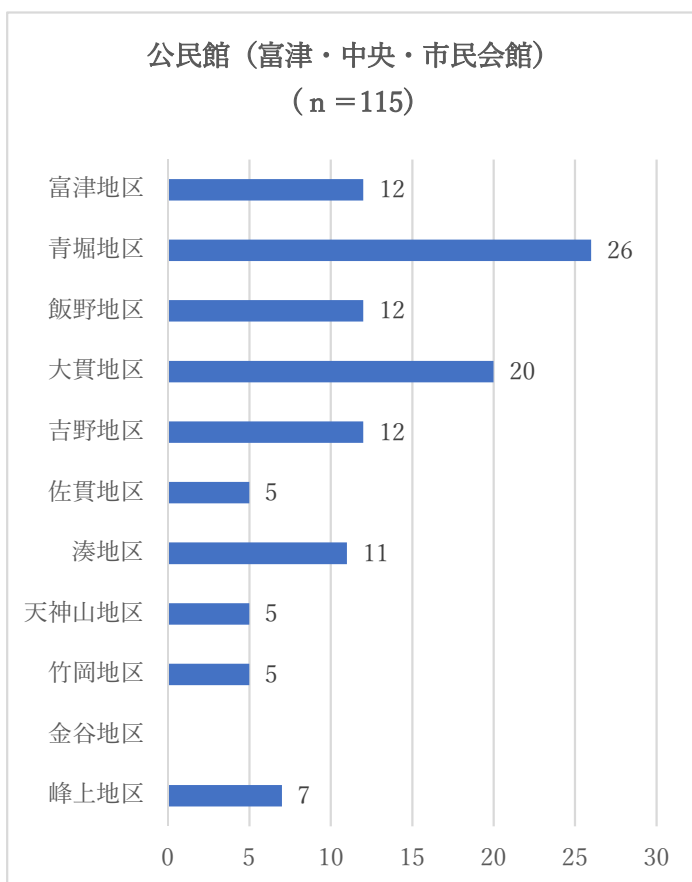


特別な税金等の徴収など、市民全体で公共施設の
維持に必要な費用を負担する。

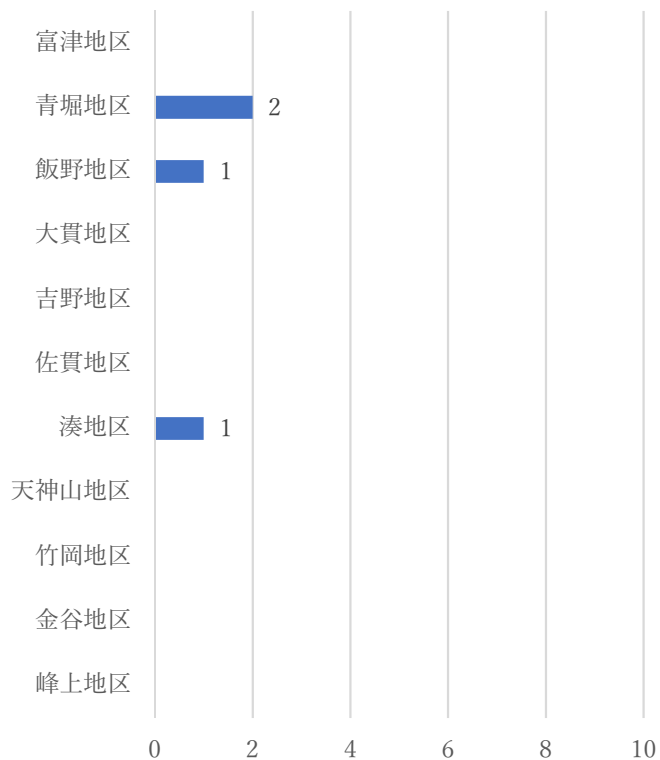


6. 「市が将来にわたり維持すべきと考える施設」と「今後、施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設」について

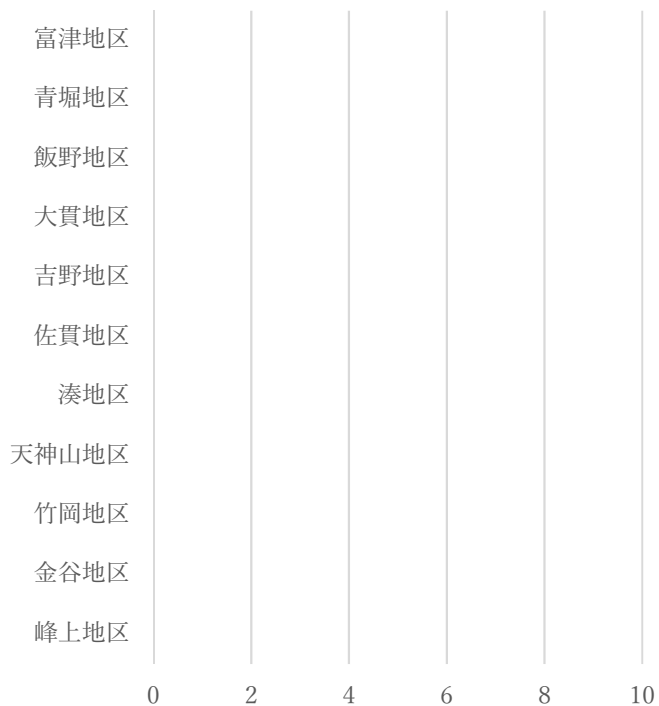
(1) 市が将来にわたり維持すべきと考える施設 (※最大3つまで選択)



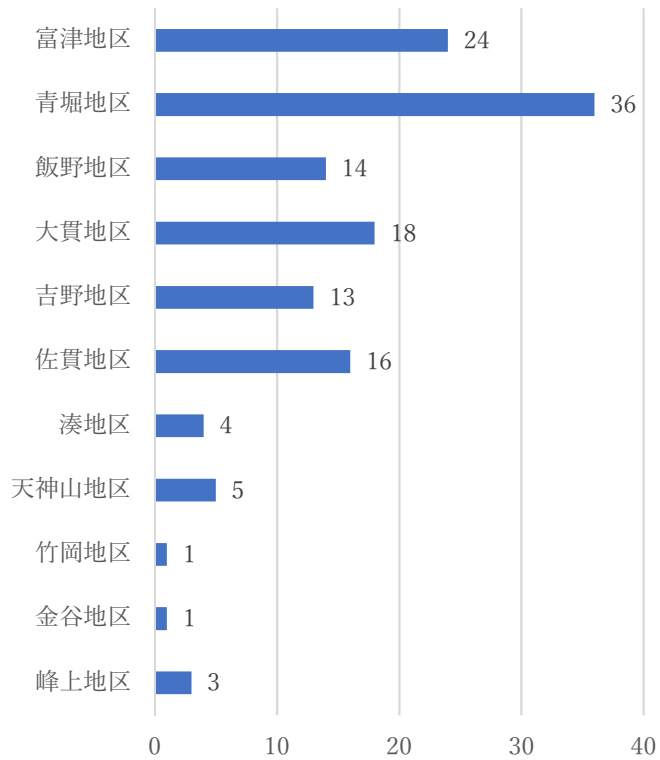
富津埋立記念館 (n = 4)



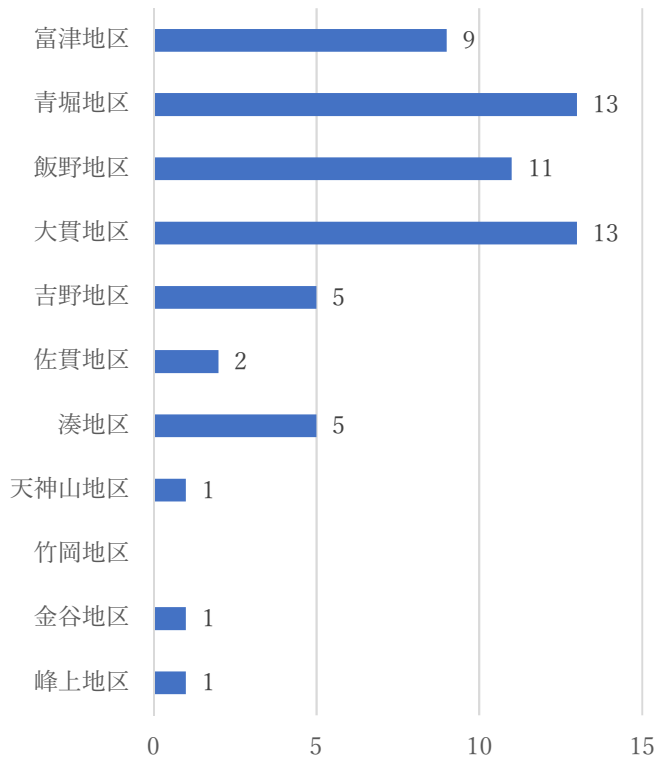
青堀駅東口史跡情報案内所
(古墳の里ふれあい館)



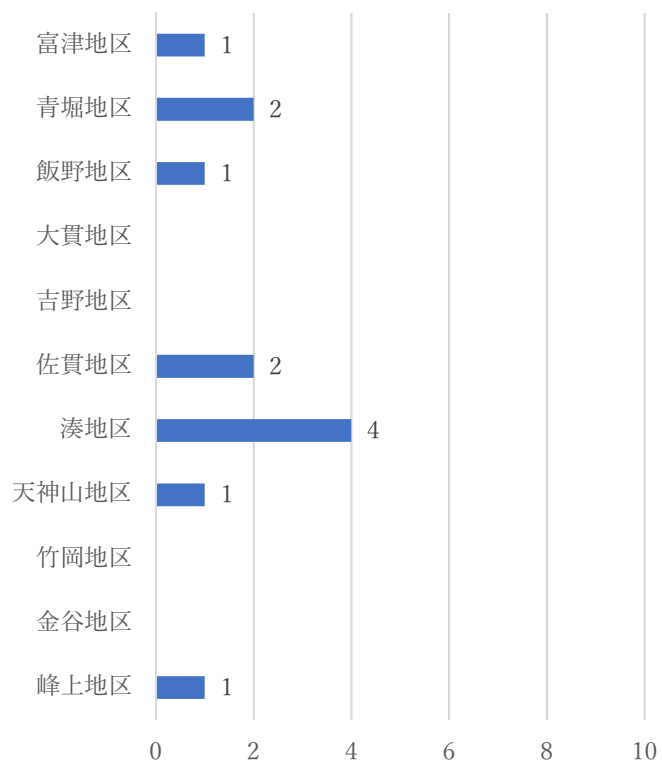
富津市立図書館 (n = 135)



総合社会体育館 (n = 61)

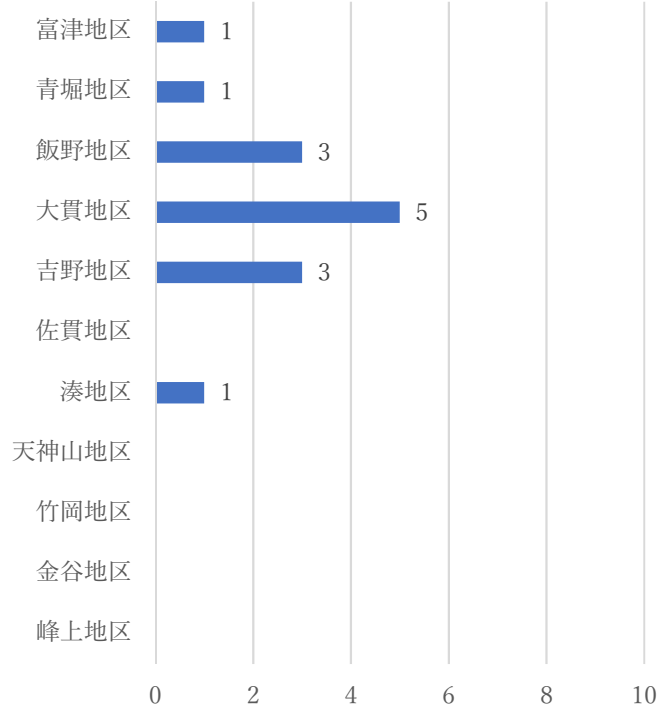


浅間山運動公園 (n = 12)



運動広場 (新富・富津)

(n = 14)



富津市民の森 (n = 5)



金谷海浜公園 (n = 2)



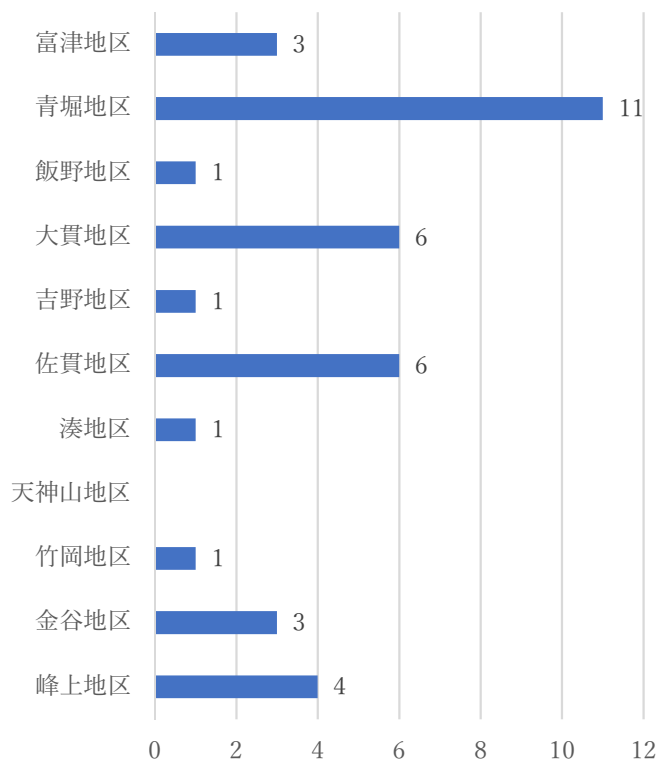
高宕山自然動物園 (n = 3)



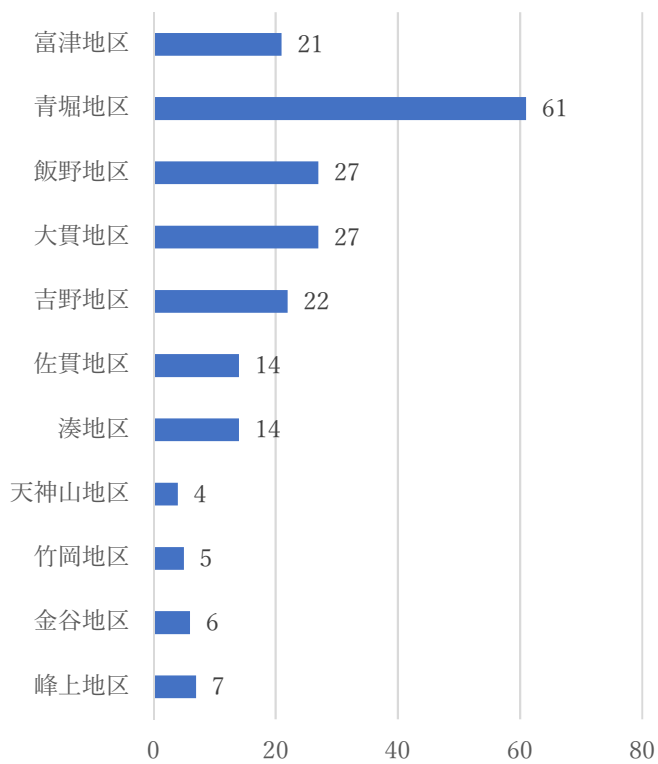
富津観光案内所 (n = 2)



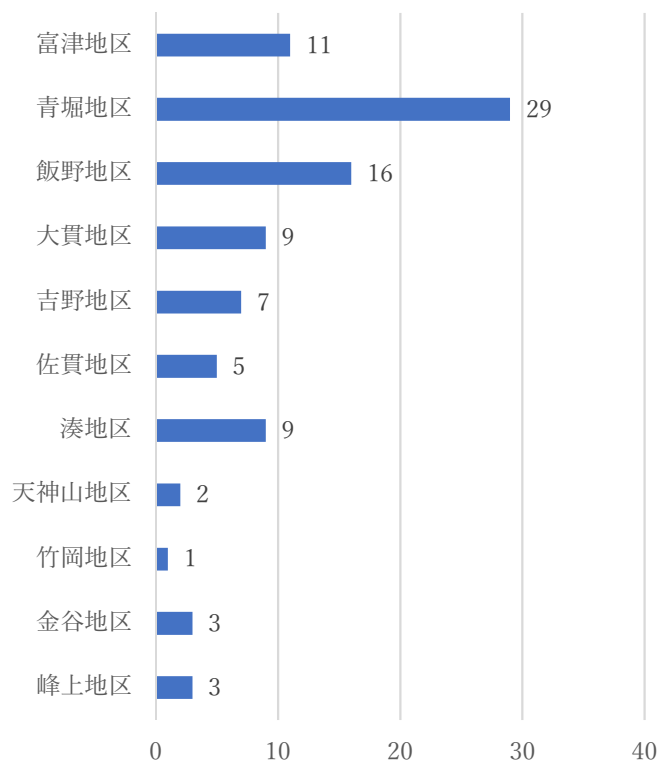
観光トイレ (n = 37)



小学校・中学校 (n = 208)



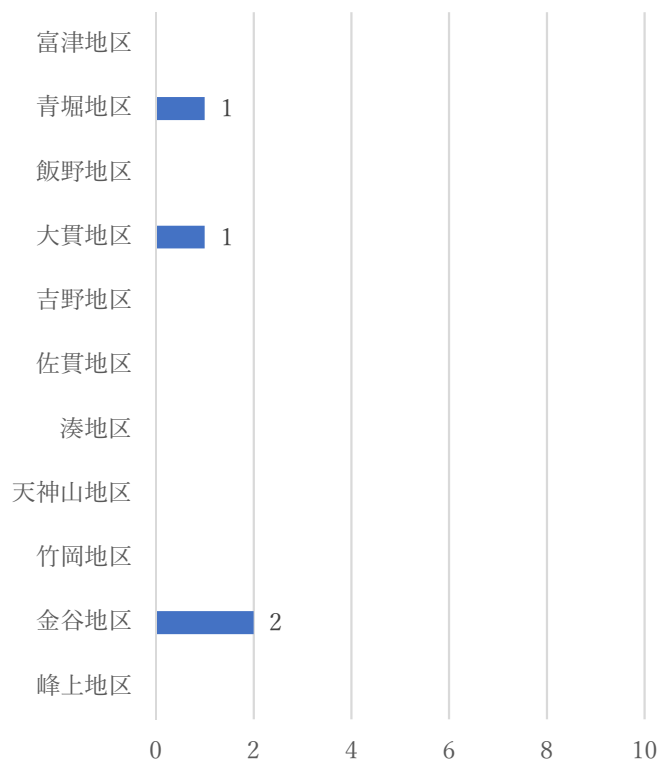
保育所 (n = 95)



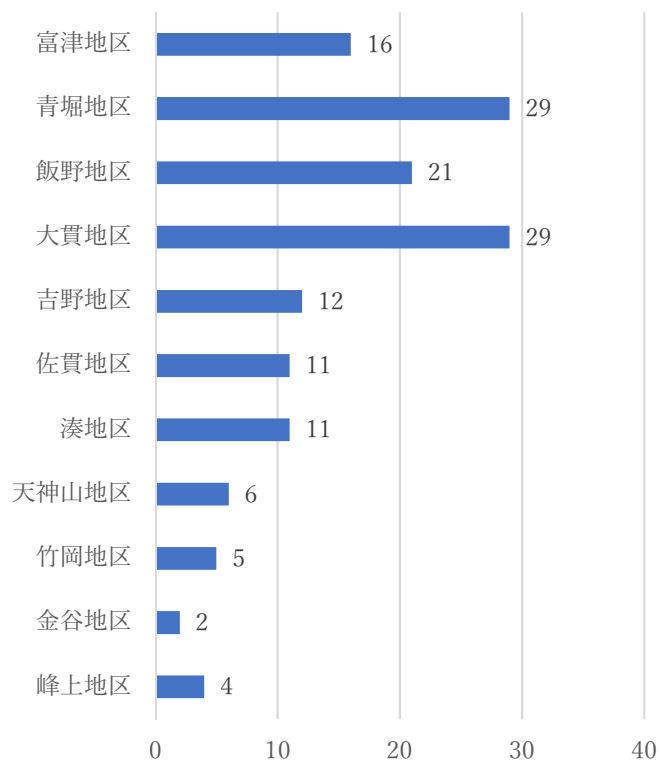
ふれあいシニア館 (n = 3)



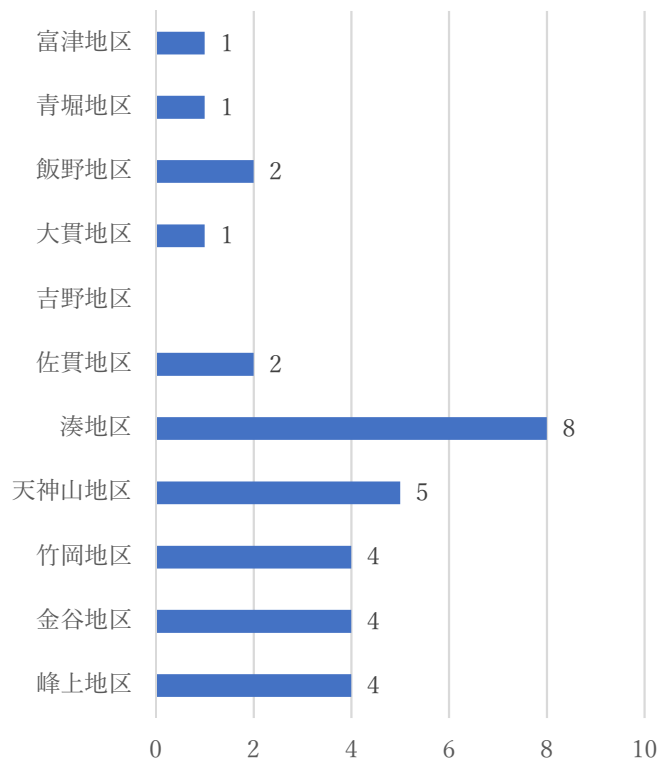
老人憩の家 (n = 4)



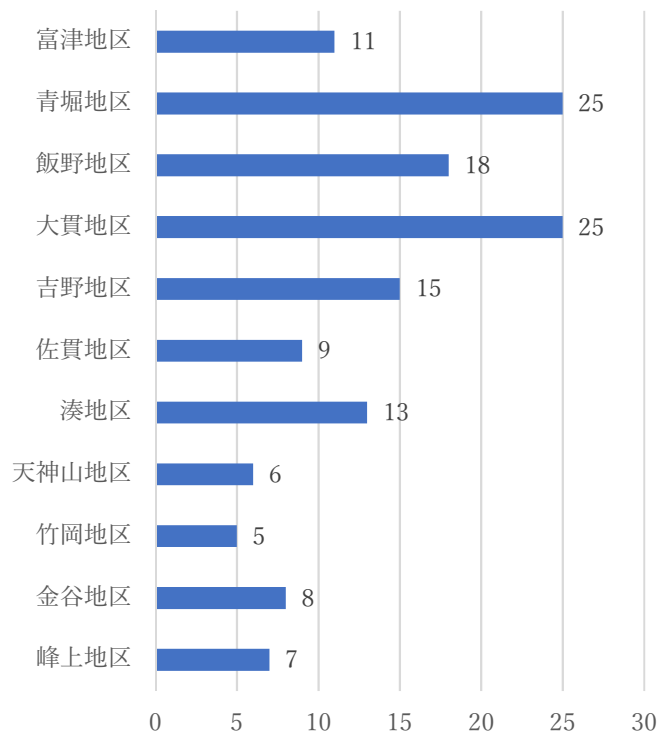
富津市役所本庁舎 (n = 146)



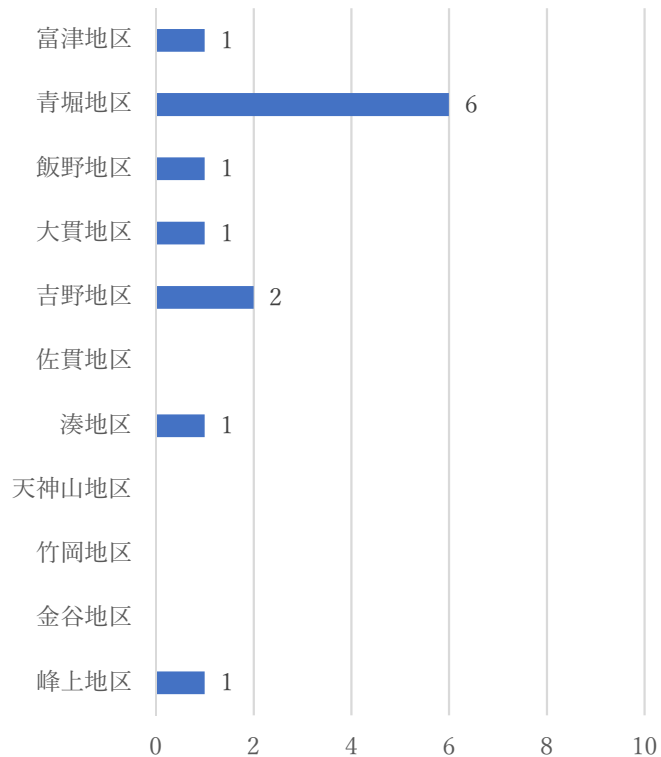
天羽行政センター (n = 32)



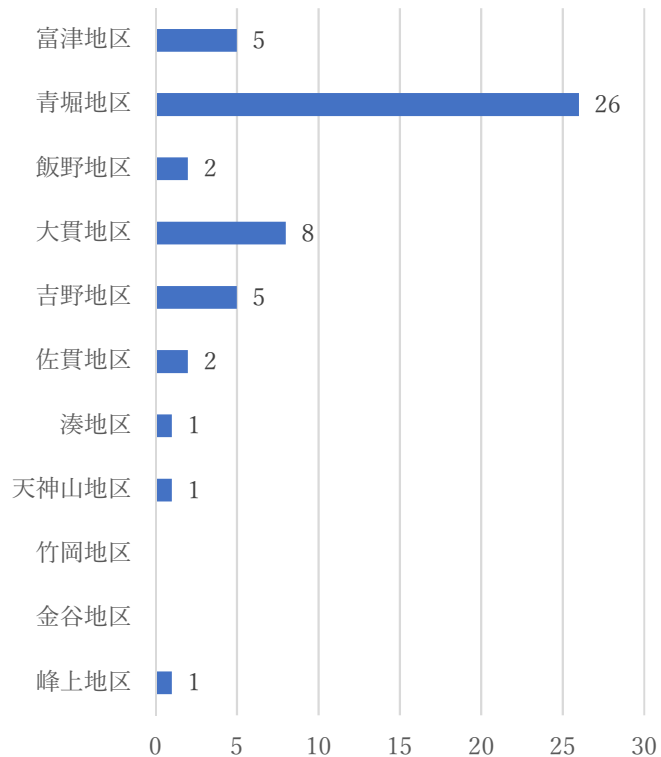
消防・防災施設（消防防災センター、天羽分署、
詰所・機庫、防災備蓄倉庫） (n = 142)

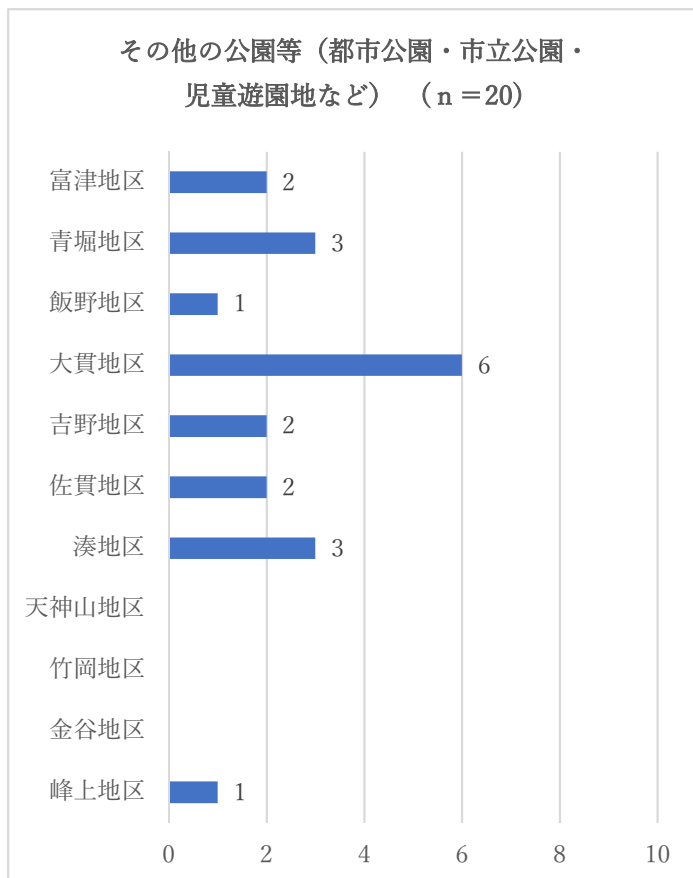


市営住宅 (n = 13)

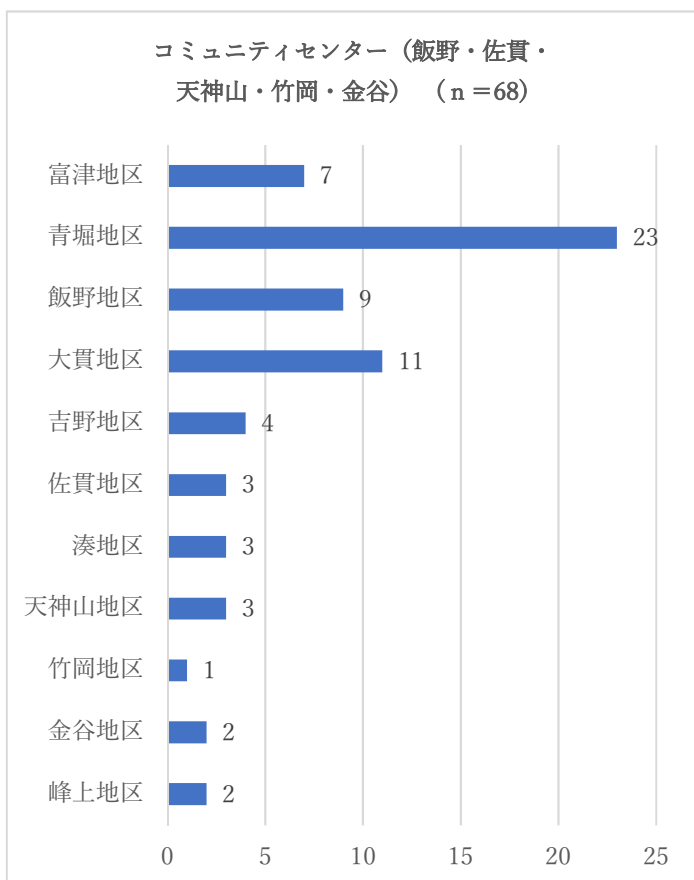
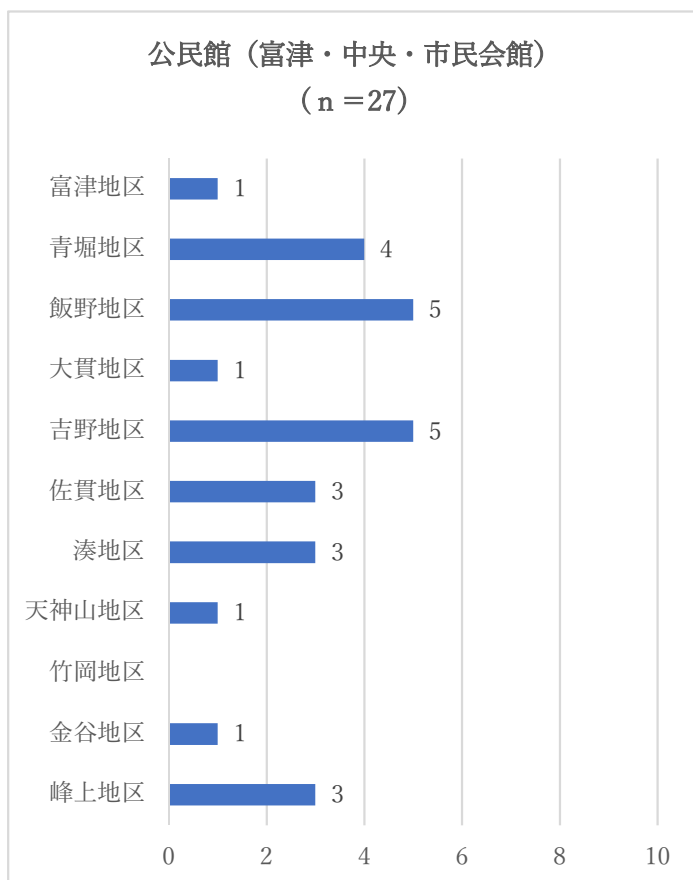


市民ふれあい公園 (n = 51)

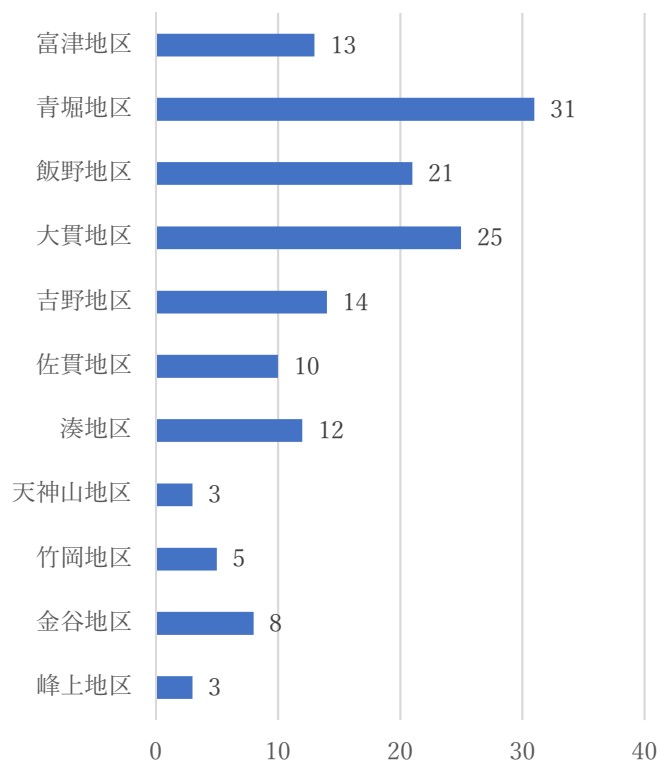




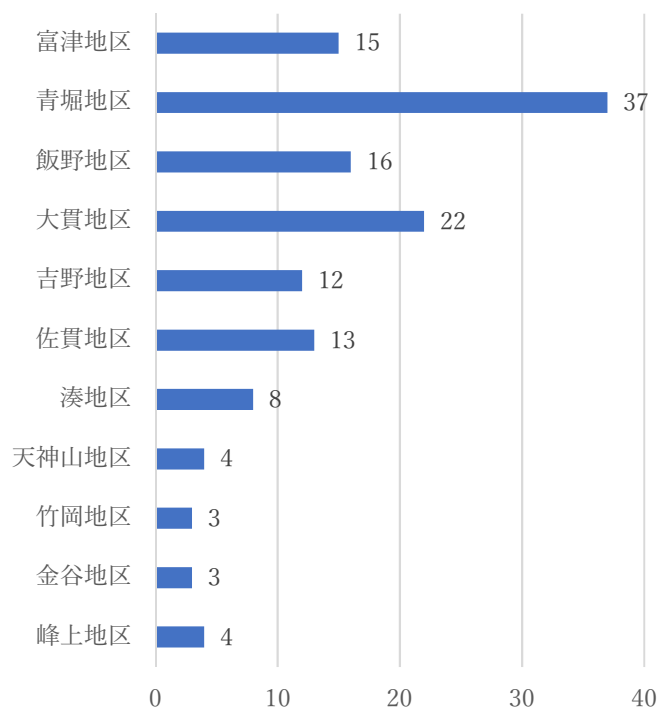
（２）施設数や規模の見直し、廃止を考えるべき施設（※最大３つまで選択）



富津埋立記念館 (n = 145)



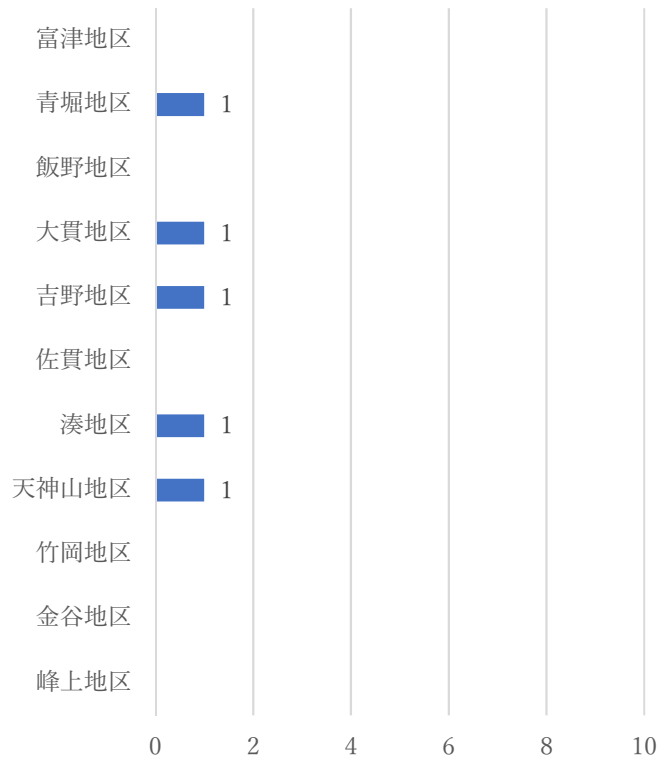
青堀駅東口史跡情報案内所
(古墳の里ふれあい館) (n = 137)



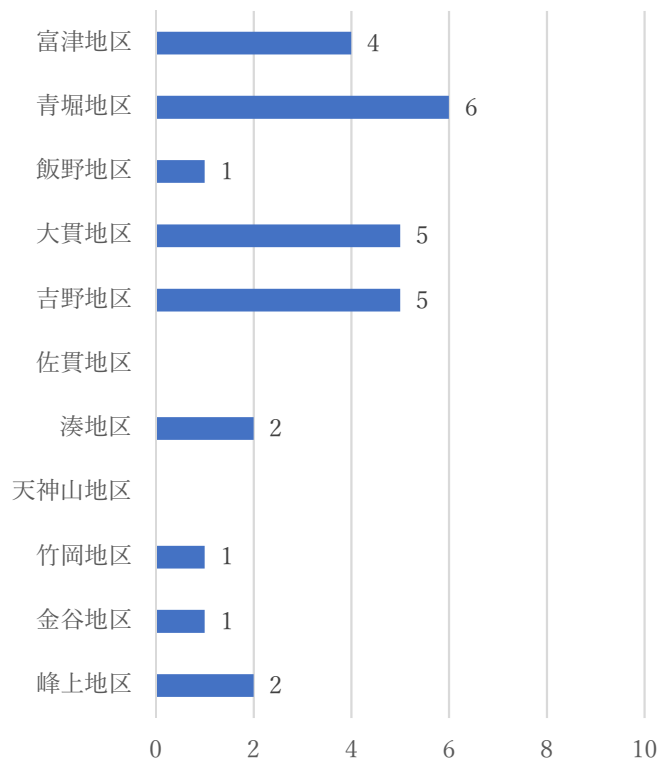
富津市立図書館 (n = 6)



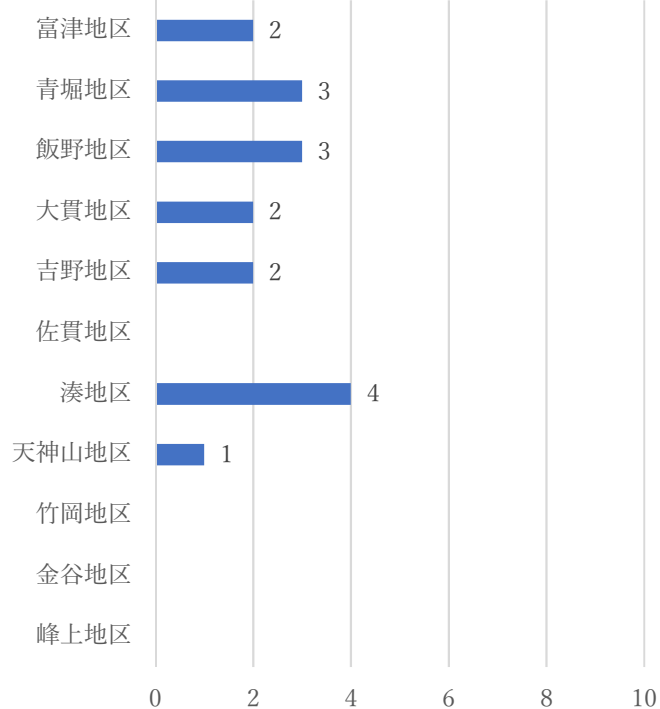
総合社会体育館 (n = 5)



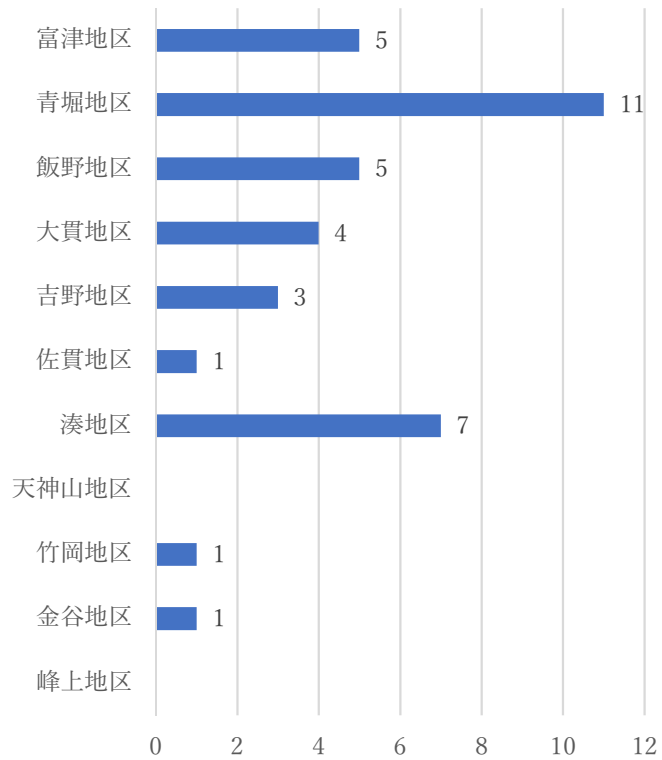
浅間山運動公園 (n = 27)



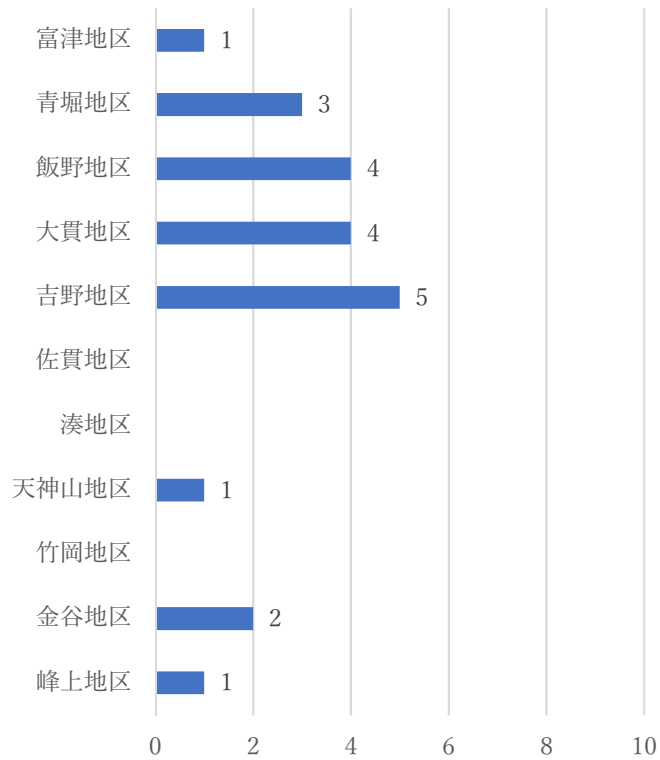
運動広場 (新富・富津)
(n = 17)



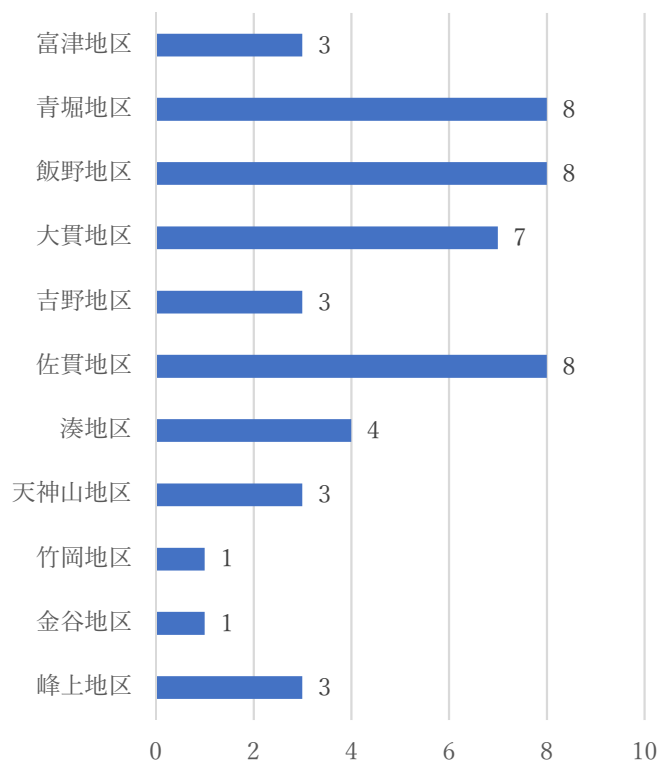
富津市民の森 (n = 38)



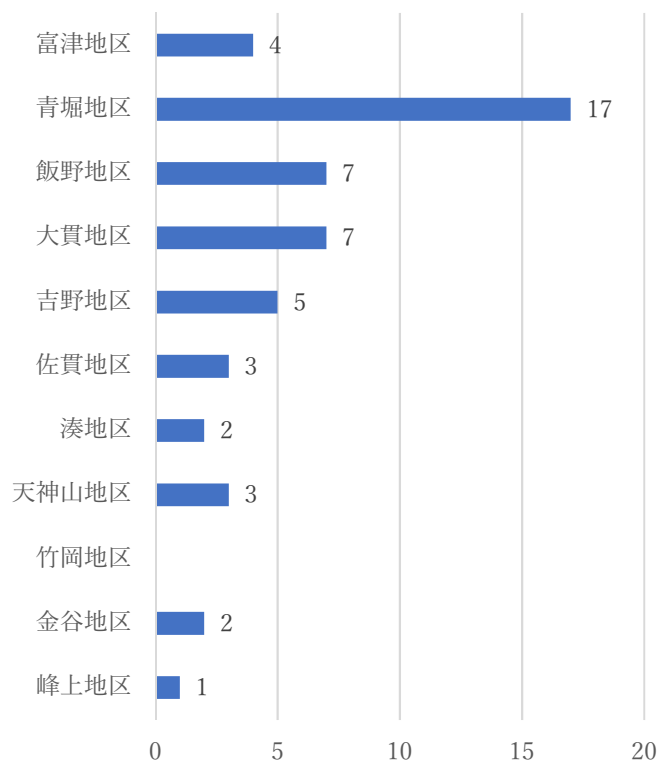
金谷海浜公園 (n = 21)



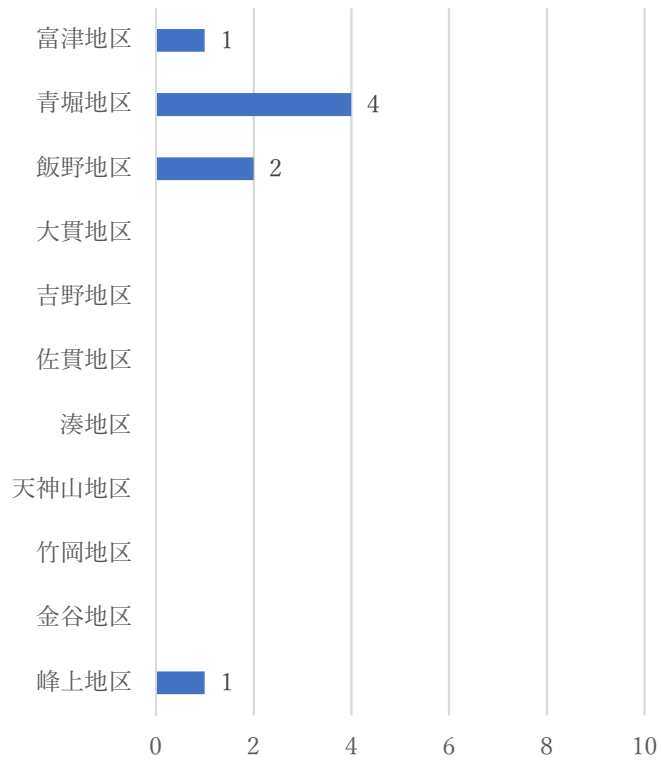
高宕山自然動物園 (n = 49)



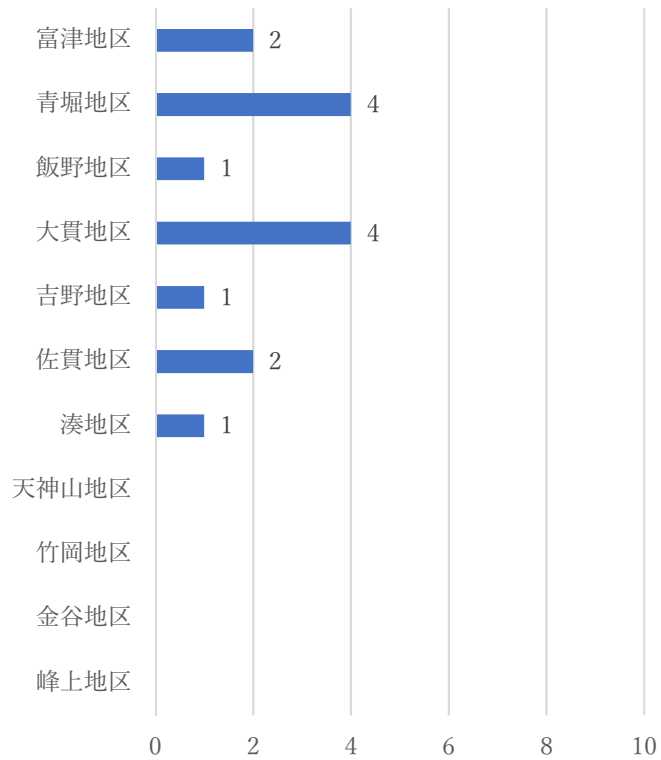
富津観光案内所 (n = 51)

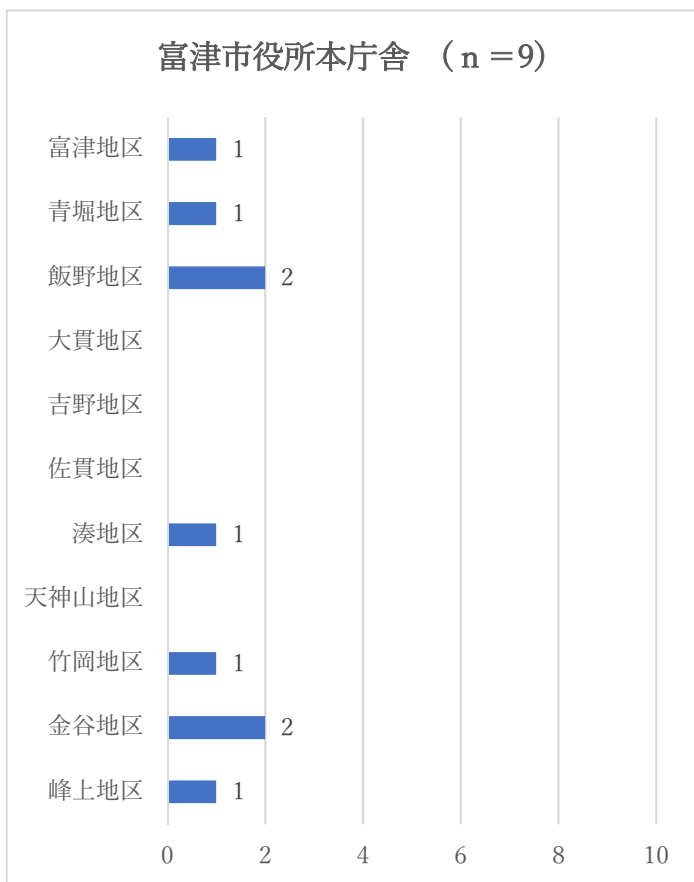
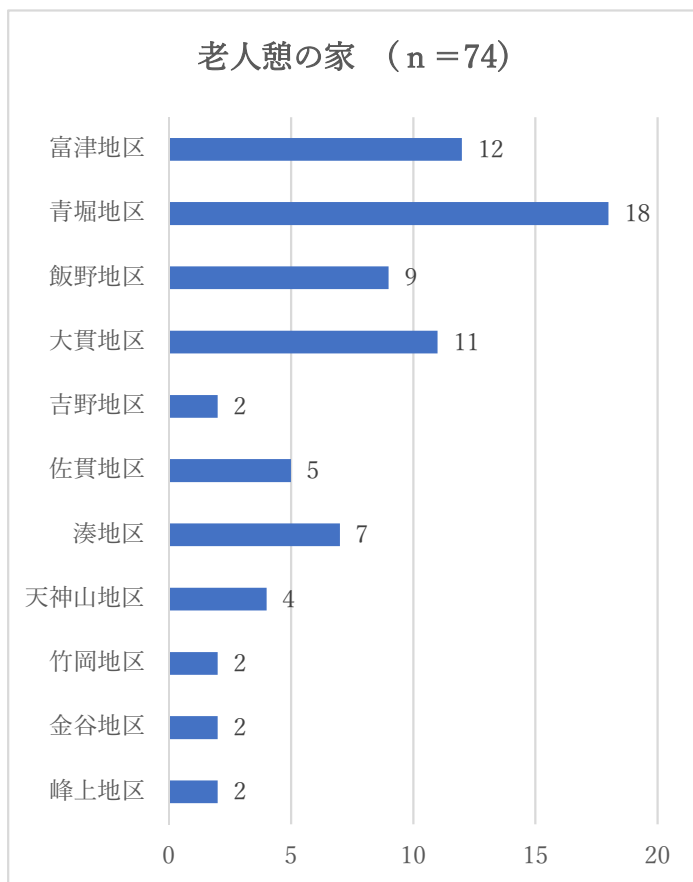
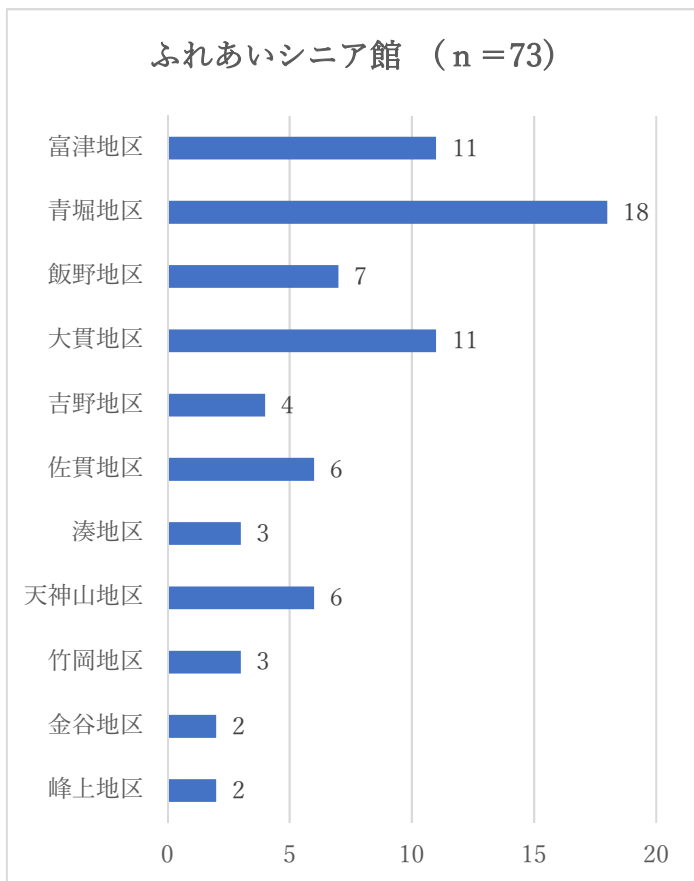
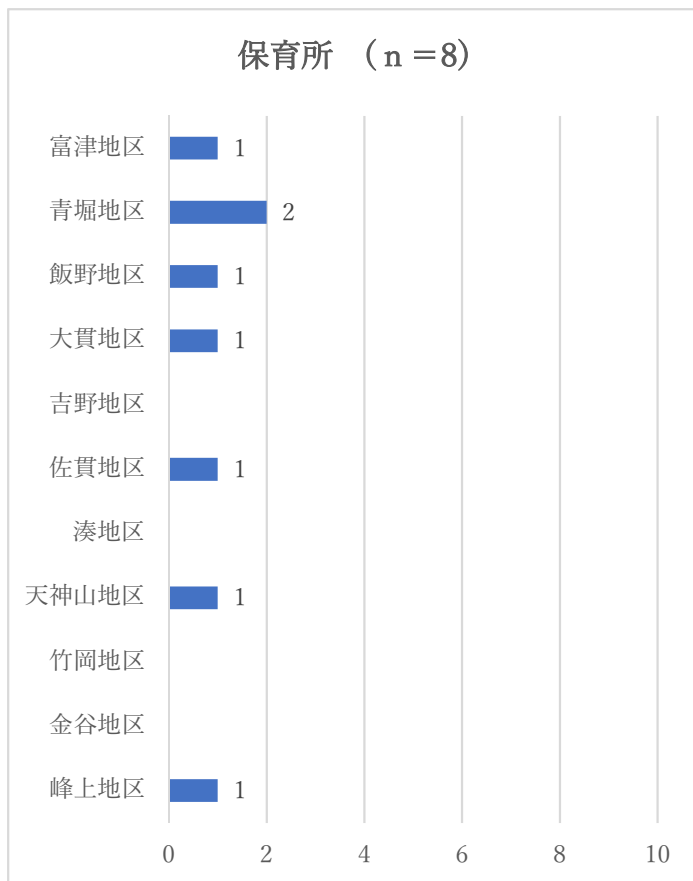


観光トイレ (n = 8)

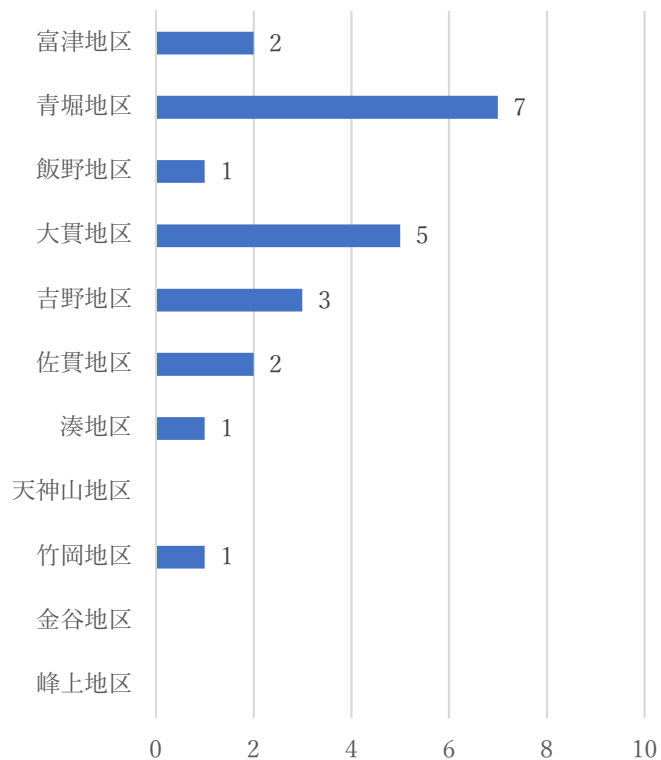


小学校・中学校 (n = 15)





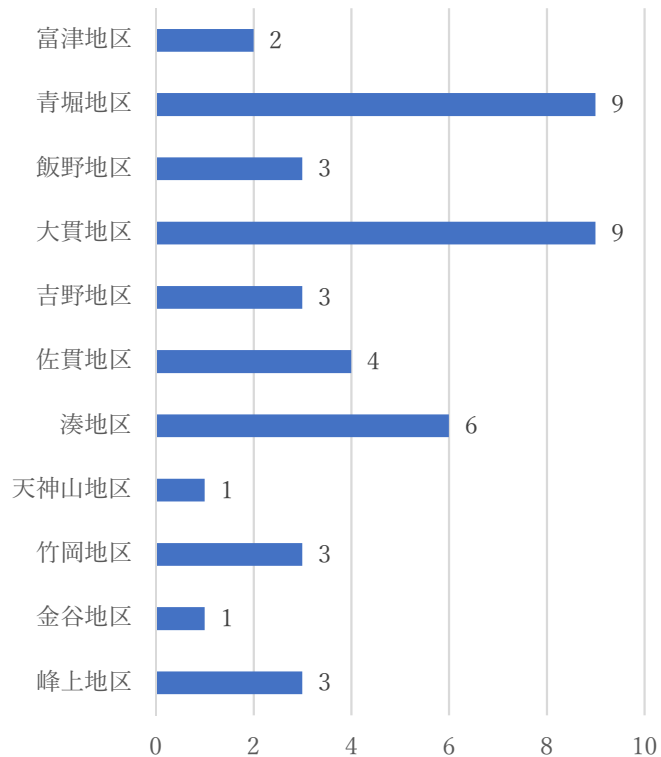
天羽行政センター (n = 22)



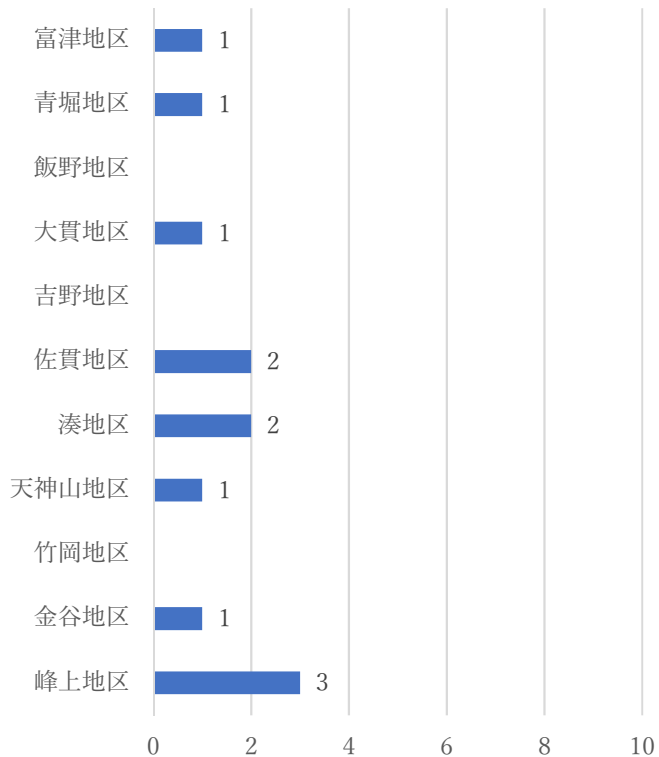
消防・防災施設（消防防災センター、天羽分署、
詰所・機庫、防災備蓄倉庫） (n = 4)



市営住宅 (n = 44)



市民ふれあい公園 (n = 12)



その他の公園等（都市公園・市立公園・
児童遊園地など）（n = 37）

